

 MOTOROLA SOLUTIONS
PROFESSIONAL DIGITAL TWO-WAY RADIO
MOTOTRBO™
SL1K, SL2K
FULL KEYPAD PORTABLE RADIO

USER GUIDE

en-US

zh-CN

ja-JP

ko-KR

id-ID



FEBRUARY 2021

© 2021 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



MN003692A01-AH

This is to declare that MSI products comply with the EU Directive 2011/65/EU (Restriction of Hazardous Substance or RoHS-2) and India RoHS, including applicable exemptions, with respect to the following substances:

Lead (Pb) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Mercury (Hg) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Cadmium (Cd) < 0.01% by weight (100 ppm)

Hexavalent Chromium (Cr6+) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Polybrominated Biphenyls (PBB) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Polybrominated Diphenyl Ethers (PBDE) < 0.1% by weight (1000 ppm)

目次

重要な安全情報.....	28
ソフトウェア バージョン.....	29
著作権.....	30
コンピュータ ソフトウェア著作権.....	32
無線機のお手入れ.....	33
章 1 : はじめに.....	34
章 2 : はじめに.....	35
2.1 バッテリーの充電.....	35
2.2 バッテリーの取り付け.....	35
2.3 アンテナの取り付け.....	36
2.4 無線機の電源のオン.....	36
2.5 音量の調節.....	37
章 3 : 無線機コントロール.....	38
3.1 キーパッドの使用.....	39
章 4 : WAVE.....	42
4.1 WAVE OnCloud/OnPremise.....	42
4.1.1 無線機モードから WAVE モード への切り替え.....	42
4.1.2 WAVE グループ通話の発信.....	43

4.1.3 WAVE グループ通話の受信と応 答.....	44
4.1.4 WAVE 個別通話の受信と応答.....	44
4.1.5 WAVE モードから無線機モード への切り替え.....	44
4.2 WAVE Tactical/5000.....	45
4.2.1 アクティブ WAVE チャンネルの設 定.....	45
4.2.2 WAVE チャンネル情報の表示.....	45
4.2.3 WAVE エンドポイントの表示.....	46
4.2.4 WAVE 構成の変更.....	46
4.2.5 WAVE グループ通話の発信.....	47
部 I : Capacity Max.....	49
5.1 プログラム可能ボタン.....	49
5.1.1 プッシュアウトーク ボタン.....	49
5.1.2 指定可能な無線機機能.....	50
5.1.3 指定可能な設定またはユーティ リティ機能.....	52
5.1.4 プログラムされた機能へのアク セス.....	52
5.2 ステータス インジケータ.....	53
5.2.1 アイコン.....	53

5.2.2 LED インジケータ.....	60	5.5.1.5 グループ通話への応答.....	71
5.2.3 トーン.....	61	5.5.2 ブロードキャスト コール.....	72
5.2.3.1 オーディオ トーン.....	61	5.5.2.1 ブロードキャスト コー ルの発信.....	72
5.2.3.2 インジケータ トーン.....	61	5.5.2.2 連絡先リストを使用した ブロードキャスト コールの発信..	72
5.3 登録.....	62	5.5.2.3 プログラム可能な数値キ ーを使用したブロードキャスト コールの発信.....	73
5.4 ゾーンとチャネルの選択.....	63	5.5.2.4 ブロードキャスト コー ルの受信.....	73
5.4.1 ゾーンの選択.....	63	5.5.3 個別コール.....	74
5.4.2 通話タイプの選択.....	63	5.5.3.1 個別通話の発信.....	74
5.4.3 サイトの選択.....	64	5.5.3.2 プログラム可能な数値キ ーを使用した個別コールの発信 ..	75
5.4.4 ローミング要求.....	64	5.5.3.3 エイリアス検索を使用し た個別コールの発信.....	76
5.4.5 サイト制限.....	65	5.5.3.4 ワンタッチ コール ボタ ンを使用した個別コールの発信...	77
5.4.6 サイト トランキング.....	65	5.5.3.5 ダイヤルを使用した個別 コールの発信.....	78
5.5 通話.....	66	5.5.3.6 個別コールの受信.....	79
5.5.1 グループ通話.....	67	5.5.3.7 個別コールの受信.....	79
5.5.1.1 グループ通話の発信.....	67		
5.5.1.2 連絡先リストを使用した グループ コールの発信.....	68		
5.5.1.3 プログラム可能な数値キ ーを使用したグループ コールの 発信	69		
5.5.1.4 エイリアス検索を使用し たグループ コールの発信	70		

5.5.3.8 個別コールの拒否.....	80	5.5.5.8 グループ コールとして 電話通話への応答.....	94
5.5.4 一斉コール.....	81	5.5.5.9 個別コールとして電話通 話への応答.....	95
5.5.4.1 一斉コールの受信	81	5.5.6 通話割り込みの開始.....	95
5.5.4.2 一斉コールの発信	82	5.5.7 割り込み通話.....	96
5.5.4.3 プログラム可能な数値キ ーを使用した一斉コールの発信 ..	82	5.5.8 音声割り込み.....	96
5.5.4.4 エイリアス検索を使用し た一斉コールの発信.....	83	5.5.8.1 音声割り込みの有効化....	96
5.5.5 電話通話.....	84	5.6 高度な機能.....	97
5.5.5.1 電話通話の発信.....	84	5.6.1 Bluetooth®.....	97
5.5.5.2 プログラム可能なボタン で電話通話を行う	86	5.6.1.1 ブルートウスのオン/ オフの切り替え.....	98
5.5.5.3 連絡先リストを使用した 電話通話の発信	88	5.6.1.2 Bluetooth デバイスへの 接続	98
5.5.5.4 エイリアス検索を使用し た電話通話の発信.....	90	5.6.1.3 検出可能モードでの Bluetooth デバイスへの接続.....	99
5.5.5.5 ダイヤルを使用した電話 通話の発信.....	91	5.6.1.4 Bluetooth デバイスから の切断.....	100
5.5.5.6 デュアル トーン マルチ 周波数.....	93	5.6.1.5 内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオー ディオ ルートの切り替え.....	101
5.5.5.7 一斉コールとして電話通 話への応答.....	94	5.6.1.6 デバイスの詳細の表示...	101
		5.6.1.7 デバイス名の編集.....	101

5.6.1.8 デバイス名の削除.....	102	5.6.3.7 すべての JOB チケット の削除.....	111
5.6.1.9 Bluetooth マイクゲイン 値の調整.....	102	5.6.4 マルチサイト コントロール.....	112
5.6.1.10 Permanent Bluetooth Discoverable モード.....	103	5.6.4.1 手動サイト検索の有効化	112
5.6.2 屋内位置.....	103	5.6.4.2 サイト ロック オン/オフ	113
5.6.2.1 屋内位置のオンとオフ...	104	5.6.4.3 隣接サイトのリストへの アクセス.....	113
5.6.2.2 屋内位置ビーコン情報へ のアクセス.....	105	5.6.5 ホーム チャネル リマインダ.....	114
5.6.3 JOB チケット.....	105	5.6.5.1 ホーム チャネル リマイ ンダのミュート.....	114
5.6.3.1 JOB チケット フォルダ へのアクセス.....	106	5.6.5.2 新しいホーム チャネル の設定.....	114
5.6.3.2 リモート サーバーのロ グインとログアウト.....	107	5.6.6 通話キュー.....	115
5.6.3.3 単数の JOB チケット テ ンプレートを使った JOB チケ ットの送信.....	108	5.6.7 優先通話.....	115
5.6.3.4 複数の JOB チケット テ ンプレートを使った JOB チケ ットの送信.....	108	5.6.8 グループ スキャン.....	116
5.6.3.5 JOB チケットへの応答..	109	5.6.8.1 グループ スキャンのオ ンとオフの切り替え.....	116
5.6.3.6 JOB チケットの削除.....	110	5.6.9 受信グループ リスト.....	117
		5.6.10 優先度モニタ.....	118
		5.6.10.1 グループの優先度の設 定	118

5.6.11 複数グループの加入.....	119	5.6.15.2 着信音のオンとオフの 切り替え (テキスト メッセージ 用) 	129
5.6.11.1 加入グループの追加.....	119	5.6.15.3 着信音のオンとオフの 切り替え (ページング用).....	130
5.6.11.2 加入グループの削除.....	120	5.6.16 通話履歴機能	131
5.6.12 トークバック	121	5.6.16.1 最近の通話の表示.....	131
5.6.13 [リモート モニタ].....	122	5.6.16.2 通話リストからのエイ リアスまたは ID の保存 	132
5.6.13.1 リモート モニタの開始	122	5.6.16.3 通話リストからの通話 の削除 	132
5.6.13.2 連絡先リストを使用し たリモート モニタの開始	123	5.6.16.4 通話リストの詳細の表 示 	133
5.6.13.3 ダイヤルを使用したリ モート モニタの開始.....	124	5.6.17 ページング操作.....	134
5.6.14 連絡先設定.....	125	5.6.17.1 ページングへの応答.....	134
5.6.14.1 プログラム可能な数値 キーへのエントリの割り当て 	126	5.6.17.2 ページングの発信.....	135
5.6.14.2 エントリとプログラミ ング可能な数値キー間の関連付 けの削除 	126	5.6.17.3 連絡先リストを使用し たページングの発信.....	135
5.6.14.3 新規連絡先の追加.....	127	5.6.18 動的な発信者のエイリアス.....	136
5.6.15 通話インジケータ設定.....	128	5.6.18.1 無線機の電源を入れた 後に発信者のエイリアスを編集 する	136
5.6.15.1 着信音のオンとオフの 切り替え (個別コール用) 	128		

5.6.18.2 発信者のエイリアスを メインメニューから編集する... 137	5.6.21 ステータス メッセージ..... 148
5.6.18.3 発信者のエイリアス リ ストを表示する..... 137	5.6.21.1 ステータス メッセージ の送信..... 148
5.6.18.4 個別コールを発信者の エイリアス リストから開始..... 138	5.6.21.2 プログラム可能ボタン を使用したステータス メッセー ジの送信..... 149
5.6.19 ミュート モード..... 138	5.6.21.3 連絡先リストを使用し たステータス メッセージの送信150
5.6.19.1 ミュート モードの有効 化 138	5.6.21.4 ダイアルを使用したス テータス メッセージの送信..... 151
5.6.19.2 ミュート モード タイマ ーの設定..... 139	5.6.21.5 ステータス メッセージ の表示..... 152
5.6.19.3 ミュート モードの終了 140	5.6.21.6 ステータス メッセージ への応答..... 152
5.6.20 緊急操作..... 141	5.6.21.7 ステータス メッセージ の削除..... 153
5.6.20.1 緊急アラームの送信..... 142	5.6.21.8 すべてのステータス メ ッセージの削除..... 154
5.6.20.2 通話による緊急アラーム の送信..... 143	5.6.22 テキスト メッセージング 154
5.6.20.3 緊急アラームと音声ガイ ドの送信..... 144	5.6.22.1 クイック テキスト メッ セージの送信 155
5.6.20.4 緊急アラームの受信..... 145	5.6.22.2 テキスト メッセージの 再送信..... 156
5.6.20.5 緊急アラームへの応答 146	
5.6.20.6 通話による緊急アラーム への応答..... 147	
5.6.20.7 緊急モードの終了..... 148	

5.6.22.3 テキスト メッセージの 転送 	157	5.6.25.3 ダイヤルを使用した無 線機の機能停止.....	166
5.6.22.4 テキスト メッセージの 編集.....	158	5.6.25.4 無線機の復帰.....	166
5.6.22.5 テキスト メッセージへ の応答 	159	5.6.25.5 連絡先リストを使用し た無線機の復帰.....	167
5.6.22.6 テキスト メッセージの 表示.....	159	5.6.25.6 ダイヤルを使用した無 線機の復帰.....	168
5.6.22.7 受信 BOX からのテキ スト メッセージの削除.....	160	5.6.26 無線終了.....	169
5.6.22.8 受信 BOX からのすべ てのテキスト メッセージの削除 	161	5.6.27 ローン ワーカー.....	169
5.6.23 プライバシ.....	161	5.6.28 パスワード ロック.....	169
5.6.23.1 秘話モードのオンとオ フの切り替え.....	162	5.6.28.1 パスワードを使用した 無線機へのアクセス.....	170
5.6.24 応答禁止.....	163	5.6.28.2 ロック状態の無線機を ロック解除する.....	170
5.6.24.1 応答禁止の有効化また は無効化.....	163	5.6.28.3 パスワードの変更.....	171
5.6.25 機能停止/復帰.....	164	5.6.29 通知リスト.....	172
5.6.25.1 無線機の機能停止.....	164	5.6.29.1 通知リストへのアクセ ス	172
5.6.25.2 連絡先リストを使用し た無線機の機能停止.....	165	5.6.30 エア接続プログラミング 	173
		5.6.31 Wi-Fi 操作.....	173
		5.6.31.1 Wi-Fi のオン/オフの切 り替え.....	174

5.6.31.2 指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (個別制御)....	175	5.6.32.3 DGNA 通話の受信と応答	184
5.6.31.3 指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (グループコントロール).....	177	5.7 ユーティリティ.....	184
5.6.31.4 ネットワーク アクセスポイントへの接続.....	177	5.7.1 無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え.....	184
5.6.31.5 Wi-Fi 接続ステータスの確認.....	178	5.7.2 LED インジケータのオンとオフの切り替え.....	185
5.6.31.6 ネットワーク リストの更新.....	179	5.7.3 ケーブル タイプの特定.....	186
5.6.31.7 ネットワークの追加.....	179	5.7.4 音声ガイドのオンとオフの切り替え	186
5.6.31.8 ネットワーク アクセスポイントの詳細の表示.....	180	5.7.5 音声変換.....	187
5.6.31.9 ネットワーク アクセスポイントの削除.....	181	5.7.5.1 音声変換の設定.....	187
5.6.32 動的グループ番号割当 (DGNA). 182		5.7.6 単語予測の有効化/無効化.....	188
5.6.32.1 DGNA コールの発信....	183	5.7.7 デジタル マイク AGC のオンとオフの切り替え.....	188
5.6.32.2 DGNA 以外の通話の発信	183	5.7.8 インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え.....	189
		5.7.9 トリル拡張のオンとオフの切り替え	190
		5.7.10 音声アンビエンスの設定.....	191
		5.7.11 音声プロファイルの設定.....	191
		5.7.12 受信信号強度インジケータ.....	192

5.7.12.1 RSSI 値の表示.....	192	6.1.3.3 高度なメニュー アイコン	203
5.7.13 一般無線機情報.....	193	6.1.3.4 Bluetooth デバイス アイコン.....	204
5.7.13.1 無線エイリアスと ID のチェック.....	193	6.1.3.5 送信 BOX アイコン.....	204
5.7.13.2 ファームウェアとコードプラグのバージョン チェック.....	194	6.1.3.6 LED インジケータ.....	205
5.7.13.3 ソフトウェア更新情報のチェック.....	194	6.1.3.7 インジケータ トーン.....	206
5.7.14 エンタープライズ Wi-Fi 証明書の詳細の表示.....	195	6.1.3.8 アラート トーン.....	206
部 II : Connect Plus.....	196	6.1.4 Connect Plus モードと Non-Connect Plus モードの切り替え.....	207
6.1 Connect Plus モードでの追加の無線機コントロール.....	196	6.2 Connect Plus モードでの通話の着信と発信	207
6.1.1 プッシュトゥトーク (PTT) ボタン	196	6.2.1 サイトの選択.....	207
6.1.2 プログラム可能ボタン.....	196	6.2.1.1 ローミング要求.....	207
6.1.2.1 指定可能な無線機機能.....	197	6.2.1.2 サイト ロック オン/オフ.....	208
6.1.2.2 指定可能な設定またはユーティリティ機能.....	199	6.2.1.3 サイト制限.....	208
6.1.3 Connect Plus モードでのステータス インジケータの特定.....	199	6.2.2 ゾーン選択.....	208
6.1.3.1 ディスプレイ アイコン.....	199	6.2.3 複数ネットワークの使用.....	209
6.1.3.2 通話アイコン.....	202	6.2.4 通話タイプの選択.....	210
		6.2.5 無線通話の受信と応答.....	210
		6.2.5.1 グループ コールの受信と応答.....	210

6.2.5.2 個別コールの受信と応答	6.2.6.1.3 サイトー斉コールの発信
..... 211	 217
6.2.5.3 サイトー斉コールの受信	6.2.6.1.4 マルチグループコールの発信
..... 212	 218
6.2.5.4 着信個別無線通話の受信	6.2.6.2 ワンタッチ コール ボタンを使用した個別コールの発信
..... 213	 218
6.2.5.4.1 個別電話着信でバッファされたオーバーダイヤルを作成	6.2.6.3 プログラム可能なダイヤル ボタンで通話を行う
..... 213	 219
6.2.5.4.2 個別電話着信でライブ オーバーダイヤルを作成	6.2.6.3.1 個別コールの発信
..... 214	 219
6.2.5.5 着信電話グループ通話の受信	6.2.6.4 プログラム可能なダイヤル ボタンからの個別電話発信
..... 214	 220
6.2.5.6 着信マルチグループ通話	6.2.6.5 [Tel] メニューからの個別無線通信発信
..... 214	 221
6.2.6 無線通話の発信	6.2.6.6 連絡先からの個別無線通話発信
..... 215	 221
6.2.6.1 通話の発信	6.2.6.7 発信個別無線通話でのチャネル許可の待機
..... 215	 223
6.2.6.1.1 グループ コール の発信	6.2.6.8 接続された個別電話発信 でバッファされたオーバーダイ アルを作成
..... 215	 223
6.2.6.1.2 個別コールの 発信	6.2.6.9 接続された個別電話発信 でライブ オーバーダイヤルを作 成
..... 216	 224

6.3 Connect Plus モードでの高度な機能.....	225	6.3.7 スキャンのオンとオフの切り替え	233
6.3.1 ホーム チャンネル リマインダ.....	225	6.3.8 スキャン リストの編集.....	234
6.3.1.1 ホーム チャンネル リマインダのミュート.....	225	6.3.9 [メンバーつか] メニューからのグループの追加または削除.....	235
6.3.1.2 新しいホーム チャンネルの設定.....	226	6.3.10 スキャン動作の説明.....	237
6.3.2 自動フォールバック.....	226	6.3.11 トークバックのスキャン.....	238
6.3.2.1 自動フォールバック モードの通知.....	227	6.3.12 グループの優先度の設定.....	238
6.3.2.2 フォールバック モードでの通話の発信/受信.....	227	6.3.13 連絡先設定.....	239
6.3.2.3 通常動作への復帰.....	228	6.3.13.1 連絡先からの個別コール発信.....	240
6.3.3 無線機チェック.....	228	6.3.13.2 エイリアス検索による通話発信.....	241
6.3.3.1 無線機チェックの送信...	228	6.3.13.3 新規連絡先の追加.....	242
6.3.4 [リモート モニタ].....	230	6.3.14 通話インジケータ設定.....	243
6.3.4.1 リモート モニタの開始..	230	6.3.14.1 ページング用着信音のオンとオフの切り替え.....	243
6.3.5 スキャン.....	231	6.3.14.2 個別コール用着信音のオンとオフの切り替え.....	243
6.3.5.1 スキャンの開始と停止...	231	6.3.14.3 テキスト メッセージ用着信音のオンとオフの切り替え..	244
6.3.5.2 スキャン中の送信への応答	232	6.3.14.4 アラート タイプの選択	245
6.3.6 ユーザー設定可能スキャン.....	232		

6.3.14.5 バイブの強さの設定.....	246	6.3.18.1 緊急コールの開始.....	255
6.3.14.6 警告トーンの音量を上 げる	247	6.3.18.2 音声ガイド付き緊急コ ールの開始.....	255
6.3.15 通話履歴.....	247	6.3.18.3 緊急アラートの開始.....	256
6.3.15.1 最近の通話の表示.....	247	6.3.18.4 着信緊急の受信.....	256
6.3.15.2 通話リストからの通話 の削除.....	248	6.3.18.5 緊急詳細のアラーム リ ストへの保存.....	257
6.3.15.3 通話リストからの詳細 の表示.....	248	6.3.18.6 緊急詳細の削除.....	257
6.3.16 ページング操作.....	249	6.3.18.7 緊急コールへの応答.....	258
6.3.16.1 ページングへの応答.....	249	6.3.18.8 緊急アラートへの応答.....	258
6.3.16.2 連絡先リストからのペ ージングの発信.....	249	6.3.18.9 緊急復帰コールを無視.....	259
6.3.16.3 ワンタッチ アクセス ボ タンを使用したページング.....	250	6.3.18.10 緊急モードの終了.....	259
6.3.17 ミュート モード.....	251	6.3.19 テキスト メッセージング	259
6.3.17.1 ミュート モードの有効 化	251	6.3.19.1 テキスト メッセージの 作成と送信.....	260
6.3.17.2 ミュート モード タイマ ーの設定.....	252	6.3.19.2 クイック テキスト メッ セージの送信.....	261
6.3.17.3 ミュート モードの終了.....	252	6.3.19.3 ワンタッチ アクセス ボ タンを使用したクイック テキス ト メッセージの送信.....	263
6.3.18 緊急操作.....	253	6.3.19.4 下書きフォルダへのア クセス.....	264

6.3.19.4.1 保存されたテキスト メッセージの表示	264	みテキスト メッセージの削除	271
6.3.19.4.2 保存されたテキスト メッセージの編集と送信	265	6.3.19.7 テキスト メッセージの受信	272
6.3.19.4.3 下書きフォルダからの保存されたテキスト メッセージの削除	266	6.3.19.8 テキスト メッセージの表示	273
6.3.19.5 送信に失敗したテキスト メッセージの管理	266	6.3.19.9 受信済みテキスト メッセージの管理	273
6.3.19.5.1 テキスト メッセージの再送信	267	6.3.19.9.1 [じゅしん BOX] のテキスト メッセージの表示	273
6.3.19.5.2 テキスト メッセージの転送	267	6.3.19.9.2 [じゅしん BOX] のテキスト メッセージへの返信	274
6.3.19.5.3 テキスト メッセージの編集	268	6.3.19.9.3 [じゅしん BOX] のテキスト メッセージの削除	275
6.3.19.6 送信済みテキスト メッセージの管理	269	6.3.19.9.4 受信 BOX からすべてのテキスト メッセージの削除	276
6.3.19.6.1 送信済みテキスト メッセージの表示	269	6.3.20 秘話モード	277
6.3.19.6.2 送信済みテキスト メッセージの送信	270	6.3.20.1 プライバシ対応 (スクランブル) 通話の発信	279
6.3.19.6.3 送信済みアイテム内のすべての送信済みテキスト メッセージの削除		6.3.21 ステルス モード	279

6.3.21.1 ステルス モードの開始	279	6.3.24.5 内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオーディオ ルートの切り替え	290
6.3.21.2 ステルス モードの終了	279	6.3.24.6 デバイスの詳細の表示	291
6.3.22 セキュリティ	280	6.3.24.7 デバイス名の編集	291
6.3.22.1 無線停止	280	6.3.24.8 デバイス名の削除	292
6.3.22.2 停止解除	282	6.3.24.9 Bluetooth マイクゲイン	292
6.3.23 パスワード ロック機能	284	6.3.24.10 Permanent Bluetooth Discoverable モード	293
6.3.23.1 パスワードを使用した無線機へのアクセス	284	6.3.25 屋内位置	293
6.3.23.2 パスワード ロックのオンとオフの切り替え	285	6.3.25.1 屋内位置のオンとオフ	294
6.3.23.3 無線機をロック状態からロック解除する	285	6.3.25.2 屋内位置ビーコン情報へのアクセス	295
6.3.23.4 パスワードの変更	286	6.3.26 通知リスト	295
6.3.24 Bluetooth 動作	287	6.3.26.1 通知リストへのアクセス	296
6.3.24.1 ブルートウースのオン/オフの切り替え	287	6.3.27 Wi-Fi 操作	296
6.3.24.2 Bluetooth デバイスのサーチと接続	288	6.3.27.1 Wi-Fi のオン/オフの切り替え	297
6.3.24.3 Bluetooth デバイスからの検索と接続 (検出可能モード)	289	6.3.27.2 指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (個別制御)	298
6.3.24.4 Bluetooth デバイスからの切断	290		

6.3.27.3 指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (グループ コントロール).....	299	6.4 通話許可トーンのオンとオフの切り替え.....	307
6.3.27.4 ネットワーク アクセスポイントへの接続.....	300	6.4.5 出力レベルの設定.....	308
6.3.27.5 Wi-Fi 接続ステータスの確認.....	301	6.4.6 表示モードの変更.....	309
6.3.27.6 ネットワーク リストの更新.....	301	6.4.7 表示輝度の調整.....	309
6.3.27.7 ネットワークの追加.....	302	6.4.8 ディスプレイ バックライト タイマーの設定.....	310
6.3.27.8 ネットワーク アクセスポイントの詳細の表示.....	303	6.4.9 言語.....	311
6.3.27.9 ネットワーク アクセスポイントの削除.....	304	6.4.10 LED インジケータのオンとオフの切り替え.....	311
6.4 ユーティリティ.....	305	6.4.11 ケーブル タイプの特定.....	312
6.4.1 無線機のトーンおよび警告のオンとオフの切り替え.....	305	6.4.12 音声ガイド.....	312
6.4.2 キー操作音のオンとオフの切り替え	306	6.4.13 音声変換機能の設定.....	313
6.4.3 トーン アラート ボリューム オフセット レベルの設定.....	306	6.4.14 壁紙モード.....	314
		6.4.15 スクリーン セーバー モード.....	315
		6.4.16 オーディオ アクセサリ.....	315
		6.4.17 オート キーロック.....	315
		6.4.18 デジタル Mic AGC (Mic AGC-D)	316
		6.4.19 インテリジェント オーディオ... ..	317
		6.4.20 ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え.....	318

6.4.21 テキスト入力設定.....	319	6.4.22.7 ファームウェア バージョンとコードプラグ バージョンのチェック.....	330
6.4.21.1 単語予測.....	320	6.4.22.8 更新の確認.....	330
6.4.21.2 単語修正.....	320	6.4.22.8.1 ファームウェア ファイル.....	332
6.4.21.3 文章大文字修正.....	321	6.4.22.8.2 保留中ファームウェア - バージョン.....	333
6.4.21.4 カスタム語の表示.....	322	6.4.22.8.3 保留中のファームウェア - 受信割合.....	333
6.4.21.5 カスタム語の編集.....	322	6.4.22.8.4 保留中ファームウェア - ダウンロード.....	334
6.4.21.6 カスタム語の追加.....	323	6.4.22.8.5 周波数ファイル.....	335
6.4.21.7 カスタム語の削除.....	324	6.4.23 エンタープライズ Wi-Fi 証明書の詳細の表示.....	338
6.4.21.8 すべてのカスタム語の削除.....	325	部 III : 他のシステム.....	339
6.4.22 一般無線機情報へのアクセス.....	326	7.1 プッシュトゥートーク ボタン.....	339
6.4.22.1 バッテリ情報へのアクセス.....	326	7.2 プログラム可能ボタン.....	339
6.4.22.2 無線機モデル番号インデックスの確認.....	327	7.2.1 指定可能な無線機機能.....	339
6.4.22.3 オプション ボード OTA コードプラグ ファイルの CRC の確認.....	327	7.2.2 指定可能な設定またはユーティリティ機能.....	343
6.4.22.4 サイト ID (サイト番号) の表示.....	328		
6.4.22.5 サイト情報の確認.....	328		
6.4.22.6 無線機 ID の確認.....	329		

7.2.3 プログラムされた機能へのアクセス	343	7.7.1.4 プログラム可能な数値キーを使用したグループ コールの発信 	360
7.3 ステータス インジケータ	344	7.7.2 個別通話 	361
7.3.1 アイコン	344	7.7.2.1 個別通話ルへの応答 	362
7.3.2 LED インジケータ	351	7.7.2.2 個別通話の発信 	362
7.3.3 トーン	352	7.7.2.3 連絡先リストを使用した個別コールの発信 	363
7.3.3.1 オーディオ トーン	353	7.7.2.4 エイリアス検索を使用した個別コールの発信 	364
7.3.3.2 インジケータ トーン	353	7.7.2.5 ダイヤルを使用した個別コールの発信 	365
7.4 IP サイト接続	353	7.7.2.6 プログラム可能な数値キーを使用した個別コールの発信	367
7.5 Capacity Plus、	354	7.7.3 一斉コール	367
7.5.1 Capacity Plus–シングルサイト	354	7.7.3.1 一斉コールの受信	368
7.5.2 Capacity Plus–マルチサイト	355	7.7.3.2 一斉コールの発信	368
7.6 ゾーンとチャンネルの選択	355	7.7.3.3 プログラム可能な数値キーを使用した一斉コールの発信	369
7.6.1 ゾーンの選択	356	7.7.4 電話通話 	369
7.6.2 チャンネル選択	356	7.7.4.1 電話通話の発信 	370
7.7 通話	357		
7.7.1 グループ通話	358		
7.7.1.1 グループ通話への応答	358		
7.7.1.2 グループ通話の発信	359		
7.7.1.3 連絡先リストを使用したグループ コールの発信	359		

7.7.4.2 連絡先リストを使用した 電話通話の発信 	372	7.7.6.4 ブロードキャスト音声通 話の受信.....	381
7.7.4.3 プログラム可能な [Tel] ボ タンで電話通話を行う	374	7.7.7 未アドレス通話.....	381
7.7.4.4 デュアル トーン マルチ 周波数.....	376	7.7.7.1 未アドレス通話の発信...	382
7.7.4.5 個別コールとして電話通 話への応答.....	376	7.7.7.2 未アドレス通話への応答	382
7.7.4.6 グループ コールとして 電話通話への応答.....	377	7.7.8 オープン音声チャンネル モード (OVCM).....	383
7.7.4.7 一斉コールとして電話通 話への応答.....	377	7.7.8.1 OVCM コールの発信.....	383
7.7.5 通話割り込みの開始 	378	7.7.8.2 OVCM コールへの応答..	384
7.7.6 ブロードキャスト音声通話.....	378	7.8 高度な機能.....	384
7.7.6.1 ブロードキャスト音声通 話の発信.....	378	7.8.1 Bluetooth®.....	384
7.7.6.2 プログラム可能な数値キ ーを使用したブロードキャスト 音声通話の発信	379	7.8.1.1 ブルートウースのオン/ オフの切り替え.....	385
7.7.6.3 エイリアス検索を使用し たブロードキャスト音声通話の 発信 	380	7.8.1.2 Bluetooth デバイスへの 接続	386
		7.8.1.3 検出可能モードでの Bluetooth デバイスへの接続.....	387
		7.8.1.4 Bluetooth デバイスから の切断.....	387
		7.8.1.5 内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオー ディオ ルートの切り替え.....	388

7.8.1.6 デバイスの詳細の表示...	388	7.8.3.6 JOB チケットの削除.....	398
7.8.1.7 デバイス名の編集.....	389	7.8.3.7 すべての JOB チケット の削除.....	399
7.8.1.8 デバイス名の削除.....	389		
7.8.1.9 Bluetooth マイクゲイン 値の調整.....	390		
7.8.1.10 Permanent Bluetooth Discoverable モード.....	391	7.8.4 複数サイト コントロール 	399
7.8.2 屋内位置.....	391	7.8.4.1 手動サイト検索の有効化	400
7.8.2.1 屋内位置のオンとオフ...	391	7.8.4.2 サイト ロック オン/オフ	401
7.8.2.2 屋内位置ビーコン情報へ のアクセス.....	393	7.8.5 ダイレクト モード.....	401
7.8.3 JOB チケット.....	393	7.8.5.1 リピータとダイレクト モードの切り替え.....	401
7.8.3.1 JOB チケット フォルダ へのアクセス.....	394	7.8.6 モニタ機能	402
7.8.3.2 リモート サーバーのロ グインとログアウト.....	395	7.8.6.1 チャンネルのモニタ.....	402
7.8.3.3 単数の JOB チケット テ ンプレートを使った JOB チケ ットの送信.....	395	7.8.6.2 連続モニタ.....	403
7.8.3.4 複数の JOB チケット テ ンプレートを使った JOB チケ ットの送信.....	396	7.8.6.3 連続モニタのオンとオフ の切り替え.....	403
7.8.3.5 JOB チケットへの応答..	397	7.8.7 ホーム チャンネル リマインダ.....	403
		7.8.7.1 ホーム チャンネル リマイ ンダのミュート.....	404
		7.8.7.2 新しいホーム チャンネル の設定.....	404
		7.8.8 無線機チェック 	404

7.8.8.1 無線機チェックの送信 	405	7.8.10.5 スキャン リストからの エントリの削除.....	414
7.8.8.2 連絡先リストを使用して 無線機チェックを送信する 	405	7.8.10.6 エイリアス検索を使用 したスキャン リストからのエン トリの削除.....	415
7.8.8.3 ダイヤルを使用した無線 機チェックの送信 	406	7.8.11 スキャン.....	416
7.8.9 リモート モニタ.....	407	7.8.11.1 スキャンのオンとオフ の切り替え.....	417
7.8.9.1 リモート モニタの開始..	408	7.8.11.2 スキャン中の送信への 応答	418
7.8.9.2 連絡先リストを使用した リモート モニタの開始	409	7.8.11.3 迷惑チャンネルの削除.....	418
7.8.9.3 ダイヤルを使用したリモ ート モニタの開始	410	7.8.11.4 迷惑チャンネルの復元.....	418
7.8.10 スキャン リスト.....	411	7.8.12 連絡先設定.....	419
7.8.10.1 アクティブなスキャン リストの設定.....	412	7.8.12.1 エイリアス検索による 通話発信.....	420
7.8.10.2 スキャン リスト内のエ ントリの表示.....	412	7.8.12.2 エイリアス検索を使用 した一斉コールの発信 	421
7.8.10.3 エイリアス検索を使用 したスキャン リスト内のエン トリの表示	413	7.8.12.3 エイリアス検索を使用 した個別コールの発信 	422
7.8.10.4 スキャン リストへの新 規エントリの追加.....	413	7.8.12.4 エイリアス検索を使用 したグループ コールの発信  ..	424
		7.8.12.5 エイリアス検索を使用 した電話通話の発信 	425

7.8.12.6 プログラム可能な数値 キーへのエントリの割り当て 	426	7.8.13.7 アラート音タイプの設 定	434
7.8.12.7 エントリとプログラミ ング可能な数値キー間の関連付 けの削除 	427	7.8.13.8 バイブの強さの設定.....	435
7.8.12.8 新規連絡先の追加.....	428	7.8.13.9 警告トーンの音量を上 げる	436
7.8.12.9 連絡先へのメッセージ の送信.....	429	7.8.14 通話履歴機能	436
7.8.13 通話インジケータ設定.....	429	7.8.14.1 最近の通話の表示.....	436
7.8.13.1 着信音のオンとオフの 切り替え (ページング用).....	429	7.8.14.2 不在着信への応答.....	437
7.8.13.2 着信音のオンとオフの 切り替え (個別コール用) 	430	7.8.14.3 通話リストからのエイ リアスまたは ID の保存 	437
7.8.13.3 着信音のオンとオフの 切り替え (テキスト メッセージ 用) 	431	7.8.14.4 通話リストからの通話 の削除 	438
7.8.13.4 着信音のオンとオフの 切り替え (テキスト付きテレメ ータ ステータス用).....	432	7.8.14.5 通話リストの詳細の表 示 	438
7.8.13.5 着信音スタイルの割り 当て	433	7.8.15 ページング操作.....	439
7.8.13.6 すべてのトーン.....	434	7.8.15.1 ページングの発信.....	439
		7.8.15.2 ページングへの応答.....	439
		7.8.15.3 連絡先リストを使用し たページングの発信.....	440
		7.8.16 動的な発信者のエイリアス.....	441
		7.8.16.1 無線機の電源を入れた 後に発信者のエイリアスを編集 する	441

7.8.16.2 発信者のエイリアスを メインメニューから編集する... 442	7.8.18.7 緊急アラーム受信後の 緊急モードの終了..... 451
7.8.16.3 発信者のエイリアス リ ストを表示する..... 442	7.8.18.8 アラーム リストからの アラーム項目の削除..... 451
7.8.16.4 個別コールを発信者の エイリアス リストから開始..... 443	7.8.18.9 緊急モードの再開..... 452
7.8.17 ミュート モード..... 443	7.8.18.10 緊急アラーム送信後の 緊急モードの終了..... 452
7.8.17.1 ミュート モードの有効 化 443	7.8.19 マン ダウン..... 453
7.8.17.2 ミュート モード タイマ ーの設定..... 444	7.8.19.1 マンダウン機能のオン とオフの切り替え..... 453
7.8.17.3 ミュート モードの終了 445	7.8.20 テキスト メッセージング 454
7.8.18 緊急操作..... 446	7.8.20.1 テキスト メッセージの 入力..... 455
7.8.18.1 緊急アラームの送信..... 447	7.8.20.2 テキスト メッセージの 送信..... 455
7.8.18.2 通話による緊急アラ ームの送信..... 447	7.8.20.3 クイック テキスト メッ セージの送信  456
7.8.18.3 音声ガイドおよび緊急 アラーム..... 449	7.8.20.4 保存されたテキスト メ ッセージ..... 458
7.8.18.4 緊急アラームと音声ガ イドの送信 449	7.8.20.5 保存されたテキスト メ ッセージの表示..... 458
7.8.18.5 緊急アラームの受信..... 450	7.8.20.6 保存されたテキスト メ ッセージの編集..... 458
7.8.18.6 緊急アラームへの応答. 451	

7.8.20.7 下書きフォルダに保存したテキスト メッセージの削除	459	7.8.21 プライバシ	467
7.8.20.8 テキスト メッセージの再送信	460	7.8.21.1 秘話モードのオンとオフの切り替え	468
7.8.20.9 テキスト メッセージの転送	460	7.8.22 応答禁止	468
7.8.20.10 テキスト メッセージの編集	461	7.8.22.1 応答禁止の有効化または無効化	469
7.8.20.11 送信済みテキスト メッセージの表示	462	7.8.23 セキュリティ	469
7.8.20.12 送信済みテキスト メッセージの送信	463	7.8.23.1 無線機の無効化	469
7.8.20.13 テキスト メッセージへの応答	463	7.8.23.2 連絡先リストを使用した無線機の無効化	470
7.8.20.14 テキスト メッセージの表示	464	7.8.23.3 ダイアルを使用した無線機の無効化	471
7.8.20.15 テレメータ ステータス メッセージの表示	465	7.8.23.4 無線機の有効化	472
7.8.20.16 受信 BOX からのテキスト メッセージの削除	465	7.8.23.5 連絡先リストを使用した無線機の有効化	473
7.8.20.17 受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除	466	7.8.23.6 ダイアルを使用した無線機の有効化	474
		7.8.24 ローン ワーカー	476
		7.8.25 パスワード ロック	476
		7.8.25.1 パスワードを使用した無線機へのアクセス	476

7.8.25.2 ロック状態の無線機を ロック解除する.....	477	7.8.29.5 Wi-Fi 接続ステータス の確認.....	486
7.8.25.3 パスワードの変更.....	478	7.8.29.6 ネットワーク リストの 更新.....	487
7.8.26 通知リスト.....	479	7.8.29.7 ネットワークの追加.....	487
7.8.26.1 通知リストへのアクセ ス	479	7.8.29.8 ネットワーク アクセス ポイントの詳細の表示.....	488
7.8.27 エア接続プログラミング 	479	7.8.29.9 ネットワーク アクセス ポイントの削除.....	489
7.8.28 そうしんよくせい.....	480	7.9 ユーティリティ.....	490
7.8.28.1 送信抑制の有効化.....	481	7.9.1 キー操作音のオンとオフの切り 替え	490
7.8.28.2 送信抑制の無効化.....	481	7.9.2 出力レベルの設定.....	491
7.8.29 Wi-Fi 操作.....	481	7.9.3 オプション ボードのオンとオフ の切り替え.....	492
7.8.29.1 Wi-Fi のオン/オフの切 り替え.....	482	7.9.4 音声起動送信のオンとオフの切 り替え.....	492
7.8.29.2 指定された無線機を使 用してリモートで Wi-Fi をオン またはオフにする (個別制御)....	483	7.9.5 無線機トーン/アラートのオンと オフの切り替え.....	493
7.8.29.3 指定された無線機を使 用してリモートで Wi-Fi をオン またはオフにする (グループ コ ントロール).....	484	7.9.6 トーン/アラートのボリューム オ フセット レベルの設定.....	493
7.8.29.4 ネットワーク アクセス ポイントへの接続.....	485	7.9.7 通話許可トーンのオンとオフの 切り替え.....	494

7.9.8 メッセージ アラーム トーンの設定	495	7.9.17.5 カスタム語の編集.....	504
7.9.9 壁紙の表示.....	496	7.9.17.6 カスタム語の追加.....	505
7.9.10 スクリーン セーバー モード.....	496	7.9.17.7 カスタム語の削除.....	506
7.9.11 オーディオ アクセサリ.....	497	7.9.17.8 すべてのカスタム語の 削除	507
7.9.12 オート キー ロックの有効化/無 効化	497	7.9.18 フレックス RX リスト 	507
7.9.13 言語の設定.....	498	7.9.18.1 フレックス RX リスト のオンとオフの切り替え.....	508
7.9.14 LED インジケータのオンとオフ の切り替え.....	498	7.9.19 デジタル マイク AGC のオンと オフの切り替え.....	508
7.9.15 音声ガイドのオンとオフの切り 替え.....	499	7.9.20 インテリジェント オーディオの オンとオフの切り替え.....	509
7.9.16 音声変換.....	499	7.9.21 ハウリング抑制機能のオンとオ フの切り替え 	510
7.9.16.1 音声変換の設定.....	500	7.9.22 トリル拡張のオンとオフの切り 替え.....	511
7.9.17 テキスト入力設定.....	500	7.9.23 音声アンビエンスの設定.....	511
7.9.17.1 単語予測の有効化/無効 化	501	7.9.24 音声プロファイルの設定.....	512
7.9.17.2 文字修正の有効化/無効 化	502	7.9.25 RSSI 値の表示.....	513
7.9.17.3 文章大文字修正の有効 化/無効化.....	502	7.9.25.1 受信信号強度インジケ ータ	513
7.9.17.4 カスタム語の表示.....	503	7.9.26 一般無線機情報.....	513

7.9.26.1 無線エイリアスと ID の チェック.....	514
7.9.26.2 ファームウェアとコー ドプラグのバージョン チェック	514
7.9.26.3 ソフトウェア更新情報 のチェック.....	515
7.9.27 エンタープライズ Wi-Fi 証明書 の詳細の表示.....	515
部 IV : 認可されたアクセサリ リスト.....	517

重要な安全情報

RF Energy Exposure and Product Safety Guide for Portable Two-Way Radios



注意：

この無線機は業務用の利用に限定されています。本無線機をご使用になる前に、『携帯型業務用無線機の電磁波エネルギー被曝および製品の安全性に関するガイド』をよくお読みください。安全にお使いいただくための取り扱い方法と、電磁波エネルギーについての重要な説明が記載されています。また、電磁波エネルギー被曝限度についての該当基準および法規制に対する適合情報も記載されています。

タイで利用可能なモデル:

อุปกรณ์โทรคมนาคมนี้ได้ปฏิบัติตามข้อกำหนดของคณะกรรมการกิจการ

โทรคมนาคมแห่งชาติ

この通信機器は、National Telecommunications Commission
の要件に適合しています。

ソフトウェア バージョン

以下の項で説明されているすべての機能が、ソフトウェアバージョン **R02.21.01.0000** 以降でサポートされます。

無線機のソフトウェア バージョンを確認するには、「[ファームウェアとコードプラグのバージョン チェック ページ 194](#)」を参照してください。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。従って、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

© 2021 Motorola Solutions, Inc. 無断複写、転載を禁じます。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

さらに、Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

免責条項

一部のシステムに対して、このマニュアルで説明する機能、設備、性能が適用されない、またはライセンスされない場合があります。また、モバイル サブスクライバ ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合もあります。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および Stylized M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下に使用されます。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下に使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれています。オープン ソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストールメディアを参照してください。

欧州連合 (EU) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令では、EU 諸国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。

WEEE 指令で規定されるとおり、このゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービスセンターに問い合わせる必要があります。

コンピュータ ソフトウェア 著作権

本マニュアルに記載されている Motorola Solutions 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。この際、著作権取得済みコンピュータ プログラムのあらゆる形態での複製または再生の独占権が含まれますが、これに限定されません。したがって、本マニュアルで説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可を得なければ、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバース エンジニアリング、配信できません。さらに、Motorola Solutions 製品を購入しても、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によっても、Motorola Solutions の著作権、特許、または特許出願の対象となるライセンスは、一切付与されません。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、この通信機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクト コードを逆コンパイル、リバース エンジニアリング、逆アセンブルしようと試みること、またはいかなる方法においてもオブジェクト コードを人間が読み取り可能な形式に変換しようと試みることを明確に禁じています。

米国特許番号 #5,870,405、#5,826,222、#5,754,974、
#5,701,390、#5,715,365、#5,649,050、#5,630,011、
#5,581,656、#5,517,511、#5,491,772、#5,247,579、
#5,226,084 および #5,195,166。

無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 1 : IP 仕様

IP 仕様	説明
IP54	無線機は、小さな水滴や埃にさらされるような悪条件の野外でも使用できます。

- 適切な機能および性能を保つために、無線機を清潔に保ち、浸水を避けてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤を真水で希釈した液体 (たとえば、3 リットルの水に大さじ 1 杯の洗剤) を使用してください。

- 定期的な外観検査で汚れやグリースがあることに気が付いたときは、必ず外面をクリーニングしてください。



注意：

特定の化学物質とその蒸気は、特定のプラスチックに有害な影響を及ぼす場合があります。エアゾール スプレー、チューナー クリーナーなどの化学製品は使用しないでください。

はじめに

このユーザー ガイドでは、無線機の操作方法を説明しています。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

- 従来チャンネルのプリセットが無線機にプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするために、どのボタンがプログラムされているか？
- どのオプション アクセサリが自分のニーズに対応するか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？
- 無線機の寿命を延ばすには、どのような保守手段が役立つか？

はじめに

「はじめに」では、無線機を使用する前の準備の手順について説明します。

2.1

バッテリーの充電

お使いの無線機は、電源にリチウムイオン (Li-Ion) バッテリーを使用しています。

充電中は無線機の電源を切ってください。

- 保証条件に準拠するため、および損傷を防ぐために、充電器のユーザーガイドに従い、Motorola Solutions 承認充電器でバッテリーを充電してください。
- 最善の性能を出すためには、最初にご使用になる前に新しいバッテリーを 14 ～ 16 時間充電してください。

バッテリーの充電は室温するのが最適です。



注記：

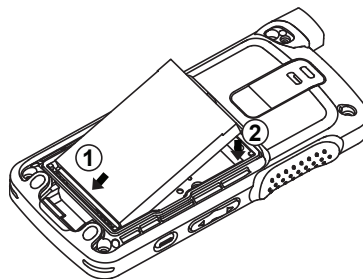
USB 充電器をお手元のコンセントに接続すると、バッテリーを充電できます。

2.2

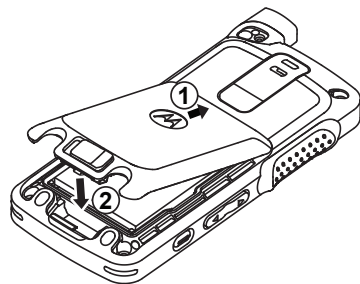
バッテリーの取り付け

下記の手順に従って、バッテリーを無線機に取り付けます。

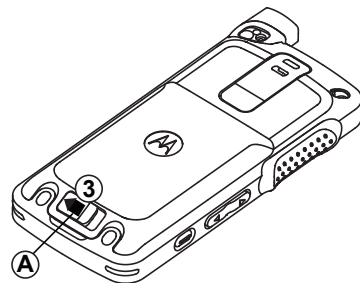
- 1 バッテリーを無線機下部のスロットに入れます。



- 2 ラッチが収まるまでバッテリーの上部を下に押し込みます。



- 3 バッテリー ラッチをロック ポジションまでスライドさせます。



2.3

アンテナの取り付け

無線機の電源を切ります。

- 1 レセプタクルにアンテナを挿入します。



注記：

水やほこりから保護するために、アンテナがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

- 2 4IP Torx Plus ドライバを使用して、アンテナのねじを締めます。

- 3 座金カバーとアンテナ プラグをバック ハウジングに挿入します。



注意：

損傷を防ぐため、故障したアンテナは MOTOTRBO アンテナのみと交換してください。

2.4

無線機の電源のオン

- 1 オン/オフ ボタンを長押しします。

- 2 無線機の電源をオンにするには、オン/オフ/音量コントロール ノブを時計回りに回します。

成功すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。



注記：

トーン/アラート機能が無効になっている場合は、起動時にトーンは鳴りません。

- LED が緑色に点灯します。
- ディスプレイに [MOTOTRBO (TM)] が表示された後、歓迎のメッセージまたは画像が表示されます。
- ホーム画面が点灯します。



注記：

ソフトウェアのバージョンを **R02.07.00.0000** 以降にアップデートした後、最初の起動時に、GNSS ファームウェアのアップグレードが行われます。これには約 20 秒かかります。アップグレードの後、無線機はリセットされて、電源がオンになります。ファームウェアのアップグレードは、最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載した携帯型モデルにのみ適用されます。

無線機の電源が入らない場合、バッテリーをご確認ください。バッテリーが充電され、正しく取り付けられているかどうか

確認してください。それでも無線機の電源が入らない場合、ディーラーにお問い合わせください。

2.5

音量の調節

無線機の音量を調整するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 音量を上げるには、音量アップボタンを押します。
- 音量を下げるには、音量ダウンボタンを押します。
- 音量を上げるには、オン/オフ/音量コントロール ノブを時計回りに回します。
- 音量を下げるには、オン/オフ/音量コントロール ノブを反時計回りに回します。

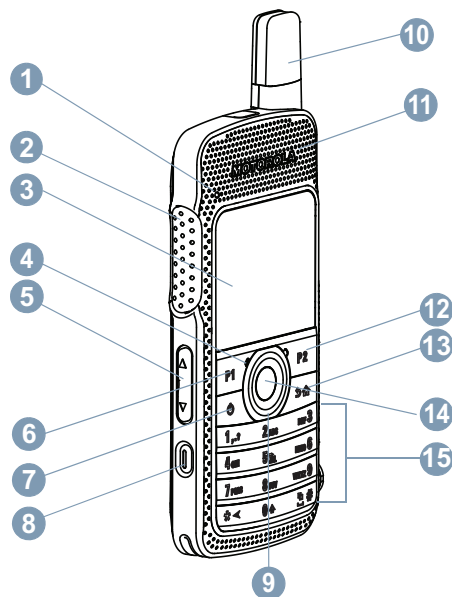


注記：

無線機には、最小音量のオフセットをプログラムできます。プログラムされた最小音量より下げることはできなくなります。

無線機コントロール

この章では、無線機を制御するボタンと機能について説明します。



- 1 LED インジケータ
- 2 プッシュトゥートーク (PTT) ボタン
- 3 ディスプレイ
- 4 マイク
- 5 音量ボタン
- 6 フロント ボタン P1¹
- 7 オン/オフ/情報ボタン
- 8 緊急ボタン¹
- 9 4方向ナビゲーション ボタン
- 10 アンテナ
- 11 スピーカ
- 12 フロント ボタン P2¹
- 13 バック/ホーム ボタン
- 14 メニュー/OK ボタン
- 15 キーパッド

¹ このボタンはプログラム可能です。

3.1

キーパッドの使用

3 x 4 の英数字キーパッドを使用して、無線機の機能にアクセスできます。1つのキーを複数回押さないと入力できない文字もあります。次の表に、キーを何回押せば目的の文字が入力できるのかを示します。

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	1	。	,	?	!	@	&	'	%	—	:	*	#
	A	B	C	2									
	D	E	F	3									
	G	H	I	4									
	J	K	L	5									

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
 6 MNO	M	N	O	6									
 7 PQRS	P	Q	R	S	7								
 8 TUV	T	U	V	8									
 9 WXYZ	W	X	Y	Z	9								
 0 	0		注記： 押すと「0」が入力されます。長く押すと CAPS lock がオンになります。再度長く押すと、CAPS lock がオフになります。										
 * <	* または del		注記： テキストの入力中に押すと、文字が削除されます。数字の入力中に押すと、「*」が入力されます。										
 #	# または		注記： テキストの入力中に押すと、スペースが挿入されます。数字の入力中に押すと、「#」が入力されます。長押しでテキスト入力方法が変更されます。										

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	スペース												

WAVE

Wide Area Voice Environment (WAVE™) では、新しい方法で、2 台以上の無線機間で通話を行います。

WAVE を使用すると、Wi-Fi を使用して、異なるネットワークやデバイスで通信できます。無線機が Wi-Fi 経由で IP ネットワークに接続すると、WAVE 通話が実行されます。

無線機は次の異なるシステム構成をサポートします。

- WAVE OnCloud/OnPremise
- WAVE Tactical/5000

WAVE 通話を開始する方法は、各システム タイプにより異なります。無線機のシステム構成に応じて適切なセクションを参照してください。

表 2 : WAVE の表示アイコン

WAVE が有効な場合、ディスプレイには以下のアイコンが一時的に表示されます。



WAVE 接続済み
WAVE に接続済みです。



WAVE 切断済み
WAVE から切断されています。



注記 :
この機能は、特定のモデルのみに適用されます。

4.1

WAVE OnCloud/OnPremise

4.1.1

無線機モードから WAVE モードへの切り替え

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[WAVE]** ボタンを押します。
以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「WAVE」に移動します。

Ⓢ を押して選択します。

黄色の LED が 2 回点滅します。

ディスプレイに「WAVE にきりかえ」を示す瞬間的な通知が表示され、「WAVE の準備中」が表示されます。



注記：

WAVE モードに切り替えると、無線機は自動的に Wi-Fi を有効にします。

正常に行われた場合：

- 点滅する黄色の LED が消灯します。
- ディスプレイに、WAVE 接続済みアイコン、「<グループ エイリアス>」、および「<チャンネル インデックス>」と表示されます。

正常に行われなかった場合：

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、WAVE 接続済みアイコンおよび「せつぞくなし」または「有効化：失敗」が、エラー タイプに応じて表示されます。



注記：

新しい設定が無線機に更新されると、同期が行われます。WAVE モードに入ると、無線機に「同期中...」と表示されます。同期が完了すると、無線機はホーム画面に戻ります。

4.1.2

WAVE グループ通話の発信

- 1 チャンネル セレクタ ノブまたはボタンを使用して、WAVE グループを選択します。

- 2 発信するには、[PTT] ボタンを押します。

通話に成功すると、ディスプレイに、グループ通話アイコンと WAVE グループ エイリアスが表示されます。

通話に失敗した場合：

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「コールしっぱい」または「さんかしやなし」の通知が瞬間的に表示されます。

4.1.3

WAVE グループ通話の受信と応答

WAVE グループ通話を受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに、グループ通話アイコン、WAVE グループ エイリアス、および発信者のエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信通話の音はスピーカから聞こえます。

1 発信するには、**[PTT]** ボタンを押します。

2 受話するには、**[PTT]** ボタンを放します。

4.1.4

WAVE 個別通話の受信と応答

WAVE 個別通話を受信する場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [個別通話] アイコンと発信者のエイリアスが表示されます。

- 無線機のミュートが解除され、着信通話の音はスピーカから聞こえます。

1 発信するには、**[PTT]** ボタンを押します。

2 受話するには、**[PTT]** ボタンを放します。

4.1.5

WAVE モードから無線機モードへの切り替え

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **[無線機モード]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
-

2  または  を押して「むせんきモード」に移動します。  を押して選択します。

黄色の LED が 2 回点滅します。

ディスプレイに「むせんにきりかえ」を示す瞬間的な通知が表示され、「無線機の準備中」が表示されます。

成功した場合:

- 点滅する黄色の LED が消灯します。
- ステータス バーから WAVE 接続済みアイコンが消えます。ディスプレイに「<グループ エイリアス>」および「<チャンネル インデックス>」と表示されます。

4.2

WAVE Tactical/5000

4.2.1

アクティブ WAVE チャンネルの設定



注記:

WAVE チャンネルは、CPS を使用して構成されます。WAVE チャンネルに入ると、無線機は自動的に Wi-Fi を有効にし、WAVE サーバーにログインします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して、「WAVE チャンネル」に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して、必要な WAVE チャンネルに移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して、「アクティブに設定」に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイで、選択したチャンネルの横に ✓ が表示されません。

4.2.2

WAVE チャンネル情報の表示

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[WAVE チャンネル リスト]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して、「WAVE チャンネル」に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して、必要な WAVE チャンネルに移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイに WAVE チャンネルの詳細が表示されます。

4.2.3

WAVE エンドポイントの表示

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [連絡先] ボタンを押します。
ステップ 3 にスキップします。
 - Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『エンドポイント』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要な WAVE エンドポイントに移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 Ⓜ を押して『しょうさい』を選択します。

ディスプレイに WAVE エンドポイントの詳細が表示されます。

4.2.4

WAVE 構成の変更

以下の手順に従い、WAVE のサーバー IP アドレス、ユーザー ID、パスワードを設定します。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『WAVE』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5  を押して、『サーバー アドレス』を選択します。

 を押してサーバー アドレスを変更します。  を押して選択します。

6 ▼ を押して『ユーザー ID』に移動します。  を押してサーバー アドレスを変更します。  を押して選択します。

7 ▼ を押して『パスワード』に移動します。  を押して WAVE のパスワードを表示または変更します。  を押して選択します。

8 ▼ を押して『てきよう』に移動します。  を押して変更内容を適用します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が一時的に表示された後で、『きのうせってい』画面に戻ります。

4.2.5

WAVE グループ通話の発信

1 必要なグループのエイリアスまたは ID の WAVE チャンネルを選びます。

2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行の 1 行目に **[グループ コール]** アイコンとエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、WAVE グループ エイリアスが表示されます。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに **[グループ コール]** アイコン、エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

5 チャンネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが離された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるよ

うになったことを示します。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

Capacity Max

Capacity Max は MOTOTRBO 制御チャンネル ベースのトランキング無線システムです。

MOTOTRBO デジタル無線製品は、主にビジネス ユーザーおよび産業ユーザー向けに Motorola Solutions が販売しています。MOTOTRBO では、欧州電気通信標準化機構 (ETSI) のデジタル移動無線 (DMR) 標準を使用しています。これは、2 スロットの時分割多元接続 (TDMA) で、同時音声またはデータを 12.5kHz チャンネル (6.25kHz 相当) でパックします。

5.1

プログラム可能ボタン

ディーラーは、プログラム可能ボタンに対して、ボタンを押す長さごとに、無線機能へのショートカットをプログラムできます。

短押し

押してすぐに離します。

長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。



注記:

【きんきゅう】 ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 446](#)」を参照してください。

5.1.1

プッシュトゥトーク ボタン

プッシュトゥトーク ボタン (PTT) ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

- 通話中に **PTT** ボタンを使用して、通話に加わっている他の無線機に送信できます。**PTT** ボタンを押すと、マイクが有効になります。
- 通話中でないときは、新規通話を発信するために [**PTT**] ボタンを使用します。

通話が中断されると、継続した通話禁止音が聞こえます。通話禁止音が継続的に聞こえた場合は、**PTT** ボタンを放します。

5.1.2

指定可能な無線機機能

無線機の以下の機能は、ディーラーまたはシステム管理者がプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

アクション

RM プログラム可能なアクションのリストにアクセスするためのプログラム可能ボタン。

音声アンビエンス

無線機が動作する環境をユーザーが選択できます。

音声プロファイル

優先される音声プロファイルをユーザーが選択できます。

音声切替

内部無線機スピーカと有線アクセサリ スピーカとの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

オーディオ ルーティング

内部スピーカと外部スピーカ間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

Bluetooth® オーディオ切り替え

内部無線機スピーカと外部 Bluetooth 対応アクセサリの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

Bluetooth 接続

Bluetooth の検出と接続の動作を開始します。

Bluetooth 切断

無線機と Bluetooth 対応デバイス間のすべての既存の Bluetooth 接続を終了します。

Bluetooth 検出可能

無線機を Bluetooth 検出可能モードに切り替えることができます。

連絡先

連絡先リストに直接アクセスできます。

ページング

連絡先リストに直接アクセスして、ページングの送信先となる連絡先を選択できるようにします。

通話履歴

通話履歴のリストを選択します。

チャンネル アナウンスメント

現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを示します。

無線エイリアスの表示

無線機名が表示されます。

緊急

プログラムに応じて、緊急通話を始動またはキャンセルします。

屋内位置

屋内位置のオンとオフを切り替えます。

Int オーディオ

インテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

ダイヤル

無線機の ID を入力して個別コールを開始します。

サイトのしゅどうローミング

手動サイト検索を開始します。

Mic AGC

内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) のオンとオフを切り替えます。

通知

通知リストに直接アクセスできます。

ワンタッチ アクセス

事前に定義したブロードキャスト コール、個別コール、電話通話、グループ コール、ページングまたはクイックテキスト メッセージを直接開始します。

オプション ボード機能

オプション ボード対応チャンネルで、オプション ボード機能のオンとオフを切り替えます。

電話

電話連絡先リストに直接アクセスできます。

電源バッテリー インジケータ

現在のバッテリー レベルの状態を表示します。

プライバシ

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

無線エイリアスと ID

無線エイリアスと ID を提供します。

リモート モニタ

インジケータを表示せずにターゲットの無線機のマイクをオンにします。

ホーム チャンネルのリセット

新規ホーム チャンネルを設定します。

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダをミュートします。

アラート音タイプ

アラート音タイプ設定にアクセスできます。

サイト情報

現在の Capacity Max サイトの名前と ID を表示します。

音声ガイドが有効になっているときに、現在のサイトの音声ガイド メッセージを再生します。

サイト ロック

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

テレメトリ コントロール

ローカルまたはリモート無線機で、出力ピンをコントロールします。

テキスト メッセージ

テキストメッセージ メニューを選択します。

通話の優先度を切り替えます

無線機の、通話優先度: 高/通常への切り替えを可能にします。

トリル拡張

トリル拡張のオンとオフを切り替えます。

未登録

未登録のプログラム可能ボタン。

音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

WiFi

Wi-Fi のオンとオフを切り替えます。

ゾーンせんたく

ゾーンのリストからの選択を可能にします。

5.1.3

指定可能な設定またはユーティリティ機能

無線機の以下の設定またはユーティリティ機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

輝度

プログラミングに応じて、手動輝度モードまたは自動輝度コントロールを使って、輝度レベルを調整します。

表示モード

デイ/ナイト表示モードのオンとオフを切り替えます。

キー ロック

キーパッドのロックのオンとオフを切り替えます。

壁紙

無線機では、ホーム画面に背景の壁紙が表示されます。

5.1.4

プログラムされた機能へのアクセス

下記の手順に従って、無線機でプログラムされた機能にアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされたボタンを押します。**ステップ 3**に進みます。
-  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押してメニュー機能に移動したら、 を押して機能を選択するか、サブメニューに移動します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して前の画面に戻ります。
- ホーム画面に戻るには、 を長押しします。一定の期間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

5.2

ステータス インジケータ

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。

5.2.1

アイコン

無線機の液晶ディスプレイ (LCD) には、無線機の状態、テキスト エントリ、メニュー エントリが表示されます。

表 3: ディスプレイ アイコン

次のアイコンは、無線機ディスプレイ上部のステータス バーに表示されます。アイコンは外観や使用法の順に左詰めで配列され、チャンネル固有です。

	全トーン停止 すべてのトーンがオフです。
	バッテリー バーの本数 (0 ~ 4) でバッテリーの残量を示します。このアイコンは低バッテリー状態になると点滅します。
	バッテリー充電の状態 バッテリー充電の状態を示します。
	Bluetooth 接続 Bluetooth 機能が有効です。リモートの Bluetooth デバイスが接続されている間、アイコンは表示されたままになります。

	Bluetooth 未接続 Bluetooth の機能は有効ですが、接続されているリモートの Bluetooth デバイスはありません。		ミュート モード ミュート モードが有効になると、スピーカがミュートされます。
	DGNA 無線機は DGNA グループに入っています。		通知 通知リストに、1 つ以上の不在イベントがあります。
	緊急 無線機が緊急モードです。		オプション ボード オプション ボードが有効です。(オプション ボード対応モデルのみ)。
	大量データ 大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。		オプション ボード非動作 オプション ボードが無効です。
	屋内位置利用可能² 屋内位置ステータスがオンで利用可能です。		無線 (Over-the-Air) プログラミング遅延タイマ 無線機の自動再起動までの残り時間を示します。
	屋内位置利用不可² Bluetooth が無効か、ビーコン スキャンが Bluetooth により一時停止しているため、屋内位置ステータスがオンですが利用できません。		優先度 1 優先度 1 のグループを示します。

² 最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。

	優先度 2 優先度 2 のグループを示します。		サイレント モード サイレント呼出音モードが有効です。
	受信信号強度インジケータ (RSSI) 表示されるバーの数は、無線機の信号強度を表します。バーが 4 本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。		サイト ローミング サイト ローミング機能が有効です。
	応答禁止 応答禁止が有効化されます。		ステータス 新規ステータス メッセージを示します。
	着信音のみ 呼出音モードが有効です。		非セキュア 秘話モード機能が無効です。
	セキュア 秘話モード機能が有効です。		バイブ バイブ モードが有効です。
	共有の周波数 無線機が共有のコントロール チャネルに対してロックされていることを示します。		バイブと呼出音 バイブ モードと呼出音モードが有効です。
			Wi-Fi 優良 ³ Wi-Fi 信号が優良です。

³ SL2K にのみ適用されます。

	Wi-Fi 良好² Wi-Fi 信号が良好です。
	Wi-Fi 標準² Wi-Fi 信号が平均的です。
	Wi-Fi 不良² Wi-Fi 信号が不良です。
	Wi-Fi 利用不能² Wi-Fi 信号を利用できません。

表 4：高度なメニュー アイコン

以下のアイコンは、2つのオプションのいずれかを選択できるメニュー項目の隣に表示されるか、2つのオプションがあるサブメニューがあることを示すために表示されます。

	チェックボックス (チェックされている) オプションが選択されていることを示します。
	チェックボックス (空) オプションが選択されていないことを示します。

表 5：Bluetooth デバイス アイコン

以下のアイコンも、デバイス タイプを示すために使用できる Bluetooth 対応デバイス リストで項目の隣に表示されます。

	Bluetooth オーディオ デバイス Bluetooth 対応オーディオ デバイス (ヘッドセットなど)。
	Bluetooth データ デバイス Bluetooth 対応データ デバイス (スキャナなど)。
	Bluetooth PTT デバイス Bluetooth 対応 PTT デバイス (PTT のみデバイス (POD) など)。



Bluetooth センサー デバイス³
Bluetooth 対応センサー デバイス (ガス センサーなど)。

表 6 : 通話アイコン

以下は、通話中にディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、[れんらく さき] リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。



Bluetooth PC コール
Bluetooth PC コール中であることを示します。

[れんらくさき] リストでは、Bluetooth PC コール エイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



通話優先度: 高
通話優先度: 高が有効であることを示します。



【ディスパッチ コール】
連絡先タイプのディスパッチ コールは、サードパーティのテキスト メッセージ サーバーを介して、ディスパッチ

ャ PC にテキスト メッセージを送信するために使用されます。



DGNA 通話
DGNA 通話中であることを示します。



グループ コール/一斉コール
グループ コール中または一斉コール中であることを示します。

[れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



個別コール
個別コール中であることを示します。
[れんらく さき] リストでは、無線機のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



グループ コール/一斉コールとしての通話
グループ コールまたは一斉コールとして通話中であることを示します。

[れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。	 処理中 ジョブの送信中です。これが表示された後で、JOB チケットの送信失敗または送信完了が示されます。
 個別コールとしての通話 個別コールとして通話中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、電話のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。	 送信失敗 ジョブを送信できませんでした。
	 送信完了 ジョブが正常に送信されました。
	 優先度 1 ジョブの優先度が 1 であることを示します。
	 優先度 2 ジョブの優先度が 2 であることを示します。
 すべてのジョブ リストされているすべてのジョブを示します。	
 新しいジョブ 新しいジョブを示します。	

表 7 : JOB チケットアイコン

次のアイコンは、JOB チケット フォルダ内で、ディスプレイに一時的に表示されます。



優先度 3

ジョブの優先度が 3 であることを示します。

表 8：ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、ディスプレイに瞬時的に表示されます。



送信に失敗 (ネガティブ)
アクションに失敗しました。



送信に成功 (ポジティブ)
アクションに成功しました。



通信処理中 (経過)
送信中です。これは、通信に成功または失敗したという表示の前に表示されます。

表 9：送信済みアイテム アイコン

以下のアイコンは、ディスプレイ右上隅にある送信 BOX フォルダに表示されます。



処理中

送信機のエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信は保留中で、承認を待っている状態です。

グループのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信が保留中です。



読み込まれた個別メッセージまたはグループメッセージ
メッセージが読み込まれました。



読み込まれていない個別メッセージまたはグループメッセージ
メッセージが読み込まれませんでした。



送信失敗

テキスト メッセージを送信できません。



また

は



送信完了
メッセージは正常に送信されました。

5.2.2

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

赤色の点滅

電源投入時のセルフテストに失敗しました。

緊急送信を受信しています。

低バッテリー状態で送信しています。

オートレンジトランスポンダシステムで設定されている通信範囲から外れました。

ミュートモードが有効です。

緑色の点灯

無線機が電源オンになっています。

無線機の電源がオフの間にバッテリーがフル充電されることを示します。

送信しています。

プログラムされた【バッテリー強度】ボタンを押したときに、バッテリーが完全に充電されていることを示します。

無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。

緑色の点滅

無線機が電源オンになっています。

通話またはデータを受信しています。

エア接続でエア接続プログラミング送信を取得しています。

エア接続アクティビティを検出しています。



注記：

このアクティビティによるプログラム済みチャネルへの影響は、デジタルプロトコルの特性によって異なります。

緑色の2回点滅

秘話モード対応通話またはデータを受信しています。

黄色の点灯

無線機がBluetooth検出可能モードになっています。

プログラムされた【バッテリー強度】ボタンを押したときに、十分なバッテリーが残っていることを示します。

黄色の点滅

ページングにまだ応答していません。

黄色の 2 回点滅

自動ローミング機能が有効です。

新規サイトを検索しています。

グループのページングにまだ応答していません。

ロックされています。

5.2.3

トーン

以下は、無線機のスピーカから鳴るトーンです。



高いトーン



低いトーン

5.2.3.1

オーディオ トーン

オーディオ トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。



連続トーン

モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。



定期トーン

無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。



反復トーン

ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返されます。



瞬間トーン

無線機で設定した短いトーンが 1 回鳴ります。

5.2.3.2

インジケータ トーン

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータ トーンによりステータスが音声で通知されます。



ポジティブ インジケータ トーン



ネガティブ インジケータ トーン

5.3

登録

ユーザーは、登録に関連するさまざまなメッセージを受け取る可能性があります。

登録中

通常、登録情報は電源投入中、グループの変更中、またはサイトローミング中にシステムに送信されます。サイトでの登録に失敗すると、無線機は自動的に別のサイトへのローミングを試みます。登録が試みられたサイトは、無線機によってローミングリストから一時的に削除されます。

これは、無線機がローミング用サイトの検索のためにビジーであるか、無線機がサイトを発見し、無線機からの登録メッセージに対する応答を待っているということを意味します。

「とうろくちゅう」が無線機に表示されている間は、トーンが鳴り、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイトを検索していることが示されます。

この状態が終わらない場合、ユーザーは別の場所に移動したり、可能であれば、手動で別のサイトにローミング接続する必要があります。

サービス圏外

無線機がシステムまたは現在のサイトから信号を検出できない場合、この無線機はサービス圏外にあるとみなされます。通常は、無線機が地理的に発信無線周波数 (RF) サービスエリア外にあることを意味します。

「けんがい」が無線機に表示されている間は、トーンが繰り返し鳴り、LED が赤く点滅します。

良好な RF サービスエリア内でも無線機に圏外と表示されるようであれば、お近くの販売店またはシステム管理者にお問い合わせください。

グループへの参加失敗

無線機は登録中に、チャンネルまたは UKP (Unified Knob Position) に指定されたグループへの参加を試みます。

参加失敗状態にある無線機は、参加を試みているグループと受信も発信もできません。

無線機がグループへの参加に失敗すると、ホーム画面に「UKP エイリアス」と表示され、背景が強調表示されます。

無線機に参加失敗の表示がされる場合、お近くの販売店またはシステム管理者までお問い合わせください。

登録拒否

システムへの登録が承諾されない場合、登録拒否を示すインジケータが表示されます。

無線機は、登録拒否の理由を個別に表示しません。一般には、システムオペレータがシステムへの無線機のアクセスを無効にすると、登録が拒否されます。

無線機が登録拒否されているときは、無線機に『とうろくきょひ』と表示され、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイトを検索していることが示されます。

5.4

ゾーンとチャネルの選択

この章では、無線機でゾーンまたはチャネルを選択する操作について説明します。

最大 250 個の Capacity Max ゾーンを無線機にプログラムでき、1 ゾーンの最大チャネル数は 160 です。各 Capacity Max ゾーンは、指定可能な位置を最大 16 件含みます。

5.4.1

ゾーンの選択

下記の手順に従って、無線機で必要なゾーンを選択します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【ゾーンせんたく】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して【ゾーン】に移動します。

-  を押して選択します。

ディスプレイに  と現在のゾーンが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して必要なゾーンに移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに【<ゾーン> せんたくずみ】が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

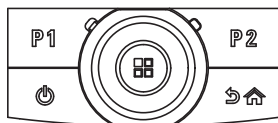
5.4.2

通話タイプの選択

4 方向ナビゲーションディスクを使用して通話タイプを選択します。無線機のプログラム方法に応じてグループコール、ブロードキャストコール、一斉コール、または個別コ

ールを選択可能です。4 方向ナビゲーション ディスクを使用して異なる通話タイプにナビゲートする場合、無線機を Capacity Max System に再登録することになります。無線機は、新しい通話タイプにプログラムされているグループ ID に登録します。

プログラムされていないチャンネルを選択した場合、無線機は動作しないため、選択せずに 4 方向ナビゲーション ディスクを使用して、プログラムされているチャンネルを選択してください。



必要なゾーンが表示されたら (無線機に複数のゾーンがある場合)、4 方向ナビゲーション ディスクを使用して通話タイプを選択します。

5.4.3

サイトの選択

1 つのサイトは、特定の 1 エリアの通信範囲を規定します。マルチサイト ネットワークでは、現在のサイトからの信号レベルが受容できないレベルまで下がると、Capacity Max 無線機は、新しいサイトを自動的に検索します。

Capacity Max システムは、最大 250 サイトをサポートできます。

5.4.4

ローミング要求

ローミング要求は、現在のサイトからの信号が十分であっても、異なるサイトを検索するよう無線機に指示します。

使用可能なサイトが存在しない場合:

- 無線機に「けんさくちゅう」と表示され、サイト リストの検索が継続されます。
- 前のサイトがまだ使用できる場合は、無線機が前のサイトに戻ります。



注記:
ディーラーがプログラムします。

プログラムされた【手動ローミング】ボタンを押します。

無線機が新しいサイトに切り替わったことを示すトーンが聞こえます。ディスプレイに「サイト ID < サイト番号 >」が表示されます。

5.4.5

サイト制限

Capacity Max システムでは、無線機のシステム管理者が、無線機の使用を許可するネットワーク サイトと禁止するネットワーク サイトを決定できます。

許可サイトと禁止サイトのリストを変更するために、無線機をプログラミングし直す必要はありません。禁止されているサイトで無線機が登録を試みると、無線機はこのサイトが禁止されていることを示す応答を受信します。その後、無線機では、異なるネットワーク サイトが検索されません。

サイトの制約が発生すると、無線機に『とうろくきょひ』と表示され、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイトを検索していることが示されます。

5.4.6

サイト トランキング

サイト トランキングは Capacity Max システムでのみ使用できます。サイトがシステム トランキングとみなされるためには、トランク コントローラと通信できる必要があります。

サイトがシステムのトランク コントローラと通信できない場合、無線機はサイト トランキング モードになります。サ

イト トランキング モードの無線機は、定期的に音声および表示による通知を行って、機能が制限されていることをユーザーに知らせます。

サイト トランキング モードの場合、無線機に『サイト トランキング』と表示され、反復トーンが鳴ります。

サイト トランキング モードの無線機は、グループおよび個別の音声通話を行うことも、同じサイト内の他の無線機にテキスト メッセージを送信することもできます。音声コンソール、ロギング レコーダ、電話ゲートウェイ、およびデータ アプリケーションが同サイトの無線機と通信することはできません。

複数サイトにまたがる通話に参加している無線機がサイト トランキング モードになると、同じサイト内の他の無線機としか通信できなくなります。他のサイトとの通信は失われます。



注記：

無線機の現在の位置をサービス対象エリアとするサイトが複数あり、いずれかのサイトがサイト トランキング モードになると、そのサイトの無線機は、圏内にある別のサイトにローミングします。

5.5

通話

この章では、通話の受信、応答、発信、停止の操作について説明します。

以下の機能のいずれかを使用してチャンネルを選択した後、無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

エイリアス検索

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループコール、個別コール、および一斉コールのみに使用します。

連絡先リスト

この方法では、連絡先リストに直接アクセスできます。

ダイヤル (連絡先を使用)

この方法は、キーパッド マイクを併用して、個別コールおよび通話のみに使用します。

プログラム可能な数値キー

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループコール、個別コール、および一斉コールのみに使用します。



注記:

各数値キーに割り当てできるのは単一のエイリアスまたは ID ですが、単一のエイリアスまたは ID は、複数の数値キーに関連付けできます。キーパッド マイクのすべての数値キーに割り当てできます。詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#)」を参照してください。

プログラムされた【ワン タッチ アクセス】ボタン

この方法は、グループ コール、個別通話、および電話通話のみに使用します。

ワン タッチ アクセス ボタンでは、プログラム可能ボタンの短押しまたは長押しに、それぞれ単一の ID のみを割り当てできます。お使いの無線機で、複数の【ワン タッチ アクセス】ボタンをプログラムできます。

プログラム可能ボタン

この方法は、電話通話のみに使用します。

5.5.1

グループ通話

ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機をそのグループの所属に設定する必要があります。

5.5.1.1

グループ通話の発信

ユーザーのグループに通話を発信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 63](#) を参照してください。
 - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行の 1 行目に【グループ コール】アイコンとエイリアスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに【グループ コール】アイコン、エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

- 5 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に回答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

通話の発信者は  を押して、グループ コールを終了できます。

5.5.1.2

連絡先リストを使用したグループ コール
の発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
- 4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。
1 行目に、無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。2 行目には、[グループ コール] と [グループ コール] アイコンが表示されます。
- 5 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに送信側のユーザー ID が表示されます。

- 7 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

短いトーンが聞こえます。ディスプレイに [コール しゅうりょう] と表示されます。

5.5.1.3

プログラム可能な数値キーを使用したグループ コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でグループ コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に [グループ コール] アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に、発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、[グループ コール] の通話ステータスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに、宛先のエイリアスが表示されます。

- 5 チャンネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが離された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示します。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

通話発信者は  を押して、グループ コールを終了できます。

詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#)」を参照してください。

5.5.1.4

エイリアス検索を使用したグループ コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき]のみに適用されます。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに「あいてさきむこう」と表示され、無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。



注記:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色のLEDが点灯します。ディスプレイに宛先ID、通話タイプ、[グループ コール] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

7 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

8 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

通話発信者は  を押して、グループ コールを終了できます。

- 2 行目に、グループのエイリアスと [グループ コール] アイコン (デジタル モードのみ) が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。
- 音声割り込み機能が有効になっている場合、[PTT] ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

5.5.1.5

グループ通話への応答

グループ通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの 1 行目に、発信者のエイリアスと [RSSI] アイコンが表示されます。

5.5.2

ブロードキャスト コール

ブロードキャスト コールは、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通話です。

ブロードキャスト コール機能では、通話を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通話の受信者は応答できません。

ブロードキャストの発信者は、ブロードキャスト コールを終了することもできます。ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

5.5.2.1

ブロードキャスト コールの発信

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブなグループのエイリアス (名称) または ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 63](#) を参照してください。
 - プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。

- 2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに【グループ コール】アイコンとエイリアスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

通話発信者は、 を押して、ブロードキャスト コールを終了できます。

5.5.2.2

連絡先リストを使用したブロードキャスト コールの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

4 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点滅します。

1 行目に、無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。2 行目には、[グループ コール] と [グループ コール] アイコンが表示されます。

5 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

通話発信者は、 を押して、ブロードキャスト コールを終了できます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に [グループ コール] アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

通話発信者は、 を押して、ブロードキャスト コールを終了できます。

5.5.2.3

プログラム可能な数値キーを使用したブロードキャスト コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でブロードキャスト コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

5.5.2.4

ブロードキャスト コールの受信

下記の手順に従って、無線機でブロードキャスト コールを受信します。

ブロードキャスト コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの 1 行目に、発信者のエイリアスと **[RSSI]** アイコンが表示されます。
- 2 行目には、グループのエイリアスと **[グループ コール]** アイコンが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。



注記：

ブロードキャスト コール中は、受信ユーザーがトークバックすることはできません。ディスプレイに「トークバック 禁止」と表示されます。ブロードキャスト コール中に **PTT** ボタンを押すと、トークバック禁止音が瞬間的に鳴ります。

5.5.3

個別コール

個別コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。

個別コールには、2 つの設定方法があります。

- 最初の通話タイプは OACSU (Off Air Call Set-Up) と呼ばれています。OACSU は、無線機のプレゼンス チェック実施後に通話をセットアップし、通話を自動的に完了します。

- 2 つ目のタイプは FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) と呼ばれています。FOACSU でも、無線機のプレゼンス チェック実施後に通話をセットアップします。ただし、FOACSU の通話は、通話の完了にユーザーの確認を必要とし、ユーザーは通話を許可するか拒否するかを選択することができます。

通話タイプはシステム管理者が設定します。

個別コールの設定前にターゲットの無線機が利用可能になっていない場合は、以下の状態になります。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。



注記：

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

5.5.3.1

個別通話の発信

個別コールを開始するには無線機をプログラムする必要があります。この機能が無効である場合に通話を開始すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。相手の無

線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに「あいてさきむこう」と表示されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 63](#) を参照してください。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに「個別通話」アイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

5 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別通話を終了できます。

5.5.3.2

プログラム可能な数値キーを使用した個別コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で個別コールを発信します。

1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに【こべつコール】アイコン、加入者 ID またはエイリアス、通話ステータスが表示されます。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。宛先のエイリアスが表示されます。

5 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#) を参照してください。

5.5.3.3

エイリアス検索を使用した個別コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。



注記：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

1 を押してメニューにアクセスします。

2 または を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、および【個別通話】アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

7 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

8 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

5.5.3.4

ワンタッチ コール ボタンを使用した個別コールの発信

ワンタッチ コール機能を使用すると、事前定義された個別コール エイリアスまたは ID に対する個別コールを簡単に発信できます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すという、プログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。

ワンタッチ コール ボタンには、エイリアスまたは ID を1つのみ割り当てることができます。無線機には、複数のワンタッチ コール ボタンをプログラムできます。

1 プログラムされた【ワンタッチ コール】ボタンを押し、事前に定義された個別通話エイリアスまたは ID に個別コールを発信します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。
LED が緑色で点灯します。

ディスプレイに個別コール エイリアスまたは ID が表示されます。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ターゲットの無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

3 ▲ または ▼ を押して『ダイアル』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『むせんきばんごう』に移動します。 を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。
- 前にダイアルした無線機の ID を編集し、 を押して先に進みます。

6 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

7 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

5.5.3.5

ダイアルを使用した個別コールの発信

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『Contacts』に移動します。 を押して選択します。

- 8 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。

- 9 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに **[Call Ended]** と表示されます。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

5.5.3.6

個別コールの受信

OACSU (Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合:

- 緑色の LED が点滅します。

- 1 行目に無線機のエイリアスまたは ID と、**[RSSI]** アイコンが表示されます。
- 2 行目には、**[こべつ コール]** と **[個別コール]** アイコンが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。



注記:

無線機の設定方法に応じて、個別コールに応答する OACSU または FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) がユーザーの確認応答を必要とする場合と必要としない場合があります。

OACSU 設定では、無線機は自動的にミュートを解除して通話を開始します。

5.5.3.7

個別コールの受信

FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 1 行目に無線機のエイリアスまたは ID と、**[RSSI]** アイコンが表示されます。

- 2行目には、『こべつ コール』と【個別コール】アイコンが表示されます。

- 1 FOACSU として設定された個別コールを許可するには、次のいずれかを行います。

- ▲ または ▼ を押して『きょか』に移動し、を押して個別コールに応答します。
- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。



注記：

通話の発信者と受信者のどちらでも、を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

5.5.3.8

個別コールの拒否

FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合：

- 緑色の LED が点滅します。
- 1行目に無線機のエイリアスまたは ID と、**[RSSI]** アイコンが表示されます。
- 2行目には、『こべつ コール』と【個別コール】アイコンが表示されます。

FOACSU として設定された個別コールを拒否するには、次のいずれかを行います。

- ▲ または ▼ を押して『きょひ』に移動し、を押して個別コールを拒否します。
- を押して個別コールを拒否します。

5.5.4

一斉コール

一斉コールは、システム設定に応じて、1 台の無線機からサイトの各無線機またはサイト グループの各無線機へのコールです。

一斉コールは、ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知に使用されます。システムのユーザーは、一斉コールには応答できません。

Capacity Max は、サイト一斉コールとマルチサイト一斉コールをサポートしています。システム管理者は、無線機でこれらのいずれかまたは両方を設定できます。



注記：
無線機は、システム全体への一斉コールをサポートできますが、Motorola Solutions インフラストラクチャは、システム全体への一斉コールをサポートしません。

5.5.4.1

一斉コールの受信

一斉コールを受信すると、以下の状態になります。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

- ディスプレイの右上隅に、発信者の ID 情報と **[RSSI]** アイコンが表示されます。
- テキスト行の 1 行目に **[グループ コール]** アイコンと、設定の種類に応じて **[いっせい コール]**、**[サイトいっせい コール]**、または **[マルチサイト コール]** のいずれかが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通話が終了すると、無線機は一斉コールを受信する前の画面に戻ります。

チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が **[PTT]** ボタンを放したときに、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。一斉コールには応答できません。



注記：
通話を受信中に別のチャンネルに切り替えると、無線機は一斉コールの受信を停止します。一斉コールが終了するまでは、メニュー ナビゲーションや編集は続行できません。

5.5.4.2

一斉コールの発信

一斉コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。

- 1 アクティブな一斉コール グループのエイリアスまたは ID があるチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 63](#) を参照してください。

- 2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに【グループ コール】アイコンと、設定の種類に応じて【いっせいコール】、【サイトいっせいコール】、または【マルチサイト コール】のいずれかが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、一斉コールに応答できません。

通話発信者は、 を押して、一斉コールを終了できます。

プログラム可能な数値キーを使用した一斉コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で一斉コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、事前に定義されたエイリアスまたは ID に割り当てられたプログラム可能な数値キーを長く押します。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに【グループ コール】アイコンと、設定の種類に応じて【いっせい コール】、【サイトいっせい コール】、または【マルチサイト コール】のいずれかが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

5.5.4.3

通話発信者は、を押して、一斉コールを終了できます。

詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#)」を参照してください。

5.5.4.4

エイリアス検索を使用した一斉コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することができます。この機能は、[れんらくさき]のみに適用されます。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機で一斉コールを発信します。



注記：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。
テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、【グループ コール】アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。



注記：

通話発信者は、 を押して、一斉コールを終了できます。

5.5.5

電話通話

電話通話は、個別の無線機または無線機グループと電話機との間の通話です。

無線機の設定方法によって、以下の機能が利用できる場合とできない場合があります。

- アクセス コード
- デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーン
- ディアクセス コード
- 電話通話受信時の発信者のエイリアスまたは ID の表示

- 電話通話を受けるか受けないかを選択できる機能

電話通話機能は、システムで電話番号を割り当てて設定することによって有効にすることができます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、システム管理者に確認してください。

5.5.5.1

電話通話の発信

下記の手順に従って、無線機で通話を発信します。

- 1 プログラムされた【ワン タッチ アクセス】ボタンを押して、事前に定義されたエイリアスまたは ID に移動します。

ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

アクセス コードが【れんらくさき】リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイに【アクセスコード:】と表示されます。

- 2 アクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。

アクセスコードまたはディアクセスコードは10文字以下にする必要があります。

3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色のLEDが点灯します。ディスプレイに電話通話アイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。
- ディスプレイには、無線機のエイリアスおよび電話通話アイコンが表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「でんわ NG」と表示されてから、「アクセスコード:」と表示されます。
- アクセスコードが「れんらくさき」リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

4 電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

5 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

6 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

7 通話を終了するには、を押します。

8 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- ディアクセスコードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに「ディアクセスコード:」と表示されたらディアクセスコードを入力し、を押して先に進みます。前の画面に戻ります。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。ワンタッチ アクセス ボタンのエント

リが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。最後の 2 つの手順を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

5.5.5.2

プログラム可能なボタンで電話通話をを行う

下記の手順に従って、プログラム可能なボタンで通話を行います。

- 1 プログラムされた [Tel] ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。

アクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイには「アクセスコード:」と表示されます。アクセス コードを入力し、Ⓜ ボタンを押して先に進みます。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに 電話通話 アイコン、無線機のエイリアスまたは ID、通話ステータスが表示されます。

通話設定に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。
- ディスプレイに 電話通話 アイコン、無線機のエイリアスまたは ID、「でんわつうわ」、通話ステータスが表示されます。

通話設定に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。

- ・ ディスプレイに『でんわ NG』と表示されます。
- ・ アクセス コード入力画面に戻ります。アクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

3 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

4 通話中に数字を入力する必要がある場合は、次の操作を実行します。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ・ キーボードのいずれかのキーを押し、追加の数字の入力を始めます。ディスプレイに『つかのすうじ:』と表示され、カーソルが点滅します。残りの数字を入力し、 を押して、先に進みます。DTMF トーンが鳴り、前の画面に戻ります。
 - ・ ワンタッチ アクセス ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
-

5 通話を終了するには、 を押します。

ディアクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイに『ディアクセスコード:』と表示されます。ディアクセス

コードを入力し、 ボタンを押して先に進みます。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。

通話終了設定に成功するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

通話終了設定に失敗すると、通話画面に戻ります。[ステップ 3](#)と [ステップ 5](#)を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに『コール OK』と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。



注記：

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、ディアクセス コードが事前設定されている状態でワンタッチ アクセス ボタンを押すか、追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力すると、コールの終了が行われます。

5.5.5.3

連絡先リストを使用した電話通話の発信

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機で通話を発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押した場合：

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [コール >OK] と表示されます。

選択したエントリが空の場合：

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [つうわむこうなばんごう] と表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して [つうわ] に移動します。 を押して選択します。

アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに [アクセスコード:] と表示されます。

- 5 アクセスコードを入力し、を押して先に進みます。

アクセスコードまたはディアクセスコードは 10 文字以下にする必要があります。

ディスプレイには、[よびだしちゅう]、無線機のエイリアスまたは ID、プライベート通話アイコンが表示されます。

通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。
- ディスプレイには、無線機のエイリアスまたは ID、電話通話アイコン、および [でんわつうわ] が表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [でんわ NG] と表示されてから、[アクセスコード:] と表示されます。

- アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻りません。

-
- 6 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
[RSSI] アイコンが消えます。
-

- 7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
-

- 8 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合は、を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

- 9 通話を終了するには、を押します。
-

- 10 ディアクセスコードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに [ディアクセスコード:] と表示

されたらディアクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。

前の画面に戻ります。DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。
通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ 9](#)と[ステップ 10](#)を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。通話連絡先画面で PTT ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに『コール>OK』と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。

エイリアス検索を使用した電話通話の発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき]のみに適用されます。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機で通話を発信します。



注記:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『Contacts』に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。
- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

5.5.5.4

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 必要なエイリアスに通話を発信するには、を押します。

6 ▲ または ▼ を押して「つうわ」に移動します。

を押して選択します。

緑色のLEDが点灯します。ディスプレイに宛先ID、通話タイプ、電話アイコンが表示されます。

7 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

8 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

9 チャネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で [PTT] ボタンが離された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示します。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

5.5.5.5

ダイヤルを使用した電話通話の発信

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機で通話を発信します。

1 を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して、[ダイヤル] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して、[Telばんごう] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに [ばんごう:] と表示され、カーソルが点滅します。

5 電話番号を入力し、  を押して先に進みます。
アクセスコードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに [アクセスコード:] と表示され、カーソルが点滅します。

6 アクセスコードを入力し、  を押して先に進みます。
アクセスコードまたはディアクセスコードは

10 文字以下にする必要があります。 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに 電話通話 アイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。
- ディスプレイには、無線機のエイリアスおよび 電話通話 アイコンが表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [でんわ NG] と表示されてから、[アクセスコード:] と表示されます。
- アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

7 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

8 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

9 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合は、 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

10 通話を終了するには、 を押します。

11 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ディアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに『ディアクセスコード:』と表示されたらディアクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。前の画面に戻ります。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。ワンタッチ アクセス ボタンのエント

リが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ 10](#) を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

5.5.5.6

デュアル トーン マルチ周波数

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) 機能を使用すると、無線機システム内で電話機システムを操作できます。

すべての無線機トーンと警告を無効にすると、DTMF トーンが自動的にオフになります。

5.5.5.7

一斉コールとして電話通話への応答

一斉コール通話を受信したときは、受信無線機はトークバックも応答もできません。また受信ユーザーは、一斉コールを終わらせることもできません。

一斉コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に [電話] アイコンが表示されます。
- ディスプレイには、設定の種類に応じて [いっせいコール]、[サイトいっせいコール]、または [マルチサイトコール] のいずれかと [でんわ] が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

5.5.5.8

グループ コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機でグループ コール通話に応答します。

グループ コール通話を受信した場合:

- ディスプレイに、電話通話 アイコンと [でんわつうわ] が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3 通話を終了するには、 を押します。



注記:

お使いの無線機では、電話通話をグループ コールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

ディスプレイに [でんわせつだん] と表示されます。通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。**ステップ 3** を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。



注記：

お使いの無線機では、電話通話をグループコールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。通話が正常に終了した場合：

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。**ステップ 3** を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

5.5.5.9

個別コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コール通話に応答します。

個別コール通話を受信した場合：

- ディスプレイに、電話通話 アイコンと「でんわつうわ」が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3 通話を終了するには、 を押します。

5.5.6

通話割り込みの開始

次の操作を実行すると、進行中の通話が中断されます。

- 音声 **PTT** ボタンを押します。

- 緊急ボタンを押します。

受信無線機に「つうわ わりこみ」と表示されます。

5.5.7

割り込み通話

割り込み通話では、無線機が実行中の音声送信を停止し、優先送信を開始できます。

割り込み通話機能により、システムは、トランキング チャネルを利用できない場合に、進行中の通話に割り込みます。

緊急通話や一斉コールのような優先度の高い通話は、無線機が送信中でも割り込みが許可されているため、より優先度の高い通話に対応することができます。他の無線周波数 (RF) チャネルが利用できない場合、緊急通話は一斉コールにも割り込みます。

5.5.8

音声割り込み

音声割り込み機能を使うと、進行中の音声送信を停止することができます。

この機能では、割り込みを行う無線機が音声割り込み可能に設定され、送信を行う無線機が音声通話割り込み可能に設定されている場合に、逆チャンネル シグナリングを使用し

て進行中の音声送信を停止します。その後、割り込みを行う無線機は、停止された通話の参加者へ音声送信を行うことができます。

音声割り込み機能によって、通話中の対象者に対して新たに送信を行う成功率が大幅に上がります。

ユーザーが音声割り込み機能にアクセスできるのは、この機能が無線機で設定されている場合のみです。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.5.8.1

音声割り込みの有効化

下記の手順に従って、無線機で音声割り込みを開始します。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1 通話中に送信に割り込むには、**[PTT]** ボタンを押します。

割り込みされた無線機では、ディスプレイに「つうわ わりこみ」と表示されます。**[PTT]** ボタンが放されるまで、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り続けます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

5.6

高度な機能

この章では、無線機で利用できる機能の操作について説明します。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.6.1

Bluetooth®

Bluetooth 接続を介して、お使いの無線機と Bluetooth 対応デバイス (アクセサリ) を連携できます。お使いの無線機では、Motorola Solutions 製および COTS (市販既製品) の両方の Bluetooth 対応デバイスをサポートしています。

Bluetooth は、直線距離 10 メートル (32 フィート) の範囲内で動作します。これは、無線機と Bluetooth 対応デバイスとの間に障害物が何もない場合の距離です。信頼性を高めるために、Motorola Solutions では無線機とアクセサリを離さないことをお勧めします。

受信不良地域では、音声とトーン両方が「不明瞭」または「割れて」聞こえるようになります。この問題を解決するには、無線機と Bluetooth 対応デバイスを規定の 10 メートル以内に近づけて、明瞭な音声受信を再確立してください。無線機の Bluetooth 機能の最大出力は、10 メートル範囲で 2.5mW (4dBm) です。

無線機は、異なる種類の Bluetooth 対応デバイスとの Bluetooth 接続を同時に 3 接続までサポートできます。たとえば、ヘッドセット、スキャナ、センサー デバイス、および PTT 専用デバイス (POD) です。

Bluetooth 対応デバイスの全機能の詳細については、個々の Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

無線機は、通信範囲内で信号強度が最も強い、または前のセッションで接続していた Bluetooth 対応デバイスに接続します。サーチ動作中および接続動作中は、Bluetooth 対応デバイスの電源を切ったり、[ホームへ戻る] ボタン  を押したりしないでください。動作が取り消されます。

5.6.1.1

Bluetooth のオン/オフの切り替え

下記の手順に従って、Bluetooth のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ステータス] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに [オン] と [オフ] が表示されます。
現在のステータスは  で示されます。
- 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。  を押して選択します。ディスプレイで  が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。  を押して選択します。ディスプレイで  が [Off] の隣に表示されます。

5.6.1.2

Bluetooth デバイスへの接続

下記の手順に従って、Bluetooth デバイスに接続します。

Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ、ペアリング モードにします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動します。  を押して選択します。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。  を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して『デバイス サーチ』に移動し、使用できるデバイスを見つけます。▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『せつぞく』に移動します。

 を押して選択します。

ペアリングを完成させるには、Bluetooth 対応デバイスでさらに手順が必要になることがあります。Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

ディスプレイに『<デバイス> せつぞくちゅう』と表示されます。

確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイに『<デバイス> せつぞくずみ』と [Bluetooth 接続済み] アイコンが表示されます。

- 接続されたデバイスに加えて、ディスプレイに ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『せつぞくしっぱい』と表示されます。

5.6.1.3

検出可能モードでの Bluetooth デバイスへの接続

下記の手順に従って、検出可能モードで Bluetooth デバイスに接続します。

Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ、ペアリング モードにします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Find Me] に移動します。

Ⓚ を押して選択します。無線機が、プログラムされた期間に他の Bluetooth 対応デバイスで検出可能になります。これを検出可能モードと呼びます。

確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [〈デバイス〉 せつぞくずみ] と [Bluetooth 接続済み] アイコンが表示されます。
- 接続されたデバイスに加えて、ディスプレイに ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [せつぞくしっぱい] と表示されます。

5.6.1.4

Bluetooth デバイスからの切断

下記の手順に従って、Bluetooth デバイスから切断します。

1 Ⓚ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。Ⓚ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [せつだん] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

ディスプレイに [〈デバイス〉 からせつだんちゅう] と表示されます。

確認応答を待ちます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [〈デバイス〉 せつだんずみ] と表示され、[Bluetooth 接続済み] アイコンが消えます。
- 接続されていたデバイスの横から ✓ が消えます。

5.6.1.5

内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオーディオ ルートの切り替え

下記の手順に従って、内部無線機スピーカと外部 Bluetooth デバイスの間でオーディオ ルートを切り替えます。

プログラムされた **[Bluetooth オーディオ切り替え]** ボタンを押します。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- トーンが鳴ります。ディスプレイに『おんせい>むせんき』と表示されます。
- トーンが鳴ります。ディスプレイに『おんせい>Bluetooth』と表示されます。

5.6.1.6

デバイスの詳細の表示

下記の手順に従って、無線機でデバイスの詳細を表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [しょうさい] に移動します。 を押して選択します。

5.6.1.7

デバイス名の編集

下記の手順に従って、使用できる Bluetooth 対応デバイス名を編集します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「デバイス」に移動します。Ⓢを押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。Ⓢを押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して「ネームヘンシュウ」に移動します。Ⓢを押して選択します。
- 6 新しいデバイス名を入力してください。Ⓢを押して選択します。
ディスプレイに「デバイスめいほぞんずみ」と表示されます。

5.6.1.8

デバイス名の削除

Bluetooth 対応デバイスのリストから切断済みデバイスを削除できます。

- 1 Ⓢを押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して「Bluetooth」に移動します。Ⓢを押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「デバイス」に移動します。Ⓢを押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。Ⓢを押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して「さくじょ」に移動します。Ⓢを押して選択します。ディスプレイに「デバイスさくじょずみ」と表示されます。

5.6.1.9

Bluetooth マイクゲイン値の調整

接続された Bluetooth 対応デバイスのマイクゲイン値を調整できます。

- 1 Ⓢを押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『ブルートゥース』に移動します。Ⓢを押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『BT マイクゲイン』に移動します。Ⓢを押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [BT マイクゲイン] タイプおよび現在の値に移動します。値を編集するには、Ⓢを押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して値を増減します。Ⓢを押して選択します。

5.6.1.10

Permanent Bluetooth Discoverable モード

Permanent Bluetooth Discoverable モードは、ディーラーまたはシステム管理者が有効にする必要があります。



注記：
有効な場合、『ブルートゥース』はメニューに表示されず、Bluetooth のプログラム可能ボタン機能は使用できなくなります。

他の Bluetooth 対応デバイスで無線機を見つけることはできますが、デバイスは無線機に接続することはできません。Bluetooth ベースの位置追跡のプロセスで、Permanent Bluetooth Discoverable モードは、専用デバイスが無線機の位置を利用できるようにします。

5.6.2

屋内位置



注記：
屋内位置機能は、最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

屋内位置機能を使用して、無線機ユーザーの位置を追跡できます。屋内位置が有効になっていると、無線機は限定的に検出可能なモードになります。無線機を探して位置を特定するために、専用ビーコンが使用されます。

5.6.2.1

屋内位置のオンとオフ

屋内位置をオンまたはオフにするには、次の操作のいずれかを実行します。

- メニューからこの機能にアクセスします。
 - a.  メニューにアクセスします を押します。
 - b.  または  を押して [Bluetooth] に移動し、
 を押して選択します。
 - c.  または  を押して [屋内] に移動し、 を押して選択します。
 - d.  を押して [屋内] をオンにします。
ディスプレイに『屋内オン』と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。
 - 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面に表示されます。

- 失敗すると、ディスプレイに『屋内オン失敗』と表示されます。ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- e.  を押して屋内をオフにします。

ディスプレイに『屋内オフ』と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面から消えます。
- 失敗すると、ディスプレイに『屋内オフ失敗』と表示されます。ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- プログラムされたボタンを使用してこの機能にアクセスします。

- a. プログラムされた [屋内] ボタンを長押しして屋内をオンにします。

ディスプレイに『屋内オン』と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面に表示されます。

- 失敗すると、ディスプレイに「屋内オン失敗」と表示されます。失敗すると、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

- b. プログラムされた【屋内】 ボタンを押して屋内配置をオフにします。

ディスプレイに「屋内オフ」と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面から消えます。
- 失敗すると、ディスプレイに「屋内オフ失敗」と表示されます。失敗すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

5.6.2.2

屋内位置ビーコン情報へのアクセス

下記の手順に従って、屋内位置ビーコン情報にアクセスします。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「屋内」に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して「ビーコン」に移動して、
 を押して選択します。

ディスプレイにビーコン情報が表示されます。

5.6.3

JOB チケット

この機能を使用して、実行するタスクを列挙するディスパッチャからのメッセージを、無線機で受信できます。



注記：

この機能は、ユーザーの要件に応じて顧客プログラミング ソフトウェア (CPS) 経由でカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

次の 2 つのフォルダに、異なる種類の JOB チケットが含まれます。

【マイ タスク】フォルダ

ユーザーがサインインに使用したユーザー ID に割り当てられた、個人用の JOB チケット

【共有タスク】フォルダ

ユーザーのグループに割り当てられた共有 JOB チケット

JOB チケットに応答して、チケットを JOB チケット フォルダに並べることができます。既定のフォルダ名は **[All]**、**[New]**、**[Started]**、および **[Completed]** です。

JOB チケットは、無線機の電源を入れ直しても保持されます。

[All] フォルダには、すべての JOB チケットが配置されます。お使いの無線機のプログラムに応じて、JOB チケットは、優先度順、次に受信時刻順にソートされます。新規の JOB チケット、状態が最近変化した JOB チケット、および優先度が最高の JOB チケットが、リストの先頭に列挙されます。

JOB チケットの最大件数に達すると、最後のチケットが次のチケットに取って代わられます。無線機のモデルに応じて、最大 100 件または 500 件の JOB チケットがサポートされます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。無線機は、JOB チケット ID が重複している JOB チケットを、自動的に検出して破棄します。

JOB チケットの重要度に応じて、ディスパッチャで優先度レベルが追加されます。優先度レベルには、3 段階(優先度 1、優先度 2、優先度 3) あります。優先度 1 が最高の優先度で、優先度 3 が最低の優先度です。その他に、優先度なしの JOB チケットもあります。

ディスパッチャが下記の変更を行うと、それによって無線機が更新されます。

- JOB チケットの内容修正。
- JOB チケットの優先度レベルの追加または編集。
- JOB チケットのフォルダからフォルダへの移動。
- JOB チケットのキャンセル。

5.6.3.1

JOB チケット フォルダへのアクセス

下記の手順に従って、JOB チケット フォルダへアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「ワーク チケット」に移動します。Ⓢ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。Ⓢ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。Ⓢ を押して選択します。

5.6.3.2

リモート サーバーのログインとログアウト

ユーザー ID を使用して、リモート サーバーへのログインとログアウトが可能です。

1 Ⓢ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「ログイン」に移動します。Ⓢ を押して選択します。

ログイン済みの場合は、メニューに「ログアウト」と表示されます。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

5.6.3.3

単数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信

単数の JOB チケット テンプレートを使って無線機が構成されている場合、JOB チケットを送信するには、次の操作を実行します。

- 1 キーパッドを使用して、必要な部屋番号を入力します。  を押して選択します。

-
- 2  または  を押して「へやのステータス」に移動します。  を押して選択します。

-
- 3  または  を押して必要なオプションに移動します。  を押して選択します。

-
- 4  または  を押して「そうしん」に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.3.4

複数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信

複数の JOB チケット テンプレートを使って無線機が構成されている場合、JOB チケットを送信するには、次の操作を実行します。

- 1  または  を押して必要なオプションに移動します。  を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.3.5

JOB チケットへの応答

下記の手順に従って、無線機で JOB チケットに応答します。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
-
- 2 ▲ または ▼ を押して『JOB チケット』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
-
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。Ⓜ を押して選択します。
-
- 4 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。Ⓜ を押して選択します。
-
- 5 サブメニューにアクセスするには、Ⓜ を再度押します。
- 対応する数値キー (1 ~ 9) を押して、[クイックへんしん]を行います。
-
- 6 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。Ⓜ を押して選択します。
- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。
-

7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

2 ▲ または ▼ を押して「JOB チケット」に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「すべて」フォルダに移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。Ⓜ を押して選択します。

6 JOB チケットの表示中に、Ⓜ を再度押します。

7 ▲ または ▼ を押して「さくじょ」に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

8 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:

5.6.3.6

JOB チケットの削除

下記の手順に従って、無線機で JOB チケットを削除します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 4](#) に進みます。
- Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.3.7

すべての JOB チケットの削除

下記の手順に従って、無線機のすべての JOB チケットを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「JOB チケット」に移動します。 を押して選択します。

- 3  または  を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。

- 4  または  を押して「すべて」フォルダに移動します。 を押して選択します。

- 5  または  を押して「ぜんさくじょ」に移動します。 を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 -  または  を押して「はい」に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
 -  または  を押して「いいえ」に移動します。 を押して選択します。
前の画面に戻ります。

5.6.4

マルチサイト コントロール

この機能は、現在の無線機チャネルが Capacity Max システムに対して設定されている場合に適用されます。

5.6.4.1

手動サイト検索の有効化

- 1 下記の作業のどちらかを実行します。
 - プログラムされた【手動ローミング】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『サイト ローミング』に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『サイト サーチ』に移動します。 を押して選択します。

トーンが鳴ります。緑色の LED が点滅します。ディスプレイに『サイト サーチ』と表示されます。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに『サイト 〈エイリアス〉 みつかりました』と表示されます。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに『けんがい』と表示されます。

通信範囲内に新しいサイトが存在するものの無線機が接続できない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。

- ディスプレイに『チャンネル ビジー』と表示されます。

5.6.4.2

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

プログラムされた【サイト ロック】ボタンを押します。

【サイト ロック】機能をオンに切り替えると、

- ポジティブ インジケータ トーンが聞こえて、無線機が現在のサイトにロックされていることを示しています。
- ディスプレイに『サイト ロック済み』と表示されます。

【サイト ロック】機能をオフに切り替えると、

- ネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。無線機のロックが解除されていることを示しています。

- ディスプレイに『サイト ロックかいじょ』と表示されます。

5.6.4.3

隣接サイトのリストへのアクセス

この機能では、現在のホーム サイトに隣接するサイトのリストをチェックできます。下記の手順に従って、隣接サイトのリストにアクセスします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して【Utilities】に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して『きき じょうほう』に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して、『隣接サイト』に移動します。  を押して選択します。

5.6.5

ホーム チャンネル リマインダ

これは、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

この機能を有効にしている場合は、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていないと、以下の動作が定期的に繰り返されます。

- ホーム チャンネル リマインダ トーンが鳴り、音声ガイドが聞こえます。
- ディスプレイに「ホーム いがいのチャンネル」と表示されます。

5.6.5.1

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

プログラムされた ホーム チャンネル リマインダのミュート ボタンを押します。

ディスプレイに「HCR サイレンス」と表示されます。

5.6.5.2

新しいホーム チャンネルの設定

ホーム チャンネル リマインダが通知された場合は、新しいホーム チャンネルをセットできます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - ホーム チャンネルのリセット プログラム可能ボタンを押して、現在のチャンネルをホーム チャンネルとしてセットします。以下の手順をスキップします。
ディスプレイの 1 行目にチャンネル エイリアス、2 行目に「しん ホーム Ch」が表示されます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「Utilities」に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して「Radio Settings」に移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して「ホーム チャンネル」に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して、目的の新しいホーム チャネルのエイリアスに移動します。Ⓢを押して選択します。

ディスプレイには、選択したチャネル エイリアスの横に ✓ が表示されます。

- 無線機のコピーは、4 秒以内に [PTT] ボタンを押して音声通信を開始します。

通話設定に失敗すると、以下の状態になります。

- 有効にした場合、拒否トーン音が鳴ります。
- ディスプレイに失敗通知画面が瞬間的に表示されます。
- 通話が終了し、無線機は通話設定を終了します。

5.6.6

通話キュー

通話の処理に利用できるリソースがない場合、通話キューによって、次に利用可能なリソースのシステム キューに通話リクエストを加えることができます。

PTT ボタンを押すと、通話キュー トーンが鳴り、無線機の画面に『待機中の通話』と表示されて、無線機が通話キュー状態に入ったことを示します。通話キュー トーンが鳴ったら [PTT] ボタンを放してかまいません。

通話設定が成功すると、以下の状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。
- 有効にした場合、通話許可トーンが鳴ります。
- ディスプレイに通話タイプのアイコン、ID、またはエイリアスが表示されます。

5.6.7

優先通話

優先通話を使用すると、システムは、すべてのチャネルがビジー状態のとき、優先通話ではない通話のいずれかを阻止し、高優先の通話を開始することができます。

すべてのチャネルが高優先の通話で占有されている場合は通話を阻止せず、要求されている高優先度の通話を通話キューに入れます。システムが、要求されている高優先度の通話を通話キューに入れられない場合は失敗の通知を発します。

優先通話のデフォルト設定は、事前に設定されています。プログラム可能ボタンを押して、通常の優先度と高優先を切り替えます。以下の機能を使用する場合、通話の優先度は自動的に事前設定されていたレベルに戻ります。

- すべての音声通話

- DMR III テキスト メッセージ/テキスト メッセージ
- ワーク チケット
- リモート モニタ

優先通話の種類は以下のとおりです。

高優先

無線機には、[つぎのつうわ: [高優先]]と表示されます。

無線機のディスプレイ上部に 通話優先度: 高 アイコンが表示されます。

次の通話: 通常優先の音声ガイドが流れます。

通常優先

無線機には、[つぎのつうわ: [通常優先]]と表示されます。

通話優先度: 高 アイコンが消えます。

次の通話: 通常優先の音声ガイドが流れます。

5.6.8

グループ スキャン

この機能を使用すると、無線機では、受信グループ リストに定義されているグループのコールをモニタし、これに参加できます。

スキャンが有効になっていると、受信グループ リストのメンバーに対しては、無線機のミュートが解除されます。

スキャンが無効になっていると、無線機は受信グループ リストのメンバーからの通話を、一斉コール、常設グループ、および選択されているグループの場合を除いて受信できません。

5.6.8.1

グループ スキャンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でグループ スキャンのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [スキャン] に移動します。  を押して選択します。
- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 -  または  を押して [オン] に移動します。  を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して「オフ」に移動します。

 を押して選択します。

スキャンが有効になっている場合:

- ディスプレイに「スキャン オン」と【スキャン】アイコンが表示されます。
- 黄色の LED が点滅します。
- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

スキャンが無効になっている場合:

- ディスプレイに「スキャン オフ」と表示されます。
- 【スキャン】アイコンが消えます。
- LED がオフになります。
- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

5.6.9

受信グループ リスト

受信グループ リストは、グループ スキャン リストのメンバーの作成と割り当てができる機能です。

このリストは無線機がプログラムされる場合に作成され、このリストによって、スキャンできるグループが決まりま

す。お使いの無線機は、このリストに含まれる 16 名まで対応できます。

無線機がスキャン リストを編集するようにプログラムされていると、次のことが可能です。

- グループの追加/削除。
- グループの優先度の追加、削除、編集。「[グループの優先度の設定 ページ 118](#)」を参照してください。
- 加入グループの追加、削除、編集。「[加入グループの追加 ページ 119](#)」および「[加入グループの削除 ページ 120](#)」を参照してください。
- 既存のスキャン リストの新しいスキャン リストへの置き換え。

グループが常設グループとしてプログラムされていると、グループはスキャン リストから編集できません。



重要:

リストにメンバーを追加するには、最初は無線機でグループを設定する必要があります。



注記:

受信グループ リストは、システム管理者がプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.6.10

優先度モニタ

優先度モニタ機能を使用すると、無線機は、グループコール中でも優先度の高いグループからのコールを受信すると、自動的にコールを切り替えます。

無線機は、優先度の低いグループのコールを止めて、優先度の高いグループのコールに切り替えます。



注記：

この機能は、グループ スキャン機能が有効な場合にのみアクセスできます。

優先度モニタ機能は、受信グループ リストに含まれるメンバーのみに適用されます。優先度グループには、優先度 1 (P1) と優先度 2 (P2) の 2 つがあります。P1 が P2 よりも優先します。Capacity Max システムでは、無線機は次の優先順序に従って通話を受信します。

- 1 P1 グループの緊急コール
- 2 P2 グループの緊急コール
- 3 受信グループ リスト内の非優先グループの緊急コール
- 4 一斉通話
- 5 P1 グループ コール
- 6 P2 グループ コール

7 受信グループ リスト内の非優先グループ

スキャン リスト内のグループの優先度を追加、削除、編集する方法の詳細については、「[グループの優先度の設定 ページ 118](#)」を参照してください。



注記：

この機能は、システム管理者がプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.6.10.1

グループの優先度の設定

グループ スキャン メニューで、グループの優先度を表示または編集できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「スキャン」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して「リストへんしゅう」に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なグループに移動します。  を押して選択します。

現在の優先度は、グループの隣の【ゆうせん1】または【ゆうせん2】アイコンで示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して【ゆうせんど】に移動します。  を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要な優先度に移動します。  を押して選択します。

別のグループが優先度1または優先度2に割り当てられている場合、現在の優先度を上書きするように選択できます。ディスプレイに【うわがき?】が表示されたら、▲ または ▼ を押して次のオプションに移動します。

- 前の手順に戻るには、【いいえ】に移動します。
- 上書きするには、【はい】に移動します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、前の画面に戻ります。優先度アイコンがグループの隣に表示されます。

5.6.11

複数グループの加入

無線機に1サイトに最大7つのグループを設定できます。

受信グループ リスト内の16グループのうち、最大7つのグループを加入グループとして割り当てできます。選択したグループおよび優先度グループは、自動的に加入として処理されます。

5.6.11.1

加入グループの追加

下記の手順に従って、加入グループを追加します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【スキャン】に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して【リストへんしゅう】に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なグループ ID またはエイリアスに移動します。Ⓜ を押して選択します。

加入ステータスが「リストへんしゅう」に表示されます。ディスプレイには、選択したグループ ID またはエイリアスの隣に ■ が表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して「加入の編集」に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して「オン」に移動します。
Ⓜ を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して「オフ」に移動します。
Ⓜ を押して選択します。

「オン」を選択すると、グループ ID またはエイリアスの隣に ■ が表示されます。

加入が正常に行われると、ディスプレイには、選択したグループ ID またはエイリアスの隣に ✓ が表示されます。

加入が正常に行われなかった場合、グループ ID またはエイリアスの隣には、そのまま ■ が表示されます。



注記：

スキャン リストで、加入グループを最大限の 7 つ選択すると、無線機に「リストがまんぱい」と表示されます。新しい加入グループを選択するには、加入された既存のグループを削除して、新たに追加するグループのために場所を空けます。詳細については、「[加入グループの削除 ページ 120](#)」を参照してください。

5.6.11.2

加入グループの削除

加入リストが満杯のときに新しい加入グループを選択するには、加入された既存のグループを削除して、新たに追加するグループのために場所を空けます。下記の手順に従って、加入グループを削除します。

- Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して「スキャン」に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して「リストへんしゅう」に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なグループ ID またはエイリアスに移動します。☎ を押して選択します。

加入ステータスが『リストへんしゅう』に表示されます。ディスプレイには、選択したグループ ID またはエイリアスの隣に ■ が表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して『加入の編集』に移動します。☎ を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『オフ』に移動します。☎ を押して選択します。
『オフ』を選択すると、グループ ID またはエイリアスの隣の ■ が消えます。

5.6.12

トークバック

トークバック機能を使用すると、スキヤンの実行中に送信に応答できます。

選択可能なグループ スキャン リストで通話をスキャンしていて、その通話中に **[PTT]** ボタンを押した場合、無線機の動作は、無線機のプログラミングの間にトークバックが

有効だったか無効だったかに応じて決まります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

トークバック無効

無線機がスキャンされた通話を終了し、現在選択されているチャンネル位置の連絡先名に基づいて送信を行います。現在選択されている連絡先のコール ハング タイムの期限が切れた後、無線機はホーム チャンネルに戻り、スキャン ハング タイム タイマーを開始します。スキャン ハング タイム タイマーの期限が切れた後、無線機はグループ スキャンを再開します。

トークバック有効

スキャンされた通話のグループ ハング タイム中に **PTT** ボタンを押すと、無線機はスキャン グループへの送信を試みます。



注記:

現在選択されているゾーン内のチャンネル位置に割り当てられていないグループに対する通話をスキャンしていて、通話が終了した場合、適切なゾーンに切り替えてから、グループのチャンネル位置を選択し、そのグループにトーク バックします。

5.6.13

【リモート モニタ】

この機能を使用して、特定の無線機のエイリアスまたは ID を持つターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

開始されると、ターゲットの無線機で緑色の LED が 1 回点滅します。この機能は、プログラムされた期間、または相手の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したとき、自動的に停止します。

5.6.13.1

リモート モニタの開始

下記の手順に従って、無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 プログラムされた【リモート モニタ】ボタンを押します。
-

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓢ を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

-
- 3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに「きょうせいモニタ」と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

5.6.13.2

連絡先リストを使用したりモート モニタの開始

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 (Ⓜ) を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。(Ⓜ) を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。(Ⓜ) を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [リモート モニタ] に移動します。(Ⓜ) を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに『きょうせいモニタ』と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.13.3

ダイアルを使用したりリモート モニタの開始

下記の手順に従って、ダイアルを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 (開) を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。(開) を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動します。(開) を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。(開) を押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、(開) を押して処理を続行します。

- 以前にダイアルした ID を編集し、(開) を押して処理を続行します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [リモート モニタ] に移動します。(開) を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- 7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに [きょうせいモニタ] と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.14

連絡先設定

連絡先は、無線機でアドレス帳として機能します。各エントリは、通話を開始するときに使用するエイリアスまたは ID に対応します。エントリはアルファベット順にソートされます。

各エントリは、コンテキストに応じて、次のような別々の通話タイプに関連づけられています。グループ コール、個別通話、ブロードキャスト コール、サイト一斉コール、マルチサイト一斉コール、PC コール、ディスパッチ コール。

PC コールとディスパッチ コールはデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合にのみ利用できます。詳細については、データ アプリケーションのマニュアルを参照してください。

[れんらくさき] メニューでは、各エントリを 1 つのプログラミング可能な数値キーに、複数のエントリをキーパッドマイクに割り当てられます。1 つのエントリが 1 つの数値キーに割り当てられている場合は、そのエントリに対してクイック ダイヤルを実行できます。



注記：
各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。チェックマークが「なし」の前にある場合、その数値キーはエントリに割り当てられていません。

無線機は、最大 1,000 の連絡先リスト メンバーをサポートします。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- 通話タイプ
- 通話エイリアス
- 通話 ID



注記：
デジタル連絡先リストの無線機 ID の追加または編集を行うことができます。加入者 ID を削除できるのは、ディーラーだけです。

あるチャンネルで秘話モード機能が有効であれば、そのチャンネルで、秘話対応のグループ コール、個別コール、一斉コール、および通話を発信することができます。無線機と同一のプライバシー キー、または同一のキー値とキー ID が設定された相手の無線機のみが、送信を復号化できます。

5.6.14.1

プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [キー プログラム] に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 目的の数値キーがエントリに割り当てられていない場合、  または  を押して目的の数値キーに移動します。  を押して選択します。
 - 目的の数値キーがエントリに割り当てられている場合、ディスプレイに [しようちゅうキー] と表

示され、テキスト行の 1 行目に [うわがき?] と表示されます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

 または  を押して [はい] に移動します。

 を押して選択します。

無線機からはポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] およびポジティブ ミニ通知が表示されます。

前の手順に戻るには、  または  を押して [いいえ] に移動します。

5.6.14.2

エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた数値キーを長押しして必要なエイリアスまたは ID に移動します。 [ステップ 4](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [キー プログラム] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [なし] に移動します。  を押して選択します。
テキスト行の 1 行目に、[ぜんキーからさくじょしま
すか] と表示されます。

6 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。  を押して選択します。



注記:

エントリが削除されたら、エントリとそのプログラミングされた数値キー間の関連付けは、削除されます。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] と表示されます。

前のメニューに自動的に戻ります。

5.6.14.3

新規連絡先の追加

下記の手順に従って、無線機で新規連絡先を追加します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [しんき とうろく] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して、連絡先タイプを「むせん リスト」または「電話 リスト」から選択します。

Ⓢ を押して選択します。

- 5 キーパッドを使用して連絡先番号を入力し、Ⓢ を押して先に進みます。

- 6 キーパッドを使用して連絡先名を入力し、Ⓢ を押して先に進みます。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要な着信音タイプに移動します。Ⓢ を押して選択します。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.15

通話インジケータ設定

この機能を使用すると、通話やテキスト メッセージの着信音を設定できます。

5.6.15.1

128

着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用) Ⓢ

下記の手順に従って、無線機で個別コール受信時の着信音のオンとオフを切り替えます。

- 1 Ⓢ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。Ⓢ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。Ⓢ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して「トーン/アラート」に移動します。Ⓢ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して「ちゃくしんおん」に移動します。Ⓢ を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『こべつコール』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

個別コールの着信音がオンの場合は、『オン』の隣に ✓ が表示されます。

個別コールの着信音がオフの場合は、『オフ』の隣に ✓ が表示されます。

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して『オフ』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が『オフ』の隣に表示されます。
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が『オフ』の隣に表示されません。

着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用) Ⓜ

下記の手順に従って、無線機でテキストメッセージ受信時の着信音のオン/オフを切り替えます。

- Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5.6.15.2

- 6 ▲ または ▼ を押して『テキスト メッセージ』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して『オフ』に移動します。
Ⓜ を押して選択します。
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が『オフ』の隣に表示されます。

以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が『オフ』の隣に表示されません。

着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『ページング』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

5.6.15.3

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。
 (☎) を押して選択します。
 ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。
- ▲ または ▼ を押して「オフ」に移動します。
 (☎) を押して選択します。
 以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されます。
 以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が「オフ」の隣に表示されません。
- すべての通話の削除
- 詳細の表示

5.6.16.1

最近の通話の表示

- (☎) を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して「つうわ りれき」に移動します。
 (☎) を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して優先リストに移動します。
 オプションは「ふざいちゃくしん」、「へんとうずみ」、および「はっしん」リストです。
 (☎) を押して選択します。
 ディスプレイに最近のエントリが表示されます。
- ▲ または ▼ を押してリストを表示します。
 PTT ボタンを押すと、現在ディスプレイに表示されているエイリアスまたは ID で、通話を開始できます。

5.6.16

通話履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。最近の通話の表示および管理を行うには、通話履歴機能を使用します。

お使いの無線機のシステム設定に応じて、不在着信アラートを通話履歴に含めることができます。各通話リストでは次のタスクを実行できます。

- 連絡先へのエイリアスまたは ID の保存
- 通話の削除

5.6.16.2

通話リストからのエイリアスまたは ID の保存

下記の手順に従って、通話リストから無線機にエイリアスまたは ID を保存します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して『つうわ りれき』に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
- 5  または  を押して『ほかん』に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 6 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。 
を押して選択します。

エイリアスなしで ID を格納することができます。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.16.3

通話リストからの通話の削除

下記の手順に従って、通話リストから通話を削除します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して『つうわ りれき』に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。
リストが空の場合:
 - トーンが鳴ります。

- ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「Delete Entry?」(エントリをさくじょ?) に移動します。  を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して「はい」を選択してエントリを削除します。
ディスプレイに「にゅうりよくさくじょずみ」と表示されます。
 - ▲ または ▼ を押して「いいえ」に移動します。  を押して選択します。
前の画面に戻ります。
-

通話リストの詳細の表示

下記の手順に従って、無線機で通話の詳細を表示します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「つうわ りれき」に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「しょうさい」に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに通話の詳細が表示されます。

5.6.17

ページング操作

ページング機能により、相手が応答できる状態になったらかけ直すよう、特定の無線機ユーザーに警告できます。

この機能は、無線機のエイリアスまたは ID のみに適用され、メニューから [れんらくさき] または [ダイヤル] を選択するか、プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンからアクセスできます。

Capacity Max では、ページング機能を使用して、無線機のユーザーまたはディスパッチャが別の無線機ユーザーにアラートを送信し、時間があるときに発信ユーザーにコールバックするよう依頼することができます。本機能は音声通信を使用しません。

ディーラーまたはシステム管理者はページング操作を以下の 2 つの方法により設定できます。

- **PTT** ボタンを押したときに、個別コールにして通話発信者に直接応答できるように、無線機を設定する。
- **PTT** ボタンを押したときに、他のグループとの通信を継続できるように、無線機を設定する。ページング エントリで **PTT** ボタンを押しても、ユーザーは通話発信者に応答できません。[通話履歴] メニューの不在着信履歴オプションに移動して、ここからページングに応答する必要があります。

OACSU (Off Air Call Set-Up) 個別コールを使用すると、ユーザーは迅速に応答できますが、FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) 個別コールでは、通話にユーザーの確認応答が必要になります。そのため、ページング機能には OACSU タイプの通話を使用することが推奨されています。[個別コール ページ 74](#) を参照してください。

5.6.17.1

ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに通知リストが表示され、ページングとともに、呼び出し元無線機のエイリアスまたは ID が示されます。

ディーラーまたはシステム管理者の設置に応じて、以下の 1 つを行うことによりページングに応答できます。

- **PTT** ボタン押し、個別コールを使って発信者に直接応答します。
- **PTT** ボタン押し、通常のグループ通信を継続します。

ページングは通話履歴メニューの不在着信履歴オプションに移動します。不在着信履歴から発信者に応答できます。

詳しくは、「[通知リスト ページ 172](#)」および「[通話履歴機能 ページ 131](#)」を参照してください。

5.6.17.2

ページングの発信

下記の手順に従って、無線機でページングを発信します。

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

ディスプレイに「ページング」と無線機のエイリアスと ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 2 確認応答を待ちます。

ページング承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

ページング承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.17.3

連絡先リストを使用したページングの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機のエイリアスまたは ID を直接選択します。
 または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
- [ダイヤル] メニューを使用します。
 または  を押して [ダイヤル] に移動します。  を押して選択します。
 または  を押して [むせん リスト] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに [むせん ID:] と表示されます。カーソルが点滅します。ページングの送

り先無線機の ID を入力します。Ⓢ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ページング』に移動します。Ⓢ を押して選択します。

ディスプレイに『ページング』と無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 5 確認応答を待ちます。

- 承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- 承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.18

動的な発信者のエイリアス

この機能を使用すると、発信者のエイリアスを無線機の前面パネルから動的に編集できます。

通話中は、受信無線機に送信無線機の発信者のエイリアスが表示されます。

[発信者のエイリアス] リストには、送信無線機の発信者のエイリアスを最大 500 件保存できます。個別コールを [発信者のエイリアス] リストから表示または発信できます。無線機の電源を切ると、発信者のエイリアスの受信履歴が [発信者のエイリアス] リストから削除されます。

5.6.18.1

無線機の電源を入れた後に発信者のエイリアスを編集する

- 1 無線機の電源を入れます。

- 2 新しい発信者のエイリアスを入力します。Ⓢ を押して次の操作へ進みます。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。



注記：

通話中は、受信無線機に新しい発信者のエイリアスが表示されます。

5.6.18.2

発信者のエイリアスをメインメニューから編集する

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [きき じょうほう] に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して [ID] に移動します。  を押して選択します。
- 5  を押して次の操作へ進みます。
- 6  または  を押して [へんしゅう] に移動します。  を押して選択します。

7

新しい発信者のエイリアスを入力します。  を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。



注記：

通話中は、受信無線機に新しい発信者のエイリアスが表示されます。

5.6.18.3

発信者のエイリアス リストを表示する

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、発信者のエイリアスの詳細の送受信を表示できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [はっしんしゃエイリアス] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して優先リストに移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動します。 を押して選択します。

5.6.18.4

個別コールを発信者のエイリアス リストから開始

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、個別コールを開始できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『はっしんしゃエイリアス』に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して <[必要な発信者のエイリアス]> に移動します。
- 4 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。

5.6.19

ミュート モード

ミュート モードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュート モードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュート モードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。



重要：

一度に有効にできるのは、フェイス ダウンかマン ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

5.6.19.1

ミュート モードの有効化

下記の手順に従って、ミュート モードを有効にします。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- この機能には、プログラムされた【ミュート モード】ボタンからアクセスします。
- 無線機の前面を 1 回だけ下に向けると、この機能にアクセスできます。

無線機のモデルによっては、フェイス ダウン機能はラジオ メニューを使用して有効にするか、システム管理者が有効にします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



重要：

一度に有効にできるのは、マンダウンとフェイス ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。



注記：

フェイス ダウン機能は、SL2K のみに該当します。

ミュート モードを有効にすると、次のことが発生します。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「ミュート モード オン」と表示されます。
- 赤色の LED ライトの点滅が開始し、ミュート モードが終了するまで点滅したままになります。
- ディスプレイのホーム画面に【ミュート モード】アイコンが表示されます。
- 無線機がミュートになります。
- ミュート モード タイマーが、設定された時間のカウントダウンを開始します。

5.6.19.2

ミュート モード タイマーの設定

ミュート モード タイマーを設定すると、事前設定した所定の時間の間、ミュート モード機能を有効にすることができます。タイマーの時間は、無線機メニューで 0.5 ～ 6 時間の範囲内に設定できます。ミュート モードは、タイマーの時間が切れると終了します。

タイマーを 0 のままにすると、無線機の前面を上向きにするか、プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押すまで、無線機は無期限にミュート モードのままになります。



注記：

フェイス ダウン機能は、SL2K のみに該当します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ミュート タイマー』に移動します。 (M) を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して各桁の数値を編集し、(M) を押します。

5.6.19.3

ミュート モードの終了

この機能は、ミュート モード タイマーの時間が切れると、自動的に終了します。

ミュート モードを手動で終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押します。
- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。
- 無線機の前面を 1 回だけ上に向けます。



注記：
フェイス ダウン機能は、SL2K のみに該当します。

ミュート モードを無効にすると、次のことが発生します。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ミュート モード オフ』と表示されます。
- 点滅する赤い LED が消灯します。
- ホーム画面から【ミュート モード】アイコンが消えます。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカーが元の状態に戻ります。
- タイマーの時間が切れていない場合、ミュート モード タイマーが停止します。



注記：
ユーザーが音声を送信した場合や、プログラムされていないチャンネルに切り替えた場合も、ミュート モードは終了します。

5.6.20

緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使用されます。いつでも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。

Capacity Max では、受信中の無線機は一度に 1 つのみの緊急アラームをサポートできます。2 つ目の緊急アラームが開始されると、1 つ目のものより優先されます。

緊急アラームを受信したときに、受信者はアラームを削除してアラーム リストを終了することも、**PTT** ボタンを押して非緊急の音声を送信して緊急アラームに応答することもできます。

ディーラーまたはシステム管理者は、プログラムされた【緊急】ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 ～ 0.75 秒の間

長押し

1.00 ～ 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。



注記：

緊急ボタンの短押しに緊急モードのオンを割り当てると、緊急ボタンの長押しには緊急モードの終了が割り当てられます。

緊急ボタンの長押しに緊急モードのオンを割り当てると、緊急ボタンの短押しには緊急モードの終了が割り当てられます。

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム

また、各アラームには以下のタイプがあります。

レギュラー

無線機がアラーム信号を送信し、音声インジケータと視覚的インジケータのいずれかまたは両方で示されます。

サイレント

無線機がアラーム信号を送信しますが、音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。プログラムされた【ホット マイク】送信時間が終了するか、**PTT** ボタンが押されるまで、スピーカから音が漏れることなく通話を受信します。

音声付きサイレント

音声または視覚的インジケータなしにアラーム信号を送信しますが、着信通話の音はスピーカから聞こえます。ホット マイクが有効な場合、プログラムされたホット マイク送信時間の終了後に着信通話の音がスピーカから聞こえます。**PTT** ボタンを押した場合にのみ、インジケータが表示されます。



注記：

上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムされた **[緊急]** ボタンに割り当てることができます。

- ディスプレイに「Tx アラーム」および宛先のエリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。**[緊急]** アイコンが表示されます。



注記：

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンはディーラーまたはシステム管理者がプログラムできます。

5.6.20.1

緊急アラームの送信

この機能では、音声信号ではない緊急アラームを送信します。この機能を使用して、無線機グループにアラートを通知できます。下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

次のように表示されます。

- 2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに「アラームそうしん」と表示されます。

再試行がすべて失敗して処理が正常に行われなかった場合：

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「アラーム NG」と表示されます。

緊急アラーム モードが終了し、ホーム画面に戻ります。



注記：

緊急アラームのみに構成されている場合、緊急プロセスは緊急アラームの提供からのみ構成されます。緊急状態は、システムから確認を受けるか、チャネル アクセスの試行回数を終わると終了します。

緊急アラームのみとして機能する場合、音声通話は緊急アラームの送信に関連付けられません。

5.6.20.2

通話による緊急アラームの送信

この機能では、通話による緊急アラームを無線機グループまたはディスパッチャに送信します。グループ内のインフラストラクチャから確認応答があると、無線機グループは、プログラムされた緊急チャネルで通信できます。

無線機は、アラーム プロセス後に緊急通話を行うために、緊急アラームと通話を設定しておく必要があります。

1 プログラムされた [緊急オン] ボタンを押します。

「Tx アラーム」および宛先のエイリアスが表示されます。[緊急] アイコンが表示されます。緑色の LED が点灯します。



注記：

無線機がプログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。

緊急アラームの確認応答の受信に成功すると：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに「アラームそうしん」と表示されます。

緊急アラームの確認応答の受信に失敗すると：

- すべての再試行が終了します。
- 低いトーンが鳴ります。
- ディスプレイに「アラーム NG」と表示されます。
- 無線機が緊急アラーム モードを終了します。

- 2 **PTT** ボタンを押して音声送信を開始します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、[グループコール] アイコンが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ディスプレイに、発信者とグループのエイリアスが表示されます。

- 5 電話に応答するには、[**PTT**] ボタンを押します。

チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [**PTT**] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

- 6 緊急オフ ボタンを押して、緊急モードを終了します。無線機はホーム画面に戻ります。



注記：

通話許可トーンが鳴るかどうかは、無線機のプログラムによって異なります。緊急に関する無線機のプログラム内容の詳細については、無線機のディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

緊急通話の発信者は、 を押して、進行中の緊急通話を終了できます。無線機は通話アイドル状態に戻りますが、緊急通話画面は開いたままです。

5.6.20.3

緊急アラームと音声ガイドの送信

この機能では、緊急アラームと音声ガイドを無線機グループに送信します。無線機のマイクは自動的に有効になり、**PTT** ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。このアクティブな状態のマイクを "ホット マイク" と呼びます。

緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、"ホット マイク" と受信期間が繰り返されます。緊急サイクル モードでは、受信コールの音はスピーカから聞こえます。

プログラムされた受信期間に **PTT** ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、**PTT** ボタンを放す必要があることを示します。**PTT** ボタンが押されたことは無視され、緊急モードが保たれます。

ホット マイク が有効なときに **[PTT]** ボタンを押し、ホット マイク の期限が切れた後もそのまま押し続けていた場合は、**[PTT]** ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接 "ホット マイク" 状態に入ります。



注記:

"ホット マイク" を使用できないアクセサリもあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームと音声ガイドを送信します。

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

次のように表示されます:

- **【Tx アラーム】** および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。緊急アイコンが表示されます。

- 2 ディスプレイに **「アラームそうしん」** と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、"ホット マイク" と通話受信のサイクルの期限が切れた場合。
- 緊急サイクル モードが無効で、"ホット マイク" の期限が切れた場合。

5.6.20.4

緊急アラームの受信

受信側無線機は一度に 1 つのみの緊急アラームをサポートできます。2 つ目の緊急アラームが開始されると、1 つ目のものより優先されます。下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを受信して閲覧します。

緊急アラームを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。

- ディスプレイに、緊急アラーム リスト、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。

1  を押してアラームを表示します。

2  を押し、アラーム リストでアクションのオプションとエントリの詳細を閲覧します。

3 アラーム リストを終了するには、 を押して「はい」を選択します。

無線機はホーム画面に戻り、未解決の緊急アラームを示す【きんきゅうアイコン】が上部に表示されます。アラーム リストのエントリを削除すると、【きんきゅう】アイコンは消えます。

4  を押してメニューにアクセスします。

5 「アラーム」を選択すると、アラーム リストが再表示されます。

緊急アラームへの応答

緊急アラームを受信したときに、受信者はアラームを削除してアラーム リストを終了することも、**PTT** ボタンを押して非緊急の音声を送信して緊急アラームに応答することもできます。下記の手順に従って、無線機で緊急アラームに応答します。

1 緊急アラーム表示が有効になっている場合、無線機が緊急アラームを受信すると、緊急アラーム リストが表示されます。▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。

2 チャネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが離された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示します。緊急アラームの送信先と同じグループに緊急でない音声を転送するには、**[PTT]** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

緊急操作を開始した無線機が応答する場合:

- 赤色の LED が点滅します。
- テキスト行に、[きんきゅうつうわ] アイコン、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。



注記:

緊急通話表示が有効になっていない場合、ディスプレイに、[きんきゅうつうわ] アイコン、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。

示のみが有効になっている場合、緊急通話トーンは鳴りません。

- テキスト行に、[きんきゅうつうわ] アイコン、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

- 1 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

緊急操作を開始した無線機が応答する場合:

- 赤色の LED が点滅します。
- テキスト行に、[きんきゅうつうわ] アイコン、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発

5.6.20.6

通話による緊急アラームへの応答

下記の手順に従って、無線機で通話による緊急アラームに応答します。

緊急通話を受信した場合:

- 緊急通話表示および緊急通話復号化トーンが有効になっている場合、緊急通話トーンが鳴ります。緊急通話表

信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。



注記：
緊急通話表示が有効になっていない場合、ディスプレイに、[きんきゅうつうわ] アイコン、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。



注記：
[緊急キャンセル] 設定が送信無線機で有効になっている場合は、受信無線機の緊急アラームが停止して、ステータスが受信無線機の [アラーム リスト] に追加されます。

5.6.20.7

緊急モードの終了

プログラムされた [緊急オフ] ボタンを押します。

無線機には次の通知が表示されます。

- トーンが停止しました。
- 赤色の LED が消灯しました。
- 確認を受信すると、送信無線機のディスプレイに『キャンセルせいかう』と表示されます。確認が受信されない場合は、ディスプレイに『キャンセルしっぱい』と表示されます。

5.6.21

ステータス メッセージ

この機能を使用すると、ステータス メッセージを他の無線機に送信できます。

CPS-RM を使用してクイック ステータス リストを設定し、最大 99 のステータスを含めることができます。

各ステータス メッセージの最大長は、16 文字です。



注記：
各ステータスには、対応する 0 ～ 99 の範囲のデジタル値があります。簡単に参照できるように、各ステータスにエイリアスを指定できます。

5.6.21.1

ステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、ステータス メッセージを送信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『ステータス』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『クイック ステータス』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して、必要な無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示された後、『クイック ステータス』画面に戻ります。

- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に  が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、『クイック ステータス』画面に戻ります。

5.6.21.2

プログラム可能ボタンを使用したステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、プログラム可能ボタンを使用してステータス メッセージを送信します。

- 1 プログラムされた【ステータス メッセージ】ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 を押して選択します。連絡先リストが表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、必要な無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID に移動します。 (船) を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。
- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。

5.6.21.3

連絡先リストを使用したステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、連絡先リストを使用してステータス メッセージを送信します。

- 1 (船) を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「れんらくさき」に移動します。 (船) を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して、必要な無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID に移動します。 (船) を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して「ステータス送信」に移動します。 (船) を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 (船) を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。
- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。

5.6.21.4

ダイアルを使用したステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、ダイアルを使用してステータス メッセージを送信します。

- 1 ④ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動します。④ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動します。④ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。④ を押して選択します。

- 5 必要な無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を入力し、④ を押して処理を続行します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [ステータス送信] に移動します。④ を押して選択します。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。④ を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。

- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。

5.6.21.5

ステータス メッセージの表示

下記の手順に従って、ステータス メッセージを表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [ステータス] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [じゅしん BOX] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。  を押して選択します。

ステータス メッセージの内容が、無線機ของผู้に表示されます。

受信したステータス メッセージは、通知リストにアクセスしても表示できます。詳細については、「[通知リスト ページ 172](#)」を参照してください。

5.6.21.6

ステータス メッセージへの応答

下記の手順に従って、ステータス メッセージに応答します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [ステータス] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [じゅしん BOX] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

5 ステータスの内容が表示されます。 (Ⓢ) を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して「へんしん」に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、「じゅしん BOX」画面に戻ります。
- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、「じゅしん BOX」画面に戻ります。

5.6.21.7

ステータス メッセージの削除

下記の手順に従って、ステータス メッセージを無線機から削除します。

1 (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「ステータス」に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

5 ステータスの内容が表示されます。Ⓢを押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。Ⓢを押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。Ⓢを押して選択します。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、『じゅしん BOX』画面に戻ります。

3 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動します。Ⓢを押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『ぜんさくじょ』に移動します。Ⓢを押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。Ⓢを押して選択します。

- ディスプレイに『リストにありません』と表示されます。

5.6.21.8

すべてのステータス メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機からすべてのステータス メッセージを削除します。

1 Ⓢを押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『ステータス』に移動します。Ⓢを押して選択します。

5.6.22

テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからテキスト メッセージなどのデータを受信できません。

テキスト メッセージには、デジタル車載型無線機 (DMR) ショートテキスト メッセージと、テキスト メッセージの 2 種類があります。DMR ショート テキスト メッセージの最大長は 23 文字です。テキスト メッセージの最大長は、件名を含めて 280 文字です。件名は、電子メール アプリケー

ションからメッセージを受信した場合にのみ表示されます。



注記：

この最大長は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、最大長は 140 文字です。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

5.6.22.1

クイック テキスト メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で事前に定義したクイック テキスト メッセージを事前に定義したエイリアスに送信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
-
- 2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。
-

- 3 ▲ または ▼ を押して【クイック テキスト】に移動します。 を押して選択します。
-

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なクイック テキスト メッセージに移動します。 を押して選択します。
必要に応じて、キーパッドを使用してメッセージを編集します。
-

- 5 メッセージの編集が終わったら  を押します。
-

- 6 以下の手順で受信者を選択し、メッセージを送信します。

- a ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
- b ▲ または ▼ を押して【ダイアル】に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイの最初の行に【むせん ID:】が表示され、点滅するカーソルが 2 行目に表示されます。

- c 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

テキスト メッセージの再送信

「さいそうしん」オプション画面が表示されている場合:

 を押して、同じ無線機、グループのエイリアス、または ID に、同じメッセージを再送信します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機で「さいそうしん」オプション画面が再び表示されます。

5.6.22.2

5.6.22.3

テキスト メッセージの転送

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージを転送します。

「さいそうしん」オプション画面が表示されている場合:

- 1 ▲ または ▼ を押して「てんそう」に移動し、を押して同じメッセージを別の無線機またはグループのエイリアスまたは ID に送信します。

- 2 以下の手順に従ってメッセージ受信者を選択します。

- a ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。を押して選択します。

- b ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動します。を押して選択します。

ディスプレイの最初の行に「むせん ID:」が表示され、点滅するカーソルが 2 行目に表示されます。

- c 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、を押します。

ディスプレイに「メッセージ: <無線機/グループのエイリアスまたは ID>」が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.22.4

テキスト メッセージの編集

〔へんしゅう〕を選択してメッセージを編集します。



注記：

件名行が存在する場合 (電子メール アプリケーションから受信したメッセージの場合)、この行は編集できません。

- 1 ▲ または ▼ を押して〔へんしゅう〕に移動します。Ⓢを押して選択します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
- 2 キーパッドを使用してメッセージを編集します。
 - ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
 - ▶ または [Ⓢ#] を押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
 - [★←] を押して、不要な文字を削除します。

- [Ⓢ#] を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

-
- 3 メッセージが完成したら、Ⓢを押します。

-
- 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して〔そうしん〕に移動し、Ⓢを押してメッセージを送信します。
- ▲ または ▼ を押して〔ほぞん〕に移動し、Ⓢを押してメッセージを下書きフォルダに保存します。
- [↶] を押してメッセージを編集します。
- [↶] を押してメッセージを削除するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

5.6.22.5

テキスト メッセージへの応答

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージに応答します。

テキスト メッセージを受信する場合:

- ディスプレイに通知リストが表示され、送信者のエイリアスまたは ID が示されます。
- ディスプレイに【メッセージ】アイコンが表示されます。



注記:

PTT ボタンが押されると、警告画面が終了し、送信者への個別コールまたはグループ コールが開始されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して【ひょうじ】に移動します。Ⓢ を押して選択します。
ディスプレイにテキスト メッセージが表示されます。メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

- ▲ または ▼ を押して【あとでひょうじ】に移動します。Ⓢ を押して選択します。
テキスト メッセージを受信する前の画面に戻ります。
- ▲ または ▼ を押して【さくじょ】に移動します。Ⓢ を押して選択します。

2



を押して [じゅしん BOX] に戻ります。

5.6.22.6

テキスト メッセージの表示

1

Ⓢ を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。Ⓢ を押して選択します。

3

▲ または ▼ を押して【じゅしん BOX】に移動します。Ⓢ を押して選択します。
受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。
- キー操作音がオンであればトーンが鳴ります。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。
- メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

5.6.22.7

受信 BOX からのテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からテキスト メッセージを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。 [ステップ 3](#)に進みます。
 - (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して【じゅしん BOX】に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。
- 受信 BOX が空の場合:
- ディスプレイに「List Empty」と表示されます。
 - トーンが鳴ります。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。
- メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

- 5 (Ⓢ) を押してサブメニューにアクセスします。

- 6 ▲ または ▼ を押して【Delete】に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

- 7 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。画面は [受信トレイ] に戻ります。

5.6.22.8

受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除 Ⓜ

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からすべてのテキスト メッセージを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
 - Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに『List Empty』と表示されます。
- トーンが鳴ります。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ぜんさくじょ』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.23

プライバシー

この機能は、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐの

に役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信、つまりスクランブルされていない送信を引き続き受信できます。

無線機では、拡張プライバシーのみを使用できます。秘話対応の通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同じスクランブル秘話モード用キー値およびキー ID を無線機にプログラムする必要があります。

無線機が別のキー値およびキー ID によるスクランブル通話を受信すると、スクランブル秘話では何も聞こえません。

無線機のプログラム方法に応じて、秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな通話、つまりスクランブルされていない通話を受信できます。さらに、無線機のプログラム方法に応じて、警告音を鳴らすことも鳴らさないこともできます。

無線機に秘話モードが割り当てられている場合、無線機が緊急通話または緊急アラームを送受信している場合を除き、ホーム画面に【セキュア】アイコンまたは【非セキュア】アイコンが表示されます。

無線機が送信しているとは、緑色の LED が点灯します。無線機が進行中の秘話対応通話を受信しているときは、LED が素早く点滅します。



注記：

無線機のモデルによっては、この秘話モード機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.6.23.1

秘話モードのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で秘話モードのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ひわモード】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して【Utilities】に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ひわモード] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。Ⓜ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。Ⓜ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

5.6.24

応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通話に応答しないようにすることができます。



注記：
無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通話に应答して送信通話を生成しません (無線機チェック、ページング、無線停止、リモート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答、および GNSS 位置報告の送信など)。

この機能が有効になっていると、無線機は個別コールの確認を受信できません。ただし、無線機で手動による送信を行うことはできます。

5.6.24.1

応答禁止の有効化または無効化

無線機の応答禁止を有効または無効にするには、次の手順に従います。

プログラムされた [おうとうきんし] ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

5.6.25

機能停止/復帰

この機能では、システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。たとえば、ディーラーやシステム管理者が、盗難にあった無線機を無効にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機を回収したら有効にしたい場合があります。

無線機を無効化 (機能停止) または有効化 (復帰) するには、コンソールを使用するか、別の無線機が開始したコマンドを使用します。

無線機が無効になると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ホーム画面に「チャンネルきょひ」と表示されます。

無線機が機能停止状態の場合、受信機は機能停止手順が実行されたシステムでユーザーが開始したあらゆるサービスを要求または受信できません。ただし、無線機は別のシステムに切り替えることができます。機能停止状態であっても、無線機は GNSS 位置報告を送信し続けるので、リモートでモニタできます。



注記:

ディーラーやシステム管理者は、無線機を永久に無効にすることができます。詳細については、「[無線終了 ページ 169](#)」を参照してください。

5.6.25.1

無線機の機能停止

下記の手順に従って、無線機を無効にします。

1 プログラムされた [無線停止] ボタンを押します。

2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓢ を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.25.2

連絡先リストを使用した無線機の機能停止

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんていし] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。 緑色の LED が点滅します。

- 5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.25.3

ダイヤルを使用した無線機の機能停止

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して [ダイヤル] に移動します。 を押して選択します。
- 4 無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。
- 5  または  を押して [むせんていし] に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.25.4

無線機の復帰

下記の手順に従って、無線機を有効にします。

- 1 プログラムされた [停止解除] ボタンを押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイに『ていしかいじょ』および無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ていしかいじょ』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

緑色の LED が点滅します。

ディスプレイに『ていしかいじょ』および無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ていしかいじょかんりょう』と表示されます。

正常に行われなかった場合:

5.6.25.5

連絡先リストを使用した無線機の復帰

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を有効にします。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ていしかいじょしっぱい』と表示されます。

5.6.25.6

ダイヤルを使用した無線機の復帰

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を有効にします。

- 1 (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。(Ⓢ) を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動します。(Ⓢ) を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『こべつコール』に移動します。(Ⓢ) を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に『むせん ID:』と表示されます。

- 5 無線機の ID を入力し、(Ⓢ) を押して先に進みます。

- 6 ▲ または ▼ を押して『ていしかいじょ』に移動します。(Ⓢ) を押して選択します。

緑色の LED が点滅します。

ディスプレイに『ていしかいじょ』および無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ていしかいじょかんりょう』と表示されます。

正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ていしかいじょしっぱい』と表示されます。

5.6.26

無線終了

この機能は、無線機への不正アクセスを制限するための拡張セキュリティ対策です。

無線終了を使用すると、無線機が操作不能になります。たとえば、盗まれた無線機や誤って配置された無線機が不正に使用されるのを防ぐために、ディーラーが無線機を終了したい場合があります。

電源を入れると、終了済みの無線機の画面に一時的に『むせんしゅうりょうずみ』が表示され、終了済み状態であることが示されます。



注記：

終了済みの無線機は、Motorola Solutions のサービスステーションでのみ復帰させることができます。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

5.6.27

ローン ワーカー

この機能は、事前に定義された期間に、無線機のボタンの押下やチャンネル セレクタの使用などのユーザー操作がない場合に、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前に定義された通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合、無線機はディーラーがプログラムした緊急状況を開始します。

5.6.28

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力するように求められます。

無線機では、4 桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。

5.6.28.1

パスワードを使用した無線機へのアクセス

無線機の電源を入れます。

1 4桁のパスワードを入力します。

a 各桁の数値を編集するには、▲ または ▼ を押します。次の桁を入力して移動するには、Ⓢ を押します。

2 Ⓢ を押してパスワードを確認します。

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源が入ります。

1回目と2回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ・ トーンが鳴り続けます。
- ・ ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されます。

ステップ1を繰り返します。

3回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ・ トーンが鳴ります。
- ・ 黄色のLEDが2回点滅します。
- ・ ディスプレイに「パスワードふてきごう」に続き、「むせんきロックずみ」と表示されます。
- ・ 無線機は15分間ロック状態になります。



注記：

ロック状態の無線機は、オン/オフ/音量コントロールノブおよびプログラムされた【バックライト】ボタンからの入力にのみ反応します。

ロック状態の15分タイマーが終了するのを待ってから、[ステップ1](#)を繰り返します。



注記：

無線機の電源を切ってから再度入ると、15分タイマーが再起動します。

5.6.28.2

ロック状態の無線機をロック解除する

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。下記の手順に従って、ロック状態の無線機をロック解除します。

以下のいずれか1つの手順を実行します。

- 無線機の電源がオンになっている場合には、15 分待ってから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 170](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。
- 無線機の電源がオフになっている場合には、無線機の電源をオンにします。ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。
トーンが鳴ります。黄色の LED が 2 回点滅します。ディスプレイに「むせんきロックずみ」と表示されます。
15 分待ってから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 170](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。

5.6.28.3

パスワードの変更

下記の手順に従って、無線機でパスワードを変更します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して「パスワード ロック」に移動します。
 を押して選択します。

- 5 現在の 4 桁のパスワードを入力し、 を押して次に進みます。
パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

- 6 ▲ または ▼ を押して「パスワード ヘンコウ」に移動します。
 を押して選択します。

- 7 新しい 4 桁のパスワードを入力し、 を押して次に進みます。

- 8 新しい4桁のパスワードをもう一度入力し、を押して次に進みます。

処理が正常に行われると、ディスプレイに「パスワードへんこうずみ」と表示されます。

処理が正常に行われなかった場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されます。

前のメニューに自動的に戻ります。

5.6.29

通知リスト

無線機には、未読のメッセージ、テレメータメッセージ、不在着信やページングなど、チャンネル上で未読のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが1件以上あると、ディスプレイに【おしらせ】アイコンが表示されます。

リストでは、最大40の未読イベントを使用できます。リストがいっぱいになると、自動的に最も古いイベントが次のイベントで置き換えられます。これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

テキストメッセージ、不在着信、およびページングイベントの場合、通知の最大数は、テキストメッセージで30件、

不在着信またはページングで10件です。この最大数は、個々の機能(JOBチケット、テキストメッセージ、不在着信、またはページング)のリスト容量に応じて異なります。

5.6.29.1

通知リストへのアクセス

下記の手順に従って、無線機で通知リストにアクセスします。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。
 - プログラムされた【通知】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 - を押してメニューにアクセスします。
- 2 を押してメニューにアクセスします。
- 3 ▲ または ▼ を押して【おしらせ】に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なイベントに移動します。 を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

5.6.30

エア接続プログラミング

ディーラーは、物理的に接続せずにエア接続プログラミング (OTAP) 経由で無線機をリモートから更新できます。さらに、一部の設定も OTAP から設定できます。

無線機が OTAP を実行中のときは、緑色の LED が点滅します。

大量データを受信した場合:

- ディスプレイに [大量データ] アイコンが表示されます。
- チャネルがビジー状態になります。
- **PTT** ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。

OTAP が完了した場合 (構成に依存):

- トーンが鳴ります。ディスプレイに [アップデート リセット] と表示されます。電源がオフになってからオンになり、無線機が再起動します。
- [リスタート] または [えんきする] を選択できます。[えんきする] を選択すると、前の画面に戻ります。自動再起動が行われるまで、ディスプレイに [OTAP 遅延タイマー] アイコンが表示されます。

自動再起動後に無線機の電源が入った場合:

- 成功すると、ディスプレイに [ソフト アップデートかんりょう] と表示されます。
- プログラミングの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅し、ディスプレイに [ソフト アップデートしっぱい] と表示されます。



注記:

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、ソフトウェア更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。ソフトウェア更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

更新されたソフトウェア バージョンについては、「[ソフトウェア更新情報のチェック ページ 194](#)」を参照してください。

5.6.31

Wi-Fi 操作

この機能で、Wi-Fi ネットワークをセットアップして接続できます。Wi-Fi は、無線機のファームウェア、コードプラ

グ、言語パックや音声ガイドなどのリソースの更新をサポートします。



注記：
この機能が適用されるモデルは、SL2K のみです。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

お使いの無線機は、WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi および WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi のネットワークに対応しています。

WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi ネットワーク

事前共有キー (パスワード) ベースの認証を使用します。

事前共有キーは、メニューまたは CPS/RM を使用して入力できます。

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワーク

証明書ベースの認証を使用します。

無線機を証明書使って事前設定しておく必要があります。



注記：
WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワークへの接続については、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者により割り当てられます。無線機がど

のようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンの音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



注記：
指定の無線機を使用して、リモートで Wi-Fi をオンまたはオフにできます (指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (個別制御) ページ 175 および指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (グループコントロール) ページ 177 を参照)。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.6.31.1

Wi-Fi のオン/オフの切り替え

- 1 プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンを押します。Wi-Fi のオンまたは Wi-Fi のオフの音声ガイドが聴こえます。
- 2 メニューを使用してこの機能にアクセスします。

- a  メニューにアクセスします を押します。
- b ▲ または ▼ を押して [WiFi] に移動し、 を押して選択します。
- c ▲ または ▼ を押して [WiFi オン] に移動し、 を押して選択します。
- d  を押して、Wi-Fi をオン/オフにします。

Wi-Fi がオンの場合、ディスプレイで [ようこう] の隣に ✓ が表示されます。

Wi-Fi がオフの場合、[ようこう] の隣から ✓ が消えます。

Wi-Fi が有効で、低容量バッテリーが使用されている場合は、電源投入時に次の内容のアラート画面が表示されます。

- ていようりょうバッテリーです!
- Txx しゅつりよく 2 W せいげん Wi-Fi はむこう
- たいおうバッテリーをしようせいげんひきあげ
- おして  をおします。

以下の操作を実行して制限を解除し、3W 操作と Wi-Fi を有効にします。

無線機の電源をオフにし、対応バッテリー (リチウム イオン 1800mAh バッテリー パック (HKNN4013_)、リチウム イオン 2200mAh バッテリー パック (PMNN4459_) またはリチウム イオン 2300mAh バッテリー パック (PMNN4468_) など) に変更します。

Wi-Fi が無効で、低容量バッテリーを使用している場合は、送信出力が 2W に制限されます。

5.6.31.2

指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (個別制御)

個別制御 (1 対 1) でリモートで Wi-Fi のオン/オフを切り替えることができます。



注記:

特定の CPS 設定を持つ無線機のみがこの機能をサポートします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラム可能ボタンを長押しします。キーパッドを使用して ID と  を押して選択します を入力します。ステップ 4 に進みます。

-  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して「れんらくさき」に移動し、 を押して選択します。

3 次に説明する手順のいずれかを実行して、必要な無線エイリアスを選択します。

- 無線機のエイリアスを直接選択します。
 - ▲ または ▼ を押して必要な無線機のエイリアスまたは ID に移動します。
- 「ダイアル」メニューを使用します。
 - ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動し、 を押して選択します。
 - 「むせん ID」を選択し、キーパッドを使用して ID を入力します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して、「WiFi せいぎょ」にアクセスし、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「オン」または「オフ」を選択します。

6  を押して選択します。

成功すると、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

失敗すると、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.31.3

指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (グループコントロール)

グループコントロール (1 対多) でリモートで Wi-Fi のオン/オフを切り替えることができます。



注記：
特定の CPS 設定を持つ無線機のみがこの機能をサポートします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2  または  を押して『れんらくさき』に移動し、
 を押して選択します。

- 3  または  を押して必要な無線機のエイリアスまたは ID を選択します。

- 4  または  を押して、『WiFi せいぎょ』にアクセスし、 を押して選択します。

- 5  または  を押して『オン』または『オフ』を選択します。

- 6  を押して選択します。

処理が正常に行われると、ディスプレイに『せいじょうにそうしん』と表示されます。

失敗すると、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.6.31.4

ネットワーク アクセス ポイントへの接続

Wi-Fi をオンにすると、無線がネットワーク アクセス ポイントに接続します。



注記：
また、メニューからもネットワーク アクセス ポイントに接続できます。

WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークのアクセス ポイントは、事前に設定されています。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Wi-Fi」に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「ネットワーク」に移動して、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押してネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。
 注記：
WPA エンタープライズ Wi-Fi で、ネットワーク アクセス ポイントが事前に設定されていない場合、「せつぞく」オプションは使用できません。
- 5 ▲ または ▼ を押して「せつぞく」に移動し、 を押して選択します。
- 6 WPA パーソナル Wi-Fi の場合、パスワードを入力して  を押します。

- 7 WPA エンタープライズ Wi-Fi の場合、パスワードは RM を使用して設定されます。

事前に設定されているパスワードが正しい場合、無線機は自動的に選択したネットワーク アクセス ポイントに接続します。

事前に設定したパスワードが正しくない場合、ディスプレイに「にんしょうエラー」と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

接続に成功すると、無線に通知が表示され、ネットワーク アクセス ポイントがプロファイル リストに保存されます。

接続に失敗すると、無線のディスプレイに失敗通知画面が瞬間的に表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

5.6.31.5

Wi-Fi 接続ステータスの確認

プログラムされた **[Wi-Fi ステータス照会]** ボタンを押し、音声ガイドで接続ステータスを確認します。Wi-Fi がオフ、Wi-Fi がオンで接続なし、または Wi-Fi がオンで接続ありの音声ガイドが流れます。

- Wi-Fi がオフになっていると、ディスプレイに「Wi-Fi オフ」と表示されます。

- 無線機がネットワークに接続されていると、ディスプレイに「WiFi オン」、「接続済み」と表示されます。
- Wi-Fi がオンになっているが、無線機がネットワークに接続されていない場合、「WiFi オン」、「切断済み」と表示されます。

Wi-Fi ステータス照会結果の音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



注記：

プログラムされた **[Wi-Fi ステータス照会]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

5.6.31.6

ネットワーク リストの更新

- メニューからネットワーク リストを更新するには、次の操作を実行します。
 - Ⓜ メニューにアクセスします を押します。

b. ▲ または ▼ を押して「WiFi」に移動し、Ⓜ を押して選択します。

c. ▲ または ▼ を押して「ネットワーク」に移動し、Ⓜ を押して選択します。

[ネットワーク] メニューに移動すると、ネットワーク リストが自動的に更新されます。

- [ネットワーク] メニューをすでに移動している場合は、次の操作を実行してネットワーク リストを更新します。

▲ または ▼ を押して「こうしん」に移動し、Ⓜ を押して選択します。

ネットワーク リストが更新され、最新のリストが表示されます。

5.6.31.7

ネットワークの追加



注記：

このタスクは、WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークには適用されません。

使用可能なネットワークのリストに優先ネットワークがない場合は、次の操作を実行してネットワークを追加します。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [WiFi] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ネットワーク] に移動して、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ネットワーク つか] に移動し、 を押して選択します。
- 5 サービス セット識別子 (SSID) を入力して、 を押します。
- 6 ▲ または ▼ を押して [ひらく] に移動し、 を押して選択します。

- 7 パスワードを入力して、 を押します。
無線機にポジティブ ミニ通知が表示され、ネットワークが正常に保存されたことが示されます。

5.6.31.8

ネットワーク アクセス ポイントの詳細の表示

ネットワーク アクセス ポイントの詳細を表示できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [WiFi] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ネットワーク] に移動して、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押してネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『しようさい』に移動し、

Ⓢ を押して選択します。



注記：

通常の WPA パーソナル Wi-Fi と WPA エンタープライズ Wi-Fi では、表示されるネットワーク アクセス ポイントの詳細は異なります。

WPA パーソナル Wi-Fi

接続済みのネットワーク アクセス ポイントについては、サービス セット識別子 (SSID)、セキュリティ モード、メディア アクセス制御 (MAC) アドレス、およびインターネット プロトコル (IP) アドレスが無線機に表示されます。

接続されていないネットワーク アクセス ポイントについては、SSID およびセキュリティ モードが無線機に表示されます。

WPA エンタープライズ Wi-Fi

接続済みのネットワーク アクセス ポイントについては、SSID、セキュリティ モード、ID、拡張認証プロトコル (EAP) 方式、フェーズ 2 認証、証明書名、MAC アドレス、IP アドレス、ゲートウェイ、DNS1、および DNS2 が無線機に表示されます。

接続されていないネットワーク アクセス ポイントについては、SSID、セキュリティ モード、ID、EAP 方式、フェーズ 2 認証、および証明書名が無線機に表示されず。

5.6.31.9

ネットワーク アクセス ポイントの削除



注記：

このタスクは、エンタープライズ Wi-Fi ネットワークには適用されません。

プロファイル リストのネットワーク アクセス ポイントを削除するには、次の操作を実行します。

- 1 Ⓢ メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『WiFi』に移動し、Ⓢ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『ネットワーク』に移動して、Ⓢ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して、選択したネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動し、 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動し、 を押して選択します。

無線機にポジティブ ミニ通知が表示され、選択したネットワーク アクセス ポイントが正常に削除されたことが示されます。

5.6.32

動的グループ番号割当 (DGNA)

動的グループ番号割当 (DGNA) は、コンソールが無線で無線機に新しいグループを割り当てたり削除したりできる機能です。

コンソールが DGNA を無線機に割り当てると、無線機は DGNA モードになります。

- トーンが鳴ります。

- ホーム画面に戻る前に、ディスプレイに一時的に『<DGNA グループ エイリアス> 割り当て済み』と表示されます。

- DGNA アイコンがステータス バーに表示されます。
- ホーム画面に DGNA グループ エイリアスが表示されません。

コンソールが無線機から DGNA を削除すると、無線機は前のグループに戻ります。

- トーンが鳴ります。
- ホーム画面に戻る前に、ディスプレイに一時的に『<DGNA グループ エイリアス> 削除済み』と表示されます。
- ステータス バーから DGNA アイコンが消えます。
- ホーム画面に、前のグループ エイリアスが表示されません。

無線機のプログラムに応じて、元のスキャン リスト チャネルと DGNA 以外のグループを表示、編集、および聞き取ることができます。

無線機が DGNA モードになっている場合、[PTT] ボタンを押すと、現在の DGNA グループとのみ通信できます。以前の DGNA 以外のグループと通信するには、[ワンタッチア

クセス] ボタンをプログラムします。「[DGNA 以外の通話の発信 ページ 183](#)」を参照してください。



注記：
無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

5.6.32.1

DGNA コールの発信

無線機が DGNA モードになっている場合、[PTT] ボタンを押して通話を発信します。

- DGNA トーンが鳴ります。
- ディスプレイに DGNA アイコンと DGNA グループ エイリアスが表示されます。



注記：
無線機が DGNA モードではない場合に [ワンタッチ アクセス] ボタンを押すと、無線機からトーンが鳴り、エラーを示します。表示は変わりません。

5.6.32.2

DGNA 以外の通話の発信

- 1 プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを押します。
 - ポジティブ トーンが鳴ります。
 - ワンタッチ上書き通話の音声ガイドが流れます。
 - ディスプレイに [グループ エイリアス] および [PTT を押す] と瞬間的に表示されます。



注記：
無線機が DGNA モードではない場合に [ワンタッチ アクセス] ボタンを押すと、無線機からネガティブ トーンが鳴り、エラーを示します。表示は変わりません。

- 2 ネガティブ トーンが鳴る前に [PTT] ボタンを押すと、無線機がホーム画面に戻ります。



注記：
無線機にホーム画面が表示されている場合、[PTT] を押すと DGNA グループへ通話を発信します。

5.6.32.3

DGNA 通話の受信と応答

DGNA コールを受信した場合:

- DGNA トーンが鳴ります。
- ディスプレイに、DGNA アイコン、DGNA グループ エイリアス、および無線機エイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信通話の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**[PTT]** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

5.7

ユーティリティ

この章では、無線機で利用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

5.7.1

無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え

着信緊急警告トーン以外の、すべての無線機トーンやアラートは、必要に応じて有効化および無効化できます。下記の手順に従って、無線機でトーン/アラートのオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた**[トーン/アラート]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。
-

2  または  を押して **[Utilities]** に移動します。  を押して選択します。

3  または  を押して **[Radio Settings]** に移動します。  を押して選択します。

4  または  を押して **[トーン/アラート]** に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ぜん トーン] に移動します。  を押して選択します。

6  を押して、すべてのトーンおよびアラートを無効または有効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.7.2

LED インジケータのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で LED インジケータのオンとオフを切り替えます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [LED ひょうじ] に移動します。  を押して選択します。

5  を押して LED 表示を有効または無効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.7.3

ケーブル タイプの特定

下記の手順に従って、無線機で使用するケーブルのタイプを選択します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して、[ケーブル タイプ] に移動します。  を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して、選択したオプションを変更します。
現在のケーブル タイプは  で示されます。

5.7.4

音声ガイドのオンとオフの切り替え

この機能をオンにすると、ユーザーがゾーンとチャンネルを割り当てたときや、ユーザーがプログラム可能ボタンを押したときに、その内容を音声で知らせます。

ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機で音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [音声ガイド] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『おんせいガイド』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 5 Ⓜ を押して、音声ガイドを有効または無効にします。
- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.7.5

音声変換

音声変換機能は、ディーラーのみが有効にできます。音声変換が有効になっている場合、音声ガイド機能は自動的に無効になります。音声ガイドが有効になっている場合、音声変換機能が自動的に無効になります。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。本機能は、ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

5.7.5.1

音声変換の設定

下記の手順に従って、音声変換機能を設定します。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『おんせいガイド』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して以下の機能のいずれかに移動します。Ⓜ を押して選択します。
利用可能な機能は以下の通りです。
 - すべて
 - メッセージ
 - JOB チケット

- チャンネル
 - ゾーン
 - プログラム ボタン
- ✓ 選択した設定の隣に が表示されます。

4 ▲ または ▼ を押して「もじにゅうりょく」に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「よそく」に移動します。
(Ⓢ) を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して「もじにゅうりょく」に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。
- を押して単語予測を有効にします。有効にすると、✓ が「Enabled」の隣に表示されます。
- を押してマイク ダイナミックひずみコントロールを無効にします。無効な場合、✓ が「Enabled」の隣で非表示になります。

5.7.6

単語予測の有効化/無効化

単語予測無線機は、頻繁に入力する語に共通する並び順を学習できます。学習内容をもとに、テキスト エディタに共通する語の並びの最初の単語を入力すると、使用する可能性のある次の語を予測します。

1 (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

5.7.7

デジタル マイク AGC のオンとオフの切り替え

デジタル マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、デジタル システム上で送信するときに、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。

この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。下記の手順に従って、無線機でデジタル マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [Mic AGC-D] に移動します。  を押して選択します。

- 5  を押して、デジタル マイク AGC を有効化/無効化します。
ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
 - 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.7.8

インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え

定常騒音源と非定常騒音源の両方を含む、周辺環境の背景雑音が大きき場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。これは受信側の限定機能であり、送信音声は影響を受けません。下記の手順に従って、無線機でインテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。



注記：
この機能は、Bluetooth セッションでは使用できません。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【インテリジェント オーディオ】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓢ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Int オーディオ] に移動します。Ⓢ を押して選択します。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。Ⓢ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。Ⓢ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

5.7.9

トリル拡張のオンとオフの切り替え

歯茎でのトリル音 (転がるような "R") の単語を多用する言語で話しているとき、この機能を有効にできます。下記の手順に従って、無線機でトリル拡張のオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [トリル拡張] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
- Ⓢ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓢ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓢ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トリル かくちょう] に移動します。Ⓢ を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。Ⓢ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。Ⓢを押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

5.7.10

音声アンビエンスの設定

下記の手順に従って、お使いの環境に応じて無線機で音声アンビエンスを設定します。

- 1 Ⓢを押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓢを押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓢを押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [オンセイ アンビエンス] に移動します。Ⓢを押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。Ⓢを押して選択します。

設定は次のとおりです。

- 工場出荷時の設定にするには [しょきち] を選択します。
- [だいおんりょう] を選択し、騒音環境下でスピーカの音量を上げます。
- [ワーク グループ] を選択し、複数の無線機が相互に近い場所にあるときのハウリングを緩和します。

選択した設定の横に ✓ が表示されます。

5.7.11

音声プロファイルの設定

下記の手順に従って、無線機で音声プロファイルを設定します。

- 1 Ⓢを押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [オンセイ プロファイル] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。Ⓜ を押して選択します。

設定は次のとおりです。

- [しよきち]を選択して先に選択されていた音声プロファイルを無効にし、工場出荷時の設定に戻ります。
- 40 代以上の成人でみられる騒音性難聴を補正するための音声プロファイルを [レベル 1]、[レベル 2]、または [レベル 3] から選択します。
- 甲高い声、鼻にかかった声、深い声など、お好みに応じて音声プロファイルを [トレブル ブース

ト]、[ミッド ブースト]、または [バス ブースト] から選択します。

選択した設定の横に ✓ が表示されます。

5.7.12

受信信号強度インジケータ

この機能を使用して、受信信号強度インジケータ (RSSI) 値を表示できます。

ディスプレイでは、[RSSI] アイコンが右上端に表示されます。[RSSI] アイコンの詳細については、「[ディスプレイアイコン](#)」を参照してください。

5.7.12.1

RSSI 値の表示

ホーム画面で、▲ を 3 回押してすぐに ▼ を 3 回押します。このすべての操作を 5 秒以内に行います。

ディスプレイに現在の RSSI 値が表示されます。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

5.7.13

一般無線機情報

無線機には、一般的パラメータに関する様々な情報が含まれています。

無線機の一般情報は以下のとおりです。

- バッテリーに関する情報
- 無線エイリアスと ID
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン
- ソフトウェア更新
- オープンソース ソフトウェア情報
- サイト情報
- 受信信号強度インジケータ



注記：

 を押して前の画面に戻ります。ホーム画面に戻るには、 を長押しします。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

5.7.13.1

無線エイリアスと ID のチェック

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[無線エイリアスと ID]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
プログラムされた **[無線エイリアスと ID]** ボタンを押して、前の画面に戻ることができます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Info] に移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して [ID] に移動します。 を押して選択します。
テキスト行の 1 行目に、無線エイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、無線機 ID が表示されます。

5.7.13.2

ファームウェアとコードプラグのバージョンチェック

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Info] に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して [Versions] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに現在のファームウェアとコードプラグの各バージョンが表示されます。

5.7.13.3

ソフトウェア更新情報のチェック

この機能は、OTAP または Wi-Fi を通じて実行された最新のソフトウェア更新の日付と時間を表示します。下記の手順

に従って、無線機でソフトウェア更新情報をチェックします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Info] に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して [ソフト アップデート] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに最新のソフトウェア更新の日付と時刻が表示されます。

ソフトウェア更新メニューは、少なくとも 1 回の OTAP または Wi-Fi セッションが正常に完了した後でのみ利用できるようになります。詳細については、[エア接続プログラミング ページ 173](#) を参照してください。

5.7.14

エンタープライズ Wi-Fi 証明書の詳細の表示

選択したエンタープライズ Wi-Fi 証明書の詳細を表示することができます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [証明書メニュー] に移動します。  を押して選択します。
✓ 準備が完了した証明書の横に表示されます。

- 4  または  を押して必要な証明書に移動します。  を押して選択します。

無線機に、証明書の完全な詳細が表示されます。



注記：
準備が完了していない証明書については、ステータスのみ表示されます。

Connect Plus

Connect Plus は、DMR テクノロジーに基づいた完全トランキング ソリューションです。Connect Plus は、チャンネルのリクエストと割り当て用に、専用の制御チャンネルを使用します。

6.1

Connect Plus モードでの追加の無線機コントロール

この章では、無線機ユーザーが事前にプログラムされた手段 (プログラム可能なボタンや割り当て可能な無線機機能など) で利用できる、追加の無線機制御について説明します。

6.1.1

プッシュトゥーク (PTT) ボタン

無線機の横側にある **[PTT]** ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

- 通話中に **[PTT]** ボタンを使用して、通話に加わっている他の無線機に送信できます。

話すには、**PTT** ボタンを押し続けます。相手の声を聞くには、**[PTT]** ボタンを放します。

[PTT] ボタンを押すと、マイクが有効になります。

- 通話中でないときは、新規通話を発信するために **PTT** ボタンを使用します ([「無線通話の発信 ページ 215」](#)を参照)。

通話許可トーンが有効となっている場合 ([「通話許可トーンのオンとオフの切り替え ページ 307」](#)を参照)、短いアラート トーンが終了するまで待ってから話します。

6.1.2

プログラム可能ボタン

ディーラーは、ボタンを押す長さに応じて、無線機の機能へのショートカットとして、プログラム可能ボタンを設定できます。

短押し

押してすぐに離します。

長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。



注記:

ボタン押しの長さをプログラミングすれば、割り当てる無線/ユーティリティの機能や設定に適用できます。[きんきゅう] ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 253](#)」を参照してください。

6.1.2.1

指定可能な無線機機能

アクション

CPS プログラム可能なアクションのリストにアクセスするためのプログラム可能ボタン。

Bluetooth® オーディオ切り替え

内部無線機スピーカと外部 Bluetooth 対応アクセサリの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

Bluetooth 接続

Bluetooth の検出と接続の動作を開始します。

Bluetooth 切断

無線機と Bluetooth 対応デバイス間のすべての既存の Bluetooth 接続を終了します。

Bluetooth 検出可能

無線機を Bluetooth 検出可能モードに切り替えることができます。

ビジー キューのキャンセル

ビジー キューの非緊急コールが開始された場合に、ビジー モードを終了します。ビジー キューにいったん受け入れられた緊急コールはキャンセルできません。

通話履歴

通話履歴のリストを選択します。

チャンネル アナウンスメント

現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを示します。

連絡先

連絡先リストに直接アクセスできます。

緊急オン/オフ

プログラムに応じて、緊急通話を始動またはキャンセルします。

屋内位置

屋内位置のオンとオフを切り替えます。

Int オーディオ

インテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

ダイアル

プログラムに従い、無線機の ID または電話番号を入力して個別コールまたは電話通話を開始します。

ワンタッチ アクセス

事前に定義した個別コール、ページング、クイック テキスト メッセージ、またはホーム復帰を直接開始します。

秘話モード

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

無線機チェック

システム内の無線機がアクティブであるかどうかを判別します。

停止解除

ターゲットの無線機を遠隔で有効にできます。

無線停止

相手の無線機を遠隔で無効にできます。

リモート モニタ

インジケータを表示せずにターゲットの無線機のマイクをオンにします。

ホーム チャネルのリセット

新規ホーム チャネルを設定します。

アラート音タイプ

アラート音タイプ設定への直接アクセスを提供します。

ローミング要求

異なるサイトの検索を要求します。

スキャン

スキャンのオンとオフを切り替えます。

ホーム チャネル リマインダのミュート

ホーム チャネル リマインダをミュートします。

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

テキスト メッセージ

テキスト メッセージ メニューを選択します。

バイブのつよさ

バイブの強さを設定します。

音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

WiFi

Wi-Fi のオンとオフを切り替えます。

ゾーン

ゾーンのリストからの選択を可能にします。

6.1.2.2

指定可能な設定またはユーティリティ機能

ハウリング抑制

ハウリング抑制機能のオンとオフを切り替えます。

全トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

バックライト

ディスプレイ バックライトのオンとオフを切り替えます。

輝度

手動輝度モードで設定するか、無線機の光センサーで自動的に制御します。

表示モード

デイ/ナイト表示モードのオンとオフを切り替えます。

キー ロック

キーパッドのロックのオンとオフを切り替えます。

未登録

ボタン機能が割り当てられていないことを示します。

壁紙

ホーム画面上に表示されます。

6.1.3

Connect Plus モードでのステータスインジケータの特定

無線機には、QVGA (Quarter Video Graphics Array) 16 ビットカラーの解像度を持つ横長 2 インチのディスプレイが付いています。

6.1.3.1

ディスプレイ アイコン

以下は、無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。アイコンは、出現/使用の順に左から表示されます。



受信信号強度インジケータ (RSSI)

表示されるバーの数は、無線機の信号強度を表します。バーが 4 本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。



Bluetooth 未接続

Bluetooth の機能は有効ですが、接続されているリモートの Bluetooth デバイスはありません。

	Bluetooth 接続 Bluetooth 機能が有効です。リモートの Bluetooth デバイスが接続されている間、アイコンは表示されたままになります。		通知 通知リストには確認する項目があります。
	大量データ 大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。		オプション ボード オプション ボードが有効です。(オプション ボード対応モデルのみ)。
	屋内位置利用可能⁴ 屋内位置ステータスがオンで利用可能です。		オプション ボード非動作 オプション ボードが無効です。
	屋内位置利用不可⁴ Bluetooth が無効か、ビーコン スキャンが Bluetooth により一時停止しているため、屋内位置ステータスがオンですが利用できません。		スキャン スキャン機能が有効になっています。
	ミュート モード ミュート モードが有効になると、スピーカがミュートされます。		緊急 無線機が緊急モードです。
			セキュア 秘話モード機能が有効です。
			非セキュア 秘話モード機能が無効です。

⁴ 最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。

	サイト ローミング サイト ローミング機能が有効です。		着信音のみ 呼出音モードが有効です。
	バッテリー バーの本数 (0 ～ 4) でバッテリーの残量を示します。低バッテリー状態になると点滅します。		バイブ バイブ モードが有効です。
	バッテリー充電の状態 バッテリー充電の状態を示します。		バイブと着信音 バイブ モードと着信音モードが有効です。
	全トーン停止 すべてのトーンがオフです。		Wi-Fi 優良 ⁵ Wi-Fi 信号が優良です。
	通話履歴 無線機の通話履歴。		Wi-Fi 良好 ⁵ Wi-Fi 信号が良好です。
	連絡先 無線機の連絡先が使用可能です。		Wi-Fi 標準 ⁵ Wi-Fi 信号が平均的です。
	メッセージ 着信メッセージ。		Wi-Fi 不良 ⁵ Wi-Fi 信号が不良です。
	サイレント モード サイレント着信音モードが有効です。		Wi-Fi 利用不能 ⁵ Wi-Fi 信号を利用できません。



優良 **Wi-Fi** 強調表示 ⁵

Wi-Fi 信号が優良です。ネットワーク リストでネットワークにスクロールすると、そのネットワークの Wi-Fi アイコンが強調表示されます。



良好 **Wi-Fi** 強調表示 ⁵

Wi-Fi 信号が良好です。ネットワーク リストでネットワークにスクロールすると、そのネットワークの Wi-Fi アイコンが強調表示されます。



標準 **Wi-Fi** 強調表示 ⁵

Wi-Fi 信号が平均的です。ネットワーク リストでネットワークにスクロールすると、そのネットワークの Wi-Fi アイコンが強調表示されます。



不良 **Wi-Fi** 強調表示 ⁵

Wi-Fi 信号が不良です。ネットワーク リストでネットワークにスクロールすると、そのネットワークの Wi-Fi アイコンが強調表示されます。



利用不能 **Wi-Fi** 強調表示 ⁵ にのみ適用されます。

Wi-Fi 信号を利用できません。ネットワーク リストでネットワークにスクロールすると、そのネットワークの Wi-Fi アイコンが強調表示されます。

6.1.3.2

通話アイコン

以下は、通話中に無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、ID タイプを示すために連絡先リストにも表示されます。



個別コール

個別コール中であることを示します。



グループ コール/サイト一斉コール

グループ コール中またはサイト一斉コール中であることを示します。

⁵ SL2K



個別コールとしての通話
個別コールとして通話中であることを示します。



Bluetooth PC コール
Bluetooth PC コール中であることを示します。
[れんらくさき] リストでは、Bluetooth PC コール エイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



【ディスパッチ コール】
連絡先タイプのディスパッチ コールは、サードパーティのテキスト メッセージ サーバーを介して、ディスパッチャ PC にテキスト メッセージを送信するために使用されます。



オプション ボード個別コール
オプション ボード個別コール中であることを示します。



オプション ボード グループ コール

オプション ボード グループ コール中であることを示します。

6.1.3.3

高度なメニュー アイコン

以下のアイコンは、2 つのオプションのいずれかを選択できるメニュー項目の隣に表示されるか、2 つのオプションがあるサブメニューがあることを示すために表示されます。



チェックボックス (空)
オプションが選択されていないことを示します。



チェックボックス (チェックされている)
オプションが選択されていることを示します。

6.1.3.4

Bluetooth デバイス アイコン

以下のアイコンも、使用可能な Bluetooth 対応デバイス リストの各項目の横に表示され、デバイスのタイプを示します。

	Bluetooth データ デバイス Bluetooth 対応データ デバイス (スキャナなど)。
	Bluetooth オーディオ デバイス Bluetooth 対応オーディオ デバイス (ヘッドセットなど)。
	Bluetooth PTT デバイス Bluetooth 対応 PTT デバイス (PTT のみデバイス (POD) など)。
	Bluetooth センサー デバイス Bluetooth 対応センサー デバイス (ガス センサーなど)。

送信 BOX アイコン

以下のアイコンは、無線機のディスプレイ右上隅にある送信済みアイテム フォルダに表示されます。

 または 	処理中 送信機のエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信は保留中で、承認を待っている状態です。 グループのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信が保留中です。
 または 	送信完了 テキスト メッセージは正常に送信されました。
 また	読み込まれた個別メッセージまたはグループメッセージ メッセージが読み込まれました。

6.1.3.5

	
	読み込まれていない個別メッセージまたはグループ メッセージ
また 	メッセージが読み込まれませんでした。
	送信失敗
また 	メッセージは送信されませんでした。

6.1.3.6

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

赤色の点滅	無線機が低バッテリー状況で送信しているか、緊急送信を受信しているか、電源を入れた際のセルフテストが失敗し
-------	--

	ています。ミュート モードが有効です。
赤色の速い点滅	無線機は、無線ファイル転送 (オプション ボード ファームウェア ファイル、ネットワーク周波数ファイル、またはオプション ボード コードプラグ ファイル) を受信しているか、新しいオプション ボード ファームウェア ファイルにアップグレードしています。
緑色と黄色の点滅	無線機でページングを受信中か、テキスト メッセージを受信したか、スキャンが有効でアクティビティを受信しています。
黄色の点灯	無線機が Bluetooth 検出可能モードになっています。また、プログラム可能なバッテリー強度ボタンが押されると、正しいバッテリー充電が示されます。
黄色の 2 回点滅	新規サイトを検索しています。
黄色の点滅	無線機でページングを受信中か、スキャンが有効で、アイドル状態です (アクティビティのために無線機は消音のままです)。

緑色の点灯	無線機は電源が入れられたか、送信しています。また、プログラム可能なボタンを押したときは、バッテリーが完全に充電されていることを示します。無線機の電源がオフの間にバッテリーがフル充電されることを示します。
緑色の点滅	電源が入れられたか、通話またはデータを受信しています。
緑色の速い点滅	無線機が秘話対応通話を受信しています。

6.1.3.7

インジケータ トーン

無線機のスピーカからは、以下のトーンが鳴ります。

高いトーン		低いトーン	
-------	---	-------	---

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータトーンによりステータスが音声で通知されます。

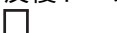
	ポジティブ インジケータ トーン
---	---------------------

	ネガティブ インジケータ トーン
---	---------------------

6.1.3.8

アラート トーン

アラート トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。

連続トーン 	モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。
定期トーン 	無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。
反復トーン 	ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返しされます。
瞬間トーン 	無線機で定義された短い期間、一度だけ音が鳴ります。

6.1.4

Connect Plus モードと Non-Connect Plus モードの切り替え

ディーラーまたはシステム管理者によってプログラムされている場合、Non-Connect Plus モードに切り替えるには、別のゾーンに変更する必要があります。無線機に Non-Connect Plus ゾーンがプログラムされているかどうか、また、Non-Connect Plus ゾーンで動作中に使用できる機能については、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

6.2

Connect Plus モードでの通話の着信と発信

このセクションでは、一般的な無線機の操作と、お使いの無線機で利用できる通話機能について説明します。

6.2.1

サイトの選択

1 つのサイトは、特定の 1 エリアの通信範囲を規定します。1 つの Connect Plus サイトには、1 台のサイト コントローラと最大 15 台のリピータがあります。マルチサイト ネットワークでは、現在のサイトからの信号レベルが受容できないレベルまで下がると、Connect Plus 無線機は、新しいサイトを自動的に検索します。

6.2.1.1

ローミング要求

ローミング要求は、現在のサイトからの信号が十分であっても、異なるサイトを検索するよう無線機に指示します。

使用可能なサイトが存在しない場合:

- 無線機に「けんさくちゅう」および選択したチャネルのエイリアスが表示され、サイト リストの検索が継続されます。
- 前のサイトがまだ使用できる場合は、無線機が前のサイトに戻ります。



注記:
ディーラーがプログラムします。

プログラムされた【ローミング要求】ボタンを押します。

無線機が新しいサイトに切り替わったことを示すトーンが聞こえます。ディスプレイに「サイト ID < サイト番号 >」が表示されます。

6.2.1.2

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

プログラムされた【サイト ロック】ボタンを押します。

【サイト ロック】機能をオンに切り替えると、

- ポジティブ インジケータ トーンが聞こえて、無線機が現在のサイトにロックされていることを示しています。
- ディスプレイに「サイト ロック済み」と表示されます。

【サイト ロック】機能をオフに切り替えると、

- ネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。無線機のロックが解除されていることを示しています。
- ディスプレイに「サイト ロックかいじょ」と表示されます。

6.2.1.3

サイト制限

Connect Plus 無線機システム管理者は、無線機を使用できるネットワーク サイトまたは使用できないネットワーク サイトを指定できます。許可サイトと禁止サイトのリストを変更するために、無線機をプログラミングし直す必要はありません。無線機を禁止サイトに登録しようとする、次のメッセージが短時間表示されます: サイト <指定番号> きんし。その後、無線機では、異なるネットワーク サイトが検索されます。

6.2.2

ゾーン選択

最大 16 個の Connect Plus ゾーンを無線機にプログラムできます。各 Connect Plus ゾーンは、指定可能な位置を最大 16 件含みます。

指定可能な各位置を使用して、次のいずれかの音声通話タイプを開始できます。

- グループ通話
- マルチグループ コール
- サイト一斉コール

- 個別コール

- 1 下記の手順を実行して、ゾーン機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【ゾーンせんたく】ボタン	プログラムされた【ゾーンせんたく】ボタンを押します。
無線機メニュー	- a  メニューにアクセスします を押します。 - b  または  を押して【ゾーン】に移動し、 を押して選択します。

現在のゾーンが表示され、 で示されます。

- 2 必要なゾーンを選択します。

無線機コントロール	手順
 または 	 または  を押して必要なゾーンへスクロールします。

- 3  を押して選択します。

ディスプレイに『<ゾーン> せんたくずみ』が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

6.2.3

複数ネットワークの使用

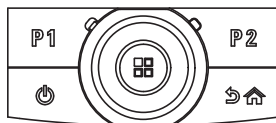
複数の Connect Plus ネットワークを使用するように無線機がプログラムされている場合は、目的のネットワークに割り当てられている Connect Plus ゾーンに切り替えると、異なるネットワークを選択できます。このネットワークからゾーンへの割り当ては、無線機プログラミングを使用してディーラーが構成します。

6.2.4

通話タイプの選択

4 方向ナビゲーション ディスクを使用して通話タイプを選択します。無線機のプログラム方法に応じてグループ コール、マルチグループ コール、サイト一斉コール、または個別コールを選択可能です。4 方向ナビゲーション ディスクを使用して異なる通話タイプにナビゲートすると、無線機を Connect Plus サイトに再登録する必要があります。無線機は、新しい通話タイプにプログラムされている登録グループ ID に登録します。

通話タイプが割り当てられていない位置を選択した場合、無線機は連続トーンを鳴らし、ディスプレイに「プログラム NG」と表示されます。プログラムされていないチャンネルを選択した場合、無線機は動作しないため、選択せずに 4 方向ナビゲーション ディスクを使用して、プログラムされているチャンネルを選択してください。



必要なゾーンが表示されたら (無線機に複数のゾーンがある場合)、4 方向ナビゲーション ディスクを使用して通話タイプを選択します。

6.2.5

無線通話の受信と応答

チャンネル、無線機 ID または通話タイプが表示されたら、通話の受信や応答に進むことができます。

無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、無線機が受信している間は緑色に点滅します。



注記：

無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、秘話対応通話を受信すると緑色で点滅 (素早く) します。秘話対応通話のスクランブルを解除するには、お使いの無線機が、送信側無線機 (通話を受信している無線機) と同一のプライバシー キー、または同一のキー値とキー ID (ディーラーがプログラミング) を有している必要があります。

詳細については、「[秘話モード ページ 277](#)」を参照してください。

6.2.5.1

グループ コールの受信と応答

ユーザー グループからの通話を受信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

グループ コールを受信する場合 (ホーム画面で)、緑色の LED が点滅します。ディスプレイの 1 行目に、RSSI アイコンが表示されます。2 行目に、グループ コール アイコンが表示されます。3 行目に、グループのエイリアスが表示されます。4 行目に、発信者のエイリアスが表示されます。無線機の消音解除され、着信通話の音は無線機のスピーカから聞こえます。

- 1 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。

LED が緑色で点灯します。

-
- 2 通話許可トーンの 1 つが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

-
- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。



注記:

グループ コールの詳細については、「[グループ コールの発信 ページ 215](#)」を参照してください。

無線機が、ホーム画面以外の画面でグループ コールを受信すると、通話に応答するまでその画面のままとなります。

応答前に発信者のエイリアスを確認するには、



ボタンを長く押してホーム画面に戻ります。

6.2.5.2

個別コールの受信と応答

個別コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。

個別コールを受信すると、緑色の LED が点滅します。ディスプレイの 1 行目に、RSSI アイコンが表示されます。2 行目には、個別コール アイコンが表示されます。3 行目に発信者のエイリアスが表示されます。無線機のミュートが解除され、着信通話の音は無線機のスピーカから聞こえます。

- 1 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。

- 2 電話に応答するには、**[PTT]** ボタンを押します。
LED が緑色で点灯します。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、
マイクに向かってはっきりと話します。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

個別コールの詳細については、「[個別コールの発信 ページ 216](#)」を参照してください。

6.2.5.3

サイトー斉コールの受信

サイトー斉コールは、個々の無線機から、対象サイトの全無線機へのコールです。ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知に使用されます。

サイトー斉コールを受信するとトーンが鳴り、緑色の LED が点滅します。

ディスプレイの 1 行目には、RSSI アイコンが表示されます。2 行目に、サイトー斉コールのアイコンが表示されま

す。3 行目に、「サイトー斉コール」と表示されます。4 行目に、発信者のエイリアスが表示されます。無線機の消音が解除され、着信通話の音は無線機のスピーカから聞こえます。

サイトー斉コールが終了すると、通話を受信する前の画面に戻ります。サイトー斉コールは、終了前の事前に定められた時間中、待機しません。

サイトー斉コールには応答できません。



注記：

サイトー斉コールの詳細については、[サイトー斉コールの発信 ページ 217](#) を参照してください。

通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機はサイトー斉コールの受信を停止します。サイトー斉コール中、通話が終了するまで、プログラムされたボタン機能のいずれも使うことはできません。

6.2.5.4

着信個別無線通話の受信

着信個別無線通話を受信するとき、個別コールとしての通話アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目に、『でんわ』と表示されます。

- 1 通話を開始するには、**PTT** ボタンを押し続けます。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
- 2  を長押しして、通話を終了します。
ディスプレイの 1 行目に『でんわ』と表示されます。
ディスプレイの 2 行目に『せつだん』と表示されます。
ディスプレイは通話画面に戻ります。
ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

個別電話着信でバッファされたオーバーダイヤルを作成

通話中、右上端に個別コールとしての通話アイコンが表示されます。ディスプレイの最初の行に『でんわ』と表示されます。

- 1 キーパッドを使用して数字を入力し、 ボタンを押します。

ポーズを挿入するには、 を押して、2 秒以内に  を押します。ディスプレイ上の『*』と『#』が『P』で置き換えられます。

個別コールとしての通話アイコンが右上端に表示されます。ディスプレイの最初の行には入力した数字が表示されます。
- 2 通話を終了するには、 を長押しします。
ディスプレイの 1 行目に『でんわ』と表示されます。
ディスプレイの 2 行目に『せつだん』と表示されます。
ディスプレイは通話画面に戻ります。

6.2.5.4.1

ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

6.2.5.4.2

個別電話着信でライブ オーバーダイヤルを作成

通話中、右上端に個別コールとしての通話アイコンが表示されます。ディスプレイの最初の行に『でんわ』と表示されます。

- 1 **PTT** ボタンを押し、キーパッドを使って、数字を入力します。

個別コールとしての通話アイコンが右上端に表示されます。ディスプレイの最初の行にはライブ ダイアルの数字が表示されます。

- 2 通話を終了するには、 を長押しします。

ディスプレイの 1 行目に『でんわ』と表示されます。
ディスプレイの 2 行目に『せつだん』と表示されます。
ディスプレイは通話画面に戻ります。

ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

6.2.5.5

着信電話グループ通話の受信

着信電話グループ通話を受信するとき、グループ コール アイコンが右上隅に表示されます。テキストの 1 行目に [Call 1] と表示されます。

話すときには **PTT** ボタンを押し、聞くときにはボタンを放します。

6.2.5.6

着信マルチグループ通話

着信マルチグループ通話を受信すると、右上隅にグループ コール アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に [Multigroup call] (マルチグループ コール) と表示され、無線機の消音が解除され、着信マルチグループ通話の音が無線機のスピーカから聞こえます。

6.2.6

無線通話の発信

チャンネルの選択後、次のものを使用して、無線機のエイリアスまたは ID、またはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

- **PTT ボタン**
- プログラムされた【ワン タッチ アクセス】ボタン - ワン タッチ アクセス機能を使用して、事前に設定された ID に対し、簡単に個別通話をかけることができます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すという、プログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。ワンタッチ アクセス ボタンには 1 つの ID だけを割り当てることができます。お使いの無線機で、複数の【ワン タッチ アクセス】ボタンをプログラムできます。
- 連絡先リスト ([連絡先設定 ページ 239](#) を参照)。



注記：

秘話対応送信を送るには、お使いの無線機のチャンネルで秘話機能が有効になっている必要があります。お使いの無線機と同じキー値とキー ID を持つ相手先無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。

詳細については、「[秘話モード ページ 277](#)」を参照してください。

6.2.6.1

通話の発信

この機能を使用すると、無線機ユーザーは、さまざまな通話タイプ(グループ コール、個別通話、サイトー斉コール、マルチグループ コール)を使用できるようになります。

6.2.6.1.1

グループ コールの発信

ユーザーのグループに通話を発信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。「[通話タイプの選択 ページ 210](#)」を参照してください。
- 2 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。
- 3 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。グループ コール アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、グループ コールのエイリアスが表示されます。

- 4 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。
-

- 5 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します (無線機の消音が解除され、応答は無線機のスピーカから聞こえます)。ディスプレイに、グループコール アイコン、送信中の無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。コールを開始する前の画面に戻ります。

6.2.6.1.2

個別コールの発信

許可を受けた個別の無線機が開始した個別コールの受信や応答を行うには、お使いの無線機が個別コールを開始できるようにプログラムされている必要があります。

この機能が無効である場合に、連絡先リスト、通話履歴、ワンタッチ アクセス ボタン、を使用して個別コールを試みると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

テキスト メッセージまたはページング機能を使用して、個々の無線機に連絡します。詳しくは、[テキスト メッセージ](#)

[ング ページ 154](#) または [ページング操作 ページ 249](#) を参照してください。

- 1 次のいずれかを実行します。

- アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。「[通話タイプの選択 ページ 210](#)」を参照してください。
 - プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを押します。
-

- 2 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。
-

- 3 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

LED が緑色で点灯しますが表示され、無線機の消音解除されて、応答が無線機のスピーカから聞こえます。個別コール アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目に、ターゲット無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

- 4 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

- 5 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します (無線機の消音が解除され、応答は無線機のスピーカから聞こえます)。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。短いトーンが聞こえます。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

個別コールを設定する前に、無線機プレゼンス チェックを実行するように無線機をプログラムできます。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ネガティブ ミニ通知がディスプレイに表示されます。

6.2.6.1.3

サイトー斉コールの発信

この機能を使用すると、現在別の通話を行っていない、対象サイトのすべてのユーザーに対して送信できます。この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。

チャンネル/サイトのユーザーはサイトー斉コールに応答することはできません。

- 1 アクティブなサイトー斉コール グループのエイリアスのチャンネルを選択します。「[通話タイプの選択 ページ 210](#)」を参照してください。

- 2 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。

- 3 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

LED が緑色で点灯します。グループ コール アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目に、[Site All Call] (サイトいっせいコール) と表示されます。

- 4 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

6.2.6.1.4

マルチグループ コールの発信

この機能により、複数グループのすべてのユーザーに送信できます。この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。



注記：
グループのユーザーは、マルチグループ コールに応答できません。

- 1 アクティブなマルチグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。「[チャンネル選択 ページ 356](#)」を参照してください。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

LED が緑色で点灯します。ディスプレイにマルチグループのエイリアスまたは ID が表示されます。

通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

6.2.6.2

ワンタッチ コール ボタンを使用した個別 コールの発信



注記：
プログラム可能ボタンは、ホーム画面から押し始める必要があります。

ワンタッチ コール機能を使用すると、事前定義された個別コール エイリアスまたは ID に対する個別コールを簡単に発信できます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すという、プログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。

ワンタッチ コール ボタンに指定されるエイリアスまたは ID は 1 つのみです。無線機には、複数の ワンタッチ コール ボタンをプログラムできます。

- 1 プログラムされた【ワンタッチ コール】ボタンを押し、事前に定義された個別通話エイリアスまたは ID に個別コールを発信します。

- 2 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。

- 3 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

LED が緑色で点灯します。

ディスプレイに個別コール エイリアスまたは ID が表示されます。

4 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

5 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ターゲットの無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

6.2.6.3

プログラム可能なダイアル ボタンで通話を行う

この機能を使用すると、無線機ユーザーは、プログラム可能なダイアル ボタンを使用して個別通話を発信できます。

6.2.6.3.1

個別コールの発信

1 プログラムされた **[ダイアル]** ボタンを押して、**[ダイアル]** 画面を表示します。

ディスプレイに「ばんごう:」と表示されます。

2 キーパッドを使用して、無線機のエイリアスまたは個別 ID を入力します。

3 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。

4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

LED が緑色で点灯します。個別コール アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

5 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ターゲットの無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。短いトーンが聞こえます。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

6.2.6.4

プログラム可能なダイヤル ボタンからの個別電話発信

- 1 プログラムされた【ダイヤル】ボタンを押して、【ダイヤル】画面を表示します。

ディスプレイに「ばんごう:」と表示されます。

- 2 キーパッドを使用して、電話番号を入力し、 を押して、入力した番号に電話をかけます。

 を押して、不要な文字を削除します。ポーズを挿入するには、 を押して、2 秒以内に  を

押します。ディスプレイ上の【*】と【#】が【P】で置き換えられます。

処理が正常に行われると、ディスプレイの 1 行目に「でんわ」と表示されます。ディスプレイの 2 行目には、ダイヤルした電話番号が表示されます。

無効な電話番号を選択した場合、ディスプレイにはネガティブ ミニ通知「でんわ NG」、「リソースしようふか」、または「むこうなけんげん」が表示されます。

電話番号を入力せずに  を押すと、無線機から最初にポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、続けてネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。ディスプレイの表示は変わりません。

- 3 通話を終了するには、 を長押しします。

ディスプレイの 1 行目に「でんわ」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に「せつだん」と表示されます。

ディスプレイに「でんわしゅうりょう」と表示されます。

6.2.6.5

[Tel] メニューからの個別無線通信発信

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Tel] に移動し、 を押して選択します。

- 3  を押して、[ダイヤル] を選択します。
ディスプレイの最初の行に「ばんごう」が表示され、2 番目の行に点滅するカーソルが表示されます。

- 4 キーパッドを使用して、電話番号を入力し、 を押して、入力した番号に電話をかけます。

◀ を押して、不要な文字を削除します。ポーズを挿入するには、 を押して、2 秒以内に  を押します。ディスプレイ上の [*] と [#] が [P] で置き換えられます。
処理が正常に行われると、ディスプレイの 1 行目に「でんわ」と表示されます。ディスプレイの 2 行目には、ダイヤルした電話番号が表示されます。

無効な電話番号を選択した場合、ディスプレイにはネガティブ ミニ通知「でんわ NG」、[リソースしようふか]、または「むこうなけんげん」が表示されます。

電話番号を入力せずに  を押すと、無線機から最初にポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、続けてネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。ディスプレイの表示は変わりません。

- 5 通話を終了するには、 を長押しします。
ディスプレイの 1 行目に「でんわ」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に「せつだん」と表示されます。
ディスプレイに「でんわしゅうりょう」と表示されます。

6.2.6.6

連絡先からの個別無線通話発信



注記：
MOTOTRBO Connect Plus オプション ボード CPS で [ダイヤル] が無効化されている場合、メニューに「Telばんごう」項目は表示されません。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して「れんらくさき」に移動し、
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して「ばんごう」に移動し、
 を押して選択します。

ディスプレイの最初の行に「ばんごう」が表示され、
2 番目の行に点滅するカーソルが表示されます。

- 5 キーパッドを使用して、電話番号を入力し、 を押して、入力した番号に電話をかけます。

PTT ボタンを押すと、ディスプレイにはネガティブミニ通知「そうしん > [OK]」が表示され、前の画面に戻ります。

◀ を押して、不要な文字を削除します。ポーズを挿入するには、 を押して、2 秒以内に  を

押します。ディスプレイ上の「*」と「#」が「P」で置き換えられます。

処理が正常に行われると、ディスプレイの 1 行目に「でんわ」と表示されます。ディスプレイの 2 行目には、ダイアルした電話番号が表示されます。

電話番号を入力せずに  を押すと、無線機から最初にポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、続けてネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。ディスプレイの表示は変わりません。

- 6 通話を終了するには、 を長押しします。

ディスプレイの 1 行目に「でんわ」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に「せつだん」と表示されます。

ディスプレイに「でんわしゅうりょう」と表示されます。

6.2.6.7

発信個別無線通話でのチャネル許可の待機

個別無線通話を行うとき、ディスプレイの1行目に「でんわ」と表示されます。ディスプレイの2行目には、ダイヤルした電話番号が表示されます。

コールがつながると、右上隅に個別コールとしての通話アイコンが表示されます。ディスプレイの1行目に電話番号が表示されます。

失敗した場合、ディスプレイにネガティブのミニ通知、「でんわ NG」、「リソースしょうふか」または「Invalid Permissions」(むこうなけんげん)が表示されます。

通話を終了するには、 を長押しします。

ディスプレイが前の画面に戻ります。

6.2.6.8

接続された個別電話発信でバッファされたオーバーダイヤルを作成

通話中、右上端に個別コールとしての通話アイコンが表示されます。ディスプレイの最初の行には電話番号が表示されます。

- 1 キーパッドを使用して数字を入力します。

◀ を押して、不要な文字を削除します。ポーズを挿入するには、 を押して、2 秒以内に  を押します。ディスプレイ上の「*」と「#」が「P」で置き換えられます。

ディスプレイの最初の行に「つかケタ」と表示され、2 行目に入力した数字が表示されます。

- 2  ボタンを押します。

PTT ボタンを押すと、ディスプレイにはネガティブミニ通知 [そうしん > [OK]] が表示され、前の画面に戻ります。

個別コールとしての通話アイコンが右上端に表示されます。ディスプレイの最初の行には電話番号と追加されたオーバーダイアルの数字が表示されます。

3 次のいずれかを実行します。

-  を押して通話画面に戻ります。
- 通話を終了するには、 を長押しします。

接続された個別電話発信でライブ オーバーダイアルを作成

通話中、右上端に個別コールとしての通話アイコンが表示されます。ディスプレイの最初の行には電話番号が表示されます。

1 **PTT** ボタンを押し、キーパッドを使って、数字を入力します。

個別コールとしての通話アイコンが右上端に表示されます。ディスプレイの最初の行には電話番号と追加されたオーバーダイアルの数字が表示されます。

2 通話を終了するには、 を長押しします。

ディスプレイの 1 行目に『でんわ』と表示されます。ディスプレイの 2 行目に『せつだん』と表示されます。

ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

6.2.6.9

6.3

Connect Plus モードでの高度な機能

この章では、無線機で利用できる機能の操作について説明します。

6.3.1

ホーム チャンネル リマインダ

これは、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

CPS を使用してこの機能を有効にしている場合は、無線機がホーム チャンネルに設定されないまま一定期間経過すると、ホーム チャンネル リマインダのトーンとアナウンスが鳴り、ディスプレイの 1 行目に「ノン」、2 行目に「ホーム チャンネル」と定期的に表示されます。

次のいずれかの操作を実行して、この通知に応答できます。

- ホーム チャンネルに戻る。
- プログラム可能ボタンを使用して、通知を一時的にミュートする。

- プログラム可能ボタンを使用して、新しいホーム チャンネルを設定する。

6.3.1.1

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダの通知が出されたときは、次の操作を実行して通知を一時的にミュートできます。

ホーム チャンネル リマインダのミュート プログラム可能ボタンを押します。

ディスプレイの 1 行目に「HCR」、2 行目に「サイレンス」が表示されます。

6.3.1.2

新しいホーム チャンネルの設定

ホーム チャンネル リマインダーが通知されたときは、次のいずれかの操作を実行して新しいホーム チャンネルを設定できます。

- ホーム チャンネルのリセット プログラム可能ボタンを押します。
ディスプレイの 1 行目にチャンネル エイリアス、2 行目に「しん ホーム Ch」が表示されます。
- メニューを使用して、新しいホーム チャンネルを設定します。
 - a.  メニューにアクセスします を押します。
 - b.  または  を押して「せってい」に移動し、 を押して選択します。
 - c.  または  を押して「きのうせってい」に移動し、 を押して選択します。
 - d.  または  を押して「ホーム チャンネル」に移動し、 を押して選択します。

- e. 有効なチャンネルのリストから選択します。

ディスプレイには、選択したチャンネル エイリアスの横に  が表示されます。

6.3.2

自動フォールバック

自動フォールバックは、Connect Plus システムに特定のタイプの障害が発生したときに、選択したグループ連絡先に対する非緊急コールの発信および受信を続行できるシステム機能です。

該当するいずれかの障害が発生した場合、無線機では、異なる Connect Plus サイトへのローミングを試みます。この検索プロセスの結果、無線機で動作可能な Connect Plus サイトが見つかる場合もあれば、フォールバック チャンネルが見つかる場合もあります (自動フォールバックを有効にしてある無線機の場合)。

フォールバック チャンネルは、通常は動作可能な Connect Plus サイトの一部である一方で、その時点でのサイト コントローラまたは Connect Plus ネットワークとは通信できません。フォールバック モードでは、リピータは、シングル デジタル リピータとして動作します。自動フォールバック モードでは、非緊急グループ コールのみがサポートさ

れます。他の通話タイプは、フォールバック モードではサポートされません。

6.3.2.1

自動フォールバック モードの通知

無線機でフォールバック チャンネルを使用している場合は、断続的なフォールバック トーンが約 15 秒ごとに 1 回鳴ります (送信中を除く)。ディスプレイに「きりもどしチャンネル」という短いメッセージが定期的に表示されます。無線機では、選択したグループ連絡先での PTT のみが許可されます (グループ コール、マルチグループ コール、サイト一斉コール)。その他のタイプの通話は発信できません。

6.3.2.2

フォールバック モードでの通話の発信/受信



注記：

通話は、同じフォールバック チャンネルをモニタしており、同じグループで選択されている無線機によってのみ受信されます。通話は、他のサイトや他のリピータには、ネットワーク送信されません。緊急音声通話や緊急アラートは、フォールバック モードでは使用できません。フォールバック モードで緊急ボタンを押すと、無効なキーを押したときのトーンが無線機から鳴ります。ディスプレイを装備した無線機では、[きのうりようふか]というメッセージも表示されます。

個別 (無線機から無線機への) 通話と電話通話は、フォールバック モードでは使用できません。個別連絡先への通話を試みると、拒否トーンが鳴ります。この時点では、目的のグループ連絡先を選択する必要があります。サポートされていない他のコールとしては、リモート モニタ、ページング、無線機チェック、無線停止解除、無線停止、テキスト メッセージング、位置更新、パケット データ コールがあります。

拡張トラフィック チャンネル アクセス (ETCA) は、自動フォールバック モードでは、サポートされませ

ん。2人以上の無線機ユーザーが同時 (またはほぼ同時) に **PTT** を押した場合は、**PTT** を放すまで両方の無線機から送信できることがあります。この場合は、受信側の無線機でいずれの送信も判別できないおそれがあります。

フォールバック モードでの通話の発信は、通常の機能と同様です。単に、使用するグループ連絡先を選択 (無線機の通常のチャンネル選択方法を使用) し、**PTT** を押して通話を開始します。チャンネルが、別のグループによってすでに使用されていることがあります。チャンネルが使用中の場合は、ビジー トーンが鳴り、ディスプレイに [チャンネル ビジー] と表示されます。無線機の通常のチャンネル選択方法を使用して、グループ、マルチグループ、またはサイトー斉コールの連絡先を選択できます。無線機がフォールバック チャンネルで動作している間、マルチグループは、他のグループ同様に動作します。現在、同じマルチグループとして選択されている無線機によってのみ受信されます。

6.3.2.3

通常動作への復帰

フォールバック リピータの範囲に入っているときにサイトが通常のトランキング動作に戻ると、無線機は自動フォールバック モードを自動的に終了します。無線機の登録が正常に完了すると、登録 "ビープ" が鳴ります。動作可能なサイト、つまりフォールバック モードでないサイトの範囲に

入っている場合は、ローミング要求ボタン (無線機にプログラムされている場合) を押して、無線機に利用可能なサイトを強制的に検索させ、このサイトに登録させることができます。利用可能な他のサイトがない場合、無線機は検索の完了後に、自動フォールバック モードに戻ります。フォールバック リピータの通信範囲外に移動すると、無線機は検索モードを開始します (ディスプレイに「けんさくちゅう」と表示)。

6.3.3

無線機チェック

有効である場合、この機能を使用することで、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、その無線機のユーザーを呼び出さずに判断できます。ターゲットの無線機には、音声や映像による通知は行われません。

6.3.3.1

無線機チェックの送信

- 1 無線機チェック機能にアクセスします。

無線機 コント ロール	手順
プログラムされた無線機チェックボタン	a プログラムされた【無線機チェック】ボタンを押します。 b ▲ または ▼ を押して必要な無線機エイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
メニュー	a  メニューにアクセスします を押します。 b ▲ または ▼ を押して【れんらくさき】に移動し、 を押して選択します。 c ▲ または ▼ を押して必要な無線機エイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

無線機 コント ロール	手順
	d ▲ または ▼ を押して【むせんきチェック】に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイにターゲット エイリアスが表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色で点灯します。

2 確認応答を待ちます。

ターゲットの無線機がシステムでアクティブな場合は、トーンが鳴り、ディスプレイに【むせんきしようか】と表示されます。

ターゲットの無線機がシステムでアクティブでない場合は、トーンが鳴り、ディスプレイに【むせんきしようふか】と表示されます。

メニューから開始した場合、無線機のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

プログラム可能ボタンから開始した場合は、ホーム画面に戻ります。

6.3.4

【リモート モニタ】

リモート モニタ機能を使用して、ターゲット無線機のマイクをオンにします (無線機のエイリアスまたは ID のみ)。ターゲット無線機で緑色の LED が一度点滅します。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティを遠隔でモニタできます。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。

6.3.4.1

リモート モニタの開始



注記：

リモート モニタは、プログラムされた期間の後、または送信の開始、チャネルの変更、または電源オフが試行されたときに、自動的に停止します。

- 1 リモート モニタ機能にアクセスします。

無線機コントロール

手順

プログラムされた【リモート モニタ】ボタン

- a プログラムされた【リモート モニタ】ボタンを押します。
- b ▲ または ▼ を押して必要な無線機エイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

メニュー

- a  メニューにアクセスしますを押します。
- b ▲ または ▼ を押して「れんらくさき」に移動し、 を押して選択します。
- c ▲ または ▼ を押して必要な無線機エイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- d ▲ または ▼ を押して「ダイヤル」に移動し、 を押して選択します。

無線機コントロール	手順
	e ▲ または ▼ を押して『リモート モニタ』に移動し、  を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に、『きょうせいモニタ』と表示されます。テキスト行の 2 行目に、ターゲットエリアスが表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点滅します。

2 確認応答を待ちます。

成功すると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、短時間だけディスプレイに『きょうせいモニタか んりょう』と表示されます。プログラムされた期間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに『きょうせいモニタ』、ターゲットエリアスの順に表示されます。タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

失敗の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに『きょうせいモニタしっぱい』と表示されます。

6.3.5

スキャン

この機能を使用すると、無線機では、事前プログラム済み スキャン リストで定義されたグループに対して、通話をモニタし、これに参加できます。スキャンが有効の場合、ステータス バーにスキャン アイコンが表示され、アイドル状態のときに LED が黄色に点滅します。

6.3.5.1

スキャンの開始と停止



注記：

この手順で、現在選択されているゾーンと同じネットワーク ID を持つすべての Connect Plus ゾーンのスキャン機能をオンまたはオフにします。この手順でスキャン機能をオンにしても、スキャン リストの一部 (またはすべて) のグループのスキャン機能は引き続き無効な場合がありますので注意してください。詳細については、「[スキャン リストの編集 ページ 234](#)」を参照してください。

スキャンを開始および停止するには、プログラムされた[スキャン] ボタンを押すか、または次に説明する手順を実行してください。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2  または  を押して[スキャン] に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して[オン] または[オフ] に移動し、 を押して選択します。
 - スキャンが有効な場合は、ディスプレイに[スキャン オン]と表示されます。
 - スキャンが有効な場合は、[スキャン] メニューに[オフ]が表示されます。
 - スキャンが無効な場合は、ディスプレイに[スキャン オフ]と表示されます。
 - スキャンが無効な場合は、[スキャン] メニューに[オン]が表示されます。

6.3.5.2

スキャン中の送信への応答

スキャン中、無線機はアクティビティが検知されたグループで停止します。無線機は、制御チャネルでアイドル状態のときに、スキャン リストのメンバーを常に待ち受けます。

- 1 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。

- 2 ハング タイム中に **PTT** ボタンを押します。
LED が緑色で点灯します。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
ハング タイム中に応答しないと、無線機は他のグループのスキャンに戻ります。

6.3.6

ユーザー設定可能スキャン

[へんしゅうリスト] メニューが有効になっている場合、ユーザーが[メンバーつか] メニューからスキャン メンバーの追加と削除ができます。スキャン リスト メンバーは、現在

選択されているゾーンと同じネットワーク ID を持つ、Connect Plus ゾーンのチャンネル選択位置に現在割り当てられているレギュラー グループ連絡先 (たとえば、マルチグループ、またはサイト一斉コール/ネットワーク全体の一斉コールではない) である必要があります。また、グループのエイリアスも、現在のゾーン スキャン リストに含まれているグループと一致してはなりません。

スキャンは、メニューを使用するか、プログラムされた [スキャン オン/オフ] ボタンを押すことにより、オンまたはオフにできます。

この機能は、無線機が現在通話中でない場合のみ動作します。通話を聞いている最中は、無線機で他のグループ コールをスキャンできないため、他のグループ コールが進行中であることを認識しません。通話は終了すると、無線機は制御チャンネル タイム スロットに戻り、スキャン リストにあるグループをスキャンできます。

6.3.7

スキャンのオンとオフの切り替え



注記:

この手順で、現在選択されているゾーンと同じネットワーク ID を持つすべてのゾーンのスキャン機能をオンまたはオフにします。この手順でスキャン機能をオンにしても、スキャン リストの一部 (またはすべて) のグループのスキャン機能は引き続き無効な場合がありますので注意してください。詳細については、次のセクションを参照してください。

スキャンがオンになっていると、スキャン アイコンがディスプレイに表示されます。スキャンがオンであり、通話に参加していない場合は、黄色と緑の LED が点滅します。

スキャンをオンまたはオフにする手順は、無線機のプログラム方法によって異なります。スキャン オン/オフ ボタンがプログラムされている場合は、そのボタンを使用して、この機能のオンとオフを切り替えます。メニューからスキャンをオンまたはオフにできるように無線機がプログラムされている場合は、次の手順に従います。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2  または  を押して [スキャン] に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「オン」または「オフ」に移動し、 を押して選択します。

- スキャンが無効の場合は、短時間だけディスプレイに「スキャン オン」と表示されます。
- スキャンが有効の場合は、短時間だけディスプレイに「スキャン オフ」と表示されます。

6.3.8

スキャン リストの編集



注記：

スキャン リストのエントリが現在選択されているグループとたまたま一致していた場合、リスト エントリに現在チェック マークが表示されているかどうかにかかわらず、無線機はこのグループのアクティビティを待ち受けます。無線機が通話中でない場合、無線機は、選択されているグループ、マルチグループ、サイト一斉コール、および既定の緊急復帰グループ (構成済みの場合) でのアクティビティを必ず待ち受けます。この動作は無効にできません。スキャンがオンの場合、無線機では有効なゾーン スキャン リスト メンバーのアクティビティを待ち受けます。

スキャン リストによって、スキャンできるグループが決まります。このリストは、無線機をプログラムするときに作成されます。無線機がスキャン リストの編集を許可するようにプログラムされていると、以下が可能です。

- リストの個々のグループに対してスキャンをオン/オフにします。
- [メンバーつか] メニューからスキャン メンバーを追加および削除します。「[\[メンバーつか\] メニューからのグループの追加または削除 ページ 235](#)」を参照してください。



注記：

スキャン リスト メンバーは、現在選択されているゾーンと同じネットワーク ID を持つ、Connect Plus ゾーンのチャネル選択位置に現在割り当てられているレギュラー グループ連絡先 (マルチグループ、またはサイト一斉コール/ネットワーク全体の一斉コールではない) である必要があります。

また、グループのエイリアスも、現在のゾーン スキャン リストに含まれているグループと一致してはなりません。

1

 メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『リストへんしゅう』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して目的のグループ名に移動します。

グループ名の前にチェック マークが付いている場合は、現在そのグループに対してスキャンが有効です。グループ名の前にチェック マークが付いていない場合は、現在そのグループに対してスキャンが無効です。

4  を押して目的のグループ名を選択します。

グループに対してスキャンが現在無効な場合は、ディスプレイに『ゆうこう』と表示されます。

グループに対してスキャンが現在有効な場合は、ディスプレイに『ていし』と表示されます。

5 表示されたオプション (『ゆうこう』または『ていし』) を選択し、 を押して選択します。

どのオプションを選択したかに応じて、『スキャンゆうこう』または『スキャンていし』が、確認のために一瞬ディスプレイに表示されます。

無線に、ゾーン スキャン リストが再度表示されます。グループのスキャンが有効な場合、グループ名の前にチェック マークが表示されます。グループのスキャンが無効な場合、グループ名の前のチェック マークは削除されます。

6.3.9

【メンバーつか】メニューからのグループの追加または削除

Connect Plus 無線機では、グループ番号やグループ エイリアスをゾーン スキャン リストに重複して掲載できず、"スキャンの候補" として表示することもできません。したがって、[ステップ6](#)と[ステップ7](#)に記載された"スキャンの候補" リストは、ゾーン スキャン リストからグループを追加または削除した後に、変わる場合があります。

スキャン リストを編集できるように無線機がプログラムされている場合、[メンバーつか] メニューを使用して、現在

選択されているゾーンのスキャン リストにグループを追加できます。また、現在選択されているゾーンのスキャン リストからグループを削除できます。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して [スキャン] オプションに移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して <[メンバーつかい] に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイに、[ゾーン n からメンバーをついか] と表示されます (n は、現在選択しているゾーンと同じ Network ID を持つ無線機の最初の Connect Plus ゾーンの Connect Plus ゾーン番号です)。

4 次のいずれかを実行します。

- スキャン リストに追加するグループが、そのゾーン内でチャンネル セレクタ位置に割り当てられている場合は、[ステップ 6](#) に進んでください。
- スキャン リストに追加するグループが、別の Connect Plus ゾーン内でチャンネル セレクタ位置

に割り当てられている場合は、[ステップ 5](#) に進んでください。

5 ▲ または ▼ を押して、現在選択しているゾーンと同じネットワーク ID を持つ、Connect Plus ゾーンのリストまでスクロールします。

6 目的のグループがチャンネル セレクタ位置に割り当てられている Connect Plus ゾーンが見つかったら、 を押して選択します。

無線機に、そのゾーンでチャンネル位置に割り当てられているグループ リストで最初のエントリが表示されます。そのリストのグループは、現在選択しているゾーンのスキャン リスト (またはすでにゾーンに存在するスキャン リスト) に追加できるため、"スキャンの候補" と呼びます。

スキャン リストに追加できるグループがゾーンにない場合、無線機に「こうほなし」と表示されます。

7 ▲ または ▼ を押して、候補グループのリストをスクロールします。

グループ エイリアスの直前のプラス記号 (+) は、そのグループが、現在選択しているゾーンのスキャン リスト内にあることを示しています。

エイリアスの直前にプラス記号 (+) が表示されない場合は、そのグループがスキャン リスト内になく、追加できることを示しています。

- 8  該当するグループ エイリアスが表示されたら、 を押します。

このグループが現在選択しているゾーンのスキャン リストにない場合は、『つか』(グループ エイリアス) メッセージが表示されます。

このグループが現在選択しているゾーンのスキャン リストにすでに存在している場合は、『さくじょ』(グループ エイリアス) メッセージが表示されます。

- 9  を押して表示されたメッセージ (『つか』または『さくじょ』) を承諾します。

リストからグループを削除した場合は、エイリアスの直前にプラス記号 (+) が表示されなくなるので、操作が正常に完了したことがわかります。

リストにグループを追加した場合は、エイリアスの直前にプラス記号 (+) が表示されるので、操作が正常に完了したことがわかります。

グループを追加しようとして、リストがすでに一杯の場合は、無線機に『リストがまんぱい』と表示され

ます。この場合、新しいグループを追加する前に、スキャン リストからグループを削除する必要があります。

- 10 終了したら、希望するメニューに戻るのに必要な回数だけ  を押します。

6.3.10

スキャン動作の説明



注記：

異なるゾーンの無線機がゾーン スキャン リスト メンバーの通話に参加し、応答する前に通話のコール ハング タイマーの期限が切れた場合、応答するには、スキャン リスト メンバーのゾーンとチャネルに移動して、新しい通話を開始する必要があります。

スキャン リストにあるグループに対する通話を聞き逃す場合があります。次のいずれかの理由で通話を聞き逃した場合、原因は無線機の問題ではありません。これは、Connect Plus の通常のスキャン動作です。

- スキャン機能がオンになっていない (ディスプレイにスキャン アイコンがあるか確認してください)。
- スキャン リスト メンバーがメニューから無効にされている (スキャン リストの編集 ページ 234 を参照)。

- すでに通話に参加している。
- スキャン グループのいずれのメンバーもサイトに登録されていない (マルチサイト システムのみ)。

6.3.11

トークバックのスキャン

無線機が選択可能グループ スキャン リストからの通話をスキャンする場合にスキャンされた通話の間に **PTT** ボタンを押した場合、無線機の動作は、無線機のプログラミングの間にスキャン トークバックが有効だったか無効だったかに応じて決まります。

スキャン トークバック無効

無線機がスキャンされた通話を終了し、現在選択されているチャンネル位置の連絡先名に基づいて送信を行います。現在選択されている連絡先のコール ハング タイムの期限が切れた後、無線機はホーム チャンネルに戻り、スキャン ハング タイム タイマーを開始します。スキャン ハング タイム タイマーの期限が切れた後、無線機はグループ スキャンを再開します。

スキャン トークバック有効

スキャンされた通話のグループ ハング タイム中に **PTT** ボタンを押すと、無線機はスキャン グループへの送信を試みます。



注記:

現在選択されているゾーン内のチャンネル位置に割り当てられていないグループに対する通話をスキャンしている際に、通話のハング タイムを逃した場合、適切なゾーンに切り替えてから、グループのチャンネル位置を選択し、そのグループにトーク バックします。

6.3.12

グループの優先度の設定

優先度モニタ機能を使用すると、無線機は、別の通話中に優先度の高いグループからの通話を受信すると、自動的に通話を切り替えます。無線機が優先度の高い通話に切り替えるとき、トーンが鳴ります。

グループの優先度には、2つのレベルがあります。P1 と P2 です。P1 が P2 よりも優先されます。



注記：

既定の緊急復帰グループ ID が MOTOTRBO Connect Plus オプション ボード CPS で設定されている場合、グループの優先度は次の3つのレベルになります：P0、P1、および P2。P0 は 永久緊急復帰グループ ID で最優先されます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して「スキャン」に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「リストへんしゅう」に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なグループに移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して「ゆうせんど」に移動し、 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要な優先度に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、前の画面に戻ります。優先度を示すアイコンはグループの左側に表示されます。

6.3.13

連絡先設定



注記：

Connect Plus 連絡先の無線機 ID の追加または編集を行うことができます。無線機 ID の削除は、ディーラーのみが実行できます。あるチャンネルで秘話モード機能が有効であれば、そのチャンネルで、秘話対応音声コールを行えます。無線機と同一のプライバシー キー、または同一のキー値とキー ID が設定された相手の無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。

連絡先リストへのアクセスは、ゾーン設定によって異なります。

- 無線機で設定されているゾーンが 1 つのみの場合は、現在選択されているゾーンから直接、連絡先リストが表示されます。
- 無線機で複数のゾーンが設定されている場合は、現在選択されているゾーンと同じネットワーク ID を持つすべてのゾーンが、ゾーン連絡先フォルダに表示されます。ユーザーはそれらのゾーンの連絡先にアクセスできません。

連絡先は、無線機の「アドレス帳」機能になります。各エントリは、通話を開始するときに使用するエイリアスまたは ID に対応します。

ゾーンごとに、最大 100 件の連絡先に関する連絡先リストが提供されます。次の連絡先タイプを使用できます。

- 個別コール
- グループ通話
- マルチグループ コール
- サイトー斉コール音声
- サイトー斉コール テキスト
- [ディスパッチ コール]

連絡先タイプのディスパッチ コールは、サードパーティのテキスト メッセージ サーバーを介して、ディスパッチャ

PC にテキスト メッセージを送信するために使用されます。

6.3.13.1

連絡先からの個別コール発信

- ④ メニューにアクセスします を押します。
- ▲ または ▼ を押して「れんらくさき」に移動し、④ を押して選択します。
エントリはアルファベット順にソートされます。
- 次に説明する手順のいずれかを実行して、必要な無線エイリアスを選択します。
 - 無線機のエイリアスを直接選択します。
 - ▲ または ▼ を押して必要な無線機のエイリアスまたは ID に移動します。
 - 「ダイアル」メニューを使用します。
 - ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動し、④ を押して選択します。

- 以前にダイアルした ID が存在する場合、その ID と、点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して ID を編集/入力します。

 を押して選択します。

4 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。

5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
LED が緑色で点灯します。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先無線機が応答すると LED は緑色で点滅し、ディスプレイに送信ユーザーの ID が表示されます。
音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。
短いトーンが聞こえます。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

6.3.13.2

エイリアス検索による通話発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。

この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。

1  メニューにアクセスします を押します。

2  または  を押して「れんらくさき」に移動し、
 を押して選択します。
エントリはアルファベット順にソートされます。

3 許可されたエイリアスの最初の文字を入力し、 または  を押して、必要なエイリアスを選択します。

4 無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 垂直方向に保持します。

5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
LED が緑色で点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ターゲットの無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

ディスプレイに『コールしゅうりょう』と表示されます。

4 キーパッドを使用して連絡先番号を入力し、 を押して確認します。

5 キーパッドを使用して連絡先の名前を入力し、 を押して確認します。

6 連絡先を追加する場合は、 または  を押して必要な着信音タイプに移動し、 を押して選択します。

無線機からはポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイに『れんらくさきほぞんずみ』と表示されます。

6.3.13.3

新規連絡先の追加

1  メニューにアクセスします を押します。

2  または  を押して『れんらくさき』に移動し、 を押して選択します。

3  または  を押して『しんき とうろく』に移動し、 を押して選択します。

6.3.14

通話インジケータ設定

この機能を使用すると、無線機ユーザーが通話やテキストメッセージの着信音を設定できます。

6.3.14.1

ページング用着信音のオンとオフの切り替え

受信ページングの着信音を選択したり、オンとオフを切り替えることができます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動し、 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『ページング』に移動し、 を押して選択します。
現在のトーンは、✓で示されます。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動し、 を押して選択します
✓選択したトーンの隣に が表示されます。

6.3.14.2

個別コール用着信音のオンとオフの切り替え

受信した個別コールの着信音のオンとオフを切り替えられます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『トーン／アラート』に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動し、 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『こべつコール』に移動し、 を押して選択します。

- 7  を押して、個別コールの着信音をオンまたはオフにします。

個別コールの着信音がオンの場合は、『ゆうこう』の隣に✔が表示されます。

個別コールの着信音がオフの場合、✔は表示されません。

6.3.14.3

テキスト メッセージ用着信音のオンとオフの切り替え

受信したテキスト メッセージの着信音のオンとオフを切り替えられます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『トーン／アラート』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動し、 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『テキスト メッセージ』に移動し、 を押して選択します。
現在のトーンは、✓ で示されます。

7 ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動し、 を押して選択します
✓ 選択したトーンの隣に が表示されます。

6.3.14.4

アラート タイプの選択



注記：
プログラムされた【アラートタイプ】ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

無線機通話を、事前設定したマナー通話となるようにプログラムできます。[ぜんトーン] ステータスが無効である場

合、[ぜんトーンしょうおん] アイコンが表示されます。[ぜんトーン] ステータスが有効である場合、関連するアラート音タイプが表示されます。

瞬時着信音スタイルである場合は、バイブが 1 回振動します。繰り返し着信音スタイルである場合は、バイブが繰り返して動作します。[着信音とバイブ] に設定されている場合、受信トランザクション (ページング、メッセージなど) があると、特定の着信音が鳴ります。これは、ポジティブインジケータ トーンや不在着信の音に似ています。通知リストが空でない場合、5 分ごとにバイブが繰り返されます。

アラート音タイプを選択するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【アラート音タイプ】ボタンを押して、[アラートおんタイプ] メニューにアクセスします。
- a. ▲ または ▼ を押して『よびだし』、[バイブ]、[着信音とバイブ] または [サイレント] に移動し、 を押して選択します。
- メニューからこの機能にアクセスします。
- a.  メニューにアクセスします を押します。

- b. ▲ または ▼ を押して「せってい」に移動し、
Ⓢを押して選択します。
- c. ▲ または ▼ を押して「きのうせってい」に移動し、
Ⓢを押して選択します。
- d. ▲ または ▼ を押して「トーンアラート」に移動し、
Ⓢを押して選択します。
- e. ▲ または ▼ を押して「アラートおんタイプ」に移動し、
Ⓢを押して選択します。
- f. ▲ または ▼ を押して「よびだし」、「パイプ」、「着信音とパイプ」または「サイレント」に移動し、
Ⓢを押して選択します。

6.3.14.5

パイプの強さの設定



注記：
プログラムされた【パイプの強さ】ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

パイプの強さを設定するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【パイプの強さ】ボタンを押して、
【パイプのつよさ】メニューにアクセスします。
 - a. ▲ または ▼ を押して「みじかい」、「ふつう」、
または「ながい」に移動し、
Ⓢを押して選択します。
- メニューからこの機能にアクセスします。
 - a. Ⓢメニューにアクセスします を押します。
 - b. ▲ または ▼ を押して「せってい」に移動し、
Ⓢを押して選択します。
 - c. ▲ または ▼ を押して「きのうせってい」に移動し、
Ⓢを押して選択します。
 - d. ▲ または ▼ を押して「トーンアラート」に移動し、
Ⓢを押して選択します。
 - e. ▲ または ▼ を押して「パイプのつよさ」に移動し、
Ⓢを押して選択します。

- f. ▲ または ▼ を押して「みじかい」、「ふつう」、
または「ながい」に移動し、 を押して選択します。

6.3.14.6

警告トーンの音量を上げる

無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するよう、無線機をプログラムできます。時間が経つにつれて、アラーム トーンは自動的に大きくなります。この機能はステップ アラートとして知られています。

6.3.15

通話履歴

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。コール ログ機能を使用し、最近の通話を表示して管理します。

各通話リストでは次のタスクを実行できます。

- 削除
- 詳細の表示

6.3.15.1

最近の通話の表示

リストは「ふざいちゃくしん」、「へんとうずみ」、および「はっしん」です。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して「つうわ りれき」に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して優先リストに移動し、 を押して選択します。
ディスプレイには、最近のエントリがリストの最初に表示されます。
- 4 ▲ または ▼ を押してリストを表示します。
PTT ボタンを押して、現在選択されているエイリアスまたは ID に個別コールを開始します。

6.3.15.2

通話リストからの通話の削除

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『つうわ りれき』に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動し、 を押して選択します。
通話リストを選択してもエントリがなければ、ディスプレイに『リストにありません』と表示され、キー操作音がオンであれば低いトーンが鳴ります。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動し、 を押して選択します。
- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して『はい』を選択してエントリを削除します。ディスプレイに『にゅうりよくさくじょずみ』と表示されます。
- ▲ または ▼ を押して『いいえ』に移動し、 ボタンを押します を押して前の画面に戻ります。

6.3.15.3

通話リストからの詳細の表示

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『つうわ りれき』に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動し、
Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイに、通話リストの詳細が表示されます。

6.3.16

ページング操作

ページング機能により、相手が応答できる状態になったらかけ直すよう、特定の無線機ユーザーに警告できます。

この機能は、メニューから連絡先、ダイヤル、またはプログラムされた【ワンタッチアクセス】ボタンを使用してアクセスできます。

6.3.16.1

ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。

- ディスプレイに通知リストが表示され、ページングとともに、呼び出し元無線機のエイリアスまたは ID が示されます。

ディーラーまたはシステム管理者の設置に応じて、以下の1つを行うことによりページングに応答できます。

- **PTT** ボタンを押し、個別コールを使って発信者に直接応答します。
 - **PTT** ボタンを押し、通常のグループ通信を続けます。
ページングは通話履歴メニューの不在着信履歴オプションに移動します。不在着信履歴から発信者に応答できます。
-

詳しくは、「[通知リスト ページ 172](#)」および「[通話履歴機能 ページ 131](#)」を参照してください。

6.3.16.2

連絡先リストからのページングの発信

- 1 Ⓜ メニューにアクセスします を押します。
-

- 2 ▲ または ▼ を押して「れんらくさき」に移動し、
 (Ⓜ) を押して選択します。

- 3 次に説明するいずれか 1 つの手順を使用して、必要な無線機のエイリアスまたは ID を選択します。

- 無線エイリアスを直接選択します。
 - ▲ または ▼ を押して必要な無線エイリアスに移動し、(Ⓜ) を押して選択します。
- 「ダイヤル」メニューを使用します。
 - ▲ または ▼ を押して「ダイヤル」に移動し、(Ⓜ) を押して選択します。
 - ダイヤルのテキスト入力画面が表示されます。無線機 ID を入力し、(Ⓜ) を押します。

- 4 ▲ または ▼ を押して「ページング」に移動し、
 (Ⓜ) を押して選択します。

ディスプレイに「ページング:」と表示されます。ディスプレイに「<無線機のエイリアスまたは ID>」「ページング」と無線機のエイリアスまたは ID が表示され、ページングが送信されたことが示されます。

無線機がページングを送信している間は緑色の LED が点灯します。

ページングの確認応答を受信すると、ディスプレイに「ページングかんりょう」と表示されます。

ページングの確認応答を受信しなかった場合は、ディスプレイに「ページングしっぱい」と表示されます。

6.3.16.3

ワンタッチ アクセス ボタンを使用したページング

プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押して、事前に定義されたエイリアスにページングを発信します。

ディスプレイには「ページング」と無線機のエイリアスまたは ID が表示され、ページングが送信されたことが示されます。

無線機がページングを送信している間は緑色の LED が点灯します。

ページングの確認応答を受信すると、ディスプレイに「ページングかんりょう」と表示されます。

ページングの確認応答を受信していない場合は、ディスプレイに『ページングしっぱい』と表示されません。

6.3.17

ミュートモード

ミュートモードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュートモードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュートモードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。



重要：

一度に有効にできるのは、フェイスダウンかマンダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

6.3.17.1

ミュートモードの有効化

下記の手順に従って、ミュートモードを有効にします。

以下のいずれか1つの手順を実行します。

- この機能には、プログラムされた【ミュートモード】ボタンからアクセスします。
- 無線機の前面を1回だけ下に向けると、この機能にアクセスできます。

無線機のモデルによっては、フェイスダウン機能はラジオメニューを使用して有効にするか、システム管理者が有効にします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



重要：

一度に有効にできるのは、マンダウンとフェイスダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。



注記：

フェイスダウン機能は、SL2Kのみに該当します。

ミュートモードを有効にすると、次のことが発生します。

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ミュートモード オン』と表示されます。
- 赤色のLEDライトの点滅が開始し、ミュートモードが終了するまで点滅したままになります。

- ディスプレイのホーム画面に【ミュート モード】アイコンが表示されます。
- 無線機がミュートになります。
- ミュート モード タイマーが、設定された時間のカウントダウンを開始します。

6.3.17.2

ミュート モード タイマーの設定

ミュート モード タイマーを設定すると、事前設定した所定の時間の間、ミュート モード機能を有効にすることができます。タイマーの時間は、無線機メニューで 0.5 ～ 6 時間の範囲内に設定できます。ミュート モードは、タイマーの時間が切れると終了します。

タイマーを 0 のままにすると、無線機の前面を上向きにするか、プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押すまで、無線機は無期限にミュート モードのままになります。



注記：
フェイス ダウン機能は、SL2K のみに該当します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ミュート タイマー] に移動します。  を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して各桁の数値を編集し、  を押します。

6.3.17.3

ミュート モードの終了

この機能は、ミュート モード タイマーの時間が切れると、自動的に終了します。

ミュート モードを手動で終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押します。

- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。
- 無線機の前面を 1 回だけ上に向けます。



注記：
フェイス ダウン機能は、SL2K のみに該当します。

ミュート モードを無効にすると、次のことが発生します。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ミュート モード オフ』と表示されます。
- 点滅する赤い LED が消灯します。
- ホーム画面から【ミュート モード】アイコンが消えます。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカーが元の状態に戻ります。
- タイマーの時間が切れていない場合、ミュート モードタイマーが停止します。



注記：
ユーザーが音声を送信した場合や、プログラムされていないチャンネルに切り替えた場合も、ミュート モードは終了します。

6.3.18

緊急操作



注記：
サイレントまたは音声付きサイレントでの緊急の開始がプログラムされている無線機では、通常は、緊急コールまたは緊急アラートが終了すると、サイレント動作が自動的に終了します。このルールの例外は、緊急モードに緊急アラートが構成されており、緊急タイプにサイレントが構成されている場合です。無線機がこのようにプログラムされている場合は、**PTT** を押すか、緊急オフ用に構成されているボタンを押してサイレント動作をキャンセルするまで、サイレント動作が続行されます。

Connect Plus の自動フォールバック モードで動作する場合、緊急音声コールと緊急アラートはサポートされていません。詳細については、「[自動フォールバック ページ 226](#)」を参照してください。

重大な状況を示すために、緊急アラートが使われます。いつでも、どの画面でも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。**[緊急]** ボタンを押すと、プログラムされた緊急モードが開始されます。プログラムされた緊急モードは、オプションのマンダウン機能をトリガすることで開始することもできます。緊急機能は、無線機で無効にされている場合があります。

ディーラーは、プログラムされた【緊急】ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 秒から 0.75 秒の間

長押し

1.00 秒から 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。

- 緊急ボタンの短押しに緊急モードのオンを割り当てると、緊急ボタンの長押しには緊急モードの終了が割り当てられます。
- 緊急ボタンの長押しに緊急モードのオンを割り当てると、緊急ボタンの短押しには緊急モードの終了が割り当てられます。

Connect Plus ゾーンで選択されている場合、無線機では、3 種類の緊急モードをサポートします。

緊急通話

割り当てられた緊急タイム スロットで通話するには、**PTT** ボタンを押す必要があります。

音声ガイドおよび緊急コール

割り当てられた緊急タイム スロットでの最初の送信のためにマイクのミュートが自動的に解除され、**PTT** ボタンを押さずに通話できます。マイクは、無線機にプログラムされている期間、この方法で常時 "ホット" になります。同じ緊急コールでさらに送信するには、**PTT** ボタンを押す必要があります。

緊急警告

緊急アラートは音声通話ではありません。このアラートを受信するように構成されている無線機に送信される緊急通知です。無線機は、現在登録されているサイトの制御チャネルを使用して緊急アラートを送信します。この緊急アラートは、アラートを受信するようにプログラムされている Connect Plus ネットワークにある無線機によって受信されます (無線機が登録されているネットワーク サイトを問わない)。

ゾーンごとに 1 種類の緊急モードのみを緊急ボタンに割り当てることができます。また、緊急モードには以下のタイプがあります。

レギュラー

無線機は緊急を開始し、音声インジケータと視覚的インジケータの両方またはいずれかを表示します。

サイレント

音声インジケータも視覚的インジケータも示さずに、無線機は緊急を開始します。無線機は、**PTT** ボタンを押し

て音声送信を開始するまで、緊急状況を示すすべての音声インジケータと視覚的インジケータを抑制します。

音声付きサイレント

何らかの音声送信でも無線機のミュートが解除される点を除きサイレント動作と同じです。

6.3.18.1

緊急コールの開始



注記：

無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中は、**PTT** ボタンを押して音声送信を開始するまでは、音声インジケータも視覚的インジケータも表示されません。

無線機が音声付きサイレントに設定されている場合、当初、無線機が緊急モードであることを示す音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。ただし無線機は、緊急コールに応答する無線送信のためにミュート解除されます。緊急インジケータは、無線機から音声送信を開始するために **PTT** ボタンを押した後にのみ表示されます。

"サイレント" と "音声付きサイレント" の両方の動作で、緊急コールが終了すると、無線機はサイレント動作を自動的に終了します。

1 プログラムされた [緊急] ボタンを押します。

2 **PTT** ボタンを押して緊急グループでの音声送信を開始します。

PTT ボタンを放すと、[きんきゅうコール ハング タイム] に指定した期間、緊急コールが続行されます。

この期間に **PTT** ボタンを押した場合、緊急コールは続行されます。

6.3.18.2

音声ガイド付き緊急コールの開始

無線機がこのタイプの動作用にプログラムされている必要があります。

この動作を有効にしてある場合、プログラムされた [緊急] ボタンを押して無線機がタイム スロットの割り当てを受け取ると、マイクは **PTT** ボタンを押さなくても自動的にアクティブになります。このアクティブな状態のマイクを「ホットマイク」と呼びます。"ホットマイク" は、緊急コールの間にお使いの無線機からの最初の音声送信に適用されます。同じ緊急コールでさらに送信するには、**PTT** ボタンを押す必要があります。

1 プログラムされた [緊急] ボタンを押します。

- 2 マイクは、無線機コードプラグ プログラミングで指定されている "ホット マイク" 時間の間、アクティブなままになります。

この期間、LED が緑色で点灯します。

- 3 プログラムされた持続時間よりも長く通話するには、**PTT** ボタンを押し続けます。

6.3.18.3

緊急アラートの開始



注記：

"サイレント" または "音声付きサイレント" での緊急の開始がプログラムされている無線機では、緊急アラートの送信中に音声による通知も視覚的な通知も示されません。"サイレント" がプログラムされている無線機では、PTT を押すか、[きんきゅうオフ] が設定されたボタンを押すまで、サイレント動作がいつまでも続行されます。"音声付きサイレント" がプログラムされている場合、サイト コントローラが緊急アラートをブロードキャストすると、無線機はサイレント動作を自動的にキャンセルします。

オレンジの 緊急 ボタンを押します。

緊急アラートをサイト コントローラに送信すると、緊急アイコン、緊急アラートに対して使われるグループ連絡先、および [TX アラーム] が無線機のディスプレイに表示されます。

緊急アラートが正常に送信されて他の無線機で受信するようにブロードキャストされると、ポジティブ インジケータトーンが鳴り、無線機に [アラーム そうしん] と表示されます。緊急アラートに失敗すると、ネガティブ インジケータトーンが鳴り、無線機に [アラーム NG] と表示されます。

6.3.18.4

着信緊急の受信

無線機は、アラート トーンを鳴らすとともに、着信緊急についての情報も表示するようにプログラムされていることがあります。このようにプログラムされている場合、着信緊急を受信すると、[Emergency Details](きんきゅうしょうさい) 画面がただちにディスプレイに表示されます。緊急アイコン、緊急を要求した無線機のエイリアスまたは ID、緊急時に使用されるグループ連絡先、および追加情報行 1 行も表示されます。追加情報は、グループの連絡先が含まれているゾーン名です。

現時点では、無線機には最後にデコードされた緊急だけが表示されます。前の緊急がクリアされる前に新しい緊急を受信した場合、新しい緊急詳細が、前の緊急詳細に置き換わります。

無線機がどのようにプログラムされているかによっては、緊急が終了した後でも、無線機のディスプレイには [Emergency Details](きんきゅうしょうさい) 画面 (または [アラーム リスト] 画面) が表示されたままになります。次のセクションで説明するように、[アラーム リスト] に緊急詳細を保存したり、緊急詳細を削除したりできます。

6.3.18.5

緊急詳細のアラーム リストへの保存

緊急詳細をアラーム リストに保存すると、メイン メニューから [アラーム] を選択することで、後で詳細を再度表示できます。

- 1 [緊急詳細] (または [アラーム]) 画面が表示されている間に、 を押します。
[がいぶアラーム リスト] 画面が表示されます。

- 2 下記の作業のどちらかを実行します。

- [はい] を選択して  を押して、アラーム リストに緊急詳細を保存し、[緊急詳細] (または [アラーム]) 画面を終了します。
- [いいえ] を選択して  を押して、[緊急詳細] (または [アラーム]) 画面に戻ります。

6.3.18.6

緊急詳細の削除

- 1 [緊急詳細] 画面が表示されている間に、 を押します。
[さくじょ] 画面が表示されます。

- 2 下記の作業のどちらかを実行します。

- [はい] を選択して  を押すと、緊急詳細が削除されます。
- [いいえ] を選択して  を押すと、[緊急詳細] 画面に戻ります。

6.3.18.7

緊急コールへの応答



注記：

緊急コール ハング タイムに割り当てられた時間内に緊急コールに応答しない場合、緊急コールは終了します。緊急コール ハング タイムが期限切れになった後グループと通話する場合、最初にそのグループに割り当てられたチャンネル位置を選択します (まだ選択されていない場合)。次に **PTT** を押して、グループに対して非緊急コールを開始します。

- 1 緊急アラームを受信すると、任意のボタンを押してすべての緊急アラームの受信通知を停止します。

- 2 **PTT** ボタンを押して緊急グループでの音声送信を開始します。

このグループをモニタしているすべての無線機が、この送信を受信します。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。
LED が緑色に点灯します。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

緊急を通知した無線機が応答すると、緑色の LED が点滅し、無線機の消音が解除され、応答は無線機のスピーカから聞こえます。ディスプレイに、グループコールのアイコン、グループ ID、および送信無線機の ID が表示されます。

6.3.18.8

緊急アラートへの応答



注記：

緊急アラートに使われるグループ連絡先は、音声通信には使用しないでください。この操作を実行すると、他の無線機が同じグループに関する緊急アラートを送受信できなくなります。

無線機からの緊急アラートは、ユーザーが緊急状況にあることを示します。緊急事態を宣言した無線機への個別コールを開始する、該当するトーク グループへのグループ コールを開始する、該当する無線機にページングを送信する、無線機のリモート モニタを開始するなどによって、アラートに対応できます。適切な対応は、組織によって、および個々の状況によって決まります。

6.3.18.9

緊急復帰コールを無視

この機能拡張は、無線機が、アクティブな緊急復帰コールを無視するためのオプションを提供します。

緊急復帰コールを無視できるようにするには、無線機を Connect Plus Customer Programming Software (CPCPS) で設定する必要があります。

この機能が有効になっていると、無線機は緊急通話表示を行いません。また既定の緊急復帰グループ ID で音声を受信しません。

詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

6.3.18.10

緊急モードの終了



注記：

緊急ハング タイムの期限切れが原因で緊急コールが終了する一方で、緊急状況が終わっていない場合は、緊急ボタンを再度押してプロセスをやり直します。

プログラムされた緊急ボタンを押して緊急アラートを開始すると、Connect Plus システムから応答を受信した後、無線機は自動的に緊急モードを終了します。

プログラムされた緊急ボタンを押して緊急コールを開始すると、利用可能になったチャンネルが無線機に自動的に割り当てられます。緊急を示すメッセージが無線機から送信された後は、緊急コールをキャンセルできません。一方、ボタンを間違えて押すか、緊急事態が存在しなくなった場合に、割り当てられたチャンネルを介して、このことを伝える必要がある場合があります。**PTT** ボタンを離すと、緊急コール ハング タイムの期限が切れた後で緊急コールが終了します。

無線機に音声ガイド付き緊急が構成されていた場合は、"ホット マイク" 期間を使用して誤操作について説明し、**PTT** ボタンを押してから離して送信を終了します。緊急コールは、緊急コール ハング タイムの期限が切れると終了します。

6.3.19

テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからテキスト メッセージなどのデータを受信できます。

テキスト メッセージには、デジタル車載型無線機 (DMR) ショート テキスト メッセージと、テキスト メッセージの 2 種類があります。DMR ショート テキスト メッセージの最大長は 23 文字です。テキスト メッセージの最大長は、件

名を含めて 280 文字です。件名は、電子メール アプリケーションからメッセージを受信した場合にのみ表示されます。



注記：

この最大長は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、最大長は 140 文字です。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

6.3.19.1

テキスト メッセージの作成と送信

- 1 テキスト メッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【メッセージ】ボタン	プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。

無線機コントロール

手順

メニュー

- a  メニューにアクセスしますを押します。
- b  または  を押して【メッセージ】に移動し、 を押して選択します。

- 2  または  を押して【へんしゅう】に移動し、 を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。

- 3 キーパッドを使用してメッセージを入力します。

 を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。 
または  キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。不要な文字を削除するときは、 キーを押します。  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

- 4 メッセージが完成したら、**Ⓜ**を押します。
-
- 5 メッセージを送信する場合は、受信者を選択するために以下を実行します。
- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスに移動し、**Ⓜ**を押して選択します。
 - ▲ または ▼ を押して『ダイアル』に移動し、**Ⓜ**を押して選択します。ディスプレイの1行目に『ばんごう:』と表示されます。ディスプレイの2行目に、点滅するカーソルが表示されます。

無線機のエイリアスまたはIDを入力し、**Ⓜ**を押します。

ディスプレイに『メッセージそうしんちゅう』と表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに『メッセージそうしんずみ』と表示されます。

メッセージを送信できない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに『メッセージそうしんしっぱい』と表示されます。

メッセージの送信が失敗すると、『さいそうしん』オプション画面に戻ります(「[送信に失敗したテキストメッセージの管理](#) ページ 266」を参照)。

6.3.19.2

クイック テキスト メッセージの送信

無線機では、ディーラーがプログラミングするクイック テキスト メッセージを最大 10 まで使用できます。

クイック テキスト メッセージは事前定義されていますが、送信前に各メッセージを編集できます。

- 1 テキスト メッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【メッセージ】ボタン	プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。

無線機コントロール	手順
メニュー	a  メニューにアクセスしますを押します。 b ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動し、 を押して選択します。

2 ▲ または ▼ を押して『クイック テキスト』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なクイック テキストに移動し、 を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。

4 必要に応じて、キーパッドを使用してメッセージを編集します。

◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。▶
または  キーを押すと、スペース 1 つ分右側に

移動します。不要な文字を削除するときは、 キーを押します。 を長押しすると、テキスト入力方法が変わります。

5 メッセージが完成したら、 を押します。

6 新たに完成したメッセージを送信するのか、保存するのか、再編集するのか、削除するのかに応じて、次のいずれかを行います。

- ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動し、 を押してメッセージを送信します。
- ▲ または ▼ を押して『ほぞん』に移動し、 を押してメッセージを下書きフォルダに保存します。
-  を押してメッセージを編集します。
-  を再度押して、メッセージを削除するのか下書きフォルダに保存するのかを選択します。

7 メッセージを送信する場合は、以下を実行して受信者を選択します。

- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスに移動し、 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動し、 を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に「ばんごう:」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。

無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

ディスプレイに「メッセージそうしんちゅう」と表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんずみ」と表示されます。

メッセージを送信できない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんしっぱい」と表示されます。

メッセージの送信が失敗すると、「さいそうしん」オプション画面に戻ります(「[送信に失敗したテキストメッセージの管理 ページ 266](#)」を参照)。

6.3.19.3

ワンタッチ アクセス ボタンを使用したクイック テキスト メッセージの送信

事前に定義されたクイックテキストメッセージを事前に定義されたエイリアスに送信するには、プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。

ディスプレイに「メッセージの送信中」と表示されます。

メッセージが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「メッセージ送信完了」と表示されます。

メッセージの送信に失敗すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「メッセージそうしん NG」と表示されます。

テキスト メッセージの送信に失敗すると、無線機は「再送信」オプション画面に戻ります。

送信に失敗したテキスト メッセージの管理 ページ 266 を参照してください。

6.3.19.4

下書きフォルダへのアクセス

下書きフォルダにテキスト メッセージを保存し、後でそのテキスト メッセージを送信できます。

PTT ボタンを押すか、モードの変更により、メッセージの作成や編集にメッセージの作成/編集画面から抜けてしまった場合、現在のメッセージは、下書きフォルダに自動的に保存されます。

最近保存されたテキスト メッセージは、常に下書きリストの一番上に追加されます。

下書きフォルダは、最大で 10 件の最近保存されたメッセージを格納します。フォルダが一杯であるときにテキスト メッセージを保存すると、フォルダの一番古いテキスト メッセージが削除されます。



注記：



を長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

6.3.19.4.1

保存されたテキスト メッセージの表示

- 1 テキスト メッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【メッセージ】ボタン	プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。
メニュー	a  メニューにアクセスしますを押します。 b  または  を押して【メッセージ】に移動し、 を押して選択します。

- 2  または  を押して【したがき】に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。

6.3.19.4.2

保存されたテキスト メッセージの編集と送信

- 1 メッセージの表示中に、 を再度押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して「へんしゅう」に移動し、 を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。
- 3 キーパッドを使用してメッセージを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。▶
または  キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。不要な文字を削除するときは、 キーを押します。 を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。
- 4 メッセージが完成したら、 を押します。
- 5 以下の方法でメッセージ受信者を選択します。

- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスに移動し、 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動し、 を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に「ばんごう:」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。
無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

ディスプレイに「メッセージそうしんちゅう」と表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんずみ」と表示されます。

メッセージを送信できない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんしっぱい」と表示されます。

テキスト メッセージが送信できない場合、そのメッセージは送信済みアイテム フォルダに移動し、送信失敗アイコンのマークが表示されます。

6.3.19.4.3

下書きフォルダからの保存されたテキストメッセージの削除

- 1 テキストメッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【メッセージ】ボタン	プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。
メニュー	a  メニューにアクセスしますを押します。 b ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動し、 を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して【したがき】に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。

- 4 メッセージの表示中に、 を再度押します。

- 5 ▲ または ▼ を押して【さくじょ】に移動し、 を押してテキストメッセージを削除します。

6.3.19.5

送信に失敗したテキストメッセージの管理

【さいそうしん】オプション画面では、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- さいそうしん
- てんそう
- へんしゅう

6.3.19.5.1

テキスト メッセージの再送信

Ⓜ を押して、同じ無線機/グループのエイリアスまたは ID に同じメッセージを再送信します。

メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

メッセージが送信されない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、Ⓜ を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して「ダイヤル」に移動し、Ⓜ を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に「ばんごう:」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。

無線機のエイリアスまたは ID を入力し、Ⓜ を押します。

ディスプレイに「メッセージそうしんちゅう」と表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんずみ」と表示されます。

メッセージを送信できない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんしっぱい」と表示されます。

6.3.19.5.2

テキスト メッセージの転送

別の無線機/グループのエイリアスまたは ID にメッセージを送信するには、「てんそう」を選択します。

- 1 ▲ または ▼ を押して「てんそう」に移動し、Ⓜ を押して選択します。

- 2 以下の手順に従ってメッセージ受信者を選択します。

6.3.19.5.3

テキスト メッセージの編集

送信前にメッセージを編集するには「へんしゅう」を選択します。

- 1 ▲ または ▼ を押して「へんしゅう」に移動し、
 を押して選択します。

点滅するカーソルが表示されます。

- 2 キーパッドを使用してメッセージを編集します。

◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。▶

または  キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。不要な文字を削除するときは、

キーを押します。 を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

- 3 メッセージが完成したら、 を押します。

- 4 新たに完成したメッセージを送信するのか、保存するのか、再編集するのか、削除するのかに応じて、次のいずれかを行います。

- ▲ または ▼ を押して「そうしん」に移動し、
 を押してメッセージを送信します。
 - ▲ または ▼ を押して「ぼぞん」に移動し、 を押してメッセージを下書きフォルダに保存します。
 -  を押してメッセージを編集します。
 -  を再度押して、メッセージを削除するの
下書きフォルダに保存するのを選択します。
- 5 メッセージを送信する場合は、受信者を選択するために以下を実行します。
 - ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
 - ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動し、
 を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に「ばんごう:」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。

無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

ディスプレイに「メッセージそうしんちゅう」と表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんずみ」と表示されます。

メッセージを送信できない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんしっばい」と表示されます。



注記：

 を長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

6.3.19.6.1

送信済みテキスト メッセージの表示

- 1 テキスト メッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【メッセージ】ボタン	プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。
メニュー	a  メニューにアクセスしますを押します。

6.3.19.6

送信済みテキスト メッセージの管理

別の無線機に送信されたメッセージは、[そうしん BOX] に保存されます。最近送信されたテキスト メッセージは、必ず送信済みアイテム リストの一番上に追加されます。

送信 BOX フォルダは、最大で 30 件の最近送信されたメッセージを格納できます。フォルダが一杯であるときにテキスト メッセージを送信すると、置き換えとして、フォルダの一番古いテキスト メッセージが自動的に削除されます。

無線機コントロール	手順
	b ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動し、  を押して選択します。

2 ▲ または ▼ を押して『そうしん BOX』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。

画面の右上隅のアイコンは、メッセージのステータスを示します(「[送信 BOX アイコン ページ 204](#)」を参照)。

- てんそう
- へんしゅう
- 削除

1 メッセージの表示中に、 を再度押します。

2 ▲ または ▼  を押して選択します を押して、次のオプションのいずれかに移動して、

オプション	手順
てんそう	別の加入者/グループのエイリアスまたは ID に選択したメッセージを送信するには、『てんそう』を選択します(「 テキスト メッセージの転送 ページ 267 」を参照)。
へんしゅう	送信前に選択したメッセージを編集するには、『へんしゅう』を選択します(「 テキスト メッセージの編集 ページ 268 」を参照)。
削除	テキスト メッセージを削除するには、『さくじょ』を選択します。

6.3.19.6.2

送信済みテキスト メッセージの送信

送信済みテキスト メッセージを表示中、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- さいそうしん

オプション	手順
さいそう しん	選択したテキスト メッセージを同じ無線機/グループのエイリアスまたは ID に再送信するには、[さいそうしん]を選択します。 同じメッセージが同じターゲット無線機に送信されていることが確認され、ディスプレイに「メッセージそうしんちゅう」と表示されます。 メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんずみ」と表示されます。 メッセージを送信できない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんしっぱい」と表示されます。 メッセージの送信に失敗すると、無線機は「さいそうしん」オプション画面に戻ります。Ⓢを押して、同じ無線機/グループのエイリアス

オプション	手順
	たは ID にメッセージを再送信します。

メッセージ送信中にメッセージ送信画面を終了すると、表示や音声による通知なしで、送信 BOX フォルダ内のメッセージのステータスが更新されます。

送信 BOX 内のメッセージのステータスが更新される前に、無線機のモードが変更されたり電源がオフになったりすると、実行中のメッセージを完了できなくなり、そのメッセージには [送信失敗] アイコンが自動的に付けられます。

無線機では、同時に最大で 5 件の実行中メッセージを使用できます。この間、新しいメッセージを送信できなくなり、新しいメッセージには自動的に [送信失敗] アイコンが表示されます。

6.3.19.6.3

送信済みアイテム内のすべての送信済みテキスト メッセージの削除

- 1 テキスト メッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【メッセージ】ボタン	プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。
メニュー	a (開) メニューにアクセスしますを押します。 b ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動し、(開) を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して【そうしん BOX】に移動し、(開) を押して選択します。

選択した【そうしん BOX】にテキストメッセージが存在しない場合、ディスプレイに【リストにありません】と表示され、キーパッド トーンがオンの場合は低いトーンが鳴ります。

- 3 ▲ または ▼ を押して【ぜんさく じょ】に移動し、(開) を押して選択します。

- 4 次のいずれかを選択します。

- ▲ または ▼ を押して【はい】に移動し、(開) を押して選択します。ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して【いいえ】に移動し、(開) を押して前の画面に戻ります。

6.3.19.7

テキスト メッセージの受信

無線機がメッセージを受信すると、ディスプレイに送信者のエイリアスまたは ID 付きの通知リストとメッセージ アイコンが表示されます。

テキスト メッセージを受信すると、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- 表示
- [Read Later](あとでひょうじ)
- 削除

6.3.19.8

テキスト メッセージの表示

- 1 ▲ または ▼ を押して「よみますか?」に移動し、
 (Ⓜ) を押して選択します。

[じゅしん BOX] 内の選択したメッセージが開きます。

- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- (Ⓜ) を押して [じゅしん BOX] に戻ります。
- (Ⓜ) をもう一度押して、テキスト メッセージの返信、転送、または削除を行います。

6.3.19.9

受信済みテキスト メッセージの管理

受信トレイを使用してテキスト メッセージを管理します。
 受信トレイは最大で 30 件のメッセージを格納できます。

受信トレイ内のテキスト メッセージは、新しく受信した順番にソートされます。

無線機は、テキスト メッセージ用の以下のオプションをサポートします。

- 返信
- てんそう
- 削除
- 全削除



注記：
 チャンネル タイプが一致しない場合、受信メッセージの転送、削除、およびすべて削除のみを行えます。

(Ⓜ) を長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

6.3.19.9.1

【じゅしん BOX】のテキスト メッセージの表示

- 1 (Ⓜ) メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して「メッセージ」に移動し、
 (Ⓜ) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動し、
 (Ⓢ) を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押してメッセージを閲覧します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- (Ⓢ) を押して現在のメッセージを選択し、(Ⓢ) を再度押して、そのメッセージの返信、クイック返信、転送、削除のいずれかを行います。
- ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

6.3.19.9.2

「じゅしん BOX」のテキスト メッセージへの返信

1 テキスト メッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール

手順

プログラムされた
「メッセージ」ボタン

プログラムされた「メッセージ」ボタンを押します。

メニュー

- a (Ⓢ) メニューにアクセスしますを押します。
- b ▲ または ▼ を押して「メッセージ」に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。

2 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動し、
 (Ⓢ) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し、
 (Ⓢ) を押して選択します。

- 4 サブメニューにアクセスするには、 を再度押します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して「へんしん」に移動し、 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して「クイックへんしん」に移動し、 を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。

- 6 キーパッドを使用してメッセージの書き込み/編集を行います。

- 7 メッセージが完成したら、 を押します。
ディスプレイに「メッセージそうしんちゅう」と表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんずみ」と表示されます。

メッセージを送信できない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに「メッセージそうしんしっぱい」と表示されます。

メッセージを送信できない場合、無線機は「さいそうしん」オプション画面に戻ります (送信に失敗したテキストメッセージの管理 ページ 266 を参照)。

6.3.19.9.3

【じゅしん BOX】のテキストメッセージの削除

- 1 テキストメッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【メッセージ】ボタン	プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。
メニュー	a  メニューにアクセスしますを押します。

無線機コントロール	手順
	b ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動し、  を押して選択します。

2 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。

4 サブメニューにアクセスするには、 を再度押します。

5 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動し、 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイに『メッセージさくじょずみ』と表示され、画面が受信 BOX に戻ります。

6.3.19.9.4

受信 BOX からのすべてのテキストメッセージの削除

1 テキスト メッセージ機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
プログラムされた【メッセージ】ボタン	プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。
メニュー	a  メニューにアクセスしますを押します。

無線機コントロール	手順
	b ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動し、  を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動し、 を押して選択します。

選択した『じゅしん BOX』にメッセージが存在しない場合、ディスプレイに『リストにありません』と表示され、キーパッド トーンがオンの場合は低いトーン (キー操作音のオンとオフの切り替え ページ 490 を参照) が鳴ります。

- 3 ▲ または ▼ を押して『ぜんさくじょ』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動し、 を押してを選択します。

ディスプレイに『じゅしん BOX しょうきよずみ』と表示されます。

6.3.20

秘話モード

有効になっている場合、この機能は、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐのに役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、現在のチャンネル セレクタ位置に秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル セレクタ位置で、無線機はクリアな (スクランブルされていない) 送信を引き続き受信できます。

無線機はスクランブル秘話モードをサポートします。

秘話対応の通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同じキー値およびキー ID (スクランブル秘話モード用) を無線機にプログラムする必要があります。

無線機が別のキー値およびキー ID によるスクランブル通話を受信すると、何も聞こえません (スクランブル秘話)。

無線機に秘話モードのタイプが割り当てられている場合、無線機が緊急通話または緊急アラームを送受信している場合を除き、ホーム画面にセキュア アイコンまたは非セキュア アイコンが表示されます。

無線機が送信中の場合、緑色の LED が点灯します。無線機が秘話モード対応で受信中の場合は、緑色の LED が素早く点滅します。

次のいずれかの作業を実行して、この機能にアクセスできます。

- プログラムされた【ひわモード】ボタンを押して、秘話モードのオンとオフを切り替えます。
- 次の手順に従って無線機のメニューを使用します。



注記：
無線機のモデルによっては、秘話モード機能がサポートされないことがあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して【せってい】に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して【きのうせってい】に移動するか、▲ または ▼ を押して【Connect Plus】に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して【スクランブルひわ】に移動します。

ディスプレイに【オン】と表示されている場合は、

 を押すと秘話モードが有効になります。選択の確認を表すメッセージが無線機に表示されます。

ディスプレイに【オフ】と表示されている場合は、

 を押すと秘話モードが無効になります。選択の確認を表すメッセージが無線機に表示されます。

無線機に秘話モードのタイプが割り当てられている場合、無線機が緊急アラートを送受信している場合を除き、ステータス バーにセキュア アイコンまたは非セキュア アイコンが表示されます。

6.3.20.1

プライバシー対応 (スクランブル) 通話の発信

プログラムされた [ひわモード] ボタンを使用するか、メニューを使用して、秘話モードをオンに切り替えます。秘話モード対応送信を送信するには、現在選択されているチャンネル位置で、秘話モード機能が有効になっている必要があります。現在選択されているチャンネル位置で秘話モードが有効にされている場合は、お使いの無線機から発信されるすべての音声送信がスクランブルされます。グループコール、マルチグループコール、スキャンされた通話間のトークバック、サイト一斉コール、緊急コール、個別コールが対象です。お使いの無線機と同じキー値とキーIDを持つ受信側無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。

6.3.21

ステルスモード

無線機は、ステルスモードに対応しています。ステルスモードでは、キーパッドとプログラムされたボタンへのアクセスはすべてブロックされます。有効の場合、表示通知(ディスプレイ、LED、およびバックライト) はすべて無効になります。

この機能では、有線アクセサリまたは Bluetooth アクセサリを使用した場合にのみ、オーディオまたはトーンを使用できます。

6.3.21.1

ステルスモードの開始

- Ⓢ ボタンを押してからホーム画面の数値キー 2、5、8 を同時に押します。
-

6.3.21.2

ステルスモードの終了

ステルスモードを終了するには、以下のいずれか1つの手順を実行します。

- Ⓢ ボタンを押してから数値キー 2、5、8 を同時に押します。通常モードに戻ります。
 - オン/オフ ボタンを使っていったん無線機の電源を切ってから再度電源を入れてください。
-

6.3.22

セキュリティ

システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。たとえば、盗難にあった無線機を無効にして使用できないようにし、無線機を回収したら有効にできます。



注記：
無線機の無効、有効の切り替えは、これらの機能が有効である無線機に限られます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.3.22.1

無線停止

- 1 次のいずれかの作業を実行して、この機能にアクセスします。

無線機コントロール	手順
無線停止ボタン	a プログラムされた [無線停止] ボタンを押します。

無線機コントロール	手順
	b ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 Ⓜ を押して選択します。
無線機メニュー	a Ⓜ メニューにアクセスしますを押します。 b ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、Ⓜ を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。 c 次に説明するいずれか 1 つの手順を使用して、必要な無線機のエイリアスまたは ID を選択します。 • 必要なエイリアスまたは ID を直接選択します。

無線機コントロール	手順
	• ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。 • 『ダイアル』メニューを使用します。 • ▲ または ▼ を押して『ダイアル』に移動し、 を押して選択します。 • ▲ または ▼ を押して『むせん ID』に移動し、 を押して選択します。 • ディスプレイの 1 行目に『むせん ID:』と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソル

無線機コントロール	手順
	が表示されます。キーパッドを使用して無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。 d ▲ または ▼ を押して『むせんていし』に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイに『むせんていし: <[ターゲット エイリアスまたは ID]』と表示され、LED が緑色で点灯します。

2 確認応答を待ちます。

成功すると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに『むせんていしかんりょう』と表示されます。

成功しなかった場合は、ネガティブ インジケータ
ーンが鳴り、ディスプレイに『むせていしっぱ
い』と表示されます。

6.3.22.2

停止解除

- 1 次のいずれかの作業を実行して、この機能にアクセスします。

無線機 手順 コント ロール	
停止解 除ボタ ン	a プログラムされた【停止解除】ボタ ンを押します。 b ▲ または ▼ を押して必要なエ イリアスまたは ID に移動し、  を押して選択します。
無線機 メニ ュ ー	a  メニューにアクセスします を 押します。

無線機 コント ロール

手順

- ▲ または ▼ を押して『れんらく
さき』に移動し、 を押して選択
します。エントリはアルファベッ
ト順にソートされます。
- 次に説明する手順のいずれかを実
行して、必要な無線機のエイリアス
または ID を選択します。
 - 必要なエイリアスまたは ID を
直接選択します。
 - ▲ または ▼ を押して必要
なエイリアスまたは ID に移
動し、 を押して選択しま
す。
 - 『ダイヤル』メニューを使用しま
す。

無線機 コント ロール	手順
	• ▲ または ▼ を押して『ダイヤル』に移動し、を押して選択します。 • ▲ または ▼ を押して『むせん ID』に移動し、を押して選択します。 • ディスプレイの1行目に『むせん ID:』と表示されます。ディスプレイの2行目に、点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して無線機のエイリアスまたはIDを入力し、を押します。

無線機 コント ロール	手順
	d ▲ または ▼ を押して『ていしかいじょ』に移動し、を押して選択します。

ディスプレイに『ていしかいじょ: <『無線機のエイリアスまたは ID』と表示され、LED が緑色で点灯します。

2 確認応答を待ちます。

成功すると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに『ていしかいじょかんりょう』と表示されます。

成功しなかった場合は、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに『ていしかいじょしつぱい』と表示されます。

6.3.23

パスワード ロック機能

この機能が有効になると、起動時に正しいパスワードを入力した場合にのみ無線機にアクセスできます。

6.3.23.1

パスワードを使用した無線機へのアクセス

1 無線機を起動します。

無線機は連続トーンを鳴らします。

2 下記の 1 つを実行します。

- 無線機のキーパッドで現在の 4 桁のパスワードを入力します。ディスプレイに ●●●● が表示されます。Ⓢ を押して次の操作へ進みます。
- 現在の 4 桁のパスワードを入力します。▲ または ▼ を押して、各桁の数値を編集します。各桁が ● に変化します。▶ を押して次の桁に移動

します。Ⓢ を押すと、選択した内容で確定します。

各桁を入力するたびに、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。◀ を押して、ディスプレイの各 ● を削除します。この行に何も表示されていないときに ▶ を押した場合、または 5 桁以上入力した場合は、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

パスワードが正しい場合は無線機が起動します。「無線機の電源のオン ページ 36」を参照してください。

パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示されます。ステップ 2 を繰り返します。

誤ったパスワードを 3 回入力すると、ディスプレイに『パスワードふてきごう』に続き、『むせんきロックずみ』と表示されます。トーンが鳴り、黄色の LED が 2 回点滅します。



注記：

無線機は、ロック状態では、緊急コールを含むどのようなコールも受信できません。

6.3.23.2

パスワード ロックのオンとオフの切り替え

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2  または  を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して『パスワード ロック』に移動し、 を押して選択します。
- 5 4桁のパスワードを入力します。
「パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 284」のステップ 2 を参照してください。

- 6  を押して次の操作へ進みます。

パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

- 7 前の手順で入力したパスワードが正しい場合は、 を押して [パスワード ロック] を有効または無効にします。

ディスプレイで [ゆうこう] の隣に  が表示されます。

[ゆうこう] の隣から  が消えます。

6.3.23.3

無線機をロック状態からロック解除する

- 1 ロック状態になった後で電源が切れた場合は起動してください。

トーンが鳴り、黄色の LED が 2 回点滅します。ディスプレイに『むせんきロックずみ』と表示されます。

- 2 15 分間待機します。

無線機を起動すると、ロック状態の 15 分タイマーが再起動します。

- 3 [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 284](#) で [ステップ 1](#) と [ステップ 2](#) を繰り返します。

6.3.23.4

パスワードの変更

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2  または  を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して『パスワード ロック』に移動し、 を押して選択します。

- 5 4 桁のパスワードを入力します。

「[パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 284](#)」の[ステップ 2](#)を参照してください。

- 6  を押して次の操作へ進みます。

パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

- 7 前の手順で入力したパスワードが正しい場合、 または  を押して『パスワードヘンコウ』に移動して  を押して選択します。

- 8 4 桁の新規パスワードを入力します。
「[パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 284](#)」の[ステップ 2](#)を参照してください。

- 9 先ほど入力した 4 桁のパスワードを再度入力します。「[パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 284](#)」の[ステップ 2](#)を参照してください。

10  を押して次の操作へ進みます。

再入力したパスワードが先に入力した新しいパスワードと一致すると、ディスプレイに「パスワードへんこうずみ」と表示されます。

再入力したパスワードが先に入力した新しいパスワードと一致しない場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されます。

前のメニューに自動的に戻ります。

6.3.24

Bluetooth 動作



注記：

CPS 経由で無効にされている場合、すべての Bluetooth 関連機能が無効になり、Bluetooth 機器データベースは消去されます。

この機能では、お使いの無線機と Bluetooth 対応デバイス (アクセサリ) を無線 Bluetooth 接続を介して連携させることができます。お使いの無線機では、Motorola Solutions 製および COTS (市販既製品) の両方の Bluetooth 対応デバイスをサポートしています。

Bluetooth は、直線距離 10 メートル (32 フィート) の範囲内で動作します。これは、無線機と Bluetooth 対応デバイスとの間に障害物が何もない場合の距離です。

無線機と Bluetooth 対応デバイスを遠く引き離した場合、高い信頼性での動作は期待できません。

受信不良地域では、音声とトーン両方が "不明瞭" または "割れて" 聞こえるようになります。この問題を解決するには、無線機とブルートゥース対応デバイスを互いに近づけて (規定の 10 メートル/32 フィート以内)、明瞭な音声受信を再確立します。無線機の Bluetooth 機能の最高出力は、10 メートル/32 フィート範囲で 2.5mW (4dBm) です。

無線機は、異なる種類の Bluetooth 対応デバイスとの Bluetooth 接続を同時に 4 本までサポートできます。たとえば、ヘッドセットおよび PTT 専用デバイス (POD) は同時に接続できます。

Bluetooth 対応デバイスの全機能の詳細については、各デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

6.3.24.1

ブルートゥースのオン/オフの切り替え

1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、
 (Ⓢ) を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [ステータス] に移動し、
 (Ⓢ) を押して選択します。

ディスプレイに [オン] と [オフ] が表示されます。
 現在のステータスは ✓ で示されます。

- 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [オン] に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。ディスプレイに [オン] と表示され、選択したステータスの左には ✓ が現れます。
- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。ディスプレイに [オフ] と表示され、選択したステータスの左には ✓ が現れます。

Bluetooth デバイスのサーチと接続

サーチ動作中および接続動作中は、Bluetooth 対応デバイスの電源を切ったり、 を押したりしないでください。動作が取り消されます。

- 1 Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ、ペアリング モードにします。Bluetooth 対応デバイスの『ユーザー マニュアル』を参照してください。

- 2 無線機で、(Ⓢ) メニューにアクセスしますを押します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、
 (Ⓢ) を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、(Ⓢ) を押して選択します。

6.3.24.2

- または ▲ または ▼ を押して『デバイス サーチ』に移動し、使用可能なデバイスを見つけます。
▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『せつぞく』に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイに『<デバイス> せつぞくちゅう』と表示されます。ペアリングを完成させるには、Bluetooth 対応デバイスでさらに手順が必要になることがあります。Bluetooth 対応デバイスの『ユーザー マニュアル』を参照してください。

成功すると、無線機のディスプレイに『<デバイス> せつぞくずみ』と表示されます。トーンが鳴り、接続先デバイスの隣に✓が表示されます。ステータス バーに Bluetooth 接続済みアイコンが表示されます。

失敗すると、無線機のディスプレイに『せつぞくしっぱい』と表示されます。

6.3.24.3

Bluetooth デバイスからの検索と接続 (検出可能モード)

検索動作中および接続動作中は、Bluetooth または無線機の電源を切らないでください。動作が取り消されてしまうことがあります。

- 1 Bluetooth の電源を入れます。

「[ブルートゥースのオン/オフの切り替え ページ 287](#)」を参照してください。

- 2  メニューにアクセスします を押します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [Find Me] に移動し、 を押して選択します。

ご使用の無線機が、プログラムされた期間に他の Bluetooth 対応デバイスで検出可能になります。これを検出可能モードと呼びます。

- 5 Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ、無線機とペアリングします。

Bluetooth 対応デバイスの『ユーザー マニュアル』を参照してください。

6.3.24.4

Bluetooth デバイスからの切断

- 1 無線機で、 メニューにアクセスしますを押します。
- 2  または  を押して [Bluetooth] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [デバイス] に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なデバイスに移動し、 を押して選択します。

- 5  または  を押して [せつだん] に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイに [デバイス] からせつだんちゅう」と表示されます。切断するには、Bluetooth 対応デバイスでさらに手順が必要になることがあります。Bluetooth 対応デバイスの『ユーザー マニュアル』を参照してください。

無線機のディスプレイに、[デバイス] せつだんずみ」と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、接続先デバイスの隣から  が消えます。ステータス バーの Bluetooth 接続済みアイコンが消えます。

6.3.24.5

内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオーディオ ルートの切り替え

内部無線機スピーカと外部 Bluetooth 対応アクセサリの間のオーディオ ルーティングを切り替えることができます。

プログラムされた **[Bluetooth オーディオ切り替え]** ボタンを押します。

- トーンが鳴り、ディスプレイに『おんせい>むせんき』と表示されます。
- トーンが鳴り、ディスプレイに『おんせい>ブルートゥース』と表示されます。

6.3.24.6

デバイスの詳細の表示

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [しょうさい] に移動し、
 を押して選択します。

6.3.24.7

デバイス名の編集

使用できる Bluetooth 対応デバイスの名前を編集できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、
 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [ネームヘンシュウ] に移動し、
 を押して選択します。

- 6 ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。▶ を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。  を押して、不要な文字を削除します。  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して、必要なゾーンを入力します。
-
- 7 ディスプレイに『デバイスめいほぞんずみ』と表示されます。
-

6.3.24.8

デバイス名の削除

Bluetooth 対応デバイスのリストから切断済みデバイスを削除できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
-
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、 を押して選択します。
-

- 3 ▲ または ▼ を押して『デバイス』に移動し、 を押して選択します。
-
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、 を押して選択します。
-
- 5 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動し、 を押して選択します。
ディスプレイに『デバイスさくじょずみ』と表示されます。
-

6.3.24.9

Bluetooth マイクゲイン

接続した Bluetooth 対応デバイスのマイク ゲインの値を制御できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
-
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、 を押して選択します。
-

3 ▲ または ▼ を押して『BT マイクゲイン』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [BT マイクゲイン] タイプおよび現在の値に移動します。

値を編集するには、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して値を大きくするか小さくして、 を押して選択します。

6.3.24.10

Permanent Bluetooth Discoverable モード



注記：

恒久的 Bluetooth 検出可能モードは、MOTOTRBO CPS でのみ有効にできます。有効な場合、[Bluetooth] アイテムはメニューに表示されず、Bluetooth のプログラム可能ボタン機能は使用できなくなります。

他の Bluetooth 対応デバイスで無線機を見つけることはできますが、デバイスは無線機に接続することはできません。

Bluetooth ベースの位置追跡のプロセスで、専用デバイスが無線機の位置を使用できます。

Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ、無線機とペアリングします。Bluetooth 対応デバイスの各ユーザー マニュアルを参照してください。

6.3.25

屋内位置



注記：

屋内位置機能は、最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

屋内位置機能を使用して、無線機ユーザーの位置を追跡できます。屋内位置が有効になっていると、無線機は限定的に検出可能なモードになります。無線機を探して位置を特定するために、専用ビーコンが使用されます。

6.3.25.1

屋内位置のオンとオフ

屋内位置をオンまたはオフにするには、次の操作のいずれかを実行します。

- メニューからこの機能にアクセスします。
 - a.  メニューにアクセスします を押します。
 - b.  または  を押して [Bluetooth] に移動し、
 を押して選択します。
 - c.  または  を押して [屋内] に移動し、 を押して選択します。
 - d.  を押して [屋内] をオンにします。
ディスプレイに『屋内オン』と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。
 - 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面に表示されます。

- 失敗すると、ディスプレイに『屋内オン失敗』と表示されます。ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- e.  を押して屋内をオフにします。

ディスプレイに『屋内オフ』と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面から消えます。
- 失敗すると、ディスプレイに『屋内オフ失敗』と表示されます。ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- プログラムされたボタンを使用してこの機能にアクセスします。

- a. プログラムされた [屋内] ボタンを長押しして屋内をオンにします。

ディスプレイに『屋内オン』と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面に表示されます。

- 失敗すると、ディスプレイに「屋内オン失敗」と表示されます。失敗すると、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

- b. プログラムされた【屋内】 ボタンを押して屋内配置をオフにします。

ディスプレイに「屋内オフ」と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面から消えます。
- 失敗すると、ディスプレイに「屋内オフ失敗」と表示されます。失敗すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

6.3.25.2

屋内位置ビーコン情報へのアクセス

下記の手順に従って、屋内位置ビーコン情報にアクセスします。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「屋内」に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して「ビーコン」に移動して、 を押して選択します。

ディスプレイにビーコン情報が表示されます。

6.3.26

通知リスト

無線機には、未読のメッセージ、不在着信やページングなど、チャネル上で "未読" のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが 1 件以上あると、ステータス バーに通知アイコンが表示されます。

リストでは、最大 40 の未読イベントを使用できます。リストがいっぱいになると、最も古いイベントが次のイベントで置き換えられます。



注記：

これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

6.3.26.1

通知リストへのアクセス

下記の手順に従って、通知リストにアクセスします。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2  または  を押して「おしらせ」に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して必要なイベントに移動し、 を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

Wi-Fi 操作

この機能で、Wi-Fi ネットワークをセットアップして接続できます。Wi-Fi は、無線機のファームウェア、コードプラグ、言語パックや音声ガイドなどのリソースの更新をサポートします。



注記：

この機能が適用されるモデルは、SL2K のみです。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

お使いの無線機は、WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi および WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi のネットワークに対応しています。

WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi ネットワーク

事前共有キー (パスワード) ベースの認証を使用します。

事前共有キーは、メニューまたは CPS/RM を使用して入力できます。

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワーク

証明書ベースの認証を使用します。

6.3.27

無線機を証明書使って事前設定しておく必要があります。



注記：

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワークへの接続については、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者により割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンの音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



注記：

指定の無線機を使用して、リモートで Wi-Fi をオンまたはオフにできます (指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (個別制御) ページ 175 および指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (グループコントロール) ページ 177 を参照)。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.3.27.1

Wi-Fi のオン/オフの切り替え

1 プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンを押します。Wi-Fi のオンまたは Wi-Fi のオフの音声ガイドが聴こえます。

2 メニューを使用してこの機能にアクセスします。

- a  メニューにアクセスします を押します。
- b  または  を押して **[WiFi]** に移動し、 を押して選択します。
- c  または  を押して **[WiFi オン]** に移動し、 を押して選択します。
- d  を押して、Wi-Fi をオン/オフにします。

Wi-Fi がオンの場合、ディスプレイで **「ようこう」** の隣に  が表示されます。

Wi-Fi がオフの場合、**「ようこう」** の隣から  が消えます。

Wi-Fi が有効で、低容量バッテリーが使用されている場合は、電源投入時に次の内容のアラート画面が表示されます。

- ていようりょうバッテリーです！
- Tx しゅつりよく 2 W せいげん Wi-Fi はむこう
- たいおうバッテリーをしようせいげんひきあげ
- おして  をおします。

以下の操作を実行して制限を解除し、3W 操作と Wi-Fi を有効にします。

無線機の電源をオフにし、対応バッテリー (リチウム イオン 1800mAh バッテリー パック (HKNN4013_)、リチウム イオン 2200mAh バッテリー パック (PMNN4459_) またはリチウム イオン 2300mAh バッテリー パック (PMNN4468_) など) に変更します。

Wi-Fi が無効で、低容量バッテリーを使用している場合は、送信出力が 2W に制限されます。

6.3.27.2

指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (個別制御)

個別制御 (1 対 1) でリモートで Wi-Fi のオン/オフを切り替えることができます。



注記：

特定の CPS 設定を持つ無線機のみがこの機能をサポートします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラム可能ボタンを長押しします。キーパッドを使用して ID と  を押して選択します を入力します。ステップ 4 に進みます。
-  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『れんらくさき』に移動し、 を押して選択します。

3 次に説明する手順のいずれかを実行して、必要な無線エイリアスを選択します。

- 無線機のエイリアスを直接選択します。
- ▲ または ▼ を押して必要な無線機のエイリアスまたは ID に移動します。
- 『ダイアル』メニューを使用します。

- ▲ または ▼ を押して『ダイヤル』に移動し、 を押して選択します。
- 『むせん ID』を選択し、キーパッドを使用して ID を入力します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して、『WiFi せいぎょ』にアクセスし、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『オン』または『オフ』を選択します。

6  を押して選択します。

成功すると、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

失敗すると、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

6.3.27.3

指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (グループコントロール)

グループ コントロール (1 対多) でリモートで Wi-Fi のオン/オフを切り替えることができます。



注記：

特定の CPS 設定を持つ無線機のみがこの機能をサポートします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『れんらくさき』に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要な無線機のエイリアスまたは ID を選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して、『WiFi せいぎょ』にアクセスし、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『オン』または『オフ』を選択します。
-

- 6  を押して選択します。
-

処理が正常に行われると、ディスプレイに『せいじょうにそうしん』と表示されます。

失敗すると、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

6.3.27.4

ネットワーク アクセス ポイントへの接続

Wi-Fi をオンにすると、無線がネットワーク アクセス ポイントに接続します。



注記：

また、メニューからもネットワーク アクセス ポイントに接続できます。

WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークのアクセス ポイントは、事前に設定されています。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
-

- 2 ▲ または ▼ を押して『WiFi』に移動し、 を押して選択します。
-

- 3 ▲ または ▼ を押して『ネットワーク』に移動して、 を押して選択します。
-

- 4 ▲ または ▼ を押してネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。



注記：

WPA エンタープライズ Wi-Fi で、ネットワーク アクセス ポイントが事前に設定されていない場合、『せつぞく』オプションは使用できません。

- 5 ▲ または ▼ を押して『せつぞく』に移動し、 を押して選択します。
-

- 6 WPA パーソナル Wi-Fi の場合、パスワードを入力して  を押します。
-

- 7 WPA エンタープライズ Wi-Fi の場合、パスワードは RM を使用して設定されます。

事前に設定されているパスワードが正しい場合、無線機は自動的に選択したネットワーク アクセス ポイントに接続します。

事前に設定したパスワードが正しくない場合、ディスプレイに『にんしょうエラー』と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

接続に成功すると、無線に通知が表示され、ネットワーク アクセス ポイントがプロファイル リストに保存されます。

接続に失敗すると、無線のディスプレイに失敗通知画面が瞬間的に表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

6.3.27.5

Wi-Fi 接続ステータスの確認

プログラムされた **[Wi-Fi ステータス照会]** ボタンを押し、音声ガイドで接続ステータスを確認します。Wi-Fi がオフ、Wi-Fi がオンで接続なし、または Wi-Fi がオンで接続ありの音声ガイドが流れます。

- Wi-Fi がオフになっていると、ディスプレイに『Wi-Fi オフ』と表示されます。

- 無線機がネットワークに接続されていると、ディスプレイに『Wi-Fi オン』、『接続済み』と表示されます。
- Wi-Fi がオンになっているが、無線機がネットワークに接続されていない場合、『Wi-Fi オン』、『切断済み』と表示されます。

Wi-Fi ステータス照会結果の音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



注記：

プログラムされた **[Wi-Fi ステータス照会]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

6.3.27.6

ネットワーク リストの更新

- メニューからネットワーク リストを更新するには、次の操作を実行します。
 - Ⓜ メニューにアクセスします を押します。

b. ▲ または ▼ を押して「WiFi」に移動し、を押して選択します。

c. ▲ または ▼ を押して「ネットワーク」に移動し、を押して選択します。

「ネットワーク」メニューに移動すると、ネットワーク リストが自動的に更新されます。

- 「ネットワーク」メニューをすでに移動している場合は、次の操作を実行してネットワーク リストを更新します。

▲ または ▼ を押して「こうしん」に移動し、を押して選択します。

ネットワーク リストが更新され、最新のリストが表示されます。

6.3.27.7

ネットワークの追加



注記：

このタスクは、WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークには適用されません。

使用可能なネットワークのリストに優先ネットワークがない場合は、次の操作を実行してネットワークを追加します。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して「WiFi」に移動し、を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「ネットワーク」に移動して、を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「ネットワーク ついか」に移動し、を押して選択します。

5 サービス セット識別子 (SSID) を入力して、を押します。

6 ▲ または ▼ を押して「ひらく」に移動し、を押して選択します。

- 7 パスワードを入力して、 を押します。
- 無線機にポジティブ ミニ通知が表示され、ネットワークが正常に保存されたことが示されます。

6.3.27.8

ネットワーク アクセス ポイントの詳細の表示

ネットワーク アクセス ポイントの詳細を表示できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [WiFi] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ネットワーク] に移動して、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押してネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [しょうさい] に移動し、 を押して選択します。



注記：

通常の WPA パーソナル Wi-Fi と WPA エンタープライズ Wi-Fi では、表示されるネットワーク アクセス ポイントの詳細は異なります。

WPA パーソナル Wi-Fi

接続済みのネットワーク アクセス ポイントについては、サービス セット識別子 (SSID)、セキュリティ モード、メディア アクセス制御 (MAC) アドレス、およびインターネット プロトコル (IP) アドレスが無線機に表示されます。

接続されていないネットワーク アクセス ポイントについては、SSID およびセキュリティ モードが無線機に表示されます。

WPA エンタープライズ Wi-Fi

接続済みのネットワーク アクセス ポイントについては、SSID、セキュリティ モード、ID、拡張認証プロトコル (EAP) 方式、フェーズ 2 認証、証明書名、MAC アドレス、IP アドレス、ゲートウェイ、DNS1、および DNS2 が無線機に表示されます。

接続されていないネットワーク アクセス ポイントについては、SSID、セキュリティ モード、ID、EAP 方式、フェーズ 2 認証、および証明書名が無線機に表示されません。

6.3.27.9

ネットワーク アクセス ポイントの削除



注記:

このタスクは、エンタープライズ Wi-Fi ネットワークには適用されません。

プロファイル リストのネットワーク アクセス ポイントを削除するには、次の操作を実行します。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [WiFi] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ネットワーク] に移動して、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して、選択したネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動し、 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動し、 を押して選択します。

無線機にポジティブ ミニ通知が表示され、選択したネットワーク アクセス ポイントが正常に削除されたことが示されます。

6.4

ユーティリティ

この章では、無線機で利用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

6.4.1

無線機のトーンおよび警告のオンとオフの切り替え

必要に応じ、すべての無線機トーンやアラート（着信緊急警告トーンは除く）を有効にすることも無効にすることもできます。

プログラムされた【全トーン/アラート】ボタンを押します
トーンすべてのオンとオフを切り替えます。または以下の手順に従って、無線機のメニューからこの機能にアクセスします。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2  または  を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して『トーン/アラート』に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して『ぜんトーン』に移動し、 を押して選択します。
- 6  を押して、すべてのトーンおよびアラートを無効または有効にします。
ディスプレイで『ゆうこう』の隣に  が表示されます。
『ゆうこう』の隣から  が消えます。

6.4.2

キー操作音のオンとオフの切り替え

必要に応じて、キー操作音の有効、無効を切り替えられます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『キーそうさおん』に移動し、 を押して選択します。

- ◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

- 6  を押してキー操作音を有効または無効にします。
ディスプレイで[ゆうこう]の隣に✔が表示されます。
[ゆうこう]の隣から✔が消えます。
-

6.4.3

トーン アラート ボリューム オフセット レベルの設定

必要に応じて、トーン アラート ボリューム オフセット レベルを調節できます。この機能は、音声ボリュームを基準としてトーンおよびアラートのボリュームを調節できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『Vol オフセット』に移動し、 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要なボリューム値にします。

対応する各ボリューム値のフィードバック トーンが鳴ります。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して、表示されている必要なボリューム値を維持します。
-  を押して、現在のボリューム オフセット設定を変更せずに終了します。
- [ステップ 6](#) を繰り返して、別のボリューム値を選択します。

通話許可トーンのオンとオフの切り替え

必要に応じて、通話許可トーンの有効、無効を切り替えられます。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『きょかトーン』に移動し、 を押して選択します。

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

- 6  を押して [きょかトーン] を有効または無効にします。

ディスプレイで『ゆうこう』の隣に  が表示されます。

『ゆうこう』の隣から  が消えます。

6.4.5 出力レベルの設定



注記：

この機能は、周波数帯域幅が 403MHz ～ 470MHz または 470.000005MHz ～ 527MHz である SL2K にのみ適用されます。CPS で送信出力の最高値を選択します。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

各 Connect Plus ゾーンの無線機のパワー設定の高低をカスタマイズできます。

『』にすると、かなり離れた場所にある Connect Plus モードのタワー サイトと通信できます。『』にすると、近い場所にある Connect Plus モードのタワー サイトと通信できます。

以下の手順に従って、無線機のメニューからこの機能にアクセスします。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2  または  を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して『でんげん』に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して 必要な設定に移動し、 を押して選択します。

 選択した設定の隣に表示されます。  ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

画面は前のメニューに戻ります。

6.4.6

表示モードの変更

必要に応じて、無線機の表示モードをデイとナイトの間で切り替えられます。これにより、ディスプレイの色パレットが影響を受けます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『ひょうじ』に移動し、 を押して選択します。
ディスプレイに『デイモード』と『ナイトモード』が表示されます。



注記：

◀ または ▶ を押して、選択したオプションを変更します。

- 5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動し、 を押して有効にします。✓ 選択した設定の隣に が表示されます。

6.4.7

表示輝度の調整

必要に応じて、無線機の表示輝度を調整できます。



注記：

[あかるさじどう] が有効の場合、表示輝度は調整できません。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『ひょうじ』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『きど』に移動し、 を押して選択します。
進行状況バーが表示されます。

6 表示輝度を下げるには ◀、上げるには ▶ を押します。設定 1～8 から選択します。 を押して入力を確認します。

6.4.8

ディスプレイ バックライト タイマーの設定

必要に応じて、無線機のディスプレイ バックライト タイマーを設定できます。この設定は、メニュー ナビゲーション

ボタンとキーパッドのバックライトにもそれぞれ影響します。

プログラムされた【バックライト】ボタンを押してバックライトの設定を切り替えるか、以下に説明する手順に従って無線機のメニューからこの機能にアクセスします。

LED インジケータが無効の場合、ディスプレイ バックライトとキーパッド バックライトは自動的にオフになります(「[LED インジケータのオンとオフの切り替え ページ 311](#)」を参照)。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『ひょうじ』に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して「バックライト タイマ」に移動し、 を押して選択します。

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更できます。

6.4.9 言語

無線機ディスプレイの表示言語を設定できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して「せってい」に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「きのうせってい」に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して「げんご」に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して必要な言語に移動し、 を押して有効にします。✓ 選択した言語の隣に が表示されます。

6.4.10

LED インジケータのオンとオフの切り替え

必要に応じて、LED インジケータを有効または無効にできます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して「せってい」に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「きのうせってい」に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して「LED ひょうじ」に移動し、 を押して選択します。

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

- 5 (Ⓜ) を押して [LED ひょうじ] を有効または無効にします。

ディスプレイで『ゆうこう』の隣に ✓ が表示されます。

『ゆうこう』の隣から ✓ が消えます。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、(Ⓜ) を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ケーブル タイプ』に移動し、(Ⓜ) を押して選択します。

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

- 5 現在のケーブル タイプは ✓ で示されます。

6.4.11

ケーブル タイプの特定

無線機で使用するケーブルのタイプを選択することができます。

- 1 (Ⓜ) メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、(Ⓜ) を押して選択します。

6.4.12

音声ガイド

この機能では、ユーザーが割り当てたばかりの現在のゾーンとチャンネル、またはプログラム可能ボタンが押されたことを音声で知らせることができます。この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

- 1 (Ⓜ) メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『おんせいガイド』に移動し、 を押して選択します を押して選択します。

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して [おんせいガイド] を有効にします。ディスプレイで『ゆうこう』の隣に ✓ が表示されます。
-  を押して [おんせいガイド] を無効にします。『ゆうこう』の隣から ✓ が消えます。

音声変換機能の設定



注記：

音声変換機能は、MOTOTRBO CPS を使用した場合にのみ有効にできます。有効になっている場合、音声ガイド機能が自動的に無効になります。逆の場合も同様です。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

この機能では、次の機能を音声で知らせることができます。

- 現在のチャネル
 - 現在のゾーン
 - プログラムされたボタン機能のオン/オフ
 - 受信済みテキスト メッセージの内容
 - プログラムされた【音声ガイド】ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。
 - この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。
- a.  メニューにアクセスします を押します。

- b. ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、
 を押して選択します。
- c. ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、
 を押して選択します。
- d. ▲ または ▼ を押して『おんせいガイド』に移動し、
 を押して選択します。
- e. ▲ または ▼ を押して『メッセージ』または
 [Program Button] に移動し、 を押して選択します。
 または  を使用して、選択したオプションを変更することもできます。
 ✓ 選択した設定の隣に  が表示されます。

壁紙モード

無線機のホーム画面には、壁紙背景が表示されます。5 種類の壁紙から選択できます。

- 1  メニューにアクセスします.]

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ひょうじ』に移動し、
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『かべがみ』に移動し、
 を押して選択します。
 または  を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

6.4.14

6.4.15

スクリーンセーバーモード

スクリーンセーバー機能の使用中は、無線機のバッテリー残量が節約されます。スクリーンセーバーモードに入る前に、スクリーンセーバー前期間を使用して無線機の動作が追跡されます。

無線機を始動すると、すぐにスクリーンセーバー前期間が始まります。無線機は、スクリーンセーバー前期間の時間が経過すると、スクリーンセーバーモードに入ります。ユーザー入力または無線トランザクションがあるとすぐにスクリーンセーバーモードは終了し、関係するトランザクションに反応します。

無線機は、ユーザー入力または無線トランザクションがあるとすぐに、スクリーンセーバー前期間を再開します。スクリーンセーバーモードに入って5秒経過すると、キーパッドロック状態に自動的に移行します。オーディオまたはBluetoothのアクセサリが接続されると、バッテリーセーバーモードが有効になり、スクリーンセーバーモードに入ります。

ユーザー入力または無線トランザクションがあると、スクリーンセーバーモードが終了し、ユーザーからの入力に応答します。スクリーンセーバー前期間が期限を迎えると、同期間が再開され、スクリーンセーバーモードに戻ります。



注記：

スクリーンセーバーモードは、電池寿命を延ばすうえで役立ちます。

6.4.16

オーディオアクセサリ

オーディオアクセサリには2つのモードがあります。通常モードとバッテリーセーバーモードです。バッテリーセーバーモードでオーディオアクセサリが接続されると、無線機はタイマーを再開し、スクリーンセーバーモードに入ります。このシナリオでは、ユーザー入力（無線機でのユーザー入力およびアクセサリの着脱も含む）があるか、緊急アラーム/通話を受けると、スクリーンセーバーモードが終了し、通常通りユーザーイベントに応答します。割り当て時間が経過すると、スクリーンセーバータイマーが再開され、スクリーンセーバーモードに戻ります。

6.4.17

オートキーロック

キーの誤入力を防ぐために、無線機の自動キーパッドロックの有効/無効を切り替えることができます。

- 1  メニューにアクセスします。]

2 ▲ または ▼ を押して「せってい」に移動し、を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「きのうせってい」に移動し、を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「オート キーロック」に移動して を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- を押してオート キー ロックを有効にします。ディスプレイで「ゆうこう」の隣に ✓ が表示されます。
- を押してオート キー ロックを無効にします。「むこう」の隣から ✓ が消えます。

6.4.18

デジタル Mic AGC (Mic AGC-D)

この機能を使用すると、デジタル システム上で送信するとき、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。大

きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して「せってい」に移動し、を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「きのうせってい」に移動し、を押して選択します。

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

4 ▲ または ▼ を押して「Mic AGC-D」に移動し、を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- を押して [Mic AGC-D] を有効にします。ディスプレイで「ゆうこう」の隣に ✓ が表示されます。

-  を押して **[Mic AGC-D]** を無効にします。✓
が『ゆうこう』の隣から消えます。

6.4.19

インテリジェント オーディオ

あらゆる定常騒音源と非定常騒音源を含め、周辺環境の背景雑音が大きの場合、それに負けないように音量を自動的に調整することができます。この機能は受信側限定であり、送信音声は影響を受けません。



注記：
この機能は、Bluetooth セッションでは使用できません。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

無線機 手順	
コントロール	
メニュー	a  メニューにアクセスします を押します。

無線機
コント
ロール

手順

- b ▲ または ▼ を押して『きのうせ
ってい』に移動し、 を押して選
択します。
- c ▲ または ▼ を押して『きのうせ
ってい』に移動し、 を押して選
択します。
- d ▲ または ▼ を押して『Int オ
ーディオ』に移動し、 を押して
選択します。



注記：

◀ または ▶ を使用して、
選択したオプションを変
更することもできます。

- e 以下のいずれか 1 つの手順を実行
します。

無線機 コント ロール	手順
	④ を押して、インテリジェント オーディオを有効にします。ディスプレイで「ゆうこう」の隣に ✓ が表示されます。 ④ を押して、インテリジェント オーディオを無効にします。「ゆうこう」の隣から ✓ が消えます。

2 ▲ または ▼ を押して「せってい」に移動し、④ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「きのうせってい」に移動し、④ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「Int オーディオ」に移動し、④ を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ④ を押して、インテリジェント オーディオを有効にします。ディスプレイで「ゆうこう」の隣に ✓ が表示されます。
- ④ を押して、インテリジェント オーディオを無効にします。「ゆうこう」の隣から ✓ が消えます。

内蔵自動ボリューム コントロールを使用して同様のパフォーマンスを達成するための推奨 Bluetooth 対応オーディオ アクセサリについては、「[認可されたアクセサリ リスト](#)」を参照してください。

6.4.20

ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え

この機能により、受信コールでのハウリングを最小限に抑えることができます。

1 ④ メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『ハウリングよくせい』に移動し、 を押して選択します。

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

5 次のいずれかを実行します。

-  を押して、ハウリング抑制機能を有効にします。ディスプレイで『ゆうこう』の隣に✔が表示されます。
-  を押して、ハウリング抑制機能を無効にします。『ゆうこう』の隣から✔が消えます。

テキスト入力設定

無線機でのテキストの入力に対して次を設定できます。

- 単語予測
- 単語修正
- 文章大文字修正
- マイワード

利用できるテキスト入力方法は以下のとおりです。

- 数字
- 符号
- 予測またはマルチタップ
- 言語 (プログラムする場合)



注記：

 を押すと、いつでも前の画面に戻ります。

 を長く押すとホーム画面に戻ります。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

6.4.21.1

単語予測

無線機は、頻繁に入力する語に共通する並び順を学習できます。学習内容をもとに、テキスト エディタに共通する語の並びの最初の単語を入力すると、使用する可能性のある次の語を予測します。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『もじにゆうりよく』に移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して『よそく』に移動し、 を押して選択します。

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して単語予測を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
-  を押して単語予測を無効にします。[ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

6.4.21.2

単語修正

テキスト エディタに入力した単語が組み込み辞書で認識されない場合、単語の代わりの選択肢を提供します。

- 1  メニューにアクセスします.]
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせつてい』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼  を押して選択します を押して『もじにゅうりよく』に移動して。

- 5 ▲ または ▼  を押して選択します を押して『もじしゅうせい』に移動し、

◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
-  を押して [もじしゅうせい] を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
 -  を押して [もじしゅうせい] を無効にします。[ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

文章大文字修正

この機能は、新しい文を入力するごとに、最初の語の最初の文字を自動的に大文字にするときに使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『もじにゅうりよく』に移動します。  を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『おおもじ』に移動します。  を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して大文字を有効にします。有効になると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

6.4.21.3

-  を押して大文字を無効にします。無効な場合、✓が[Enabled]の隣で非表示になります。

6.4.21.4

カスタム語の表示

自分のカスタム語を無線機に組み込まれた辞書に追加できます。無線機は、その語を含むリストを管理します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりよく] に移動します。  を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。  を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [たんご リスト] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

6.4.21.5

カスタム語の編集

無線機に保存したカスタム語を編集できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『もじにゅうりょく』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『マイ ワード』に移動し、 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『ワード リスト』に移動し、 を押して選択します。
ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

7 ▲ または ▼ を押して必要なワードに移動し、 を押して選択します。

8 ▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動し、 を押して選択します。

9 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。▶
または  キーを押すと、スペース 1 つ分右側に

移動します。不要な文字を削除するときは、 キーを押します。 を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。カスタム語が完成したら、 を押します。

ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイにはポジティブ ミニ通知が表示されます。

カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

6.4.21.6

カスタム語の追加

自分のカスタム語を無線機に組み込まれた辞書に追加できます。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『もじにゆうりよく』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『マイ ワード』に移動し、 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『しんきつか』に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

7 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。

◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。▶

または  キーを押すと、スペース 1 つ分右側に

移動します。不要な文字を削除するときは、

キーを押します。 を長押しすると、テキスト

入力方法が変更されます。カスタム語が完成したら、 を押します。

ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイにはポジティブ ミニ通知が表示されます。

カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

6.4.21.7

カスタム語の削除

無線機に保存したカスタム語を削除できます。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『もじにゅうりょく』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『マイ ワード』に移動し、 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要なワードに移動し、 を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動し、 を押して選択します。

8 次のいずれかを選択します。

- 『エントリをさくじょ?』が表示されたら、 を押して選択します『はい』を選択します。ディスプレイに『にゅうりょくさくじょずみ』と表示されます。
- ▲ または ▼ を押して『いいえ』に移動し、 を押して前の画面に戻ります。

すべてのカスタム語の削除

無線機に記憶させたすべてのカスタム語を削除できます。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『もじにゅうりょく』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『マイ ワード』に移動し、 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『ぜんさくじょ』に移動し、 を押して選択します。

7 次のいずれかを選択します。

- 『エントリをさくじょ?』が表示されたら、を押して選択します『はい』を選択します。ディスプレイに『にゅうりょくさくじょずみ』と表示されます。
-  または  を押して『いいえ』に移動し、を押して前の画面に戻ります。

6.4.22

一般無線機情報へのアクセス

無線機に関する情報には、以下の情報があります。

- バッテリー
- 傾きの程度 (加速度計)
- 無線機モデルの番号索引
- オプション ボード無線 (OTA) コードプラグ CRC
- サイト番号
- サイト情報
- 無線エイリアスと ID
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン
- オープンソース ソフトウェア情報

を押すと、いつでも前の画面に戻ります。を長く押すとホーム画面に戻ります。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

6.4.22.1

バッテリー情報へのアクセス

無線機のバッテリーに関する情報を表示します。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2  または  を押して『せってい』に移動し、を押して選択します。
- 3  または  を押して『きき じょうほう』に移動し、を押して選択します。
- 4  または  を押して『バッテリー INFO』に移動し、を押して選択します。
ディスプレイにバッテリー情報が表示されます。

6.4.22.2

無線機モデル番号インデックスの確認

このインデックス番号は、無線機のモデル固有のハードウェアを識別します。無線機のシステム管理者は、お使いの無線機用の新しいオプション ボード コードプラグを用意するときに、この番号を尋ねることがあります。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『モデル インデックス』に移動し、 を押して選択します。
ディスプレイにモデル番号インデックスが表示されます。

6.4.22.3

オプション ボード OTA コードプラグ ファイルの CRC の確認

オプション ボード OTA コードプラグ ファイルの CRC (Cyclic Redundancy Check) を表示するよう無線機のシステム管理者から依頼された場合は、次の手順に従います。このメニュー オプションは、オプション ボードで、最新のコードプラグ アップデート OTA を受信したときにのみ表示されます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [OB OTA CPerd] に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイに、いくつかの文字と数字が表示されます。この情報を表示されたとおり正確に、無線機のシステム管理者に伝えてください。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [サイトばんごう] に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイに [ネットワーク ID] および [サイトばんごう] が表示されます。

6.4.22.4

サイト ID (サイト番号) の表示



注記：

現在サイトに登録されていない場合は、ディスプレイに [みとうろく] と表示されます。

無線機では、Connect Plus サイトに登録するときに、サイト ID を短く表示します。無線機では、通常は、登録に続いてサイト番号を表示しません。登録されているサイト番号を表示するには、次の手順に従います。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。

6.4.22.5

サイト情報の確認



注記：

現在サイトに登録されていない場合は、ディスプレイに [みとうろく] と表示されます。

「サイト情報」機能には、サービス技術者に役立つ情報があります。次の情報で構成されています。

- 現在の制御チャンネル リピータのリピータ番号。
- RSSI: 制御チャンネル リピータから測定された最終信号強度値。
- 制御チャンネル リピータにより送信される周辺リスト (コンマで区切られた 5 つの数字)。

この機能を使用するように依頼されたら、画面に表示された情報を正確に報告してください。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『サイトじょうほう』に移動し、 を押して選択します。
ディスプレイに「サイト情報」が表示されます。

次に説明する手順に従って、この機能に無線機の画面からアクセスします。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『ID』に移動し、 を押して選択します。
ディスプレイに無線機 ID が表示されます。

6.4.22.6

無線機 ID の確認

この機能により、無線機の ID が表示されます。

6.4.22.7

ファームウェア バージョンとコードプラグ バージョンのチェック

無線機のファームウェア バージョンが表示されます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『バージョン』に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイに次の情報のリストが表示されます。

- (無線機の) ファームウェアのバージョン
- (無線機の) コードプラグのバージョン
- オプション ボード ファームウェア バージョン
- オプション ボード周波数バージョン

- オプション ボード ハードウェア バージョン
- オプション ボード コードプラグ バージョン

6.4.22.8

更新の確認

Connect Plus には、特定のファイル (オプション ボード コードプラグ、ネットワーク周波数ファイル、オプション ボード ファームウェア ファイル) を無線 (OTA) で更新する機能が用意されています。



注記：

無線機でこの機能が有効にされているかどうかについては、ディーラーまたはネットワーク管理者に確認してください。

すべてのディスプレイ Connect Plus 無線機には、メニューオプションを使用して現在のオプション ボード OTA コードプラグ CRC、周波数ファイル バージョン、オプション ボード ファームウェア ファイル バージョンを表示する機能があります。さらに、無線ファイル転送を有効にしたディスプレイ無線機では、“保留中ファイル”のバージョンを表示できます。“保留中ファイル”は、システム メッセージングを介して Connect Plus 無線機で認識している一方で、一部のファイル パケットをまだ無線機で収集していない、周波数ファイルまたはオプション ボード ファームウェア フ

ファイルです。ディスプレイ Connect Plus 無線機に保留中のファイルがある場合、メニューには、次の操作のためのオプションが示されます。

- 保留中ファイルのバージョン番号を参照。
- これまでに収集されたパケットの割合を参照。
- Connect Plus 無線機にファイル パケットの収集の再開を要求。

無線機で Connect Plus OTA ファイル転送が有効にされている場合は、最初に無線機ユーザーに通知しないで、無線機が自動的にファイル転送に参加する期間が取られることがあります。無線機がファイル パケットを収集している間、LED は高速で赤色に点滅し、ホーム画面のステータスバーに大量データ アイコンが表示されます。



注記：

Connect Plus 無線機では、ファイル パケットの収集とコールの受信を同時に行うことができません。ファイル転送をキャンセルするには、**PTT** ボタンを押して放します。これにより、無線機は選択した連絡先名での通話を要求し、このプロセスが後で再開されるまでこの無線機のファイル転送もキャンセルされます。

ファイル転送プロセスを再開させる方法は複数あります。最初の例は、すべての OTA ファイル タイプに適用されます。もう 1 つの例は、ネットワーク周波数ファイルとオプ

ション ボード ファームウェア ファイルのみに適用されます。

- 無線機システム管理者が OTA ファイル転送を再開します。
- オプション ボードの事前定義されたタイマーの期限が切れます。この結果、オプション ボードでは、パケット収集プロセスが自動的に再開されます。
- タイマーの期限がまだ切れていなくても、無線機ユーザーがメニュー オプションから要求すれば、ファイル転送が再開されます。

全ファイル パケットのダウンロードを完了すると、Connect Plus 無線機では、新しく取得したファイルにアップグレードする必要があります。ネットワーク周波数ファイルの場合、これは自動プロセスであり、無線機のリセットを必要としません。オプション ボード コードプラグ ファイルの場合、これは、オプション ボードで新しいコードプラグ情報をロードし、ネットワーク サイトを取得し直すため、サービスを短時間中断することになる自動プロセスです。無線機で新しいオプション ボード ファームウェア ファイルへのアップグレードを行うまでの時間は、無線機がディーラーまたはシステム管理者によってどのように構成されているかに応じて異なります。無線機では、すべて

のファイル パケットを収集すると即座にアップグレードするか、ユーザーが無線機を次回オンにするまで待ちます。



注記：

無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

新しいオプション ボード ファームウェア ファイルへのアップグレード プロセスは数秒かかり、Connect Plus オプション ボードによる無線機のリセットを必要とします。アップグレードが開始されると、無線機ユーザーはプロセスが完了するまでコールを発信も受信もできません。このプロセス中に、無線機の電源を切らないよう求めるプロンプトが表示されます。

6.4.22.8.1

ファームウェア ファイル

このセクションには、無線ファームウェアの情報を記載しています。

6.4.22.8.1.1

ファームウェアの更新



注記：

オプション ボード ファームウェア ファイルが最新状態でない場合 (および無線機が最新のオプション ボード ファームウェア バージョンを部分的に収集していた場合)、無線機には追加オプション (『バージョン』、『% じゅしんずみ』、『ダウンロード』) が含まれたリストが表示されます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『こうしん』に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ファームウェア』に移動し (Ⓢ) を押して選択します。

ディスプレイに『ファームウェアはさいしんです』と表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ファームウェア』に移動し (Ⓢ) を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『バージョン』に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。

保留中のオプション ボード ファームウェア ファイルがある場合、ディスプレイには、保留中のオプション ボード ファームウェア ファイルのバージョン番号が表示されます。

オプション ボード ファームウェア ファイルがない場合は、ディスプレイに『ファームウェアはさいしんです』と表示されます。

6.4.22.8.2

保留中ファームウェア - バージョン

- 1 (Ⓢ) メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『こうしん』に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。

6.4.22.8.3

保留中のファームウェア - 受信割合

- 1 (Ⓢ) メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、(Ⓢ) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『こうしん』に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『ファームウェア』に移動し  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『% じゅしんずみ』に移動し、 を押して選択します。



注記：

100% になったら無線機の電源をいったん切ってから再投入して、ファームウェアのアップグレードを開始する必要があります。

保留中ファームウェア - ダウンロード

事前に、Connect Plus 無線機でファイルを部分的に転送して OTA オプション ボード ファームウェア ファイル転送から離れているとき、内部タイマーの期限が切れるとユニットはファイル転送に自動的に復帰します (まだ進行中の場合)。この内部タイマーの期限が切れる前にユニットを進行中のオプション ボード ファームウェア ファイル転送に復帰させるには、下記の説明に従って [ダウンロード] オプションを使用します。

1  メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『こうしん』に移動し、 を押して選択します。

6.4.22.8.4

- 5 ▲ または ▼ を押して『ファームウェア』に移動し  を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『ダウンロード』に移動し、
 を押して選択します。
ディスプレイに、次のメッセージが表示されます。

ダウンロード使用可能	[Start Download]〈ダウンロードかいし〉
ダウンロード使用不可	[Download not available]〈ダウンロードしようふか〉

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 『はい』を選択して  を押すと、ダウンロードが開始されます。
- 『いいえ』を選択して  を押すと、前のメニューに戻ります。

6.4.22.8.5

周波数ファイル

このセクションには、無線機の周波数ファイルに関する情報を記載しています。

6.4.22.8.5.1

周波数ファイルの更新



注記：

周波数ファイルが最新ではない場合 (および無線機が最新の周波数ファイル バージョンを部分的に収集していた場合)、無線機には追加オプション (『バージョン』、[％ じゅしんずみ]、[ダウンロード]) が含まれたリストが表示されます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『しゅうはすう』に移動し、
Ⓢ を押して選択します。

ディスプレイに『Freq. ファイルはさいしんです』と表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して『しゅうはすう』に移動し、
Ⓢ を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『バージョン』に移動し、
Ⓢ を押して選択します。

保留中の周波数ファイルがある場合、ディスプレイには、保留中の周波数ファイルのバージョン番号が表示されます。

6.4.22.8.5.2

周波数ファイル保留中 - バージョン

- 1 Ⓢ メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、Ⓢ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、Ⓢ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『こうしん』に移動し、Ⓢ を押して選択します。

6.4.22.8.5.3

周波数ファイル保留中 - 受信割合

- 1 Ⓢ メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、Ⓢ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、Ⓢ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『こうしん』に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『% じゅしんずみ』に移動し、 を押して選択します。
- これまでに収集した周波数ファイル パケットの割合が画面に表示されます。

6.4.22.8.5.4

周波数ファイル保留中 - ダウンロード

事前に、Connect Plus 無線機でファイルを部分的に転送して OTA ネットワーク周波数ファイル転送から離れているとき、内部タイマーの期限が切れるとユニットはファイル転送に自動的に復帰します (まだ進行中の場合)。この内部タイマーの期限が切れる前にユニットを進行中のネットワーク周波数ファイル転送に復帰させるには、下記の説明に従って [ダウンロード] オプションを使用します。

- 1  メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動し、 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『こうしん』に移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『しゅうはすう』に移動し、 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『ダウンロード』に移動し、 を押して選択します。

ダウンロードは現在使用不可	[Download not available] (ダウンロードしようふか)
ダウンロードは現在使用可能	[Start Download] (ダウンロードかいし)

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 『はい』を選択して押すと、ダウンロードが開始されます。
- 『いいえ』を選択して押すと、前のメニューに戻ります。

4 ▲ または ▼ を押して必要な証明書に移動します。  を押して選択します。

無線機に、証明書の完全な詳細が表示されます。



注記：
準備が完了していない証明書については、ステータスのみ表示されます。

6.4.23

エンタープライズ Wi-Fi 証明書の詳細の表示

選択したエンタープライズ Wi-Fi 証明書の詳細を表示することができます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [証明書メニュー] に移動します。  を押して選択します。

✓ 準備が完了した証明書の横に表示されます。

他のシステム

このシステムで無線機ユーザーが利用可能な機能については、この章で取り扱います。

7.1

プッシュトゥトーク ボタン

プッシュトゥトーク ボタン (PTT) ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

- 通話中に **PTT** ボタンを使用して、通話に加わっている他の無線機に送信できます。**PTT** ボタンを押すと、マイクが有効になります。
- 通話中でないときは、新規通話を発信するために [**PTT**] ボタンを使用します。

通話が中断されると、継続した通話禁止音が聞こえます。通話禁止音が継続的に聞こえた場合は、**PTT** ボタンを放します。

7.2

プログラム可能ボタン

ディーラーは、プログラム可能ボタンに対して、ボタンを押す長さごとに、無線機能へのショートカットをプログラムできます。

短押し

押してすぐに離します。

長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。



注記：

【きんきゅう】ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 446](#)」を参照してください。

7.2.1

指定可能な無線機機能

無線機の以下の機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

アクション

Customer Programming Software (CPS) のプログラム可能なアクション リストにアクセスできます。

音声アンビエンス

無線機が動作する環境をユーザーが選択できます。

音声プロファイル

優先される音声プロファイルをユーザーが選択できます。

音声切替

内部無線機スピーカと有線アクセサリ スピーカとの間のオーディオルーティングを切り替えます。

Bluetooth® オーディオ切り替え

内部無線機スピーカと外部 Bluetooth 対応アクセサリの間のオーディオルーティングを切り替えます。

Bluetooth 接続

Bluetooth の検出と接続の動作を開始します。

Bluetooth 切断

無線機と Bluetooth 対応デバイス間のすべての既存の Bluetooth 接続を終了します。

Bluetooth 検出可能

無線機を Bluetooth 検出可能モードに切り替えることができます。

連絡先

連絡先リストに直接アクセスできます。

ページング

連絡先リストに直接アクセスして、ページングの送信先となる連絡先を選択できるようにします。

通話履歴

通話履歴のリストを選択します。

チャンネル アナウンスメント

現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを示します。

無線エイリアスの表示

無線機名が表示されます。

緊急

プログラムに応じて、緊急通話を始動またはキャンセルします。

屋内位置

屋内位置のオンとオフを切り替えます。

Int オーディオ

インテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

JOB チケット

JOB チケットを表示したり実行したりできます。

ダイヤル

無線機の ID を入力して個別コールを開始します。

手動サイト ローミング ⁶

手動サイト検索を開始します。

Mic AGC

内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) のオンとオフを切り替えます。

モニタ

選択されたチャネルのアクティビティをモニタします。

通知

通知リストに直接アクセスできます。

迷惑チャネル削除 ⁶

選択されたチャネルを除く不要なチャネルをスキャンリストから一時的に削除します。選択されたチャネルとは、スキャンの開始元として選択されたゾーンまたはチャネルの組み合わせを指します。

ワンタッチ アクセス

事前に定義した個別コール、電話通話、グループ コール、ページング、クイック テキスト メッセージ、またはホーム復帰を直接開始します。

オプション ボード機能

オプション ボード対応チャネルで、オプション ボード機能のオンとオフを切り替えます。

連続モニタ ⁶

機能が無効になるまで、選択されたチャネルですべての無線機トラフィックをモニタします。

電話

電話連絡先リストに直接アクセスできます。

電源バッテリー インジケータ

現在のバッテリー レベルの状態を表示します。

秘話モード

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

無線エイリアスと ID

無線エイリアスと ID を提供します。

無線機チェック

システム内の無線機がアクティブであるかどうかを判別します。

停止解除

ターゲットの無線機を遠隔で有効にできます。

無線停止

相手の無線機を遠隔で無効にできます。

⁶ Capacity Plus では利用できません。

リモート モニタ

インジケータを表示せずにターゲットの無線機のマイクをオンにします。

リピータ/ダイレクト⁶

リピータの使用と、別の無線機との直接的な通信とを切り替えます。

アラート音タイプ

アラート音タイプ設定にアクセスできます。

ホーム チャンネルのリセット

新規ホーム チャンネルを設定します。

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダをミュートします。

スキャン⁷

スキャンのオンとオフを切り替えます。

サイト情報

Capacity Plus-マルチサイトの現在のサイト名と ID を表示します。

音声ガイドが有効になっているときに、現在のサイトの音声ガイド メッセージを再生します。

サイト ロック⁶

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

テレメトリ コントロール

ローカルまたはリモート無線機で、出力ピンをコントロールします。

テキスト メッセージ

テキスト メッセージ メニューを選択します。

パイプのつよさ

パイプの強さを設定します。

音声割り込み

送信側無線機からの音声に割り込んで、チャンネルを解放します。

強制停止

現在進行中の割り込み可能な通話を停止し、チャンネルを解放します。

トリル拡張

トリル拡張のオンとオフを切り替えます。

未登録

未登録のプログラム可能ボタン。

⁷ Capacity Plus-シングルサイトでは利用できません。

音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

音声起動送信 (VOX)

VOX のオンとオフを切り替えます。

WiFi

Wi-Fi のオンとオフを切り替えます。

ゾーンせんたく

ゾーンのリストからの選択を可能にします。

7.2.2

指定可能な設定またはユーティリティ機能

無線機の以下の設定またはユーティリティ機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

輝度

プログラミングに応じて、手動輝度モードまたは自動輝度コントロールを使って、輝度レベルを調整します。

表示モード

デイ/ナイト表示モードのオンとオフを切り替えます。

キー ロック

キーパッドのロックのオンとオフを切り替えます。

壁紙

無線機では、ホーム画面に背景の壁紙が表示されます。

7.2.3

プログラムされた機能へのアクセス

下記の手順に従って、無線機でプログラムされた機能にアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされたボタンを押します。 [ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押してメニュー機能に移動したら、 を押して機能を選択するか、サブメニューに移動します。
- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 -  を押して前の画面に戻ります。

- ホーム画面に戻るには、 を長押しします。一定の期間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

7.3

ステータス インジケータ

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。

7.3.1

アイコン

無線機の LCD には、無線機の状態、テキスト エントリ、メニュー エントリが表示されます。

表 10 : ディスプレイ アイコン

次のアイコンは、無線機ディスプレイ上部のステータス バーに表示されます。アイコンは外観や使用法の順に左詰めで配列され、チャンネル固有です。



全トーン停止
すべてのトーンがオフです。



バッテリー
バーの本数 (0 ~ 4) でバッテリーの残量を示します。このアイコンは低バッテリー状態になると点滅します。



バッテリー充電の状態
バッテリー充電の状態を示します。



Bluetooth 接続
Bluetooth 機能が有効です。リモートの Bluetooth デバイスが接続されている間、アイコンは表示されたままになります。



Bluetooth 未接続
Bluetooth の機能は有効ですが、接続されているリモートの Bluetooth デバイスはありません。



通話履歴
無線機の通話履歴。



連絡先
無線機の連絡先が使用可能です。



緊急
無線機が緊急モードです。

	大量データ 大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。
	屋内位置利用可能 ⁸ 屋内位置ステータスがオンで利用可能です。
	屋内位置利用不可 ⁸ Bluetooth が無効か、ビーコン スキャンが Bluetooth により一時停止しているため、屋内位置ステータスがオンですが利用できません。
	メッセージ 着信メッセージ。
	モニタ 選択されたチャンネルをモニタ中です。
	ミュート モード ミュート モードが有効になると、スピーカーがミュートされます。
	通知 通知リストに、1 つ以上の不在イベントがあります。
	オプション ボード オプション ボードが有効です。(オプション ボード対応モデルのみ)。
	オプション ボード非動作 オプション ボードが無効です。
	無線 (Over-the-Air) プログラミング遅延タイム 無線機の自動再起動までの残り時間を示します。
	受信信号強度インジケータ (RSSI) 表示されるバーの数は、無線機の信号強度を表します。バーが 4 本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。
	応答禁止 応答禁止が有効化されます。

⁸ 最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。

	着信音のみ 呼出音モードが有効です。
	スキャン ⁹ スキャン機能が有効になっています。
	スキャン - 優先度 1 ⁹ 無線機は、優先度 1 に指定されたチャネル/グループのアクティビティを検出します。
	スキャン - 優先度 2 ⁹ 無線機は、優先度 2 に指定されたチャネル/グループのアクティビティを検出します。
	セキュア 秘話モード機能が有効です。
	サイン イン 無線機はリモート サーバーにサインインします。

	サインアウト 無線機はリモート サーバーからサインアウトします。
	サイレント モード サイレント呼出音モードが有効です。
	サイト ローミング ¹⁰ サイト ローミング機能が有効です。
	⁹ ダイレクト モード リピータがない場合、無線機は無線機間で直接通信を行うように設定されています。
	非セキュア 秘話モード機能が無効です。
	バイブ バイブ モードが有効です。
	バイブと呼出音 バイブ モードと呼出音モードが有効です。

⁹ Capacity Plus では利用不可です。

¹⁰ Capacity Plus-シングルサイトでは利用できません。

	Wi-Fi 優良¹¹ にのみ適用されます。 Wi-Fi 信号が優良です。
	Wi-Fi 良好¹¹ Wi-Fi 信号が良好です。
	Wi-Fi 標準¹¹ Wi-Fi 信号が平均的です。
	Wi-Fi 不良¹¹ Wi-Fi 信号が不良です。
	Wi-Fi 利用不能¹¹ Wi-Fi 信号を利用できません。

表 11 : 高度なメニュー アイコン

以下のアイコンは、2 つのオプションのいずれかを選択できるメニュー項目の隣に表示されるか、2 つのオプションがあるサブメニューがあることを示すために表示されます。

	チェックボックス (チェックされている) オプションが選択されていることを示します。
	チェックボックス (空) オプションが選択されていないことを示します。

表 12 : Bluetooth デバイス アイコン

以下のアイコンも、デバイス タイプを示すために使用できる Bluetooth 対応デバイス リストで項目の隣に表示されます。

	Bluetooth オーディオ デバイス Bluetooth 対応オーディオ デバイス (ヘッドセットなど)。
	Bluetooth データ デバイス Bluetooth 対応データ デバイス (スキャナなど)。

¹¹ SL7550e/SL7590e/SL7580e

 Bluetooth PTT デバイス Bluetooth 対応 PTT デバイス (PTT のみデバイス (POD) など)。	ャ PC にテキスト メッセージを送信するために使用されます。
 Bluetooth センサー デバイス ¹¹ Bluetooth 対応センサー デバイス (ガス センサーなど)。	 グループ コール／一斉コール グループ コール中または一斉コール中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。
表 13 : 通話アイコン 以下は、通話中にディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、[れんらく さき] リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。	 個別コール 個別コール中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、無線機のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。
 Bluetooth PC コール Bluetooth PC コール中であることを示します。 [れんらくさき] リストでは、Bluetooth PC コール エイリアス (名前) または ID (番号) を示します。	 グループ コール／一斉コールとしての通話 グループ コールまたは一斉コールとして通話中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。
 [ディスパッチ コール] 連絡先タイプのディスパッチ コールは、サードパーティのテキスト メッセージ サーバーを介して、ディスパッチ	

 個別コールとしての通話 個別コールとして通話中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、電話のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。	[れんらく さき] リストでは、無線機のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。  オプション ボード グループ コール オプション ボード グループ コール中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。
 非 IP 周辺個別コール 非 IP 周辺個別コール中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、無線機のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。	
 非 IP 周辺グループ コール 非 IP 周辺グループ コール中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。	
 オプション ボード個別コール オプション ボード個別コール中であることを示します。	 すべてのジョブ リストされているすべてのジョブを示します。  新しいジョブ 新しいジョブを示します。

表 14 : JOB チケットアイコン

次のアイコンは、JOB チケット フォルダ内で、ディスプレイに一時的に表示されます。

	処理中 ジョブの送信中です。これが表示された後で、JOB チケットの送信失敗または送信完了が示されます。
	送信失敗 ジョブを送信できませんでした。
	送信完了 ジョブが正常に送信されました。
	優先度 1 ジョブの優先度が 1 であることを示します。
	優先度 2 ジョブの優先度が 2 であることを示します。
	優先度 3 ジョブの優先度が 3 であることを示します。

表 15：ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、ディスプレイに瞬時的に表示されます。

	送信に失敗 (ネガティブ) アクションに失敗しました。
	送信に成功 (ポジティブ) アクションに成功しました。
	通信処理中 (経過) 送信中です。これは、通信に成功または失敗したという表示の前に表示されます。

表 16：送信 BOX アイコン 

以下のアイコンは、ディスプレイ右上隅にある送信 BOX フォルダに表示されます。

	また 処理中 送信機のエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信は保留中で、承認を待っている状態です。
	は グループのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信が保留中です。

 また  は	読み込まれた個別メッセージまたはグループメッセージ メッセージが読み込まれました。
 また  は	読み込まれていない個別メッセージまたはグループメッセージ メッセージが読み込まれませんでした。
 また  は	送信失敗 テキストメッセージを送信できません。
 また  は	送信完了 メッセージは正常に送信されました。

赤色の点滅

電源投入時のセルフテストに失敗しました。

緊急送信を受信しています。

低バッテリー状態で送信しています。

オートレンジトランスポンダシステムで設定されている通信範囲から外れました。

ミュートモードが有効です。

緑色の点灯

無線機が電源オンになっています。

送信しています。

無線機の電源がオフの間にバッテリーがフル充電されることを示します。

無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。

緑色の点滅

通話またはデータを受信しています。

エア接続プログラミング送信を取得しています。

7.3.2

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

エア接続アクティビティを検出しています。



注記：

このアクティビティによるプログラム済みチャネルへの影響は、デジタル プロトコルの特性によって異なります。

Capacity Plus のエア接続アクティビティを無線機が検出しているときは、LED 表示はありません。

緑色の 2 回点滅

秘話モード対応通話またはデータを受信しています。

黄色の点灯

従来型チャネルをモニタしています。

無線機が Bluetooth 検出可能モードになっています。

プログラムされた【バッテリー強度】ボタンを押したときに、十分なバッテリーが残っていることを示します。

黄色の点滅

アクティビティをスキャンしています。

ページングにまだ応答していません。

無線機のフレックス RX リストが有効になっています。

すべての Capacity Plus-マルチサイト チャネルがビジー状態です。

黄色の 2 回点滅

自動ローミング機能が有効です。

新規サイトを検索しています。

グループのページングにまだ応答していません。

ロックされています。

Capacity Plus の間は、無線機はリピータに接続されません。

すべての Capacity Plus チャネルがビジー状態です。

7.3.3

トーン

以下は、無線機のスピーカから鳴るトーンです。



高いトーン



低いトーン

7.3.3.1

オーディオ トーン

オーディオ トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。



連続トーン

モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。



定期トーン

無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。



反復トーン

ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返されます。



瞬間トーン

無線機で設定した短いトーンが 1 回鳴ります。

7.3.3.2

インジケータ トーン

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータ トーンによりステータスが音声で通知されます。



ポジティブ インジケータ トーン



ネガティブ インジケータ トーン

7.4

IP サイト接続

この機能を使用すると、従来のシングルサイトでは無線機の通信範囲外となる場所でも、インターネット プロトコル (IP) ネットワークを使用して利用可能な別のサイトに接続するして通信できます。これは従来のマルチサイト モードです。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通話またはデータを送受信します。設定に応じて自動または手動で接続を切り替えます。

自動サイト検索では、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合に、利用可能サイトをすべてスキャンします。次

に、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機は、信号強度が最も強いサイトを検索するのではなく、現在通信範囲内にあるローミングリストの次のサイトを検索し、リピータにロックします。



注記：

各チャンネルで、スキャンまたはローミングのどちらかを有効にできますが、両方同時に有効にはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミングリストに追加されます。自動ローミング動作時にローミングリスト内のチャンネルが検索され、最適なサイトが検出されます。ローミングリストでは、最大 16 チャンネルを使用できます (選択したチャンネルを含む)。



注記：

手動では、ローミングリスト内のエントリの追加や削除はできません。詳細については、販売店にお問い合わせください。

7.5

Capacity Plus、

Capacity Plus は、シングルおよびマルチサイト向けのエントリレベルのトラッキングシステムです。シングルおよび

マルチサイトの動的トラッキングで、より大きな通信容量と通信範囲に対応します。

7.5.1

Capacity Plus—シングルサイト

Capacity Plus—シングルサイトは、MOTOTRBO 無線機システムのシングルサイトトラッキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネルプールを使用します。この機能を使用すると、リピータモードのとき、お使いの無線機でプログラムされたチャンネル数を有効活用できます。

Capacity Plus—シングルサイトでは利用できない機能に、プログラム可能ボタンからアクセスしようとする、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

無線機には、従来型デジタルモード、IP Site Connect、および Capacity Plus のいずれのモードでも利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。

この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

7.5.2

Capacity Plus–マルチサイト

Capacity Plus–マルチサイトは、Capacity Plus と IP Site Connect 構成の優れた特徴を組み合わせた MOTOTRBO 無線機システムのマルチチャンネル トランキング構成です。

この機能を使用すると、無線機は IP ネットワーク経由で接続されている別の利用可能サイトに接続するので、シングルサイトでは通信範囲外となる地域とのトランキング通信が可能になります。また、各利用可能サイトでサポートされているプログラム済みチャンネルは、組み合わせられて効率的に利用されるため、容量も増加します。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通話またはデータを送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。その後、無線機は RSSI 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度

が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にこれらのチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけます。



注記:

ローミング リストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

Capacity Plus–シングルサイトと同様に、Capacity Plus–マルチサイトに該当しない機能のアイコンはメニューで使用できません。プログラム可能ボタンから Capacity Plus–マルチサイトでは利用できない機能にアクセスしようとする、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

7.6

ゾーンとチャンネルの選択

この章では、無線機でゾーンまたはチャンネルを選択する操作について説明します。ゾーンとは、チャンネルのグループのことです。

無線機は最大 1000 チャンネルと 250 ゾーンをサポートします。1 ザーンの最大チャンネル数は 160 です。

それぞれのチャンネルでは、異なる機能をプログラムすることも、異なるユーザーグループをサポートすることもできます。

7.6.1

ゾーンの選択

下記の手順に従って、無線機で必要なゾーンを選択します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ゾーンせんたく】ボタンを押します。**ステップ 3**に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して【ゾーン】に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに  と現在のゾーンが表示されます。

- 3  または  を押して必要なゾーンに移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイに【<ゾーン> せんたくずみ】が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

7.6.2

チャンネル選択

下記の手順に従って、無線機で必要なチャンネルを選択します。

ホーム画面でナビゲーション ディスクの  を押し、チャンネル リストにアクセスします。



注記：

【仮想チャンネル停止】が有効になっている場合、無線機は最初または最後のチャンネルを超える境界で停止し、トーンが聞こえます。

アクティブ チャンネルが表示され、 で示されます。

7.7

通話

この章では、通話の受信、応答、発信、停止の操作について説明します。

以下の機能のいずれかを使用してチャンネルを選択した後、無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

エイリアス検索

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループコール、個別コール、および一斉コールのみに使用します。

連絡先リスト

この方法では、連絡先リストに直接アクセスできます。

ダイヤル (連絡先を使用)

この方法は、キーパッド マイクを併用して、個別コールおよび通話のみに使用します。

プログラム可能な数値キー

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループコール、個別コール、および一斉コールのみに使用します。



注記:

各数値キーに割り当てできるのは単一のエイリアスまたは ID ですが、単一のエイリアスまたは ID は、複数の数値キーに関連付けできます。キーパッド マイクのすべての数値キーに割り当てできます。詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#)」を参照してください。

プログラムされた【ワン タッチ アクセス】ボタン

この方法は、グループ コール、個別通話、および電話通話のみに使用します。

ワン タッチ アクセス ボタンでは、プログラム可能ボタンの短押しまたは長押しに、それぞれ単一の ID のみを割り当てできます。お使いの無線機で、複数の【ワン タッチ アクセス】ボタンをプログラムできます。

プログラム可能ボタン

この方法は、電話通話のみに使用します。

7.7.1

グループ通話

ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機をそのグループの所属に設定する必要があります。

7.7.1.1

グループ通話への応答

ユーザー グループからの通話を受信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。下記の手順に従って、無線機でグループ コールに応答します。

グループ通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの 1 行目に、発信者のエイリアスと **[RSSI]** アイコンが表示されます。
- 2 行目に、グループのエイリアスと **[グループ コール]** アイコン (デジタル モードのみ) が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
-  音声割り込み機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

7.7.1.2

グループ通話の発信

下記の手順に従って、無線機でグループ コールを発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
 - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、グループ コール アイコンとグループ コール エイリアスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 - **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイにグループ コール アイコン、グループのエイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

7.7.1.3

連絡先リストを使用したグループ コールの発信

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でグループ コールを発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。☎ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。☎ を押して選択します。

4 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

1 行目に、無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。2 行目には、『こべつつうわ』と [個別通話] アイコンが表示されます。

5 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

6 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに送信ユーザーの ID が表示されます。

7 📞 チャンел フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応

答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

短いトーンが聞こえます。ディスプレイに『コール しゅうりょう』と表示されます。

7.7.1.4

プログラム可能な数値キーを使用したグループ コールの発信 📞

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でグループ コールを発信します。

1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に【グループ コール】アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、個別コールの場合は通話ステータスが表示され、一斉コールの場合は「いっせいコール」と表示されます。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

5 チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#) を参照してください。

7.7.2

個別通話

個別コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。

個別コールには、2 つの設定方法があります。1 つは、無線機プレゼンス チェックの後で通話をセットアップする方法で、もう 1 つは通話を即座に設定する方法です。ディーラーは、これらのタイプのいずれか 1 つのみを無線機にプログラムできます。

個別コールの設定前にプレゼンス チェックを実行するようにプログラムされた無線機で、ターゲットの無線機が有効になっていない場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。

詳細については、「[プライバシー ページ 467](#)」を参照してください。

7.7.2.1

個別通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コールに応答します。

個別通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 1 行目に無線機のエイリアスまたは ID と、[RSSI] アイコンが表示されます。
- 2 行目には、【こべつ コール】と【個別コール】アイコンが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

-  強制停止機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して進行中の割り込み可能通話を停止して、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

7.7.2.2

個別通話の発信

個別通話を開始するには無線機をプログラムする必要があります。この機能が無効な場合に通話を開始すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。下記の手順に従って、無線機で個別コールを発信します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに こべつ コール アイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

5 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

7.7.2.3

連絡先リストを使用した個別コールの発信

1 を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

緑色の LED が点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

5 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。

7  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

7.7.2.4

エイリアス検索を使用した個別コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらく

さき] のみに適用されます。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。個別コールを設定する前に、無線機プレゼンス チェックを実行するように無線機をプログラムできます。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに『あいてさきむこう』と表示され、無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して、無線機で個別コールを発信します。



注記：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

1  を押してメニューにアクセスします。

2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。
テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、【個別コール】アイコンが表示されます。

- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

- 8  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

7.7.2.5

ダイヤルを使用した個別コールの発信

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機で個別コールを発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。  を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の ID を入力し、  を押して先に進みます。
 - 前にダイヤルした無線機の ID を編集し、  を押して先に進みます。
-

6 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

7 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

8 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。

9  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

7.7.2.6

プログラム可能な数値キーを使用した個別コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で個別コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に、【こべつ コール】アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。通話を開始する前の画面に戻ります。

詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#)」を参照してください。

7.7.3

一斉コール

一斉コールとは、ある無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。一斉コールは、ユーザーの注意を十分に

促す必要がある重要な通知に使用されます。チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

7.7.3.1

一斉コールの受信

一斉コールを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に、発信者の ID 情報と [RSSI] アイコンが表示されます。
- テキスト行の 1 行目に、[一斉コール] アイコンと [いっせい コール] が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通話が終了すると、無線機は一斉コールを受信する前の画面に戻ります。

一斉コールの場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が **[PTT]** ボタンを放したときに、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉コールには応答できません。



注記:

通話を受信中に別のチャンネルに切り替えると、無線機は一斉コールの受信を停止します。一斉コールが終了するまでは、メニュー ナビゲーションや編集はできません。

7.7.3.2

一斉コールの発信

一斉コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で一斉コールを発信します。

- 1 アクティブな一斉コール グループのエイリアスまたは ID があるチャンネルを選択します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、グループ コール アイコンと [いっせいコール] が表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

7.7.3.3

プログラム可能な数値キーを使用した一斉コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で一斉コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、事前に定義されたエイリアスまたは ID に割り当てられたプログラム可能な数値キーを長く押します。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#) を参照してください。

7.7.4

電話通話

電話通話は、個別の無線機から電話機への通話です。

無線機で電話通話機能が有効になっていない場合:

- ディスプレイに「りようふか」と表示されます。
- 無線機の通話がミュートされます。
- 通話が終了すると、前の画面に戻ります。

電話通話中、次の場合に通話が終了します。

- 事前に設定されているディアクセスコードを使用してワンタッチ アクセス ボタンを押す。
- 追加の数字の入力としてディアクセスコードを入力する。

チャンネル アクセス中、コードのアクセス/アクセス解除中、または追加の数字の送信中、無線機はオン/オフ、音量コントロール、およびチャンネルセレクトの各ボタンやノブにのみ反応します。無効な入力を行うたびにトーンが鳴ります。

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除されます。トーンが鳴ります。



注記：
アクセスコードまたはディアクセスコードは 10 文字以下にする必要があります。

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.7.4.1

370

電話通話の発信

下記の手順に従って、無線機で通話を発信します。

- 1 プログラムされた【ワン タッチ アクセス】ボタンを押して、事前に定義されたエイリアスまたは ID に移動します。

ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。アクセスコードが「れんらくさき」リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイに「アクセスコード:」と表示されます。

- 2 アクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。

アクセスコードまたはディアクセスコードは 10 文字以下にする必要があります。

- 3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に 電話 アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。
- テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。
- ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが引き続き表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【でんわ NG】と表示されてから、【アクセスコード:】と表示されます。
- アクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

-
- 4 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
-

- 5 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

-
- 6 通話を終了するには、 を押します。
-

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ディアアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに【ディアアクセスコード:】と表示されたらディアアクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。前の画面に戻ります。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。
ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに【でんわせつだん】と表示されます。
通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。

- ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。最後の2つの手順を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに【コールしゅうりょう】と表示されます。

7.7.4.2

連絡先リストを使用した電話通話の発信



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機で通話を発信します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して【Contacts】に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押した場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【コール >OK】と表示されます。

選択したエントリが空の場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【つうわむこうなばんごう】と表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して【つうわ】に移動します。

を押して選択します。

アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに【アクセスコード:】と表示されます。

- 5 アクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。

アクセスコードまたはディアクセスコードは10文字以下にする必要があります。

テキスト行の1行目に「よびだしちゅう」と表示されます。ディスプレイの2行目に無線機のエイリアスまたはIDと、**[電話]**アイコンが表示されます。通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。
- テキスト行の1行目に無線機のエイリアスまたはIDと、**[RSSI]**アイコンが表示されます。
- テキスト行の2行目に「でんわ」と、**[電話]**アイコンが表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「でんわ NG」と表示されてから、「アクセスコード:」と表示されます。
- アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

6 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

[RSSI] アイコンが消えます。

7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

8 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

9 通話を終了するには、 を押します。

10 ディアクセスコードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに「ディアクセスコード:」と表示

されたらディアクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。

前の画面に戻ります。DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。ステップ 9 と ステップ 10 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。電話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに「コール OK」と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに「でんわしゅうりょう」と表示されます。

電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。

7.7.4.3

プログラム可能な [Tel] ボタンで電話通話を行う

下記の手順に従って、プログラム可能な [Tel] ボタンで通話を行います。

- 1 プログラムされた [Tel] ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓢ を押して選択します。アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイに「アクセス コード:」と表示されます。アクセスコードを入力し、Ⓢ ボタンを押して先に進みます。
 - 緑色の LED が点灯します。通話 アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。
 - 通話設定に成功すると、デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴ります。電話機ユーザーのダイヤル トーンが聞こえます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアス通話 アイコンは引き続き右上端に表示されています。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。
 - 通話設定に失敗するとトーンが鳴り、ディスプレイに「でんわ NG」と表示されます。アクセスコード入力画面に戻ります。アクセスコードが [れ

んらくさき] リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

3 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

4 電話コールで数字を入力する必要がある場合は、次の操作を実行します。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- キーボードのいずれかのキーを押し、追加の数字の入力を始めます。ディスプレイの 1 行目に「ついかケタ:」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。残りの数字を入力し、 を押して、先に進みます。デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴り、前の画面に戻ります。
 - ワンタッチ アクセス ボタンを押します。デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴りません。
-

5 通話を終了するには、 を押します。アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイの 1 行目に「ディアクセス コード:」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。ディアクセス コードを入力し、 ボタンを押して先に進みます。

- デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴り、ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。
- 通話終了設定に成功するとトーンが鳴り、ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。
- 通話終了設定に失敗すると、通話画面に戻ります。[ステップ 3](#)と[ステップ 5](#)を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。
- 通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに「コール >OK」と表示されます。
- 電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに「でんわしゅうりょう」と表示されます。

- 電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。



注記：

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、ディアクセス コードが事前設定されている状態でワンタッチ アクセス ボタンを押すか、追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力すると、コールの終了が試行されます。

7.7.4.4

デュアル トーン マルチ周波数

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) 機能を使用すると、無線機システム内で電話機システムを操作できます。

すべての無線機トーンと警告を無効にすると、DTMF トーンが自動的にオフになります。

7.7.4.5

個別コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コール通話に応答します。

個別コール通話を受信した場合:

- ディスプレイに、電話通話 アイコンと『でんわつうわ』が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3 通話を終了するには、 を押します。



注記：

お使いの無線機では、電話通話をグループコールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。**ステップ 3**を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

7.7.4.6

グループ コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機でグループ コール通話に応答します。

グループ コール通話を受信した場合:

- ディスプレイに、電話通話 アイコンと「でんわつうわ」が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3 通話を終了するには、 を押します。



注記:

お使いの無線機では、電話通話をグループ コールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。**ステップ 3**を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

7.7.4.7

一斉コールとして電話通話への応答

一斉コール通話を受信したときは、受信無線機はトークバックも応答もできません。また受信ユーザーは、一斉コールを終わらせることもできません。

一斉コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが表示されます。
- ディスプレイには、設定の種類に応じて【いっせいコール】、【サイトいっせいコール】、または【マルチサイトコール】のいずれかと【でんわ】が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

7.7.5

通話割り込みの開始

次の操作を実行すると、進行中の通話が中断されます。

- 音声 **PTT** ボタンを押します。
- 緊急ボタンを押します。
- データ送信を実行します。
- プログラムされた **TX** リモート送信解除 ボタンを押します。

受信者の無線機に【つうわ わりこみ】と表示されます。

7.7.6

ブロードキャスト音声通話

ブロードキャスト音声通話は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通話です。

ブロードキャスト音声通話機能では、通話を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通話の受信者は応答できません（コール ハング タイムなし）。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.7.6.1

ブロードキャスト音声通話の発信

ブロードキャスト音声通話を行うように無線機をプログラムします。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
-
- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに【ブロードキャスト コール】、【グループ コール】アイコン

とエイリアスが表示されます。ディスプレイに [グループ通話] アイコンとエイリアスが表示されます。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

7.7.6.2

プログラム可能な数値キーを使用したブロードキャスト音声通話の発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でブロードキャスト音声通話を発信します。

- 1 **[ホーム]** 画面で、事前に定義されたエイリアスまたは ID に割り当てられたプログラム済みの数値キーを長押しします。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話に応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

- 4 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話に応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 126](#) を参照してください。

7.7.6.3

エイリアス検索を使用したブロードキャスト音声通話の発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することができます。この方法では、連絡先からのみ無線機のエイリアスを取得できます。この通話を確立中に [PTT] ボタンを放すと、通知なしに通話が終了し、前の画面に戻ります。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに「あいてさきむこう」と表示され、無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。



注記：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、[グループ コール] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話に応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通話が正常すると、無線機は前の画面に戻ります。

ブロードキャスト音声通話の場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

ブロードキャスト音声通話には応答できません。



注記：

通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機はブロードキャスト音声通話の受信を停止します。ブロードキャスト音声通話が終了するまで、メニュー ナビゲーションや編集を続行することはできません。

7.7.6.4

ブロードキャスト音声通話の受信

ブロードキャスト音声通話を受信した場合：

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に、発信者の ID 情報と RSSI アイコンが表示されます。
- テキスト行の 1 行目に、[グループ コール] アイコンと [ブロードキャスト コール] が表示されます。

7.7.7

未アドレス通話

未アドレス通話とは、事前に定義された 16 のグループ ID のいずれかに対するグループ通話です。

この機能は CPS-RM を使用して設定されます。未アドレス通話を開始または受信するには、事前定義された ID のいずれかの連絡先が必要です。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.7.7.1

未アドレス通話の発信

- 1 アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行に「みアドレスつうわ」、【グループ通話】アイコンおよびエイリアスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。瞬間トーンが鳴ります。ディスプレイに「みアドレスつうわ」、【グループ通話】アイコン、エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

- 5 チャンネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが放された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるよ

うになったことを示します。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

通話の発信者は  を押して、グループ コールを終了できます。

7.7.7.2

未アドレス通話への応答

宛先なしコールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 瞬間トーンが鳴ります。
- テキスト行に、「みアドレスつうわ」グループのエイリアスと【グループ コール】アイコンが表示されます (デジタル モードのみ)。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネ

ルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

-
- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-
- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

7.7.8

オープン音声チャンネル モード (OVCM)

オープン音声チャンネル モード (OVCM) を使用すると、特定のシステムで動作するように事前に設定されていない無線機で、グループ通話または個別通話中に受信と送信の両方を行うことができます。

OVCM グループ通話はブロードキャスト コールにも対応しています。この機能を使用するように無線機をプログラ

ムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.7.8.1

OVCM コールの発信

OVCM コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で OVCM コールを発信します。

-
- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

-
- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

テキスト行に、通話タイプのアイコン、OVCM およびエイリアスが表示されます。無線機が OVCM 状態に入ったことを示します。

-
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-

7.7.8.2

OVCM コールへの応答

OVCM コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- テキスト行には、通話タイプのアイコン、OVCM、エイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

7.8

高度な機能

この章では、無線機で利用できる機能の操作について説明します。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.8.1

Bluetooth®

Bluetooth 接続を介して、お使いの無線機と Bluetooth 対応デバイス (アクセサリ) を連携できます。お使いの無線機で

は、Motorola Solutions 製および COTS (市販既製品) の両方の Bluetooth 対応デバイスをサポートしています。

Bluetooth は、直線距離 10 メートル (32 フィート) の範囲内で動作します。これは、無線機と Bluetooth 対応デバイスとの間に障害物が何もない場合の距離です。信頼性を高めるために、Motorola Solutions では無線機とアクセサリを離さないことをお勧めします。

受信不良地域では、音声とトーン両方が「不明瞭」または「割れて」聞こえるようになります。この問題を解決するには、無線機と Bluetooth 対応デバイスを規定の 10 メートル以内に近づけて、明瞭な音声受信を再確立してください。無線機の Bluetooth 機能の最大出力は、10 メートル範囲で 2.5mW (4dBm) です。

無線機は、異なる種類の Bluetooth 対応デバイスとの Bluetooth 接続を同時に 3 接続までサポートできます。たとえば、ヘッドセット、スキャナ、センサー デバイス、および PTT 専用デバイス (POD) です。

Bluetooth 対応デバイスの全機能の詳細については、個々の Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

無線機は、通信範囲内で信号強度が最も強い、または前のセッションで接続していた Bluetooth 対応デバイスに接続します。サーチ動作中および接続動作中は、Bluetooth 対

応デバイスの電源を切ったり、[ホームへ戻る] ボタン  を押ししたりしないでください。動作が取り消されます。

7.8.1.1

ブルートゥースのオン/オフの切り替え

下記の手順に従って、Bluetooth のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Bluetooth] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [ステータス] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに [オン] と [オフ] が表示されます。
現在のステータスは  で示されます。

- 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。Ⓢ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。Ⓢ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

7.8.1.2

Bluetooth デバイスへの接続

下記の手順に従って、Bluetooth デバイスに接続します。

Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ、ペアリング モードにします。

- 1 Ⓢ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。Ⓢ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動します。Ⓢ を押して選択します。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。Ⓢ を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して [デバイス サーチ] に移動し、使用できるデバイスを見つけます。▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。Ⓢ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [せつぞく] に移動します。

Ⓢ を押して選択します。

ペアリングを完成させるには、Bluetooth 対応デバイスでさらに手順が必要になることがあります。Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

ディスプレイに [〈デバイス〉 せつぞくちゅう] と表示されます。

確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイに『<デバイス> せつぞくずみ』と [Bluetooth 接続済み] アイコンが表示されます。
- 接続されたデバイスに加えて、ディスプレイに ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『せつぞくしっぱい』と表示されます。

7.8.1.3

検出可能モードでの Bluetooth デバイスへの接続

下記の手順に従って、検出可能モードで Bluetooth デバイスに接続します。

Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ、ペアリング モードにします。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Find Me] に移動します。

 を押して選択します。無線機が、プログラムされた期間に他の Bluetooth 対応デバイスで検出可能になります。これを検出可能モードと呼びます。

確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『<デバイス> せつぞくずみ』と [Bluetooth 接続済み] アイコンが表示されます。
- 接続されたデバイスに加えて、ディスプレイに ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『せつぞくしっぱい』と表示されます。

7.8.1.4

Bluetooth デバイスからの切断

下記の手順に従って、Bluetooth デバイスから切断します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [せつだん] に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに [〈デバイス〉 からせつだんちゅう] と表示されます。

確認応答を待ちます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [〈デバイス〉 せつだんずみ] と表示され、[Bluetooth 接続済み] アイコンが消えます。
- 接続されていたデバイスの横から  が消えます。

7.8.1.5

内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオーディオ ルートの切り替え

下記の手順に従って、内部無線機スピーカと外部 Bluetooth デバイスの間でオーディオ ルートを切り替えます。

プログラムされた [Bluetooth オーディオ切り替え] ボタンを押します。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- トーンが鳴ります。ディスプレイに [おんせい>むせんき] と表示されます。
- トーンが鳴ります。ディスプレイに [おんせい> Bluetooth] と表示されます。

7.8.1.6

デバイスの詳細の表示

下記の手順に従って、無線機でデバイスの詳細を表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [しょうさい] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ネームヘンシュウ] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

6 新しいデバイス名を入力してください。 (Ⓢ) を押して選択します。
ディスプレイに [デバイスめいほぞんずみ] と表示されます。

7.8.1.7

デバイス名の編集

下記の手順に従って、使用できる Bluetooth 対応デバイス名を編集します。

1 (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

7.8.1.8

デバイス名の削除

Bluetooth 対応デバイスのリストから切断済みデバイスを削除できます。

1 (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動します。  を押して選択します。 ディスプレイに [デバイスさくじょずみ] と表示されます。

2 ▲ または ▼ を押して [ブルートゥース] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [BT マイクゲイン] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [BT マイクゲイン] タイプおよび現在の値に移動します。値を編集するには、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して値を増減します。  を押して選択します。

7.8.1.9

Bluetooth マイクゲイン値の調整

接続された Bluetooth 対応デバイスのマイクゲイン値を調整できます。

1  を押してメニューにアクセスします。

7.8.1.10

Permanent Bluetooth Discoverable モード

Permanent Bluetooth Discoverable モードは、ディーラーまたはシステム管理者が有効にする必要があります。



注記：

有効な場合、[ブルートゥース] はメニューに表示されず、Bluetooth のプログラム可能ボタン機能は使用できなくなります。

他の Bluetooth 対応デバイスで無線機を見つけることはできますが、デバイスは無線機に接続することはできません。Bluetooth ベースの位置追跡のプロセスで、Permanent Bluetooth Discoverable モードは、専用デバイスが無線機の位置を利用できるようにします。

7.8.2

屋内位置



注記：

屋内位置機能は、最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

屋内位置機能を使用して、無線機ユーザーの位置を追跡できます。屋内位置が有効になっていると、無線機は限定的に検出可能なモードになります。無線機を探して位置を特定するために、専用ビーコンが使用されます。

7.8.2.1

屋内位置のオンとオフ

屋内位置をオンまたはオフにするには、次の操作のいずれかを実行します。

- メニューからこの機能にアクセスします。
 - a.  メニューにアクセスします を押します。
 - b.  または  を押して [Bluetooth] に移動し、 を押して選択します。
 - c.  または  を押して [屋内] に移動し、 を押して選択します。
 - d.  を押して [屋内] をオンにします。
ディスプレイに「屋内オン」と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面に表示されます。
- 失敗すると、ディスプレイに「屋内オン失敗」と表示されます。ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

e. を押して屋内をオフにします。

ディスプレイに「屋内オフ」と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面から消えます。
- 失敗すると、ディスプレイに「屋内オフ失敗」と表示されます。ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- プログラムされたボタンを使用してこの機能にアクセスします。

a. プログラムされた **[屋内]** ボタンを長押しして屋内をオンにします。

ディスプレイに「屋内オン」と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面に表示されます。
- 失敗すると、ディスプレイに「屋内オン失敗」と表示されます。失敗すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

b. プログラムされた **[屋内]** ボタンを押して屋内配置をオフにします。

ディスプレイに「屋内オフ」と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
下記のいずれかの状態になります。

- 成功すると、[屋内位置利用可能] アイコンが [ホーム] 画面から消えます。
- 失敗すると、ディスプレイに「屋内オフ失敗」と表示されます。失敗すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

7.8.2.2

屋内位置ビーコン情報へのアクセス

下記の手順に従って、屋内位置ビーコン情報にアクセスします。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2  または  を押して [Bluetooth] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [屋内] に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して [ビーコン] に移動して、 を押して選択します。

ディスプレイにビーコン情報が表示されます。

7.8.3

JOB チケット

この機能を使用して、実行するタスクを列挙するディスプレイからのメッセージを、無線機で受信できます。



注記：

この機能は、ユーザーの要件に応じて顧客プログラミングソフトウェア (CPS) 経由でカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

次の 2 つのフォルダに、異なる種類の JOB チケットが含まれます。

[マイ タスク] フォルダ

ユーザーがサインインに使用したユーザー ID に割り当てられた、個人用の JOB チケット

[共有タスク] フォルダ

ユーザーのグループに割り当てられた共有 JOB チケット

JOB チケットに応答して、チケットを JOB チケット フォルダに並べることができます。既定のフォルダ名は **[All]**、**[New]**、**[Started]**、および **[Completed]** です。

JOB チケットは、無線機の電源を入れ直しても保持されます。

[All] フォルダには、すべての JOB チケットが配置されます。お使いの無線機のプログラムに応じて、JOB チケットは、優先度順、次に受信時刻順にソートされます。新規の JOB チケット、状態が最近変化した JOB チケット、および優先度が最高の JOB チケットが、リストの先頭に列挙されます。

JOB チケットの最大件数に達すると、最後のチケットが次のチケットに取って代わられます。無線機のモデルに応じて、最大 100 件または 500 件の JOB チケットがサポートされます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。無線機は、JOB チケット ID が重複している JOB チケットを、自動的に検出して破棄します。

JOB チケットの重要度に応じて、ディスプレイで優先度レベルが追加されます。優先度レベルには、3 段階(優先度 1、優先度 2、優先度 3) あります。優先度 1 が最高の優先度で、優先度 3 が最低の優先度です。その他に、優先度なしの JOB チケットもあります。

ディスプレイが下記の変更を行うと、それに従って無線機が更新されます。

- JOB チケットの内容修正。
- JOB チケットの優先度レベルの追加または編集。
- JOB チケットのフォルダからフォルダへの移動。
- JOB チケットのキャンセル。

7.8.3.1

JOB チケット フォルダへのアクセス

下記の手順に従って、JOB チケット フォルダへアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「ワーク チケット」に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要な JOB チケットに移動します。 を押して選択します。

7.8.3.2

リモート サーバーのログインとログアウト

ユーザー ID を使用して、リモート サーバーへのログインとログアウトが可能です。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して『ろぐいん』に移動します。  を押して選択します。

ログイン済みの場合は、メニューに『ログアウト』と表示されます。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

- 3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.3.3

単数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信

単数の JOB チケット テンプレートを使って無線機が構成されている場合、JOB チケットを送信するには、次の操作を実行します。

- 1 キーパッドを使用して、必要な部屋番号を入力します。  を押して選択します。
- 2  または  を押して『へやのステータス』に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なオプションに移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

複数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信

複数の JOB チケット テンプレートを使って無線機が構成されている場合、JOB チケットを送信するには、次の操作を実行します。

- 1 ▲ または ▼ を押して必要なオプションに移動します。 を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

7.8.3.4

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.3.5

JOB チケットへの応答

下記の手順に従って、無線機で JOB チケットに応答します。

- 1 (船) を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「JOB チケット」に移動します。(船) を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。(船) を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。(船) を押して選択します。
- 5 サブメニューにアクセスするには、(船) を再度押します。

対応する数値キー (1 ~ 9) を押して、[クイックへんしん]を行います。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。(船) を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

- 7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.3.6

JOB チケットの削除

下記の手順に従って、無線機で JOB チケットを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 4](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して「JOB チケット」に移動します。 を押して選択します。

-
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して「すべて」フォルダに移動します。 を押して選択します。

-
- 5 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。 を押して選択します。

-
- 6 JOB チケットの表示中に、 を再度押します。

-
- 7 ▲ または ▼ を押して「さくじょ」に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

-
- 8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.3.7

すべての JOB チケットの削除

下記の手順に従って、無線機のすべての JOB チケットを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「JOB チケット」に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して「すべて」フォルダに移動します。 を押して選択します。
- 5  または  を押して「ぜんさくじょ」に移動します。 を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  または  を押して「はい」に移動します。
 を押して選択します。
 ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
-  または  を押して「いいえ」に移動します。
 を押して選択します。
 前の画面に戻ります。

7.8.4

複数サイト コントロール



無線機は、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合は、サイトを検索してサイト間を切り替えられます。

信号が強ければ、無線機は現在のサイトに留まります。

この設定は、現在の無線機チャネルが IP Site Connect または Capacity Plus-Multi-Site 設定に含まれている場合に適用されます。

無線機では、次のいずれかのサイト検索を実行できます。

- 自動サイト検索

• 手動サイト検索

現在のチャンネルがローミング リスト付きの複数サイト チャンネルで、通信範囲外であり、サイトがロック解除されている場合、無線機もまた自動サイト検索を実行します。

7.8.4.1

手動サイト検索の有効化

- 1 下記の作業のどちらかを実行します。
 - プログラムされた【手動ローミング】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動します。
 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『サイト ローミング』に移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『サイト サーチ』に移動します。
 を押して選択します。

トーンが鳴ります。緑色の LED が点滅します。ディスプレイに『サイト サーチ』と表示されます。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに『サイト 〈エイリアス〉 見つかりました』と表示されます。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに『けんがい』と表示されます。

通信範囲内に新しいサイトが存在するものの無線機が接続できない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。

- ディスプレイに『チャンネル ビジー』と表示されます。

7.8.4.2

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

プログラムされた【サイト ロック】ボタンを押します。

【サイト ロック】機能をオンに切り替えると、

- ポジティブ インジケータ トーンが聞こえて、無線機が現在のサイトにロックされていることを示しています。
- ディスプレイに『サイト ロック済み』と表示されます。

【サイト ロック】機能をオフに切り替えると、

- ネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。無線機のロックが解除されていることを示しています。

- ディスプレイに『サイト ロックかいじょ』と表示されます。

7.8.5

ダイレクト モード

この機能を使用すれば、リピータが作動していない場合や、お使いの無線機がリピータの圏外にある場合でも、通話範囲内にある他の無線機との通信を継続できます。

ダイレクトモード設定は、電源を切った後も保持されます。



注記：

この機能は、同じ周波数の Capacity Plus-シングルサイト、Capacity Plus-マルチサイト、および Citizens Band チャンネルでは利用できません。

7.8.5.1

リピータとダイレクト モードの切り替え

下記の手順に従って、無線機でリピータとダイレクト モードを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【リピータ/ダイレクト】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ダイレクト モード] に移動します。 を押して選択します。

有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

前の画面に自動的に戻ります。



注記:

この機能は、Capacity Plus—シングルサイトおよび Capacity Plus—マルチサイトでは利用できません。

7.8.6.1

チャネルのモニタ

下記の手順に従って、チャネルをモニタします。

- 1 プログラムされた [モニタ] ボタンを長押しします。
ディスプレイに [モニタ] アイコンが表示され、LED が黄色に点灯します。
チャネルを使用している場合:
 - ディスプレイに [モニタ] アイコンが表示されます。
 - 無線機のアクティビティが聞こえることも、何も聞こえないこともあります。
 - 黄色の LED が点灯します。

モニタされているチャネルが空いていると、"ホワイト ノイズ" が聞こえます。

- 2 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

7.8.6

モニタ機能

この機能を使用すると、送信前にチャネルが空いていることを確かめられます。

7.8.6.2

連続モニタ

連続モニタを使用して、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタできます。

7.8.6.3

連続モニタのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で連続モニタのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた [連続モニタ] ボタンを押します。

無線機が本モードに入ると：

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。
- ディスプレイに『れんぞくモニタ オン』と [モニタ] アイコンが表示されます。

無線機が本モードを終了すると：

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED がオフになります。

- ディスプレイに『れんぞくモニタ オフ』と表示されます。

7.8.7

ホーム チャンネル リマインダ

これは、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

CPS を使用してこの機能を有効にしている場合は、無線機がホーム チャンネルに設定されていないと、以下の動作が定期的に繰り返されます。

- ホーム チャンネル リマインダ トーンが鳴り、音声ガイドが聞こえます。
- ディスプレイの 1 行目に『ノン』と表示されます。
- 2 行目に『ホーム チャンネル』と表示されます。

次のいずれかの操作を実行して、この通知に応答できます。

- ホーム チャンネルに戻る。
- プログラム可能ボタンを使用して、通知を一時的にミュートする。
- プログラム可能ボタンを使用して、新しいホーム チャンネルを設定する。

7.8.7.1

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

プログラムされた ホーム チャンネル リマインダのミュート ボタンを押します。

ディスプレイに「HCR サイレンス」と表示されます。

7.8.7.2

新しいホーム チャンネルの設定

ホーム チャンネル リマインダが通知された場合は、新しいホーム チャンネルをセットできます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ホーム チャンネルのリセット プログラム可能ボタンを押して、現在のチャンネルをホーム チャンネルとしてセットします。以下の手順をスキップします。
ディスプレイの 1 行目にチャンネル エイリアス、2 行目に「しん ホーム Ch」が表示されます。

- ⏸ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。⏸ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。⏸ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「ホーム チャンネル」に移動します。⏸ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して、目的の新しいホーム チャンネルのエイリアスに移動します。⏸ を押して選択します。

ディスプレイには、選択したチャンネル エイリアスの横に ✓ が表示されます。

7.8.8

無線機チェック ●

この機能を使用すると、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、無線機のユーザーを呼び出さずに

判断できます。ターゲットの無線機には、音声や映像による通知は行われません。この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。

7.8.8.1

無線機チェックの送信

下記の手順に従って、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1 プログラムされた【無線機チェック】ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに  を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェック モードを終了します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

無線機のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

7.8.8.2

連絡先リストを使用して無線機チェックを送信する

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『むせんチェック』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLED が点灯します。

- 5 確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに  を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェック モードを終了します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

無線機のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

7.8.8.3

ダイヤルを使用した無線機チェックの送信

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『ダイヤル』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『むせんきばんごう』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、Ⓜ を押して処理を続行します。

- 以前にダイヤルした ID を編集し、 を押して処理を続行します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『むせんチェック』に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

7 確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに  を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェックモードを終了します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

無線機のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

7.8.9

リモート モニタ

この機能を使用して、無線機のエイリアスまたは ID でターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

リモート モニタには 2 種類あります。

- 認証を使用しないリモート モニタ
- 認証を使用するリモート モニタ

認証を伴うリモート モニタは、購入可能な機能です。認証を伴うリモート モニタでは、無線機でターゲットの無線機のマイクをオンにする際に検証が必要です。

無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パスフレーズが必要です。パスフレーズは、CPS を使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

この機能は、プログラムされた期間の経過後、または相手の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したときに、停止します。

7.8.9.1

リモート モニタの開始

下記の手順に従って、無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 プログラムされた【リモート モニタ】ボタンを押します。
-
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
-
- 3  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
 - ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
 - パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに『きょうせいモニタ』と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.9.2

連絡先リストを使用したリモート モニタ
の開始

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [リモート モニタ] に移動します。

- 5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
 - ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。 緑色の LED が点灯します。

- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。 緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに『きょうせいモニタ』と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.9.3

ダイヤルを使用したリモート モニタの開始

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。  を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押して処理を続行します。
- 以前にダイヤルした ID を編集し、 を押して処理を続行します。

6 ▲ または ▼ を押して [リモート モニタ] に移動します。

7  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに「きょうせいモニタ」と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

スキャン リスト

スキャン リストは、個別チャンネルまたはグループに対して作成され、割り当てられます。無線機は、現在のチャンネルまたはグループのスキャン リストで指定されたチャンネルまたはグループ系列を循環して、音声アクティビティをスキャンします。

無線機では、最大 250 のスキャン リストを使用できます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。

スキャン リストを編集して、チャンネルの追加や削除、優先順位付けが可能です。

正面パネル プログラミングから、新しいスキャン リストを無線機に追加できます。

メンバーに優先度が設定されている場合は、メンバーのエイリアスの左側に【優先度】アイコンが表示され、優先度 1 と優先度 2 のどちらのチャンネル リストに属しているかが示されます。スキャン リストに複数の優先度 1 または優先度 2 チャンネルを含めることはできません。優先度を【なし】に設定すると、【優先度】アイコンは表示されません。



注記:

この機能は、Capacity Plus では利用できません。

7.8.10.1

アクティブなスキャン リストの設定

下記の手順に従って、アクティブなスキャン リストを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して『スキャン』に移動します。
 を押して選択します。
- 3  または  を押して『アクティブ リスト』に移動します。
 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なリストに移動します。
 を押して選択します。

選択したリストがアクティブなスキャン リストになります。

7.8.10.2

スキャン リスト内のエントリの表示

下記の手順に従って、無線機でスキャン リストのエントリを表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して『スキャン』に移動します。
 を押して選択します。
- 3  または  を押して『リストへんしゅう』に移動します。
 を押して選択します。
- 4  または  を使用して、リストにある各メンバーを表示します。

7.8.10.3

エイリアス検索を使用したスキャン リスト内のエントリの表示

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機でスキャン リストのエントリを表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「スキャン」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して「リストへんしゅう」に移動します。  を押して選択します。
- 4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
- 5 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リス

トの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

7.8.10.4

スキャン リストへの新規エントリの追加

下記の手順に従って、無線機でスキャン リストに新規エントリを追加します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「スキャン」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して「リストへんしゅう」に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して「メンバーつか」に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要な優先度に移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されてから、[つかか?]と表示されます。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 別のエントリを追加するには、▲ または ▼ を押して[はい]に移動します。Ⓜ を押して選択します。ステップ 5 と ステップ 6 を繰り返します。
 - 現在のリストを保存するには、▲ または ▼ を押して[いいえ]に移動します。Ⓜ を押して選択します。
-

7.8.10.5

スキャン リストからのエントリの削除

下記の手順に従って、スキャン リストからエントリを削除します。

1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して[スキャン]に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して[リストへんしゅう]に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して[さくじょ]に移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに[エントリをさくじょ?]と表示されます。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- エントリを削除するには、▲ または ▼ を押して「はい」に移動します。Ⓜ を押して選択します。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- 前の画面に戻るには、▲ または ▼ を押して「いいえ」に移動します。Ⓜ を押して選択します。

7 ステップ 4 から ステップ 6 を繰り返して、他のエントリを削除します。

8 すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、 を長押ししてホーム画面に戻ります。

7.8.10.6

エイリアス検索を使用したスキャン リストからのエントリの削除

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機でスキャン リストからエントリを削除します。

1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「スキャン」に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「リストへんしゅう」に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

5 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前前のエントリが 2 つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の 1 行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

6  を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して「さくじょ」に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに「エントリをさくじょ?」と表示されます。

8 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- エントリを削除するには、▲ または ▼ を押して「はい」に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- 前の画面に戻るには、▲ または ▼ を押して「いいえ」に移動します。 を押して選択します。

9 **ステップ 4** から **ステップ 7** を繰り返して、他のエントリを削除します。

10 すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、 を長押ししてホーム画面に戻ります。

7.8.11

スキャン

スキャンを開始すると、無線機は現在のチャンネルのプログラム スキャン リストを循環して、音声アクティビティを検索します。



注記:

この機能は、Capacity Plus では利用できません。

スキャンを開始するには 2 通りの方法があります。

メイン チャネル スキャン (マニュアル)

無線機は、スキャン リストにあるすべてのチャンネルまたはグループをスキャンします。設定しだいで、自動的に、最後にスキャンしたアクティブなチャンネルまたはグループのスキャンから開始されることも、スキャンの開始時に使用していたチャンネルからスキャンが開始されることもあります。

自動スキャン (自動)

自動スキャンが有効になっているチャンネルまたはグループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。



注記:

スキャンでグループメッセージを受信するを設定すると、無線機はホーム以外のチャンネルからグループメッセージを受信できるようになります。無線機は、ホームチャンネルのグループメッセージには返信できますが、ホーム以外のチャンネルでは返信できません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.8.11.1

スキャンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でスキャンのオンとオフを切り替えます。



注記:

スキャン中、無線機は選択されたチャンネルから送信されるデータ (テキストメッセージ、位置情報、PCデータなど) の受信のみを行います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して「スキャン」に移動します。 を押して選択します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して「オン」に移動します。
 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して「オフ」に移動します。
 を押して選択します。

スキャンが有効になっている場合:

- ディスプレイに「スキャン オン」と「スキャン」アイコンが表示されます。
- 黄色の LED が点滅します。

スキャンが無効になっている場合:

- ディスプレイに「スキャン オフ」と表示されます。
- 「スキャン」アイコンが消えます。

7.8.11.2

スキャン中の送信への応答

スキャン中、無線機はアクティビティが検知されたチャネルまたはグループで停止します。無線機は、ハング タイムと呼ばれるプログラムされた時間だけそのチャネルに留まります。下記の手順に従って、スキャン中に送信に応答します。

- 1  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。ハング タイム中に **PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
ハング タイム中に応答しないと、無線機は他のチャネルまたはグループのスキャンに戻ります。

7.8.11.3

迷惑チャネルの削除

チャネルで不要な通話やノイズ ("迷惑" チャネルと称する) が発生し続ける場合、その不要なチャネルをスキャン リストから一時的に削除できます。この機能は、選択チャネルとして指定されているチャネルには適用されません。下記の手順に従って、無線機で迷惑チャネルを削除します。

- 1 無線機が不要なチャネル、つまり迷惑チャネルにロックされているときに、プログラムされた **[迷惑チャネル削除]** ボタンをトーンが鳴るまで押します。
- 2 プログラムされた **[迷惑チャネル削除]** ボタンを放します。
迷惑チャネルが削除されます。

7.8.11.4

迷惑チャネルの復元

下記の手順に従って、無線機で迷惑チャネルを復元します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。

- プログラムされた【スキャン】ボタンまたはメニューを使用してスキャンを停止し、再開します。
- チャンネル アップ/チャンネル ダウン ボタンを使用してチャンネルを変更します。

7.8.12

連絡先設定

連絡先は、無線機でアドレス帳として機能します。各エントリは、通話を開始するときに使用するエイリアスまたは ID に対応します。エントリはアルファベット順にソートされます。

各エントリは、コンテキストに応じて、次のような別々の通話タイプに関連づけられています。グループコール、個別コール、一斉コール、PC コール、ディスパッチコール。

PC コールとディスパッチ コールはデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合にのみ利用できます。詳細については、データ アプリケーションのマニュアルを参照してください。

🔊 その他、[れんらくさき] メニューでは、各エントリを 1 つのプログラミング可能な数値キーに、複数のエントリをキーパッド マイクに割り当てることができます。1 つのエントリが 1 つの数値キーに割り当てられている場合は、そのエントリに対してクイック ダイヤルを実行できます。



注記：
各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。チェックマークが「なし」の前にある場合、その数値キーはエントリに割り当てられていません。

無線機は、最大 1,000 の連絡先リスト メンバーをサポートします。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- [通話タイプ]
- 通話エイリアス
- [通話 ID]



注記：
デジタル連絡先リストの無線機 ID の追加または編集を行うことができます。無線機 ID の削除は、デューラーのみが実行できます。

あるチャンネルで秘話モード機能が有効であれば、そのチャンネルで、秘話モード対応のグループ コール、個別コール、および一斉コールを発信することができます。お使いの無線機と同一のプライバシー キー、または同じキー値とキー ID を有する相手先無線機のみが、送信を復号できます。

7.8.12.1

エイリアス検索による通話発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき]のみに適用されます。



注記:

エイリアス検索を終了するには、 または  を押します。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。個別コールを設定する前に、無線機プレゼンス チェックを実行するように無線機をプログラムできます。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ネガティブ ミニ通知がディスプレイに表示されます。無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。 エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。点滅するカーソルが表示されます。
- 4 キーパッドを使用して、必要なエイリアスを入力します。  を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。  を押します。  を押します。ディスプレイの最初の行には、入力した文字が表示されます。ディスプレイの 2 行目には、検索結果の短い一覧が表示されます。エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが 2 つ以上ある場合は、無線機には、連絡先リストで最初にリストされたエントリが表示されます。
- 5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。LED が緑色で点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。
- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。
- 7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します (無線機の消音が解除され、応答は無線機のスピーカから聞こえます)。

- 8 チャンネルフリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが離された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示します。**PTT** ボタンを押して応答します。音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

7.8.12.2

エイリアス検索を使用した一斉コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに「あいてさきむこう」と表示され、無線機プレゼンスチェックを開始する前のメニューに戻ります。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機で一斉コールを発信します。



注記：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リス

トの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の 1 行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、[グループ コール] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

7 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

8 チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

7.8.12.3

エイリアス検索を使用した個別コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。個別コールを設定する前に、無線機プレゼンス チェックを実行するように無線機をプログラムできます。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに [あいてさきむこう] と表示され、無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して、無線機で個別コールを発信します。



注記：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。
テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、[個別コール] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

8  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

7.8.12.4

エイリアス検索を使用したグループ コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。

無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに「あいてさきむこう」と表示され、無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機でグループ コールを発信します。



注記：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、[グループ コール] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

7 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

8 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

エイリアス検索を使用した電話通話の発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。無線機で通話の設定中に PTT ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに [あいてさきむこう] と表示され、無線機プレゼンスチェックを開始する前のメニューに戻ります。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機で通話を発信します。



注記：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。無線機で通話の設定中に PTT ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

1 を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、電話 アイコンが表示されます。

- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

- 8  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

7.8.12.6

プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [キー プログラム] に移動します。  を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 目的の数値キーがエントリに割り当てられていない場合、▲ または ▼ を押して目的の数値キーに移動します。  を押して選択します。
- 目的の数値キーがエントリに割り当てられている場合、ディスプレイに [しようちゅうキー] と表示され、テキスト行の 1 行目に [うわがき?] と表示されます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。
 を押して選択します。

無線機からはポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] およびポジティブ ミニ通知が表示されます。

前の手順に戻るには、▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動します。

7.8.12.7

エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた数値キーを長押しして必要なエイリアスまたは ID に移動します。 [ステップ 4](#) に進みます。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『キー プログラム』に移動します。Ⓢ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『なし』に移動します。Ⓢ を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に、『ぜんキーからさくじょしますか』と表示されます。

- 6 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。Ⓢ を押して選択します。



注記：
エントリが削除されたら、エントリとそのプログラミングされた数値キー間の関連付けは、削除されます。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイに『れんらくさきほぞんずみ』と表示されます。
前のメニューに自動的に戻ります。

新規連絡先の追加

下記の手順に従って、無線機で新規連絡先を追加します。

- 1 Ⓢ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『Contacts』に移動します。Ⓢ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『しんき とうろく』に移動します。Ⓢ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して、連絡先タイプを『むせん リスト』または『電話 リスト』から選択します。
Ⓢ を押して選択します。
- 5 キーパッドを使用して連絡先番号を入力し、Ⓢ を押して先に進みます。
- 6 キーパッドを使用して連絡先名を入力し、Ⓢ を押して先に進みます。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要な着信音タイプに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスに移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『メッセージそうしん』に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

- 7 (Ⓢ) を押してメッセージを送信します。

7.8.12.9

連絡先へのメッセージの送信

下記の手順に従って、メッセージを連絡先に送信します。

- 1 (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『れんらくさき』に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『しんき とうろく』に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して、必要な連絡先タイプ:『むせん リスト』または『電話 リスト』に移動します。
(Ⓢ) を押して選択します。

7.8.13

通話インジケータ設定

この機能を使用すると、通話やテキスト メッセージの着信音を設定できます。

7.8.13.1

着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)

- 1 (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [ページング] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。
Ⓜ を押して選択します。
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

7.8.13.2

着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用) Ⓜ

下記の手順に従って、無線機で個別コール受信時の着信音のオンとオフを切り替えます。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『こべつコール』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

個別コールの着信音がオンの場合は、『オン』の隣に✓が表示されます。

個別コールの着信音がオフの場合は、『オフ』の隣に✓が表示されます。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに✓と選択したトーンが表示されます。
- ▲ または ▼ を押して『オフ』に移動します。
Ⓜ を押して選択します。

以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで✓が『オフ』の隣に表示されます。

以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで✓が『オフ』の隣に表示されません。

7.8.13.3

着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用) Ⓜ

下記の手順に従って、無線機でテキストメッセージ受信時の着信音のオン/オフを切り替えます。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
-
- 6 ▲ または ▼ を押して『テキスト メッセージ』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。
-
- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。
 - ▲ または ▼ を押して『オフ』に移動します。
Ⓜ を押して選択します。
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が『オフ』の隣に表示されます。
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が『オフ』の隣に表示されません。
-

着信音のオンとオフの切り替え (テキスト付きテレメータ ステータス用)

下記の手順に従って、無線機でテレメータ ステータス用着信音のオン/オフを切り替えます。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『テレメトリ』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

現在のトーンは、✓で示されます。

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押してお好みのトーンに移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに、『トーン <番号> せんたくずみ』と表示され、選択されているトーンの左に ✓ が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して『オフ』に移動します。
Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに『テレメータ めいおんオフ』と表示され、『オフ』の左に ✓ が表示されます。

音のいずれか 1 つが鳴るように、無線機をプログラムできます。リストを操作すると、各着信音スタイルが鳴ります。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『Contacts』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ひょうじへんしゅう』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ちやくしんおん』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
現在のトーンは ✓ で示されます。

7.8.13.5

着信音スタイルの割り当て

特定の連絡先から個別通話、ページング、またはテキストメッセージを受信したときに、事前定義された 11 個の着信

- 6 ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。  を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
-

7.8.13.6

すべてのトーン

- 1  メニューにアクセスします を押します。
-
- 2 ▲ または ▼ を押して「せってい」に移動し、  を押して選択します。
-
- 3 「きのうせってい」に移動します。「トーン/アラート」を選択します。「ぜんトーン」を選択します。有効または無効にするには、「ぜんトーン」で切り替えます。
-

7.8.13.7

アラート音タイプの設定

無線機通話を、事前設定したマナー通話となるようにプログラムできます。[ぜんトーン] ステータスが無効である場合、[ぜんトーンしょうおん] アイコンが表示されます。[ぜんトーン] ステータスが有効である場合、関連するアラート音タイプが表示されます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
-
- 2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。  を押して選択します。
-
- 3 「きのうせってい」に移動します。「トーン/アラート」を選択します。
-
- 4 「アラートおんタイプ」を選択します。
-
- 5 次のアラート音タイプからいずれか 1 つを選択します。
- 着信
 - バイブ
 - めいおん& バイブ

・ サイレント

- ・ 瞬時着信音スタイルである場合は、1つのバイブが動作します。
- ・ 繰り返し着信音スタイルである場合は、バイブが繰り返して動作します。
- ・ [めいおん & バイブ] に設定されている場合、ページング、メッセージ、Job チケットなど、受信トランザクションがあると、特定の着信音が鳴ります。これは、グッドキートーンまたは不在着信に似ています。通知リストが空でない場合、5分ごとにバイブが繰り返されます。

7.8.13.8

バイブの強さの設定



注記:

プログラムされた【バイブの強さ】ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

バイブの強さを設定するには、次のいずれかの操作を実行します。

- ・ プログラムされた【バイブの強さ】ボタンを押して、【バイブのつよさ】メニューにアクセスします。
 - a. ▲ または ▼ を押して【みじかい】、【ふつう】、または【ながい】に移動し、 を押して選択します。
- ・ メニューからこの機能にアクセスします。
 - a.  メニューにアクセスします を押します。
 - b. ▲ または ▼ を押して【せってい】に移動し、 を押して選択します。
 - c. ▲ または ▼ を押して【きのうせってい】に移動し、 を押して選択します。
 - d. ▲ または ▼ を押して【トーン/アラート】に移動し、 を押して選択します。
 - e. ▲ または ▼ を押して【バイブのつよさ】に移動し、 を押して選択します。

- f. ▲ または ▼ を押して「みじかい」、「ふつう」、
または「ながい」に移動し、 を押して選択します。

- すべての通話の削除
- 詳細の表示

7.8.13.9

警告トーンの音量を上げる

無線機は、無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するようにプログラムできます。時間が経つにつれて、アラーム トーンは自動的に大きくなります。この機能はステップ アラートとして知られています。

7.8.14

通話履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。最近の通話の表示および管理を行うには、通話履歴機能を使用します。

お使いの無線機のシステム設定に応じて、不在着信アラートを通話履歴に含めることができます。各通話リストでは次のタスクを実行できます。

- 連絡先へのエイリアスまたは ID の保存
- 通話の削除

7.8.14.1

最近の通話の表示

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「つうわ りれき」に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して優先リストに移動します。オプションは「ふざいちゃくしん」、「へんとうずみ」、および「はっしん」リストです。
 を押して選択します。
ディスプレイに最近のエントリが表示されます。
- 4 ▲ または ▼ を押してリストを表示します。
PTT ボタンを押すと、現在ディスプレイに表示されているエイリアスまたは ID で、通話を開始できます。

7.8.14.2

不在着信への応答

通話に応答できなかった場合、通知リストに不在通話メッセージが表示されます。ディスプレイには「ふざいちゃくしん」と表示されます。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して、不在着信 ID を表示します。
ディスプレイに不在着信履歴リストが表示されます。
-  を押して、エントリの格納や削除を行います。

7.8.14.3

通話リストからのエイリアスまたは ID の保存

下記の手順に従って、通話リストから無線機にエイリアスまたは ID を保存します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して「つうわ りれき」に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して「ほかん」に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 6 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。 を押して選択します。
エイリアスなしで ID を格納することができます。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.14.4

通話リストからの通話の削除

下記の手順に従って、通話リストから通話を削除します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「つうわ りれき」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。
リストが空の場合:
 - トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。
- 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 5  または  を押して「Delete Entry?」(エント
リをさくじょ?) に移動します。  を押して選択
します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して「はい」を選択してエントリを削除
します。
ディスプレイに「にゅうりょくさくじょずみ」と
表示されます。
-  または  を押して「いいえ」に移動しま
す。  を押して選択します。
前の画面に戻ります。

7.8.14.5

通話リストの詳細の表示

下記の手順に従って、無線機で通話の詳細を表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『つうわ りれき』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
ディスプレイに通話の詳細が表示されます。

7.8.15

ページング操作

ページング機能を使用して、特定の無線機ユーザーに、かけ直すようアラートを送信できます。

この機能は、無線機のエイリアスまたは ID のみに適用され、メニューから [れんらくさき] または [ダイアル] を選択するか、プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを使用してアクセスできます。

7.8.15.1

ページングの発信

下記の手順に従って、無線機でページングを発信します。

1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

ディスプレイに『ページング』と無線機のエイリアスと ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

2 確認応答を待ちます。

ページング承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

ページング承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.15.2

ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。

- ディスプレイに通知リストが表示され、ページングとともに、呼び出し元無線機のエイリアスまたは ID が示されます。

ディーラーまたはシステム管理者の設置に応じて、以下の 1 つを行うことによりページングに応答できます。

- PTT ボタンを押し、個別コールを使って発信者に直接応答します。
- PTT ボタンを押し、通常のグループ通信を続けます。
ページングは通話履歴メニューの不在着信履歴オプションに移動します。不在着信履歴から発信者に応答できます。

詳しくは、「[通知リスト ページ 172](#)」および「[通話履歴機能 ページ 131](#)」を参照してください。

7.8.15.3

連絡先リストを使用したページングの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機のエイリアスまたは ID を直接選択します。
▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
- 「ダイアル」メニューを使用します。
▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動します。 を押して選択します。
▲ または ▼ を押して「むせん リスト」に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに「むせん ID:」と表示されます。カーソルが点滅します。ページングの送り先無線機の ID を入力します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ページング』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイに『ページング』と無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 5 確認応答を待ちます。

- 承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- 承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.16

動的な発信者のエイリアス

この機能を使用すると、発信者のエイリアスを無線機の前面パネルから動的に編集できます。

通話中は、受信無線機に送信無線機の発信者のエイリアスが表示されます。

[発信者のエイリアス] リストには、送信無線機の発信者のエイリアスを最大 500 件保存できます。個別コールを [発信者のエイリアス] リストから表示または発信できます。無

線機の電源を切ると、発信者のエイリアスの受信履歴が [発信者のエイリアス] リストから削除されます。

7.8.16.1

無線機の電源を入れた後に発信者のエイリアスを編集する

- 1 無線機の電源を入れます。

- 2 新しい発信者のエイリアスを入力します。Ⓜ を押して次の操作へ進みます。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。



注記：

通話中は、受信無線機に新しい発信者のエイリアスが表示されます。

7.8.16.2

発信者のエイリアスをメインメニューから編集する

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ID] に移動します。  を押して選択します。
- 5  を押して次の操作へ進みます。
- 6 ▲ または ▼ を押して [へんしゅう] に移動します。  を押して選択します。

- 7 新しい発信者のエイリアスを入力します。  を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されません。



注記：

通話中は、受信無線機に新しい発信者のエイリアスが表示されます。

7.8.16.3

発信者のエイリアス リストを表示する

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、発信者のエイリアスの詳細の送受信を表示できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [はっしんしゃエイリアス] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して優先リストに移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動します。 を押して選択します。

7.8.16.4

個別コールを発信者のエイリアス リストから開始

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、個別コールを開始できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『はっしんしゃエイリアス』に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して <[必要な発信者のエイリアス]> に移動します。
- 4 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。

7.8.17

ミュート モード

ミュート モードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュート モードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュート モードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。



重要：

一度に有効にできるのは、フェイス ダウンかマン ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

7.8.17.1

ミュート モードの有効化

下記の手順に従って、ミュート モードを有効にします。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- この機能には、プログラムされた【ミュート モード】ボタンからアクセスします。
- 無線機の前面を 1 回だけ下に向けると、この機能にアクセスできます。

無線機のモデルによっては、フェイス ダウン機能はラジオ メニューを使用して有効にするか、システム管理者が有効にします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



重要：

一度に有効にできるのは、マンダウンとフェイス ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。



注記：

フェイス ダウン機能は、SL2K のみに該当します。

ミュート モードを有効にすると、次のことが発生します。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「ミュート モード オン」と表示されます。
- 赤色の LED ライトの点滅が開始し、ミュート モードが終了するまで点滅したままになります。
- ディスプレイのホーム画面に【ミュート モード】アイコンが表示されます。
- 無線機がミュートになります。
- ミュート モード タイマーが、設定された時間のカウントダウンを開始します。

7.8.17.2

ミュート モード タイマーの設定

ミュート モード タイマーを設定すると、事前設定した所定の時間の間、ミュート モード機能を有効にすることができます。タイマーの時間は、無線機メニューで 0.5 ～ 6 時間の範囲内に設定できます。ミュート モードは、タイマーの時間が切れると終了します。

タイマーを 0 のままにすると、無線機の前面を上向きにするか、プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押すまで、無線機は無期限にミュート モードのままになります。



注記：

フェイス ダウン機能は、SL2K のみに該当します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『ミュート タイマー』に移動します。 (開) を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して各桁の数値を編集し、(開) を押します。

7.8.17.3

ミュート モードの終了

この機能は、ミュート モード タイマーの時間が切れると、自動的に終了します。

ミュート モードを手動で終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押します。
- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。
- 無線機の前面を 1 回だけ上に向けます。



注記：

フェイス ダウン機能は、SL2K のみに該当します。

ミュート モードを無効にすると、次のことが発生します。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ミュート モード オフ』と表示されます。
- 点滅する赤い LED が消灯します。
- ホーム画面から【ミュート モード】アイコンが消えます。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカーが元の状態に戻ります。
- タイマーの時間が切れていない場合、ミュート モード タイマーが停止します。



注記：

ユーザーが音声を送信した場合や、プログラムされていないチャンネルに切り替えた場合も、ミュート モードは終了します。

7.8.18

緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使用されます。いつでも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。

ディーラーは、プログラムされた【緊急】ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 ～ 0.75 秒の間

長押し

1.00 ～ 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。



注記：

緊急ボタンの短押しで緊急モードが開始される場合には、長押しで緊急モードが終了します。

緊急ボタンの長押しで緊急モードが開始される場合には、短押しで緊急モードが終了します。

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム

- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム



注記：

上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムされた【緊急】ボタンに割り当てることができます。

また、各アラームには以下のタイプがあります。

レギュラー

無線機がアラーム信号を送信し、音声インジケータと視覚的インジケータのいずれかまたは両方で示されます。

サイレント

無線機がアラーム信号を送信しますが、音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。プログラムされた【ホット マイク】送信時間が終了するか、**PTT** ボタンが押されるまで、スピーカから音が漏れることなく通話を受信します。

音声付きサイレント

音声または視覚的インジケータなしにアラーム信号を送信しますが、着信通話の音はスピーカから聞こえます。ホット マイクが有効な場合は、プログラムされた【ホット マイク】送信時間が終了すると、着信通話の音がスピーカから聞こえます。**PTT** ボタンを押した場合にのみ、インジケータが表示されます。

7.8.18.1

緊急アラームの送信

この機能では、音声信号ではない緊急アラームを送信します。この機能を使用して、無線機グループにアラートを通知できます。お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

次のように表示されます。

- ディスプレイに「**緊急アラーム**」および宛先のエリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。【緊急】アイコンが表示されます。



注記：

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは CPS を使ってプログラムできます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに「**アラームそうしん**」と表示されます。

再試行がすべて失敗して処理が正常に行われなかった場合：

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「**アラーム NG**」と表示されます。

緊急アラーム モードが終了し、ホーム画面に戻ります。

7.8.18.2

通話による緊急アラームの送信

この機能では、通話による緊急アラームを無線機グループに送信します。グループ内の無線機から確認応答がある場合、無線機グループは、プログラムされた緊急チャンネルで通信できます。

下記の手順に従って、無線機で通話による緊急アラームを送信します。

1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

次のように表示されます：

- ディスプレイに、『アラーム そうしんちゅう』が、無線機 ID と交互に表示されます。

緑色の LED が点灯します。【緊急】アイコンが表示されます。



注記：

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは、ディーラーまたはシステム管理者がプログラムできます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。

- ディスプレイに『アラームそうしん』と表示されます。

3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、『グループコール』アイコンが表示されます。

4 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

5 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

ディスプレイに、発信者とグループのエイリアスが表示されます。

6 チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

7 通話を終えた後に緊急モードを終了するには、緊急オフ ボタンを押します。

無線機はホーム画面に戻ります。

7.8.18.3

音声ガイドおよび緊急アラーム

この機能では、緊急アラームと音声ガイドを無線機グループに送信します。無線機のマイクは自動的に有効になり、**PTT** ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。このアクティブな状態のマイクを "ホット マイク" と呼びます。

緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、"ホット マイク" と受信期間が繰り返されます。緊急サイクル モードでは、受信コールの音はスピーカから聞こえます。

プログラムされた受信期間に **PTT** ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、**PTT** ボタンを放す必要があることを示します。**PTT** ボタンが押されたことは無視され、緊急モードが保たれます。

ホット マイク が有効なときに [**PTT**] ボタンを押し、ホット マイク の期限が切れた後もそのまま押し続けていた場合は、[**PTT**] ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接 "ホット マイク" 状態に入ります。



注記:

"ホット マイク" を使用できないアクセサリもあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.8.18.4

緊急アラームと音声ガイドの送信

- 1 プログラムされた [緊急オン] ボタンを押します。

次のように表示されます。

- [Tx アラーム] および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。[緊急] アイコンが表示されます。

- 2 ディスプレイに [アラーム そうしん] と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、ホット マイクと通話受信のサイクルの期限が切れた場合。

- 緊急サイクル モードが無効で、ホット マイクの期限が切れた場合。

7.8.18.5

緊急アラームの受信

緊急アラームを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、緊急 アイコン、緊急通話送信者のエイリアスが表示されます。また、複数のアラームが出ている場合は、すべての緊急通話送信者のエイリアスがアラーム リストに表示されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アラームが 1 つだけの場合、詳細を表示するには  を押します。
- 複数のアラームが出ている場合、詳細を表示するには、▲ または ▼ を押して必要なエイリアスに移動し、 を押します。

2  を押すと、操作オプションが表示されます。

3 アラーム リストを終了するには、 を押して「はい」を選択します。

4  を押してメニューにアクセスします。

5 「アラーム」を選択すると、アラーム リストが再表示されます。

6 ホーム画面に戻るには、次の操作を実行します。

a  を押します。

b ▲ または ▼ を押して「はい」に移動します。

c  を押して選択します。

無線機がホーム画面に戻り、ディスプレイに [緊急] アイコンが表示されます。

7.8.18.6

緊急アラームへの応答

- 1  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。

- 2 緊急アラームの送信先と同じグループに緊急でない音声を転送するには、**[PTT]** ボタンを押します。

 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。



注記：

緊急音声を転送できるのは、緊急起動無線だけです。緊急受信無線を含めて、その他の無線は、緊急以外の音声を転送します。

緑色の LED が点灯します。無線機は緊急モードを保ちます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

緊急操作を開始した無線機が応答する場合：

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、**[グループ コール]** アイコンおよび ID、送信中の無線機の ID、およびアラーム リストが表示されます。

7.8.18.7

緊急アラーム受信後の緊急モードの終了

緊急アラームの受信後に緊急モードを終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- アラーム項目を削除します。
- 無線機の電源を切ります。

7.8.18.8

アラーム リストからのアラーム項目の削除

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『アラーム』に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して、必要なアラーム項目に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。 を押して選択します。

7.8.18.9

緊急モードの再開

下記の作業のどちらかを実行します。

- 無線機が緊急モードの間に、チャンネルを変更します。



注記：
新しいチャンネルで緊急アラームを有効にした場合にのみ、緊急モードを再開できません。

- 緊急の起動または転送ステータス時に、プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

無線機は、緊急モードを終了し再び緊急モードになります。

7.8.18.10

緊急アラーム送信後の緊急モードの終了

この機能は、緊急アラームを送信する無線機にのみ適用されます。

次の場合に無線機の緊急モードが終了します。

- 承認を受信した場合 (緊急アラームの場合のみ)。
- アラームを送信するすべての再試行が失敗した場合。



注記：
無線機の電源を切ると、緊急モードは終了します。もう一度電源を入れたときに、無線機が自動的に緊急モードを再開することはありません。

下記の手順に従って、無線機の緊急モードを終了します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【緊急オフ】ボタンを押します。
- 緊急システムを設定していない新しいチャンネルに変更します。

ディスプレイに『へいじょう』と表示されます。

7.8.19

マンダウン



注記：

マンダウン機能は、SL2K にのみ適用されます。

この機能は、事前に定義された期間に、無線機の傾きや動きの有無など無線機の動きに変化があると、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間内に、無線機の動きに変化があると、動きの変化の検出を示す音声インジケータで無線機からユーザーに最初の警告が発せられます。

事前に定義された通知タイマの時間が経過してもユーザーから確認応答がない場合、無線機は緊急アラームか緊急通話を発します。このリマインダは CPS を使用してプログラムできます。

7.8.19.1

マンダウン機能のオンとオフの切り替え



注記：

プログラムされた【マンダウン】ボタンと【マンダウン】設定は、CPS を使用して構成されます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

マンダウン機能を無効にすると、有効にするまでプログラムされた警告トーンが繰り返し鳴ります。電源投入時にマンダウン機能に障害があると、デバイス障害トーンが鳴ります。デバイス障害トーンは、無線機が通常動作に戻るまで続きます。

マンダウンを最大感度で有効にしている場合は、バイブレーションの種類を強めにしても、バイブレーションの種類は自動的に中に制限されます。この機能は、強いバイブレーションの種類でマンダウンの緊急機能が起動されることを防ぎます。

次のいずれかの方法で、この機能を有効または無効にできます。

- プログラムされた【マンダウン】ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。
- メニューを使用してこの機能にアクセスします。

- a.  を押してメニューにアクセスします。
- b.  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- c.  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- d.  または  を押して [マンドアウン] に移動します。  を押して選択します。

 または  を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

- e.  を押して、マンドアウンを有効または無効にします。

有効にすると、 が [Enabled] の隣に表示されます。

無効な場合、 が [Enabled] の隣で非表示になります。

テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからテキスト メッセージなどのデータを受信できません。

テキスト メッセージには、デジタル車載型無線機 (DMR) ショート テキスト メッセージと、テキスト メッセージの 2 種類があります。DMR ショート テキスト メッセージの最大長は 23 文字です。テキスト メッセージの最大長は、件名を含めて 280 文字です。件名は、電子メール アプリケーションからメッセージを受信した場合にのみ表示されません。



注記：

この最大長は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、最大長は 140 文字です。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

7.8.20.1

テキスト メッセージの入力

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージを作成します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して【へんしゅう】に移動します。 を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。
- 4 キーパッドを使用してメッセージを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。

▶ または  を押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。

 を押して、不要な文字を削除します。

 を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

-
- 5 メッセージが完成したら、 を押します。
以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押してメッセージを送信します。
 -  を押します。▲ または ▼ を押して、メッセージの編集、削除または保存の中から選択します。 を押して選択します。
-

7.8.20.2

テキスト メッセージの送信

新規作成したテキスト メッセージまたは保存されたテキスト メッセージがあると仮定します。

メッセージ受信者を選択します。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動します。Ⓜ を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に「むせん ID:」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。無線機のエイリアスまたは ID を入力します。Ⓜ を押します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- 低いトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- メッセージが [送信済みアイテム] フォルダに移動します。
- メッセージに [送信失敗] アイコンが付きます。



注記:

新規作成されたテキスト メッセージの場合、無線機は「さいそうしん」オプション画面に戻ります。

7.8.20.3

クイック テキスト メッセージの送信 Ⓜ

下記の手順に従って、無線機で事前に定義したクイック テキスト メッセージを事前に定義したエイリアスに送信します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 7](#)に進みます。
- Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「メッセージ」に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『クイック テキスト』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なクイック テキスト メッセージに移動します。Ⓜ を押して選択します。
必要に応じて、キーパッドを使用してメッセージを編集します。

5 メッセージの編集が終わったら Ⓜ を押します。

6 以下の手順で受信者を選択し、メッセージを送信します。

a ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。

b ▲ または ▼ を押して『ダイアル』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

ディスプレイの最初の行に『むせん ID:』が表示され、点滅するカーソルが2行目に表示されます。

c 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、Ⓜ を押します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

7.8.20.4

保存されたテキスト メッセージ

下書きフォルダにテキスト メッセージを保存し、後でそのテキスト メッセージを送信できます。

PTT ボタンを押すか、モードの変更により、メッセージの作成や編集中にメッセージの作成/編集画面から抜けてしまった場合、現在のメッセージは、下書きフォルダに自動的に保存されます。

最近保存されたテキスト メッセージは、常に下書きリストの一番上に追加されます。

下書きフォルダは、最大で 10 件の最近保存されたメッセージを格納します。フォルダが一杯であるときにテキスト メッセージを保存すると、フォルダの一番古いテキスト メッセージが削除されます。

7.8.20.5

保存されたテキスト メッセージの表示

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[メッセージ]** ボタンを押します。 [ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して **[メッセージ]** に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して **[したがき]** に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。

7.8.20.6

保存されたテキスト メッセージの編集

1 メッセージの表示中に、  を押します。

2 ▲ または ▼ を押して **[へんしゅう]** に移動します。  を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。

3 キーパッドを使用してメッセージを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。

▶ または を押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。

を押して、不要な文字を削除します。

を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

4 メッセージが完成したら、 を押します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動します。 を押してメッセージを送信します。

- を押します。▲ または ▼ を押してメッセージの保存または削除を選択します。 を押して選択します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。

- を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『したがり』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

5 メッセージの表示中に、 を再度押します。

6 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。 を押してテキストメッセージを削除します。

7.8.20.7

下書きフォルダに保存したテキストメッセージの削除

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

7.8.20.8

テキスト メッセージの再送信

「さいそうしん」オプション画面が表示されている場合:

Ⓢを押して、同じ無線機、グループのエイリアス、または ID に、同じメッセージを再送信します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機で「さいそうしん」オプション画面が再び表示されます。

テキスト メッセージの転送 Ⓢ

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージを転送します。

「さいそうしん」オプション画面が表示されている場合:

1 ▲ または ▼ を押して「てんそう」に移動し、Ⓢを押して同じメッセージを別の無線機またはグループのエイリアスまたは ID に送信します。

2 以下の手順に従ってメッセージ受信者を選択します。

a ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓢを押して選択します。

b ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動します。Ⓢを押して選択します。

ディスプレイの最初の行に「むせん ID:」が表示され、点滅するカーソルが 2 行目に表示されます。

7.8.20.9

- c 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

ディスプレイに『メッセージ: <無線機/グループのエイリアスまたは ID>』が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。



注記:

件名行が存在する場合 (電子メール アプリケーションから受信したメッセージの場合)、この行は編集できません。

- 1 ▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

2 キーパッドを使用してメッセージを編集します。

- ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
- ▶ または  を押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
-  を押して、不要な文字を削除します。
-  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

- 3 メッセージが完成したら、 を押します。

7.8.20.10

テキスト メッセージの編集

『へんしゅう』を選択してメッセージを編集します。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動し、
Ⓜ を押してメッセージを送信します。
- ▲ または ▼ を押して『ほぞん』に移動し、Ⓜ を押してメッセージを下書きフォルダに保存します。
-  を押してメッセージを編集します。
-  を押してメッセージを削除するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。
Ⓜ を押して選択します。
-

- 3 ▲ または ▼ を押して『そうしん BOX』に移動します。
Ⓜ を押して選択します。

[そうしん BOX] フォルダが空の場合:

- ディスプレイに『リストにありません』と表示されます。
 - キー操作音がオンであれば低い音でトーンが鳴ります。
-

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。
Ⓜ を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

7.8.20.11

送信済みテキスト メッセージの表示

下記の手順に従って、無線機で送信済みテキスト メッセージを表示します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
 - Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
-

7.8.20.12

送信済みテキスト メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で送信済みテキスト メッセージを送信します。

送信済みメッセージを表示する場合:

- 1 メッセージの表示中に、 を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して「さいそうしん」に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 3 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:
 - ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。正常に行われなかった場合:
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機に「さいそうしん」オプション画面が表示されます。詳細については、「[テキスト メッセージの再送信 ページ 156](#)」を参照してください。

7.8.20.13

テキスト メッセージへの応答

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージに応答します。

テキスト メッセージを受信する場合:

- ディスプレイに通知リストが表示され、送信者のエイリアスまたは ID が示されます。
- ディスプレイに【メッセージ】アイコンが表示されます。



注記:

PTT ボタンが押されると、警告画面が終了し、送信者への個別コールまたはグループ コールが開始されます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して『ひょうじ』に移動します。Ⓢを押して選択します。
ディスプレイにテキスト メッセージが表示されます。メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して『あとでひょうじ』に移動します。Ⓢを押して選択します。
テキスト メッセージを受信する前の画面に戻ります。
- ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。Ⓢを押して選択します。

2  を押して [じゅしん BOX] に戻ります。

2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。Ⓢを押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動します。Ⓢを押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに『リストがありません』と表示されます。
- キー操作音がオンであればトーンが鳴ります。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。Ⓢを押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

7.8.20.14

テキスト メッセージの表示

1 Ⓢを押してメニューにアクセスします。

7.8.20.15

テレメータ ステータス メッセージの表示

下記の手順に従って、受信 BOX 内のテレメータ ステータス メッセージを表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して『メッセージ』に移動します。 を押して選択します。

- 3  または  を押して『じゅしん BOX』に移動します。 を押して選択します。

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。
 テレメータ ステータス メッセージに返信することはできません。
 ディスプレイに『テレメータ:』と表示されます。〈ステータス メッセージ〉

- 5 ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

7.8.20.16

受信 BOX からのテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からテキスト メッセージを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた『メッセージ』ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して『メッセージ』に移動します。 を押して選択します。

- 3  または  を押して『じゅしん BOX』に移動します。 を押して選択します。
 受信 BOX が空の場合:
 - ディスプレイに『List Empty』と表示されます。
 - トーンが鳴ります。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

- 5  を押してサブメニューにアクセスします。
-

- 6 ▲ または ▼ を押して [Delete] に移動します。
 を押して選択します。
-

- 7 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。画面は [受信トレイ] に戻ります。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。 [ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
-

- 2 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動します。  を押して選択します。
-

- 3 ▲ または ▼ を押して [じゅしん BOX] に移動します。  を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに [List Empty] と表示されます。
 - トーンが鳴ります。
-

- 4 ▲ または ▼ を押して [ぜんさくじょ] に移動します。  を押して選択します。
-

7.8.20.17

受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からすべてのテキスト メッセージを削除します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。Ⓢを押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.21

プライバシー

この機能は、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐのに役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信、つまりスクランブルされていない送信を引き続き受信できます。

無線機のモデルによっては、秘話モード機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

お使いの無線機は、2 種類の秘話モードをサポートしていますが、1 つのモードのみを無線機に割り当てることができます。コマンドの種類は、次のとおりです。

- 基本プライバシー
- 拡張プライバシー

秘話対応通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側無線機と同じ基本秘話モードのプライバシー キーを持つように、または、同じスクランブル モードのキー値とキー ID を持つように、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

無線機が、異なるプライバシー キー、または異なるキー値とキー ID のスクランブル通話を受信した場合、基本秘話モードでは、音声理解できないノイズになり、スクランブル秘話モードでは、何も聞こえなくなります。

無線機のプログラム方法に応じて、秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな通話、つまりスクランブルされていない通話を受信できます。さらに、無線機のプログラム方法に応じて、警告音を鳴らすことも鳴らさないこともできます。

無線機に秘話モードのタイプが割り当てられている場合、無線機が緊急通話または緊急アラームを送受信している場合を除き、ホーム画面に【セキュア】アイコンまたは【非セキュア】アイコンが表示されます。

無線機が送信しているとは、緑色の LED が点灯します。無線機が進行中の秘話対応通話を受信しているときは、LED が素早く点滅します。

7.8.21.1

秘話モードのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で秘話モードのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ひわモード】ボタンを押します。進行中の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して【Utilities】に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して【Radio Settings】に移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して<必要なプライバシー>に移動します。 を押して選択します。
 - プライバシーがオンの場合、ディスプレイで【ゆうこう】の隣に ✓ が表示されます。

- プライバシーがオフの場合、ディスプレイで【ゆうこう】の隣に空のボックスが表示されます。

7.8.22

応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通話に応答しないようにすることができます。



注記：
無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通話に応答して送信通話を生成しません(無線機チェック、ページング、無線停止、リモート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答、および GNSS 位置報告の送信など)。

この機能が有効になっていると、無線機は個別コールの確認を受信できません。ただし、無線機で手動による送信を行うことはできます。

7.8.22.1

応答禁止の有効化または無効化

無線機の応答禁止を有効または無効にするには、次の手順に従います。

プログラムされた【おうとうきんし】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

7.8.23

セキュリティ

この機能では、システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。

たとえば、盗難にあった無線機を無効にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機を回収したら有効にできます。

無線機を有効または無効にする方法には、認証を使用する方法と認証を使用しない方法の 2 つがあります。

認証を伴う無線機の無効化は、購入可能な機能です。認証を伴う無線機の無効化では、無線機を有効化または無効化する際に検証が必要です。無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、CPS を使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

無線機を有効または無効にする手順の途中で  を押すと、承認を受信できなくなります。



注記:

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.8.23.1

無線機の無効化

下記の手順に従って、無線機を無効にします。

- 1 プログラムされた【無線停止】ボタンを押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
-

- 3 (開) を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。
 - パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。(開) を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
 - パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。
-

- 4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

7.8.23.2

連絡先リストを使用した無線機の無効化



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を無効にします。

- 1 (開) を押してメニューにアクセスします。
 - 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。(開) を押して選択します。
 - 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。(開) を押して選択します。
-

- 4 ▲ または ▼ を押して『むせんていし』に移動します。

- 5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点滅します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

- 6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.23.3

ダイヤルを使用した無線機の無効化

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『Contacts』に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『ダイヤル』に移動します。  を押して選択します。

4 無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。

5 ▲ または ▼ を押して『むせんでいし』に移動します。

6  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。 を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.23.4

無線機の有効化

下記の手順に従って、無線機を有効にします。

1 プログラムされた [停止解除] ボタンを押します。

2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。

3  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイには『むせんオン』および無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。Ⓜ を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.23.5

連絡先リストを使用した無線機の有効化



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を有効にします。

- 1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『ていしかいじょ』に移動します。

5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。ディスプレイには「むせんオン」および無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。 を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.23.6

ダイヤルを使用した無線機の有効化

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を有効にします。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「Contacts」に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「ダイヤル」に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『こべつコール』に移動します。Ⓜ を押して選択します。
- テキスト行の 1 行目に『むせん ID:』と表示されます。

-
- 5 無線機の ID を入力し、Ⓜ を押して先に進みます。

-
- 6 ▲ または ▼ を押して『ていしかいじょ』に移動します。

-
- 7 Ⓜ を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。ディスプレイには『むせんオン』および無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。Ⓜ を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中

であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

-
- 8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.24

ローン ワーカー

この機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作（無線機のボタンの押下やチャンネル選択など）がない場合に、緊急アラームを発生させることができます。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前に定義した通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合に、無線機から緊急アラームが発せられます。

この機能には、下記の緊急アラームのいずれか 1 つのみが割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム 

無線機は、緊急状態のままとなり、操作が行われるまで音声メッセージの送信が継続します。緊急状態の終了方法の詳細については、「[緊急操作 ページ 446](#)」を参照してください。



注記：

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.8.25

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力するように求められます。

無線機では、4 桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。

7.8.25.1

パスワードを使用した無線機へのアクセス

無線機の電源を入れます。

1 4 桁のパスワードを入力します。

a 各桁の数値を編集するには、▲ または ▼ を押します。次の桁を入力して移動するには、 を押します。

2  を押してパスワードを確認します。

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源が入ります。

1 回目と 2 回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴り続けます。
- ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示されます。

ステップ 1 を繰り返します。

3 回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 回点滅します。
- ディスプレイに『パスワードふてきごう』に続き、『むせんきロックずみ』と表示されます。
- 無線機は 15 分間ロック状態になります。



注記：

ロック状態の無線機は、オン/オフ/音量コントロールノブおよびプログラムされた【バックライト】ボタンからの入力にのみ反応します。

ロック状態の 15 分タイマーが終了するのを待ってから、ステップ 1 を繰り返します。



注記：

無線機の電源を切ってから再度入れると、15 分タイマーが再起動します。

7.8.25.2

ロック状態の無線機をロック解除する

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。下記の手順に従って、ロック状態の無線機をロック解除します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源がオンになっている場合には、15 分待ってから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 170](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。
- 無線機の電源がオフになっている場合には、無線機の電源をオンにします。ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。トーンが鳴ります。黄色の LED が 2 回点滅します。ディスプレイに『むせんきロックずみ』と表示されます。

15 分待ってから **パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 170** の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。

7.8.25.3

パスワードの変更

下記の手順に従って、無線機でパスワードを変更します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して [パスワード ロック] に移動します。  を押して選択します。
- 5 現在の 4 桁のパスワードを入力し、  を押して次に進みます。

パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

- 6  または  を押して [パスワード ヘンコウ] に移動します。  を押して選択します。
- 7 新しい 4 桁のパスワードを入力し、  を押して次に進みます。
- 8 新しい 4 桁のパスワードをもう一度入力し、  を押して次に進みます。
処理が正常に行われると、ディスプレイに『パスワードへんこうずみ』と表示されます。
処理が正常に行われなかった場合は、ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示されます。
前のメニューに自動的に戻ります。

7.8.26

通知リスト

無線機には、未読のメッセージ、テレメータ メッセージ、不在着信やページングなど、チャンネル上で未読のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが 1 件以上あると、ディスプレイに【おしらせ】アイコンが表示されます。

リストでは、最大 40 の未読イベントを使用できます。リストがいっぱいになると、自動的に最も古いイベントが次のイベントで置き換えられます。これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

テキスト メッセージ、不在着信、およびページング イベントの場合、通知の最大数は、テキスト メッセージで 30 件、不在着信またはページングで 10 件です。この最大数は、個々の機能 (JOB チケット、テキスト メッセージ、不在着信、またはページング) のリスト容量に応じて異なります。

7.8.26.1

通知リストへのアクセス

下記の手順に従って、無線機で通知リストにアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【通知】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2  を押してメニューにアクセスします。

-
- 3 ▲ または ▼ を押して【おしらせ】に移動します。  を押して選択します。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なイベントに移動します。  を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

7.8.27

エア接続プログラミング

ディーラーは、物理的に接続せずにエア接続プログラミング (OTAP) 経由で無線機をリモートから更新できます。さらに、一部の設定も OTAP から設定できます。

無線機が OTAP を実行中のときは、緑色の LED が点滅します。

大量データを受信した場合:

- ディスプレイに [大量データ] アイコンが表示されます。
- チャネルがビジー状態になります。
- **PTT** ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。

OTAP が完了した場合 (構成に依存):

- トーンが鳴ります。ディスプレイに [アップデート リセット] と表示されます。電源がオフになってからオンになり、無線機が再起動します。
- [リスタート] または [えんきする] を選択できます。
[えんきする] を選択すると、前の画面に戻ります。自動再起動が行われるまで、ディスプレイに [OTAP 遅延タイマー] アイコンが表示されます。

自動再起動後に無線機の電源が入った場合:

- 成功すると、ディスプレイに [ソフト アップデートかんりょう] と表示されます。
- プログラミングの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅し、ディスプレイに [ソフト アップデートしっぱい] と表示されます。



注記:

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、ソフトウェア更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。ソフトウェア更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

更新されたソフトウェア バージョンについては、「[ソフトウェア更新情報のチェック ページ 194](#)」を参照してください。

7.8.28

そうしんよくせい

送信抑制機能を使うことで、無線機からの送信をすべてブロックできます。



注記:

送信抑制モードでは Bluetooth および Wi-Fi 機能を利用できます。

7.8.28.1

送信抑制の有効化

下記の手順に従って、送信抑制を有効にします。

下記の作業のどちらかを実行します。

- ▲ または ▼ を押して [TX よくせい] に移動し、 を押して選択します。
- 送信抑制プログラム可能ボタンを押します。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [TX よくせいオン] と表示されます。



注記：
送信抑制のステータスは無線機の電源投入後に変更されません。

7.8.28.2

送信抑制の無効化

下記の手順に従って、送信抑制を無効にします。

下記の作業のどちらかを実行します。

- ▲ または ▼ を押して [TX よくせい] に移動し、 を押して選択します。
- 送信抑制プログラム可能ボタンを押します。

7.8.29

Wi-Fi 操作

この機能で、Wi-Fi ネットワークをセットアップして接続できます。Wi-Fi は、無線機のファームウェア、コードプラグ、言語パックや音声ガイドなどのリソースの更新をサポートします。



注記：
この機能が適用されるモデルは、SL2K のみです。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

お使いの無線機は、WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi および WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi のネットワークに対応しています。

WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi ネットワーク

事前共有キー (パスワード) ベースの認証を使用します。

事前共有キーは、メニューまたは CPS/RM を使用して入力できます。

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワーク
証明書ベースの認証を使用します。

無線機を証明書使って事前設定しておく必要があります。



注記：

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワークへの接続については、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者により割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンの音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



注記：

指定の無線機を使用して、リモートで Wi-Fi をオンまたはオフにできます (指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (個別制御) ページ 175 および指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (グループ コントロール) ページ 177 を参照)。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

7.8.29.1

Wi-Fi のオン/オフの切り替え

- 1 プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンを押します。Wi-Fi のオンまたは Wi-Fi のオフの音声ガイドが聴こえます。
- 2 メニューを使用してこの機能にアクセスします。
 - a  メニューにアクセスします を押します。
 - b  または  を押して **[Wi-Fi]** に移動し、 を押して選択します。

- c ▲ または ▼ を押して『WiFi オン』に移動し、
 (Ⓢ) を押して選択します。

- d (Ⓢ) を押して、Wi-Fi をオン/オフにします。

Wi-Fi がオンの場合、ディスプレイで『ゆうこう』の隣に ✓ が表示されます。

Wi-Fi がオフの場合、『ゆうこう』の隣から ✓ が消えます。

Wi-Fi が有効で、低容量バッテリーが使用されている場合は、電源投入時に次の内容のアラート画面が表示されます。

- ていようりょうバッテリーです！
- Tx しゅつりよく 2 W せいげん Wi-Fi はむこう
- たいおうバッテリーをしようせいげんひきあげ
- おして (Ⓢ) をおします。

以下の操作を実行して制限を解除し、3W 操作と Wi-Fi を有効にします。

無線機の電源をオフにし、対応バッテリー (リチウム イオン 1800mAh バッテリー パック (HKNN4013_)、リチウム イオン 2200mAh バッテリー パック (PMNN4459_) またはリチウム

イオン 2300mAh バッテリー パック (PMNN4468_) など) に変更します。

Wi-Fi が無効で、低容量バッテリーを使用している場合は、送信出力が 2W に制限されます。

7.8.29.2

指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (個別制御)

個別制御 (1 対 1) でリモートで Wi-Fi のオン/オフを切り替えることができます。



注記：
 特定の CPS 設定を持つ無線機のみがこの機能をサポートします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラム可能ボタンを長押しします。キーパッドを使用して ID と (Ⓢ) を押して選択します を入力します。 [ステップ 4](#) に進みます。
- (Ⓢ) メニューにアクセスします を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して「れんらくさき」に移動し、
Ⓜ を押して選択します。

- 3 次に説明する手順のいずれかを実行して、必要な無線エイリアスを選択します。

- 無線機のエイリアスを直接選択します。
 - ▲ または ▼ を押して必要な無線機のエイリアスまたは ID に移動します。
- 「ダイアル」メニューを使用します。
 - ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動し、Ⓜ を押して選択します。
 - 「むせん ID」を選択し、キーパッドを使用して ID を入力します。Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して、「WiFi せいぎょ」にアクセスし、Ⓜ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して「オン」または「オフ」を選択します。

- 6 Ⓜ を押して選択します。

成功すると、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

失敗すると、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.8.29.3

指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンまたはオフにする (グループコントロール)

グループ コントロール (1 対多) でリモートで Wi-Fi のオン/オフを切り替えることができます。



注記:

特定の CPS 設定を持つ無線機のみがこの機能をサポートします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1 Ⓜ メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『れんらくさき』に移動し、
 (船) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要な無線機のエイリアス
 または ID を選択します。

4 ▲ または ▼ を押して、『WiFi せいぎょ』にアク
 セスし、(船) を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『オン』または『オフ』を選
 択します。

6 (船) を押して選択します。

処理が正常に行われると、ディスプレイに『せいじょうにそ
 うしん』と表示されます。

失敗すると、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示さ
 れます。

7.8.29.4

ネットワーク アクセス ポイントへの接続

Wi-Fi をオンにすると、無線がネットワーク アクセス ポイ
 ントに接続します。



注記:

また、メニューからもネットワーク アクセス ポイン
 トに接続できます。

WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークのアク
 セス ポイントは、事前に設定されています。無線機
 がどのようにプログラムされているかについては、
 ディーラーまたはシステム管理者に確認してくださ
 い。

1 (船) メニューにアクセスします を押します。

2 ▲ または ▼ を押して『WiFi』に移動し、(船) を押
 して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『ネットワーク』に移動し
 て、(船) を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押してネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。



注記：

WPA エンタープライズ Wi-Fi で、ネットワーク アクセス ポイントが事前に設定されていない場合、『せつぞく』オプションは使用できません。

- 5 ▲ または ▼ を押して『せつぞく』に移動し、 を押して選択します。

- 6 WPA パーソナル Wi-Fi の場合、パスワードを入力して  を押します。

- 7 WPA エンタープライズ Wi-Fi の場合、パスワードは RM を使用して設定されます。

事前に設定されているパスワードが正しい場合、無線機は自動的に選択したネットワーク アクセス ポイントに接続します。

事前に設定したパスワードが正しくない場合、ディスプレイに『にんしょうエラー』と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

接続に成功すると、無線に通知が表示され、ネットワーク アクセス ポイントがプロファイル リストに保存されます。

接続に失敗すると、無線のディスプレイに失敗通知画面が瞬間的に表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

7.8.29.5

Wi-Fi 接続ステータスの確認

プログラムされた **[Wi-Fi ステータス照会]** ボタンを押し、音声ガイドで接続ステータスを確認します。Wi-Fi がオフ、Wi-Fi がオンで接続なし、または Wi-Fi がオンで接続ありの音声ガイドが流れます。

- Wi-Fi がオフになっていると、ディスプレイに『WiFi オフ』と表示されます。
- 無線機がネットワークに接続されていると、ディスプレイに『WiFi オン』、『接続済み』と表示されます。

- Wi-Fi がオンになっているが、無線機がネットワークに接続されていない場合、[WiFi オン]、[切断済み]と表示されます。

Wi-Fi ステータス照会結果の音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



注記：
プログラムされた **[Wi-Fi ステータス照会]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

7.8.29.6

ネットワーク リストの更新

- メニューからネットワーク リストを更新するには、次の操作を実行します。
 - a.  メニューにアクセスします を押します。
 - b.  または  を押して [WiFi] に移動し、 を押して選択します。

- c.  または  を押して [ネットワーク] に移動し、 を押して選択します。

[ネットワーク] メニューに移動すると、ネットワーク リストが自動的に更新されます。

- [ネットワーク] メニューをすでに移動している場合は、次の操作を実行してネットワーク リストを更新します。

 または  を押して [こうしん] に移動し、 を押して選択します。

ネットワーク リストが更新され、最新のリストが表示されます。

7.8.29.7

ネットワークの追加



注記：
このタスクは、WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークには適用されません。

使用可能なネットワークのリストに優先ネットワークがない場合は、次の操作を実行してネットワークを追加します。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [WiFi] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ネットワーク] に移動して、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ネットワーク ついか] に移動し、 を押して選択します。
- 5 サービス セット識別子 (SSID) を入力して、 を押します。
- 6 ▲ または ▼ を押して [ひらく] に移動し、 を押して選択します。

- 7 パスワードを入力して、 を押します。
無線機にポジティブ ミニ通知が表示され、ネットワークが正常に保存されたことが示されます。

7.8.29.8

ネットワーク アクセス ポイントの詳細の表示

ネットワーク アクセス ポイントの詳細を表示できます。

- 1  メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [WiFi] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ネットワーク] に移動して、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押してネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動し、

Ⓜ を押して選択します。



注記：

通常の WPA パーソナル Wi-Fi と WPA エンタープライズ Wi-Fi では、表示されるネットワーク アクセス ポイントの詳細は異なります。

WPA パーソナル Wi-Fi

接続済みのネットワーク アクセス ポイントについては、サービス セット識別子 (SSID)、セキュリティ モード、メディア アクセス制御 (MAC) アドレス、およびインターネット プロトコル (IP) アドレスが無線機に表示されます。

接続されていないネットワーク アクセス ポイントについては、SSID およびセキュリティ モードが無線機に表示されます。

WPA エンタープライズ Wi-Fi

接続済みのネットワーク アクセス ポイントについては、SSID、セキュリティ モード、ID、拡張認証プロトコル (EAP) 方式、フェーズ 2 認証、証明書名、MAC アドレス、IP アドレス、ゲートウェイ、DNS1、および DNS2 が無線機に表示されます。

接続されていないネットワーク アクセス ポイントについては、SSID、セキュリティ モード、ID、EAP 方式、フェーズ 2 認証、および証明書名が無線機に表示されず。

7.8.29.9

ネットワーク アクセス ポイントの削除



注記：

このタスクは、エンタープライズ Wi-Fi ネットワークには適用されません。

プロファイル リストのネットワーク アクセス ポイントを削除するには、次の操作を実行します。

- 1 Ⓜ メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して『WiFi』に移動し、Ⓜ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『ネットワーク』に移動して、Ⓜ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して、選択したネットワーク アクセス ポイントに移動し、 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動し、 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動し、 を押して選択します。

無線機にポジティブ ミニ通知が表示され、選択したネットワーク アクセス ポイントが正常に削除されたことが示されます。

7.9

ユーティリティ

この章では、無線機で利用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

7.9.1

キー操作音のオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でキー操作音のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動します。 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して『キーそうさおん』に移動します。 を押して選択します。
- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。Ⓢを押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。Ⓢを押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

7.9.2

出力レベルの設定



注記：

この機能は、周波数帯域幅が 403MHz ～ 470MHz または 470.000005MHz ～ 527MHz である SL2K にのみ適用されます。CPS で送信出力の最高値を選択します。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

各 Connect Plus ゾーンの無線機のパワー設定の高低をカスタマイズできます。

【■■■■■】にすると、かなり離れた場所にある Connect Plus モードのタワー サイトと通信できます。【■■■■】にすると、近い場所にある Connect Plus モードのタワー サイトと通信できます。

以下の手順に従って、無線機のメニューからこの機能にアクセスします。

- 1 Ⓢ メニューにアクセスします を押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、Ⓢを押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、Ⓢを押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [でんげん] に移動し、Ⓢを押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して 必要な設定に移動し、Ⓢを押して選択します。

✓ 選択した設定の隣に表示されます。Ⓢ ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

画面は前のメニューに戻ります。

7.9.3

オプション ボードのオンとオフの切り替え

各チャンネル内のオプション ボード機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。下記の手順に従って、無線機でオプション ボードのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【オプション ボード】ボタンを押します。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [VOX] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。Ⓜ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
 - ▲ または ▼ を押して [Off] にします。Ⓜ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。
-

7.9.4

音声起動送信のオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で音声起動送信 (VOX) のオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【VOX】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 - Ⓜ を押してメニューにアクセスします。
-

7.9.5

無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え

着信緊急警告トーン以外の、すべての無線機トーンやアラートは、必要に応じて有効化および無効化できます。下記の手順に従って、無線機でトーン/アラートのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【トーン/アラート】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [ぜん トーン] に移動します。 を押して選択します。

- 6  を押して、すべてのトーンおよびアラートを無効または有効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
 - 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

7.9.6

トーン/アラートのボリューム オフセット レベルの設定

この機能は、音声ボリュームを基準としてトーンまたはアラートのボリュームを調節できます。下記の手順に従って、無線機でトーンとアラートのボリューム オフセット レベルを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [Vol オフセット] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要なボリューム オフセット レベルに移動します。

対応する各ボリューム オフセット レベルのフィードバック トーンが鳴ります。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- Ⓜ を押して選択します。必要な音量オフセット レベルが保存されます。

-  を押して終了します。変更が破棄されます。

7.9.7

通話許可トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で通話許可トーンのオンとオフを切り替えます。

1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「きょか トーン」に移動します。Ⓢを押して選択します。

6 Ⓢを押して通話許可トーンを有効または無効にします。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓が「Enabled」の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓が「Enabled」の隣で非表示になります。

7.9.8

メッセージ アラーム トーンの設定

連絡先リストの各エントリに対するメッセージ アラーム トーンをカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機でメッセージ アラーム トーンを設定します。

1 Ⓢを押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「Contacts」に移動します。Ⓢを押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓢを押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「メッセージ アラーム」に移動します。Ⓢを押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して「1 かいのみ」に移動します。Ⓢを押して選択します。
ディスプレイの「1 かいのみ」の隣に✓が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して「くりかえし」に移動します。Ⓢを押して選択します。
ディスプレイの「くりかえし」の隣に✓が表示されます。

7.9.9

壁紙の表示

無線機のホーム画面には、壁紙背景が表示されます。5種類の既定の壁紙から選択できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して [ひょうじ] に移動します。  を押して選択します。
- 5  または  を押して [かべがみ] に移動します。  を押して選択します。
 または  を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

7.9.10

スクリーンセーバーモード

スクリーンセーバー機能の使用中は、無線機のバッテリー残量が節約されます。

スクリーンセーバーモードに入る前に、スクリーンセーバー前期間を使用して無線機の動作が追跡されます。

電源スイッチが入ると無線機はスクリーンセーバー前期間を開始し、スクリーンセーバーモードに入ります。無線機は、スクリーンセーバー前期間の時間が経過すると、スクリーンセーバーモードを終了します。またユーザー入力または無線トランザクションがあるとすぐに、スクリーンセーバーモードは終了し、関係するトランザクションに反応します。

無線機は、ユーザー入力または無線トランザクションがあるとすぐに、スクリーンセーバー前期間を再開します。スクリーンセーバーモードに入って5秒経過すると、キーパッドロック状態に自動的に移行します。オーディオまたはBluetoothのアクセサリが接続されると、バッテリーセーバーモードが有効になり、スクリーンセーバーモードに入ります。

ユーザー入力または無線トランザクションがあると、スクリーンセーバーモードが終了し、ユーザーからの入力に回答します。スクリーンセーバー前期間が期限を迎えると、

同期間が再開され、スクリーンセーバーモードに戻ります。

7.9.11

オーディオ アクセサリ

オーディオ アクセサリには2つのモードがあります。通常モードとバッテリーセーバーモードです。

バッテリーセーバーモードでオーディオ アクセサリが接続されると、無線機はタイマーを再開し、スクリーンセーバーモードに入ります。このシナリオでは、ユーザー入力(無線機でのユーザー入力およびアクセサリの着脱も含む)があるか、緊急アラーム/通話を受けると、スクリーンセーバーモードが終了し、通常通りユーザーイベントにตอบสนองします。割り当て時間が経過すると、スクリーンセーバータイマーが再開され、スクリーンセーバーモードに戻ります。

7.9.12

オートキーロックの有効化/無効化

キーの誤入力を防ぐために、無線機の自動キーパッドロックの有効/無効を切り替えることができます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [オートキーロック] に移動します。 を押して選択します。

- 5 以下のいずれか1つの手順を実行します。

-  を押してオートキーロックを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
-  を押してオートキーロックを無効にします。✓ [ゆうこう] の隣が消えます。

7.9.13

言語の設定

下記の手順に従って、無線機で言語を設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [げんご] に移動します。  を押して選択します。

- 5  または  を押して必要な言語に移動します。  を押して選択します。
選択した言語の横に  が表示されます。

7.9.14

LED インジケータのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で LED インジケータのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [LED ひょうじ] に移動します。  を押して選択します。

- 5  を押して LED 表示を有効または無効にします。
ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
 - 有効にすると、  が [Enabled] の隣に表示されます。

- 無効な場合、✓が【Enabled】の隣で非表示になります。

7.9.15

音声ガイドのオンとオフの切り替え

この機能をオンにすると、ユーザーがゾーンとチャンネルを割り当てたときや、ユーザーがプログラム可能ボタンを押したときに、その内容を音声で知らせます。

ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機で音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【音声ガイド】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して【Utilities】に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して【Radio Settings】に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して【おんせいガイド】に移動します。 を押して選択します。

- 5  を押して、音声ガイドを有効または無効にします。
 - 有効にすると、✓が【Enabled】の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓が【Enabled】の隣で非表示になります。

7.9.16

音声変換

音声変換機能は、ディーラーのみが有効にできます。音声変換が有効になっている場合、音声ガイド機能は自動的に

無効になります。音声ガイドが有効になっている場合、音声変換機能が自動的に無効になります。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。本機能は、ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

7.9.16.1

音声変換の設定

下記の手順に従って、音声変換機能を設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [おんせいガイド] に移動します。  を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して以下の機能のいずれかに移動します。  を押して選択します。

利用可能な機能は以下の通りです。

- すべて
- メッセージ
- JOB チケット
- チャネル
- ゾーン
- プログラム ボタン

✓ 選択した設定の隣に  が表示されます。

7.9.17

テキスト入力設定

お使いの無線機では、さまざまなテキストを設定できます。

無線機でのテキストの入力に対して次を設定できます。

- 単語予測
- 単語修正
- 文章大文字修正

- マイワード

利用できるテキスト入力方法は以下のとおりです。

- 数字
- 符号
- 予測またはマルチタップ
- 言語 (プログラムする場合)



注記:



を押すと、いつでも前の画面に戻ります。



を長く押すとホーム画面に戻ります。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

7.9.17.1

単語予測の有効化/無効化

単語予測無線機は、頻繁に入力する語に共通する並び順を学習できます。学習内容をもとに、テキストエディタに共通する語の並びの最初の単語を入力すると、使用する可能性のある次の語を予測します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。

- 2 または を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

- 3 または を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 または を押して [もじにゅうりよく] に移動します。 を押して選択します。

- 5 または を押して [よそく] に移動します。 を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- または を押して [もじにゅうりよく] に移動します。 を押して選択します。
- を押して単語予測を有効にします。有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- を押してマイク ダイナミックひずみコントロールを無効にします。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

7.9.17.2

文字修正の有効化/無効化

テキスト エディタに入力した単語が組み込み辞書で認識されない場合、単語の代わりの選択肢を提供します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [もじにゅうりよく] に移動します。  を押して選択します。

- 5  または  を押して [もじしゅうせい] に移動します。  を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  または  を押して [もじしゅうせい] に移動します。  を押して選択します。
- を押して [もじしゅうせい] を有効にします。有効にすると、 が [Enabled] の隣に表示されます。
- を押して [もじしゅうせい] を無効にします。無効な場合、 が [Enabled] の隣で非表示になります。

7.9.17.3

文章大文字修正の有効化/無効化

新しい文を入力するごとに、最初の語の最初の文字を自動的に大文字にできます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [おおもじ] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- (Ⓢ) を押して大文字を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
 - (Ⓢ) を押して大文字を無効にします。[ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。
-

7.9.17.4

カスタム語の表示

自分のカスタム語を無線機に組み込まれた辞書に追加できます。無線機は、その語を含むリストを管理します。

1 (Ⓢ) を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して [たんご リスト] に移動します。 (Ⓢ) を押して選択します。
ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

7.9.17.5

カスタム語の編集

無線機に保存したカスタム語を編集できます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して [たんご リスト] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されず。

7 ▲ または ▼ を押して必要な単語に移動します。 を押して選択します。

8 ▲ または ▼ を押して [へんしゅう] に移動します。 を押して選択します。

9 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。

- ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
 - ▶ キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
 - 不要な文字を削除するときは、 キーを押します。
 -  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。
-

10 カスタム語が完成したら、を押します。

ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

- カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイにはポジティブ ミニ通知が表示されます。
- カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.9.17.6

カスタム語の追加

無線機の組み込み辞書に、カスタム語を追加できます。

1 を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して [しんき ついか] に移動します。 を押して選択します。 ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

7 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。

- を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
- キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
- 不要な文字を削除するときは、キーを押します。
- を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

8 カスタム語が完成したら、を押します。

ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

- カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.9.17.7

カスタム語の削除

無線機に保存したカスタム語を削除できます。

1 を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要な単語に移動します。 を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動します。 を押して選択します。

8 次のいずれかを選択します。

- [エントリをさくじょ?] で を押して [はい] を選択します。ディスプレイに [にゅうりょくさくじょずみ] と表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動します。 を押して前の画面に戻ります。

7.9.17.8

すべてのカスタム語の削除

無線機に組み込まれた辞書からすべてのカスタム語を削除できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して [もじにゅうりょく] に移動します。  を押して選択します。
- 5  または  を押して [マイ ワード] に移動します。  を押して選択します。
- 6  または  を押して [Delete All] に移動します。  を押して選択します。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- [エントリをさくじょ?] で  を押して [はい] を選択します。ディスプレイに [にゅうりょくさくじょずみ] と表示されます。
- 前の画面に戻るには、 または  を押して [いいえ] に移動します。  を押して選択します。

7.9.18

フレックス RX リスト

フレックス RX リストは、受信グループリストのメンバーの作成と割り当てができる機能です。お使いの無線機は、このリストに含まれる 16 名まで対応できます。(この機能は Capacity Plus ではサポートされません。)

7.9.18.1

フレックス **RX** リストのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、フレックス RX リストのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [フレックス **RX** リスト] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [フレックス **RX** リスト] に移動します。  を押して選択します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 -  または  を押して [オン] に移動します。
 を押して選択します。
 ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

-  または  を押して [オフ] に移動します。
 を押して選択します。
 ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

7.9.19

デジタル マイク **AGC** のオンとオフの切り替え

デジタル マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、デジタル システム上で送信するときに、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。

この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。下記の手順に従って、無線機でデジタル マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [Mic AGC-D] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 Ⓜ を押して、デジタル マイク AGC を有効化/無効化します。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

調整します。これは受信側の限定機能であり、送信音声は影響を受けません。下記の手順に従って、無線機でインテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。



注記：
この機能は、Bluetooth セッションでは使用できません。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【インテリジェント オーディオ】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
- Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Int オーディオ] に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

7.9.20

インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え

定常騒音源と非定常騒音源の両方を含む、周辺環境の背景雑音が大きい場合、それに負けないように音量を自動的に

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。Ⓢを押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。Ⓢを押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

7.9.21

ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え Ⓢ

この機能により、受信コールでのハウリングを最小限に抑えることができます。下記の手順に従って、ハウリング抑制機能のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ハウリング抑制】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 - Ⓢを押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。Ⓢを押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓢを押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ハウリング よくせい] に移動します。Ⓢを押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - Ⓢを押して、ハウリング抑制機能を有効にします。
 - Ⓢを押して、ハウリング抑制機能を無効にします。

有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

7.9.22

トリル拡張のオンとオフの切り替え

歯茎でのトリル音 (転がるような "R") の単語を多用する言語で話しているとき、この機能を有効にできます。下記の手順に従って、無線機でトリル拡張のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【トリル拡張】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [トリル かくちょう] に移動します。 を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。 を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。 を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

7.9.23

音声アンビエンスの設定

下記の手順に従って、お使いの環境に応じて無線機で音声アンビエンスを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『オンセイ アンビエンス』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。Ⓜ を押して選択します。

設定は次のとおりです。

- 工場出荷時の設定にするには『しよきち』を選択します。
- 『だいおんりょう』を選択し、騒音環境下でスピーカの音量を上げます。
- 『ワーク グループ』を選択し、複数の無線機が相互に近い場所にあるときのハウリングを緩和します。

選択した設定の横に ✓ が表示されます。

7.9.24

音声プロファイルの設定

下記の手順に従って、無線機で音声プロファイルを設定します。

1 Ⓜ を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『オンセイ プロファイル』に移動します。Ⓜ を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。Ⓜ を押して選択します。

設定は次のとおりです。

- 『しよきち』を選択して先に選択されていた音声プロファイルを無効にし、工場出荷時の設定に戻ります。
- 40 代以上の成人でみられる騒音性難聴を補正するための音声プロファイルを『レベル 1』、『レベル 2』、または『レベル 3』から選択します。

- 甲高い声、鼻にかかった声、深い声など、お好みに応じて音声プロファイルを「トレブル ブースト」、 「ミッド ブースト」、または「バス ブースト」から選択します。

選択した設定の横に  が表示されます。

7.9.25

RSSI 値の表示

ホーム画面で、 を 3 回押してすぐに  を 3 回押します。このすべての操作を 5 秒以内に行います。

ディスプレイに現在の RSSI 値が表示されます。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

7.9.25.1

受信信号強度インジケータ

この機能を使用して、受信信号強度インジケータ (RSSI) 値を表示できます。

ディスプレイでは、**[RSSI]** アイコンが右上端に表示されます。**[RSSI]** アイコンの詳細については、「[ディスプレイアイコン](#)」を参照してください。

7.9.26

一般無線機情報

無線機には、一般的パラメータに関する様々な情報が含まれています。

無線機の一般情報は以下のとおりです。

- バッテリに関する情報
- 無線エイリアスと ID
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン
- ソフトウェア更新
- オープンソース ソフトウェア情報
- サイト情報
- 受信信号強度インジケータ



注記：

 を押して前の画面に戻ります。ホーム画面に戻るには、 を長押しします。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

7.9.26.1

無線エリアスと ID のチェック

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[無線エリアスと ID]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

プログラムされた **[無線エリアスと ID]** ボタンを押して、前の画面に戻ることができます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して **[Utilities]** に移動します。
 を押して選択します。
- 3  または  を押して **[Radio Info]** に移動します。
 を押して選択します。

- 4  または  を押して **[ID]** に移動します。
 を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に、無線エリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、無線機 ID が表示されます。

7.9.26.2

ファームウェアとコードプラグのバージョン チェック

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して **[Utilities]** に移動します。
 を押して選択します。
- 3  または  を押して **[Radio Info]** に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [Versions] に移動します。
 ④ を押して選択します。

ディスプレイに現在のファームウェアとコードプラグの各バージョンが表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ソフト アップデート] に移動します。
 ④ を押して選択します。

ディスプレイに最新のソフトウェア更新の日付と時刻が表示されます。

7.9.26.3

ソフトウェア更新情報のチェック

この機能は、OTAP または Wi-Fi を通じて実行された最新のソフトウェア更新の日付と時間を表示します。下記の手順に従って、無線機でソフトウェア更新情報をチェックします。

- 1 ④ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 ④ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Info] に移動します。
 ④ を押して選択します。

ソフトウェア更新メニューは、少なくとも 1 回の OTAP または Wi-Fi セッションが正常に完了した後でのみ利用できるようになります。詳細については、[エア接続プログラミングページ 173](#) を参照してください。

7.9.27

エンタープライズ Wi-Fi 証明書の詳細の表示

選択したエンタープライズ Wi-Fi 証明書の詳細を表示することができます。

- 1 ④ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 ④ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『証明書メニュー』に移動します。Ⓢを押して選択します。

✓ 準備が完了した証明書の横に表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要な証明書に移動します。Ⓢを押して選択します。
-

無線機に、証明書の完全な詳細が表示されます。



注記：
準備が完了していない証明書については、ステータスのみ表示されます。

認可されたアクセサリ リスト

Motorola Solutions では、お使いの無線機の生産性を向上させるアクセサリのリストをご用意しています。

アンテナ

- 420 ～ 445MHz スタビー アンテナ (PMAE4076_)
- 438 ～ 470MHz スタビー アンテナ (PMAE4077_)
- 403 ～ 425MHz スタビー アンテナ (PMAE4078_)
- 450 ～ 490MHz スタビー アンテナ キット (PMAE4091_)
- 480 ～ 527MHz スタビー アンテナ キット (PMAE4092_)
- 806 ～ 870MHz スタビー アンテナ (PMAF4017_)
- 896 ～ 941MHz スタビー アンテナ (PMAF4018_)
- アンテナ取り付けキット、ネジ 10 本とプラグ 10 個のパック (PMLN6040_)

バッテリー

- リチウム イオン 1800mAh バッテリー パック (HKNN4013_)
- リチウム イオン 1370mAh バッテリー パック (PMNN4425_) ¹²
- BT100x リチウム イオン 2300mAh バッテリー パック (PMNN4468_)

オーディオ アクセサリ

- HK200 韓国 (ASMHK200-KR2A)
- HK200 中国 (ASMHK200-CN2A)
- HK200 オーストラリア/ニュージーランド (ASMHK200-AU2A)
- HK200 ワイヤレス ヘッドセット (香港) (PMLN5992_)
- オペレーション クリティカル ワイヤレス PTT Pod (充電器なし) (NNTN8191_)
- PTT Pod、12 インチケーブル付きイヤピース (NNTN8189_)
- HK200 ワイヤレス ヘッドセット (韓国) (PMLN5986_)

¹² 800/900 帯域には適用されません。

- HK200 ワイヤレス ヘッドセット (アフリカ)
(PMLN5989_)
- HK200 ワイヤレス ヘッドセット (中国) (PMLN5990_)
- 12 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル
ワイヤレス イヤピース (オーストラリア/ニュージーラ
ンド) (PMLN6053_)
- 9.5 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル
ワイヤレス イヤピース (オーストラリア/ニュージーラ
ンド) (PMLN6050_)

ケーブル

- Micro USB プログラミング ケーブル (PMKN4128_)

キャリー デバイス

- キャリー ホルダー (PMLN5956_)
- ナイロン リスト ストラップ (PMLN6074_)
- 1.5 インチクイック切断スイベル クリップ付きソフト
レザー アクセサリ キャリー ケース (PMLN7040_)

U

- Micro USB 充電器、オーストラリア/ニュージーランド
プラグ (PMPN4007_)
- Micro USB 充電器、中国プラグ (PMPN4008_)
- Micro USB 充電器、香港プラグ (PMPN4014_)
- Micro USB 充電器、韓国プラグ (PMPN4015_)
- Micro USB 携帯用充電器/コイル コード付き車載充電器
シガレット ライター アダプタ (PMPN4066_)¹³
- Micro USB 電源アダプタ、AC/DC モード切り替え、ウォ
ール キューブ、5W、100V ～ 240V、米国/日本プラグ
(PS000042A11)¹³
- Micro USB 電源アダプタ、AC/DC モード切り替え、ウォ
ール キューブ、5W、100V ～ 240V、英国/香港プラグ
(PS000042A13)¹³
- Micro USB 電源アダプタ、AC/DC モード切り替え、ウォ
ール キューブ、5W、100V ～ 240V、オーストラリア/ニ
ュージーランド プラグ (PS000042A14)¹³
- Micro USB 電源アダプタ、AC/DC モード切り替え、ウォ
ール キューブ、5W、100V ～ 240V、中国プラグ
(PS000042A16)¹³

¹³ お使いの無線機は上記のアクセサリと互換性があります。詳細についてはディーラーにお問い合わせください。

- Micro USB 電源アダプタ、AC/DC モード切り替え、ウォールキューブ、5W、100V ~ 240V、韓国プラグ (PS000042A17)¹³

リモート スピーカ マイク

- オペレーション クリティカル ワイヤレス リモート スピーカ マイク (PMMN4096_)

その他のアクセサリ

- 1370mAh バッテリ カバー (PMLN6000_)
- 1800mAh バッテリ カバー (PMLN6001_)
- 画面プロテクタ、クリア (1 ユニット入りシングル パック) (AY000269A01_)¹⁴

¹⁴ お使いの無線機は上記のアクセサリと互換性があります。詳細についてはディーラーにお問い合わせください。

www.motorolasolutions.com/mototrbo

Motorola Solutions Malaysia Sdn. Bhd.
Plot 2A, Medan Bayan Lepas,
Mukim 12, S.W.D.
11900 Bayan Lepas, Penang,
Malaysia.

无线电发射设备型号核准代码会在设备标签上注明。

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2017 and 2021 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

